

令和6年度

「保育所長・主任保育士研修等の実施及び普及・啓発一式」

報 告 書

令和7年3月7日

公益財団法人 総合健康推進財団

内容

1. 本事業の概要	
1-1. 本事業の目的	3
1-2. 研修会開催の広報	3
1-3. 研修受講者の管理	3
1-4. 受講者への事前・事後課題	3
1-5. 修了証の発行	4
2. 各研修日程と参加者数等	
2-1. 研修日程	5
2-2. 参加者数等	
2-2-1. 中堅保育所長等研修	7-9
2-2-2. 初任保育所長等研修	10-11
2-2-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修	12-15
2-2-4. 初任主任保育士研修	16-19
2-2-5. 中堅主任保育士研修	20-23
2-2-6. 保育所等実習指導研修	24-26
3. 研修開催状況	
3-1. 中堅保育所長等研修	27
3-2. 初任保育所長等研修	28-29
3-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修	30-31
3-4. 初任主任保育士研修	32-33
3-5. 中堅主任保育士研修	34-35
3-6. 保育所等実習指導研修	36
4. 研修評価・改善策	
4-1. 中堅保育所長等研修講義内容の評価・改善策	37-50
4-2. 初任保育所長等研修講義内容の評価・改善策	51-82
4-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修講義内容の評価・改善策	83-110
4-4. 初任主任保育士研修講義内容の評価・改善策	111-136
4-5. 中堅主任保育士研修講義内容の評価・改善策	137-162
4-6. 保育所等実習指導研修講義内容の評価・改善策	163-175
5. 実施報告	
5-1. 納品リスト	176
5-2. 考察	176-178

1. 本事業の概要

1-1. 本事業の目的

「新子育て安心プラン」に基づき、待機児童の解消を図るため、保育の受け皿の拡大や、保育の受け皿拡大を支える保育人材確保等の支援策に取り組んでいる中、同時に保育人材の質を確保しなければならない。

そのため、本事業の実施により、保育所、幼保連携型認定こども園及び地域型保育事業（以下「保育所等」という。）の長を対象に、最新の保育施策の動向や、保育所等の運営・管理における課題等について学ぶための研修を実施するとともに、主任保育士及び実習指導を行う保育士を対象に、最新の保育施策の動向や関係法令、保育所等の運営における課題への対応等を学ぶための研修を実施し、研修により得られた知見を広く公表し、保育所等の運営に係る課題や解決策等について周知・広報を図る。（仕様書より）

1-2. 研修会開催の広報

- (1) 47都道府県及び1,741市区町村に実施要項を送付し、管下の市区町村・保育所等への周知を依頼しました。
- (2) 専用Webページを作成し、広報・周知しました。
※実施要項については、2024年7月に、全国の自治体に郵送にて送付済み。また、弊財団ホームページ上に2025年3月31日まで掲載いたします。

1-3. 研修受講者の管理

本事業の遂行にあたり、以下の場合に必要な研修受講者の情報については、「個人情報保護方針」に遵守し、使用及び管理しました。

- ・ 申込専用Webサイトにて各研修の申込受付
- ・ Zoomミーティングへの入室確認・管理
- ・ 専用お問い合わせフォームでの対応・管理

1-4. 受講者への事前・事後課題

受講者に対しては、各研修内容に即した選択項目並びに記述式課題を事前と事後に課し、参加する研修内容の事前知識と経験を把握するとともに、事後と比較することで研修会の効果測定、内容や実施方法等のニーズを把握するために実施し分析を行いました。

1-5. 修了証の発行

3日間の研修を受講し、さらに事前・事後課題を期間内に提出した者に発行いたしました。発行リストについては、別途データにて提出いたします。

2. 各研修日程と参加人数等

本年度に実施した各研修のスケジュールと、研修への申込数、受講者数と修了証発行数を下記に報告いたします。

また、受講確定後のキャンセルについても掲載いたします。

2-1. 研修日程

【集合研修】

研修 No	研修名	コース コード	研修 期間	申込・開催日程	
				申込期間	開催日
1	初任保育所長等研修	2-3R	3日間	10月3日(木)～10月29日(火)	12月3日(火) 12月10日(火) 12月18日(水)
2	初任保育所長等 (就任予定者)研修	3-1R	3日間	7月29日(月)～8月28日(水)	10月2日(水) 10月3日(木) 10月8日(火)
3	初任主任保育士研修	4-1R	3日間	8月26日(月)～9月21日(土)	10月26日(土) 11月5日(火) 11月21日(木)
4	中堅主任保育士研修	5-1R	3日間	8月9日(金)～9月4日(水)	10月9日(水) 11月1日(金) 11月6日(水)

【オンライン研修】

研修 No	研修名	コース コード	研修 期間	申込・開催日程	
				申込期間	開催日
1	中堅保育所長等研修	1-1Z	3日間	10月4日(金)～10月30日(水)	12月4日(水) 12月9日(月) 12月13日(金)
2	初任保育所長等研修	2-1Z	3日間	8月4日(日)～8月30日(金)	10月4日(金) 10月7日(月) 10月10日(木)
		2-2Z	3日間	9月22日(日)～10月18日(金)	11月22日(金) 11月27日(水) 12月2日(月)
		2-4Z	3日間	11月7日(木)～12月3日(火)	2025年1月7日(火) 2025年1月8日(水) 2025年1月14日(火)
3	初任保育所長等 (就任予定者)研修	3-2Z	3日間	10月16日(水)～11月11日(月)	12月16日(月) 12月19日(木) 12月23日(月)
4	初任主任保育士研修	4-2Z	3日間	11月24日(日)～12月13日(金)	2025年1月24日(金) 2025年1月28日(火) 2025年1月30日(木)
5	中堅主任保育士研修	5-2Z	3日間	11月16日(土)～12月12日(木)	2025年1月16日(木) 2025年1月22日(水) 2025年1月27日(月)
6	保育所等実習指導研修	6-1Z	3日間	9月12日(木)～10月8日(火)	11月12日(火) 11月29日(金) 12月6日(金)

2-2. 参加者数等

下記各表にて申込から修了発行までの詳細人数をご報告いたします。

2-2-1 「中堅保育所長等研修」

※仕様書の指定

(I) 中堅保育所長等研修

- ・開催場所 オンライン
- ・開催回数 1回
- ・受講定員 400名程度
- ・受講対象者 保育所等の長の経験年数5年以上の保育所等の長
- ・受講時間 15時間程度
- ・研修のねらい
 - ・保育に関する最新の知見・トピックを学び、中長期的な課題の整理と、解決への道筋を立てる。
 - ・人材育成及び組織マネジメントの方法を理解し、保育の質の向上を図る。
 - ・他園の実践事例等を学び、自園の実践を振り返る。
 - ・管理職として、自らの専門性を高める。

◆コース (1-1Z) 中堅保育所長等研修

	1-1Z
日程	12月4日(水)、12月9日(月)、12月13日(金)
	オンライン研修 (Zoom)
申込者数	397名
受講確定者数	372名
非該当者数	2名
受講者数	338名
開催前キャンセル	57名
開催後キャンセル	33名
修了証発行者数	305名

◆研修カリキュラム（1-1Z）中堅保育所長等研修

	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育制度の動向 ・ 関係法令等 ・ 保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン 	講義 1 時間
2	乳幼児期の保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの理解に基づく保育の展開と家庭との連携 (実践事例の検討を含む) ・ 保育の質の向上に向けた組織的取組 (実践事例の検討を含む) ・ 保育所における自己評価ガイドライン 	講義 3 時間
3	保育所等の組織マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等の組織マネジメント ・ 保育所等における運営上の課題 ・ 保育所等の運営における中長期的な課題への対応 ・ 職員が働きやすい環境づくり ・ 保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 	ワークショップ 5 時間
4	保育所等における人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の資質向上 ・ 職場における研修や外部研修の活用 ・ 体系的な研修計画の作成 ・ 組織内での研修成果の活用 	講義 4 時間 3 0 分
5	地域に開かれた保育所等づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域におけるネットワークづくり (地域の社会資源の活用、関係機関との連携・協働を含む) ・ 地域と連携した子育て支援 (実践事例の検討を含む) 	講義 1 時間 3 0 分

◆タイムスケジュール（1-1Z）中堅保育所長等研修（オンライン）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 12月4日（水）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～14：00	乳幼児期の保育	白梅学園大学 こども学部 こども学科 准教授 石島このみ先生
	14：10～15：40	地域に開かれた保育所等づくり	聖徳大学大学院 児童学研究科 兼任講師 西智子先生
	15：40～16：00	次回の案内	
【2日目】 12月9日（月）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～15：40	保育所等における人材育成	洗足こども短期大学 幼児教育保育科 教授 井上真理子先生
	15：50～16：50	保育制度の動向及び関係法令等	こども家庭庁 成育局
	16：50～17：10	次回の案内	
【3日目】 12月13日 （金）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～16：10	保育所等の組織マネジメント	日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 請川滋大先生
	16：10～16：30	事後課題・修了証に関する案内	

2-2-2 「初任保育所長等研修」

※仕様書の指定

(Ⅱ) 初任保育所長等研修

- ・開催場所 東京都、オンライン
- ・開催回数 4回（東京都：1回、オンライン：3回）
- ・受講定員 1回当たり 400名程度
- ・受講対象者

受講対象者は以下のいずれかに該当する者とする。

ア 保育士資格を有する者のうち、令和6年度又は令和7年度中に保育所長の長に就任する者（就任予定も含む）

イ 保育所等の長の経験年数1年以上5年未満の保育所等の長

- ・受講時間 15時間程度
- ・研修のねらい 保育所等の長として保育所等の運営に必要な知識（組織マネジメントや関係機関との連携等）を学ぶとともに、研修等を活用し、自園の保育の質の向上を図る。

◆コース（2-1Z, 2-2Z, 2-3Z, 2-4Z）初任保育所長等研修

	2-1Z	2-2Z	2-3R	2-4Z
日程	10月4日（金） 10月7日（月） 10月10日（木）	11月22日（金） 11月27日（水） 12月2日（月）	12月3日（火） 12月10日（火） 12月18日（水）	2025年1月7日（火） 2025年1月8日（水） 2025年1月14日（火）
	オンライン研修（zoom）	オンライン研修（zoom）	集合研修	オンライン研修（zoom）
申込者数	408名	393名	169名	499名
受講確定者数	373名	337名	158名	467名
非該当者数	0名	25名	1名	5名
受講者数	344名	320名	150名	421名
開催前キャンセル	64名	48名	18名	73名
開催後キャンセル	29名	33名	7名	35名
修了証発行者数	315名	287名	143名	386名

◆研修カリキュラム（2-1Z, 2-2Z, 2-3Z, 2-4Z）初任保育所長等研修

	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育制度の動向 ・ 関係法令等 ・ 保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン 	講義 1 時間
2	乳幼児期の保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針等を踏まえた保育実践 ・ 保育の質の向上に関する保育所長等の役割 ・ 保育所における自己評価ガイドライン 	講義 3 時間
3	保育所等のリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等におけるリスクマネジメント ・ 各種ガイドラインを踏まえた健康・安全確保のための対応・対策 ① 保育所における感染症対策ガイドライン ② 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③ 保育所における食事の提供ガイドライン ④ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 	講義 3 時間
4	保育所等の組織づくりとマネジメント（概論）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等の組織づくりとマネジメントにおける保育所長等の役割 ・ 職員が働きやすい環境づくり ・ 職員の資質向上 	講義 2 時間
5	保育所等の組織作りとマネジメント（演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等の運営における課題への対応 ・ 職員が働きやすい環境づくり ・ 保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 	ワークショップ 3 時間
6	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等における子育て支援に関する基本的事項 ・ 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 ・ 「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 	講義 2 時間
7	地域に開かれた保育所等づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における保育所等の役割 ・ 地域社会及び関係機関との連携・協働 ・ 保育所等における地域子育て支援 	講義 1 時間

2-2-3 「初任保育所長等（就任予定者）研修」

※仕様書の指定

（Ⅲ）初任保育所長等（就任予定者）研修

- ・開催場所 東京都、オンライン
- ・開催回数 2回（東京都：1回、オンライン：1回）
- ・受講定員 1回当たり 300名程度
- ・受講対象者

保育士資格を有していない者のうち、以下のすべてに該当する者とする。

ア 保育所等の長の経験が1年未満の者

イ 令和6年度又は令和7年度中に保育所等の長に就任する者（就任予定も含む）

ウ 初任保育所長等研修の受講を希望している者

- ・受講時間 15時間程度
- ・研修のねらい 保育所保育指針等や各ガイドライン等の内容を正しく理解する。

◆コース（3-1R, 3-2Z）初任保育所長等（就任予定者）研修

	3-1R	3-2Z
日程	10月2日（水）、10月3日（木）、 10月8日（火）	12月16日（月）、12月19日（木）、 12月23日（月）
	集合研修	オンライン研修（Zoom）
申込者数	81名	208名
受講確定者数	69名	166名
非該当者数	0名	14名
受講者数	69名	156名
開催前キャンセル	12名	38名
開催後キャンセル	6名	13名
修了証発行者数	63名	143名

◆研修カリキュラム（3-1R, 3-2Z）初任保育所長等（就任予定者）研修

	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育所等の社会的役割	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを取り巻く社会的な状況 ・保育制度の動向 ・保育所等の社会的役割 	<p>講義</p> <p>1時間30分</p>
2	保育所長等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所長等の役割 ・保育所等の運営と法令遵守 ・職員が働きやすい環境づくり 	<p>講義</p> <p>1時間30分</p>
3	子どもの発達と保育の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発達の特性及び発達過程 ・保育所保育指針等に基づく保育の実施と運営 ・保育所における自己評価ガイドライン 	<p>講義5時間</p>
4	保育所等における健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全の確保に関する各種ガイドライン ① 保育所における感染症対策ガイドライン ② 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③ 保育所における食事の提供ガイドライン ④ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 	<p>講義4時間</p>
5	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の意義 ・保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 ・地域における子育て支援 ・「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 	<p>講義3時間</p>

◆タイムスケジュール（3-1R）初任保育所長等（就任予定者）研修（集合型）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 10月2日（水）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～11：00	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	大阪公立大学 名誉教授 大学院 現代システム科学研究科 客員研究員 関川芳孝先生
	11：00～12：00	保育所における感染症対策ガイドライン	福島県立医科大学 周産期・小児地域医療支援講座 主任教授 細矢光亮先生
	13：00～14：00	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 石川史先生
	14：00～15：30	保育所等の社会的役割	流通経済大学 共創社会学部 准教授 米原立将先生
	15：40～17：10	保育所長等の役割	
	17：10～17：30	次回の案内	
【2日目】 10月3日（木）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～14：00	子育て支援	和洋女子大学 人文学部 こども発達学科 教授 矢萩恭子先生
	14：10～15：10	保育所における食事の提供ガイドライン	女子栄養大学 栄養学部 教授 石田裕美先生
15：10～15：30	次回の案内		
【3日目】 10月8日（火）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～16：10	子どもの発達と保育の内容	白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 高橋貴志先生
	16：10～16：30	事後課題・修了証に関する案内	

◆タイムスケジュール（3-2Z）初任保育所長等（就任予定者）研修（オンライン）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 12月16日（月）	10：20～	Zoom入室開始	
	10：50～11：00	注意事項・説明	
	11：00～12：00	保育所における食事の提供ガイドライン	女子栄養大学 栄養学部 教授 石田裕美先生
	13：00～14：00	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 佐藤未織先生
	14：00～15：00	保育所における感染症対策ガイドライン	福島県立医科大学 周産期・小児地域医療支援講座 主任教授 細矢光亮先生
	15：00～15：20	次回の案内	
【2日目】 12月19日（木）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～11：00	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	大阪公立大学 名誉教授 大学院 現代システム科学研究科 客員研究員 関川芳孝先生
	11：10～17：10	子どもの発達と保育の内容	白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 高橋貴志先生
	17：10～17：30	次回の案内	
【3日目】 12月23日（月）	8：50～	Zoom入室開始	
	9：20～9：30	注意事項・説明	
	9：30～11：00	保育所等の社会的役割	流通経済大学 共創社会学部
	11：10～12：40	保育所長等の役割	准教授 米原立将先生
	13：40～16：50	子育て支援	和洋女子大学 人文学部 こども発達学科 教授 矢萩恭子先生
	16：50～17：10	事後課題・修了証に関する案内	

2-2-4 「初任主任保育士研修」

※仕様書の指定

(IV) 初任主任保育士研修

- ・開催場所 東京都、オンライン
- ・開催回数 2回（東京都：1回、オンライン：1回）
- ・受講定員 1回当たり 400名程度
- ・受講対象者 現職の経験年数4年未満の保育所等の主任保育士、幼保連携型認定こども園の主幹保育教諭、指導保育教諭及びこれらに準ずる保育士又は保育教諭
- ・受講時間 15時間程度
- ・研修のねらい
 - ・主任保育士等の多様な役割を理解する。
 - ・リーダー的な立場として、求められる専門性の向上を図る。
 - ・保育に関する最新のトピックや他園の実践から、保育の質の向上への手立てを学ぶ。

◆コース（4-1R, 4-2Z）初任主任保育士研修

	4-1R	4-2Z
日程	10月26日（土） 11月5日（火） 11月21日（木）	2025年1月24日（金） 2025年1月28日（火） 2025年1月30日（木）
	集合研修	オンライン研修（zoom）
申込者数	170名	794名
受講確定者数	149名	481名
非該当者数	0名	285名
受講者数	144名	445名
開催前キャンセル	26名	64名
開催後キャンセル	12名	25名
修了証発行者数	132名	420名

◆研修カリキュラム（4-1R, 4-2Z）初任主任保育士研修

	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び各種ガイドライン 	講義 1 時間
2	保育所等における主任保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践におけるリーダーシップと職員のチームワーク ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 	ワークショップ 3 時間
3	子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組 	講義 3 時間
4	保護者支援・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際 ・「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 	講義・ グループ討議 3 時間
5	保育所等における人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の理解の共有 ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施 	講義・ グループ討議 5 時間

◆タイムスケジュール（4-1R）初任主任保育士研修（集合型）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 10月26日（土）	10：00～	会場入室開始	
	10：50～11：00	注意事項・説明	
	11：00～12：00	保育制度の動向及び関係法令等	こども家庭庁 成育局
	13：00～16：10	子どもの発達と保育	明治学院大学 心理学部 教育発達学科 教授 松寄洋子先生
	16：10～16：30	次回の案内	
【2日目】 11月5日（火）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～13：10	保育所等における主任保育士の役割	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科/大学院 教育学研究科 教授 若月芳浩先生
	14：00～17：10	保護者支援・子育て支援	神戸常盤大学 教育学部 児童学科 教授 中西利恵先生
17：10～17：30	次回の案内		
【3日目】 11月21日（木）	8：20～	会場入室開始	
	8：50～9：00	注意事項・説明	
	9：00～15：10	保育所等における人材育成	大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田哲人先生
	15：10～15：30	事後課題・修了証に関する案内	

◆タイムスケジュール（4-2Z）初任主任保育士研修（オンライン）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 2025年1月24日 （金）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～11：00	保育制度の動向及び関係法令等	こども家庭庁 成育局
	12：00～15：10	子どもの発達と保育	明治学院大学 心理学部 教育発達学科 教授 松寄洋子先生
	15：10～15：30	次回の案内	
【2日目】 1月28日（火）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～16：10	保育所等における人材育成	大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田哲人先生
	16：10～16：30	次回の案内	
【3日目】 1月30日（木）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～13：10	保育所等における主任保育士の役割	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科/大学院 教育学研究科 教授 若月芳浩先生
	14：00～17：10	保護者支援・子育て支援	神戸常盤大学 教育学部 児童学科 教授 中西利恵先生
	17：10～17：30	事後課題・修了証に関する案内	

2-2-5 「中堅主任保育士研修」

※仕様書の指定

(V) 中堅主任保育士研修

- ・開催場所 東京都、オンライン
- ・開催回数 2回（東京都：1回、オンライン：1回）
- ・受講定員 1回当たり 300名程度
- ・受講対象者 現職の経験年数4年以上の保育所等の主任保育士、幼保連携型認定こども園の主幹保育教諭、指導保育教諭及びそれに準ずる保育士又は保育教諭
- ・受講時間 15時間程度
- ・研修のねらい
 - ・主任保育士として、保育所等に求められる多様なニーズに対応するために必要な知識・技術を学ぶ。
 - ・保育所等の組織全他愛で質の高い保育を展開するためのマネジメント能力の向上を図る。

◆コース（5-1R, 5-2Z）中堅主任保育士研修

	5-1R	5-2Z
日程	10月9日（水） 11月1日（金） 11月6日（水）	2025年1月16日（木） 2025年1月22日（水） 2025年1月27日（月）
	集合研修	オンライン研修（zoom）
申込者数	94名	439名
受講確定者数	84名	361名
非該当者数	1名	57名
受講者数	83名	341名
開催前キャンセル	10名	41名
開催後キャンセル	11名	25名
修了証発行者数	72名	316名

◆研修カリキュラム（5-1R, 5-2Z）中堅主任保育士研修

	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び各種ガイドライン 	講義 1 時間
2	保育所等における主任保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 	ワークショップ 2 時間
3	子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組 	講義 3 時間
4	保護者支援・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際 ・「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 	講義・ グループ討議 3 時間
5	保育所等における人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の理解の共有 ・保育実践におけるリーダーシップと職員のチームワーク ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施 	講義・ グループ討議 6 時間

◆タイムスケジュール（5-1R）中堅主任保育士研修（集合型）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 10月9日（水）	10：00～	会場入室開始	
	10：50～11：00	注意事項・説明	
	11：00～12：00	保育制度の動向及び関係法令等	こども家庭庁 成育局
	13：00～16：10	子どもの発達と保育	比治山大学 現代文化学部 子ども発達教育学科 准教授 濱田祥子先生
	16：10～16：30	次回の案内	
【2日目】 11月1日（金）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～12：00	保育所等における主任保育士の役割	倉敷市立短期大学 保育学科 教授 木戸啓子先生
	13：00～16：10	保護者支援・子育て支援	静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授 灰谷和代先生
	16：10～16：30	次回の案内	
【3日目】 11月6日（水）	9：00～	会場入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～17：20	保育所等における人材育成	大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 石井章仁先生
	17：20～17：40	事後課題・修了証に関する案内	

◆タイムスケジュール（5-2Z）中堅主任保育士研修（オンライン）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 2025年1月16日 （木）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～14：00	保護者支援・子育て支援	静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授 灰谷和代先生
	14：10～16：10	保育所等における主任保育士の役割	倉敷市立短期大学 保育学科 教授 木戸啓子先生
	16：10～16：30	次回の案内	
【2日目】 1月22日（水）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～14：00	子どもの発達と保育	比治山大学 現代文化学部 子ども発達教育学科 准教授 濱田祥子先生
	14：10～15：10	保育制度の動向及び関係法令等	こども家庭庁 成育局
	15：10～15：30	次回の案内	
【3日目】 1月27日（月）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～17：20	保育所等における人材育成	大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 石井章仁先生
	17：20～17：40	事後課題・修了証に関する案内	

2-2-6 「保育所等実習指導研修」

※仕様書の指定

(VI) 保育所等実習指導研修

- ・開催場所 オンライン
- ・開催回数 計1回
- ・受講定員 300名程度
- ・受講対象者 保育所等において保育実習の実習指導を行う者(予定者を含む)
- ・受講時間 12時間程度
- ・研修のねらい
 - ・保育士養成校と学生の実情を把握する。
 - ・保育所実習における指導の方法と理論について学ぶ。
 - ・実習指導者としての専門性を高める。

◆コース (6-1Z) 保育所等実習指導研修

	6-1Z
日程	11月12日(火)、11月29日(金)、12月6日(金)
	オンライン研修 (Zoom)
申込者数	244名
受講確定者数	222名
非該当者数	1名
受講者数	213名
開催前キャンセル	30名
開催後キャンセル	22名
修了証発行者数	191名

◆研修カリキュラム（6-1Z）保育所等実習指導研修

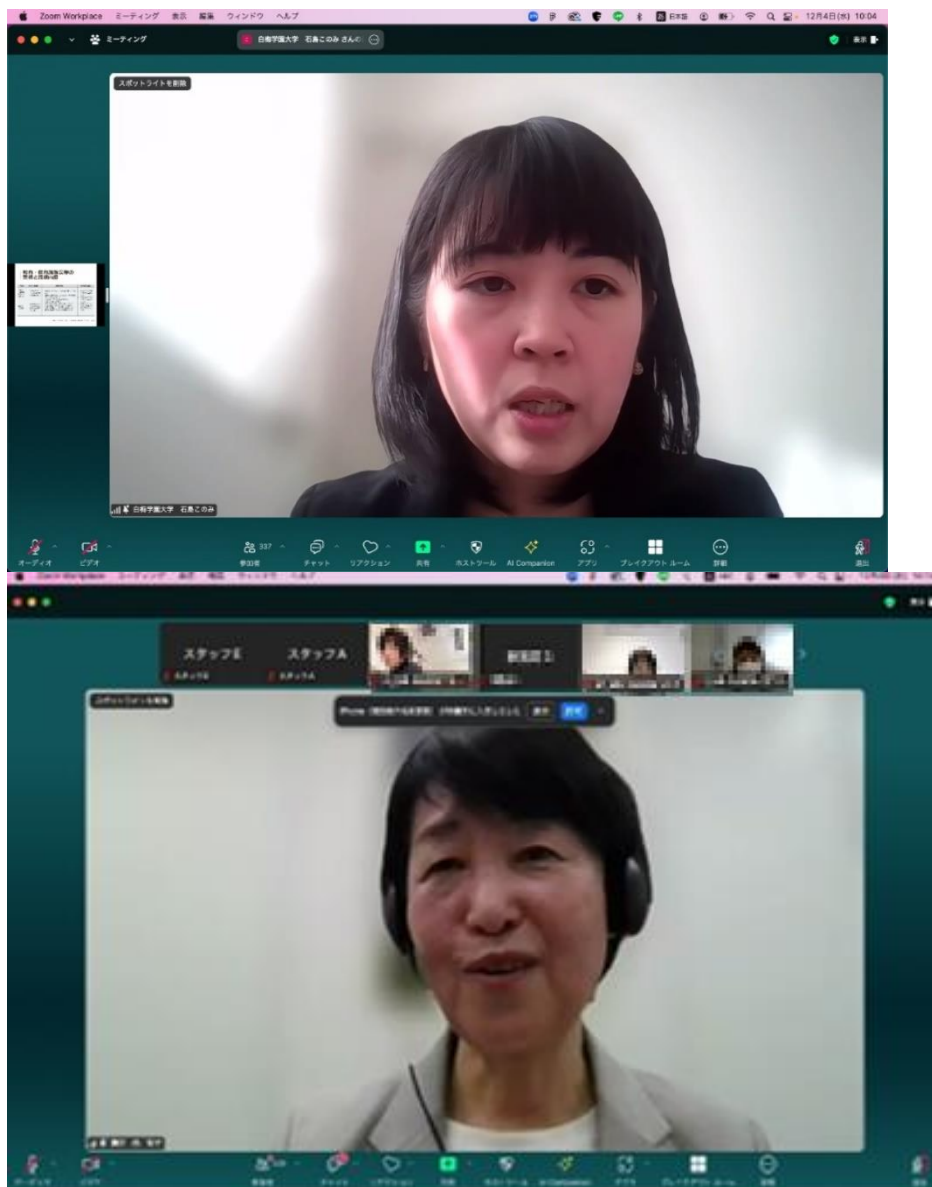
	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育所等の社会的役割と 保育士養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等が担う社会的役割 ・ 保育士の資質・専門性と養成の動向 	講義 1 時間
2	保育士養成と保育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習の目的 ・ 保育実習実施基準 ・ 保育実習における保育所等と保育士養成施設との連携 ・ 実習生の理解を踏まえた実習指導 	講義 2 時間
3	保育実習の現状と諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等における実習指導の現状 ・ 保育実習における課題 	グループ討議 1 時間 3 0 分
4	保育実習指導の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れ体制 ・ 保育所実習指導の内容及び指導 (実習の記録・振り返りや評価を含む) ・ 効果的な保育所実習指導の事例 ・ 保育所等と保育士養成施設の協働を通じた保育所等職員の資 質向上 	講義 4 時間 3 0 分
5	保育実習指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等の体制や実習生の状況等を踏まえた実習指導の実際 	ワークショップ 3 時間

◆タイムスケジュール（6-1Z）保育所等実習指導研修（オンライン）

開催日	時間	内容	講師
【1日目】 11月12日（火）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～11：00	保育所等の社会的役割と保育士養成	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 教授 小櫃智子先生
	11：00～14：00	保育士養成と保育実習	常葉大学 保育学部 保育学科 准教授 伊藤理絵先生
	14：10～15：40	保育実習の現状と諸課題	
	15：40～16：00	次回の案内	
【2日目】 11月29日（金）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～15：40	保育実習指導の基本	千里金蘭大学 教育学部 教育学科 准教授 岸本みさ子先生
	15：40～16：00	次回の案内	
【3日目】 12月6日（金）	9：20～	Zoom入室開始	
	9：50～10：00	注意事項・説明	
	10：00～14：00	保育実習指導の実践	千里金蘭大学 教育学部 教育学科 准教授 岸本みさ子先生
	14：00～14：20	事後課題・修了証に関する案内	

3. 研修開催状況

3-1. 中堅保育所長等研修（オンライン研修）



3-2. 初任保育所長等研修（集合型研修）



3-2. 初任保育所長等研修 (オンライン研修)



3-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修（集合型研修）



3-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修（オンライン研修）

高橋 貴志(白百合女子大学)

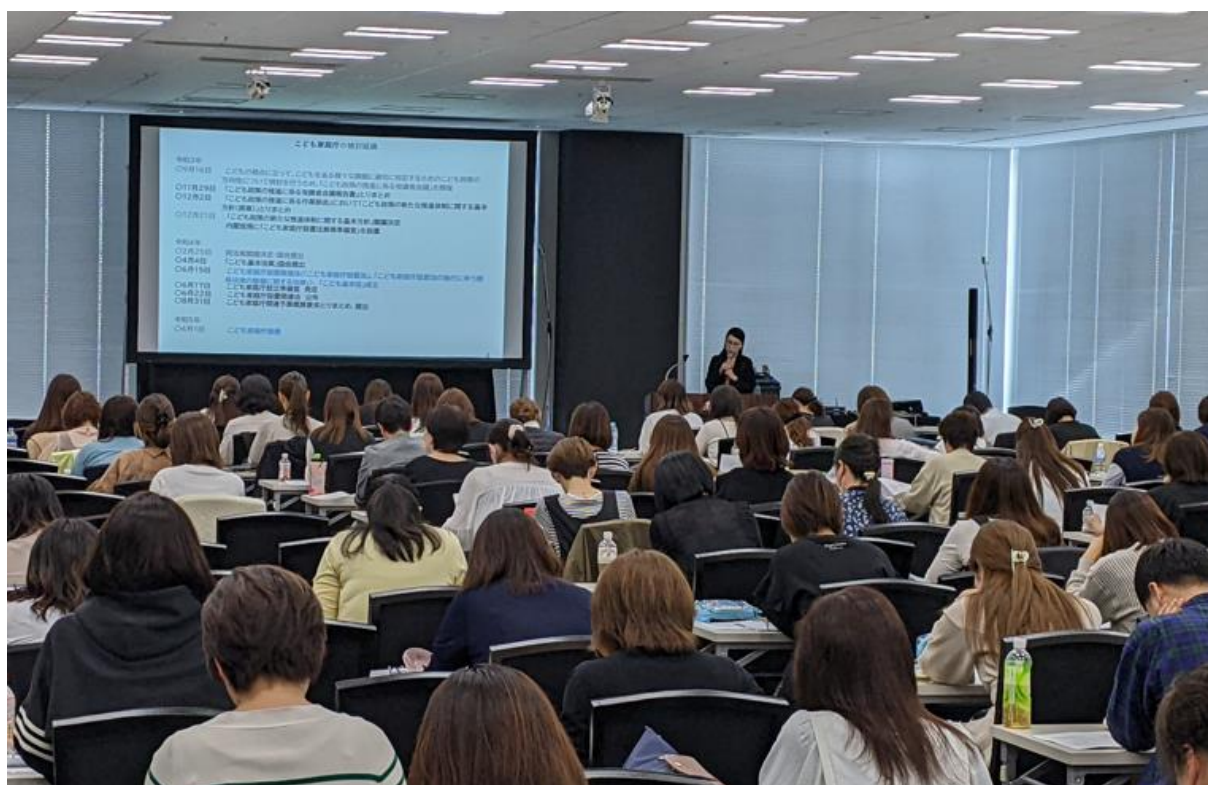
「遊び」と危険
一般的な遊具には「遊び」の目的は・・・
・楽しむための目的
・遊具に近づけること
・待機がないこと
・歩行できること
・飛び降りること

事故防止・安全確保の取組み

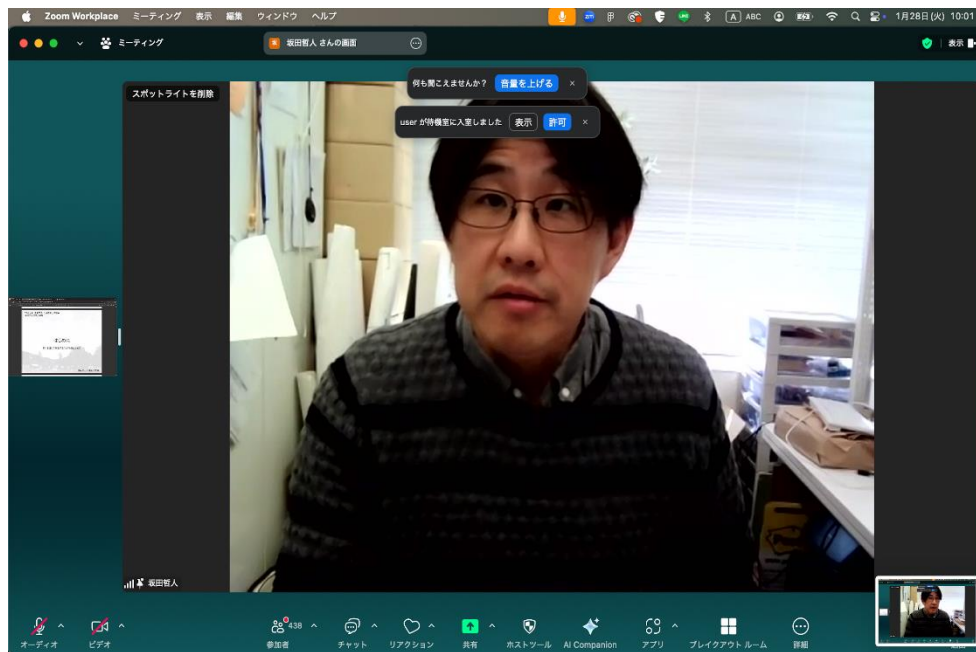
安全管理	・保育の質を向上 ・安全な保育の実践
死亡・重篤な事故	・子ども・保護者、被害が重大 ・園に与える影響も重大
危機管理	・重大事故・子どもの命を守る ・リスクの具体化に備える

岡川 芳幸

3-4. 初任主任保育士研修（集合型研修）



3-4. 初任主任保育士研修 (オンライン研修)



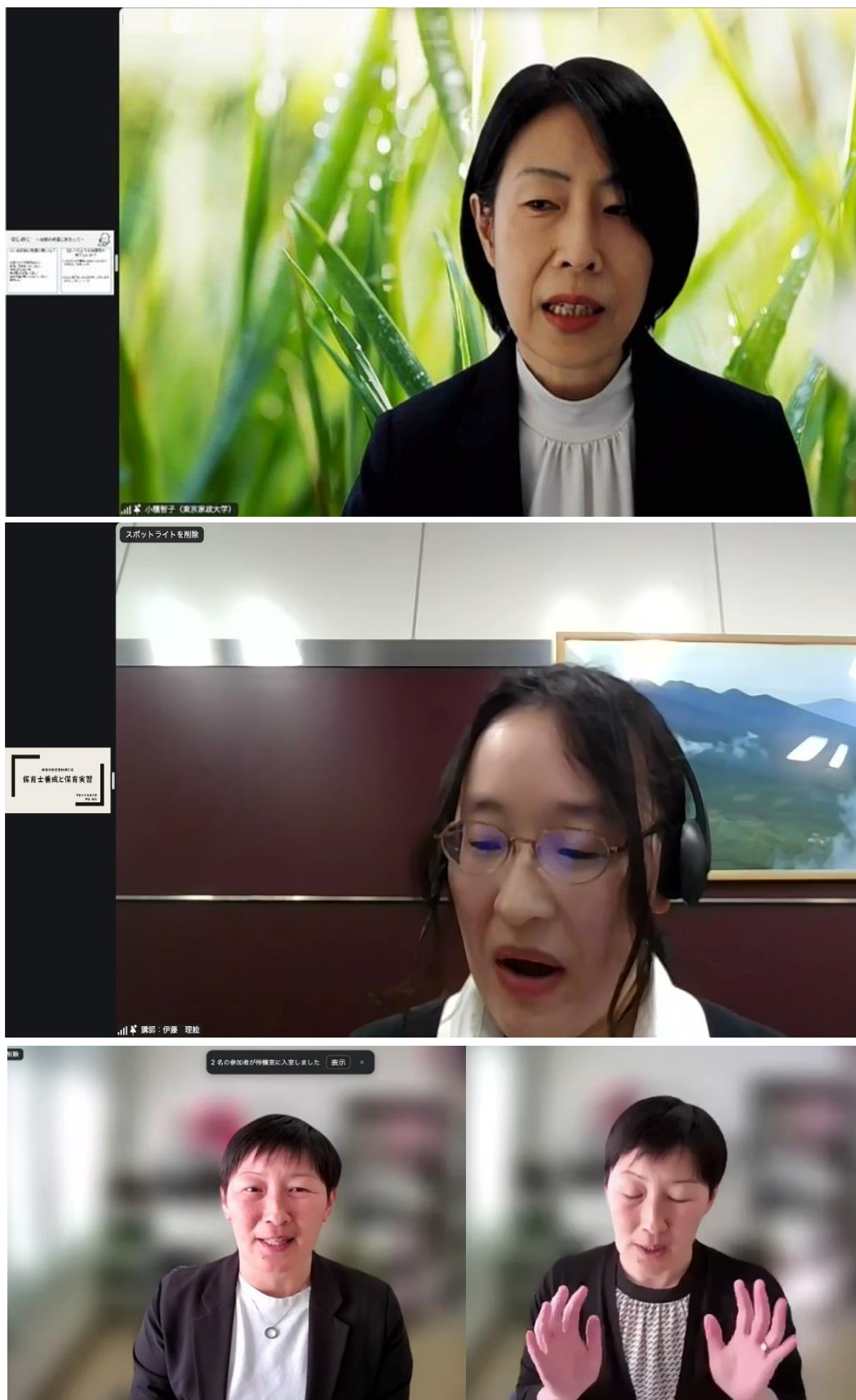
3-5. 中堅主任保育士研修（集合型研修）



3-5. 中堅主任保育士研修 (オンライン研修)



3-6. 保育所等実習指導研修 (オンライン研修)



4. 研修評価・改善策

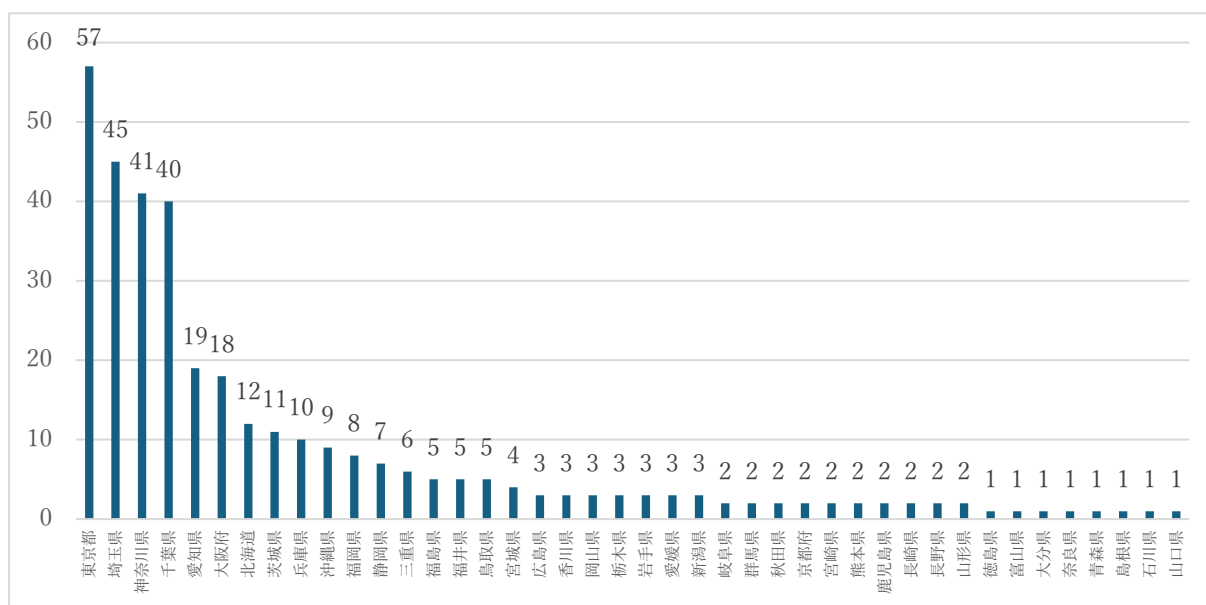
仕様書に基づき、研修の事後評価について、各研修の全ての回において実施しました。

本報告書では、事前事後課題の提出を全て修了している受講者が実施した事前課題・事後課題をもとに、講義内容ごとの理解度の変化をまとめて記述いたします。

4-1. 中堅保育所長等研修（オンライン研修） 講義内容の評価・改善策

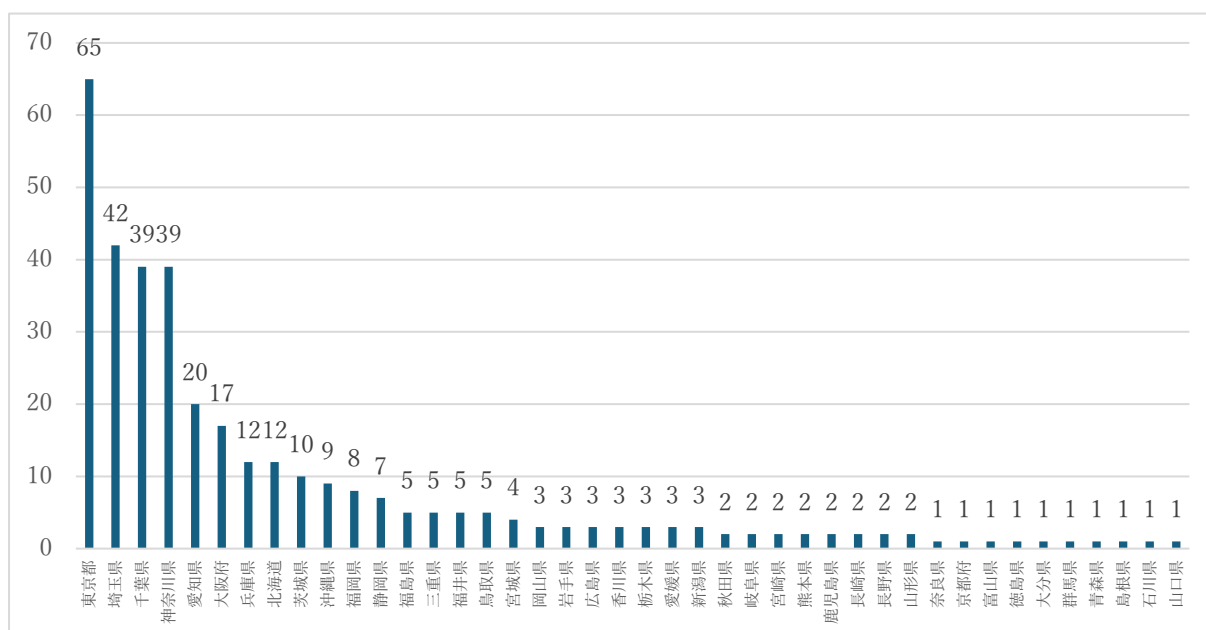
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



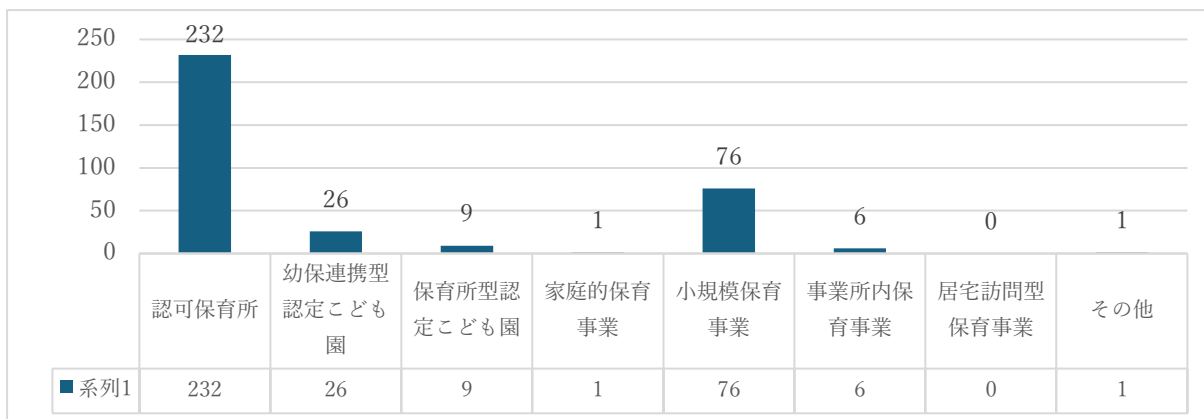
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



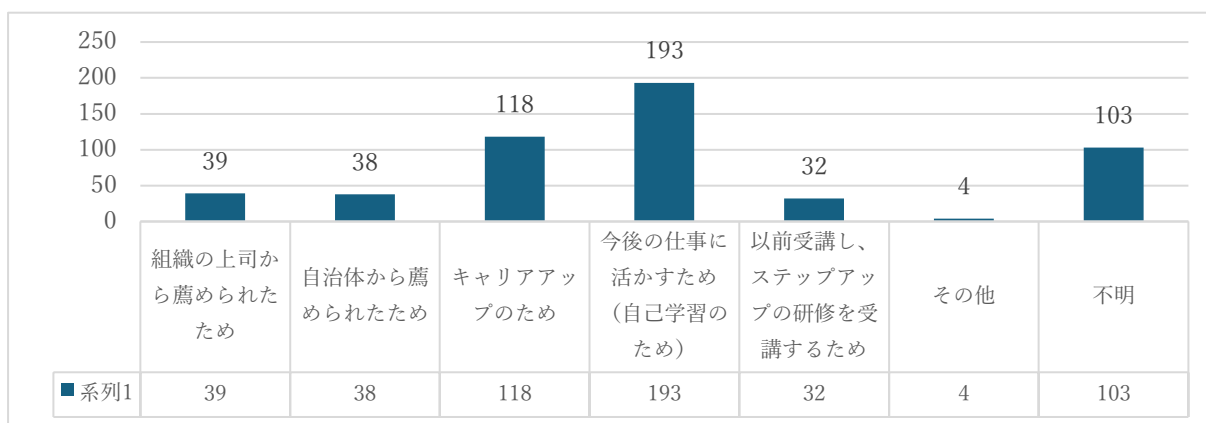
勤務先施設類型

(単位：人)



1. 研修受講理由（複数選択可）

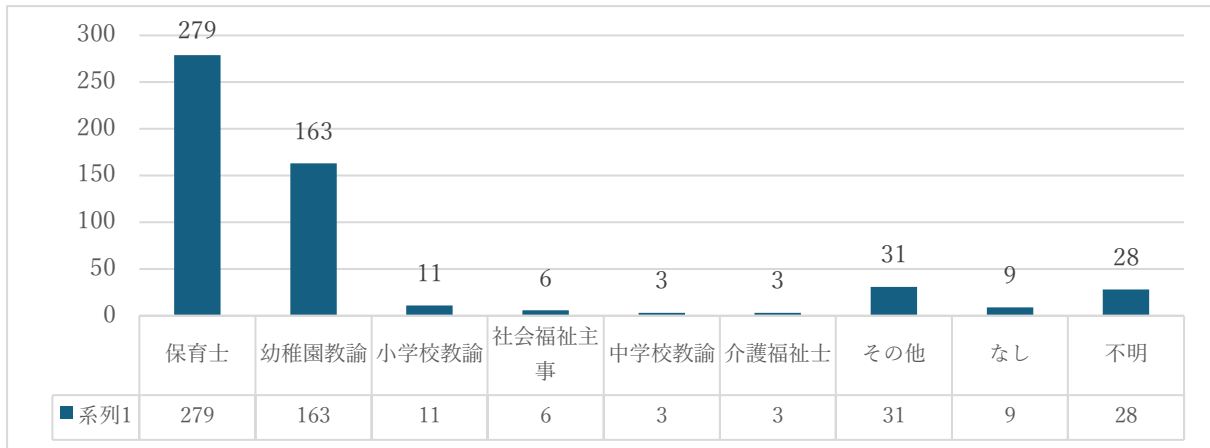
(単位：人)



その他の受講理由

- ・施設長就任時所長等研修を受講して良かったので、中堅研修も受けたいと思った
- ・自分の役職で、受講が必要と思ったため
- ・こども園の園長資格のため
- ・講義を受けたい講師の方がいたため（請川先生）

2. 保有している資格(複数選択可)

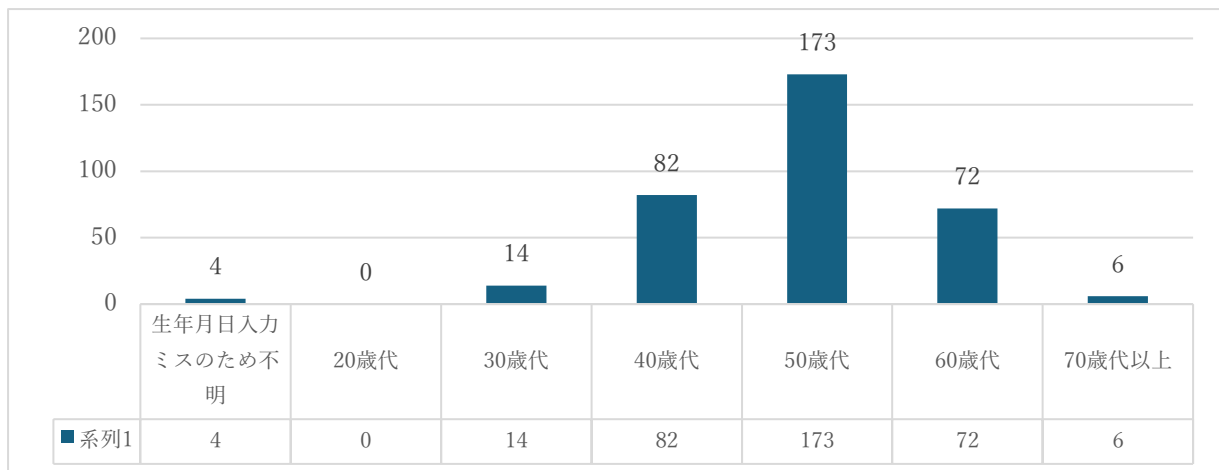


(単位：人)

その他：看護師、高校教諭、調理師 等

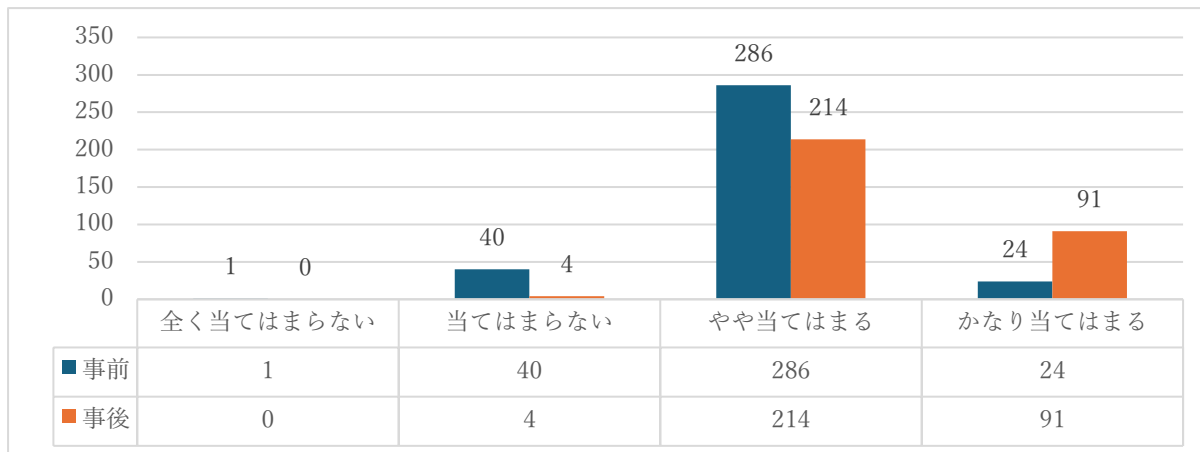
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

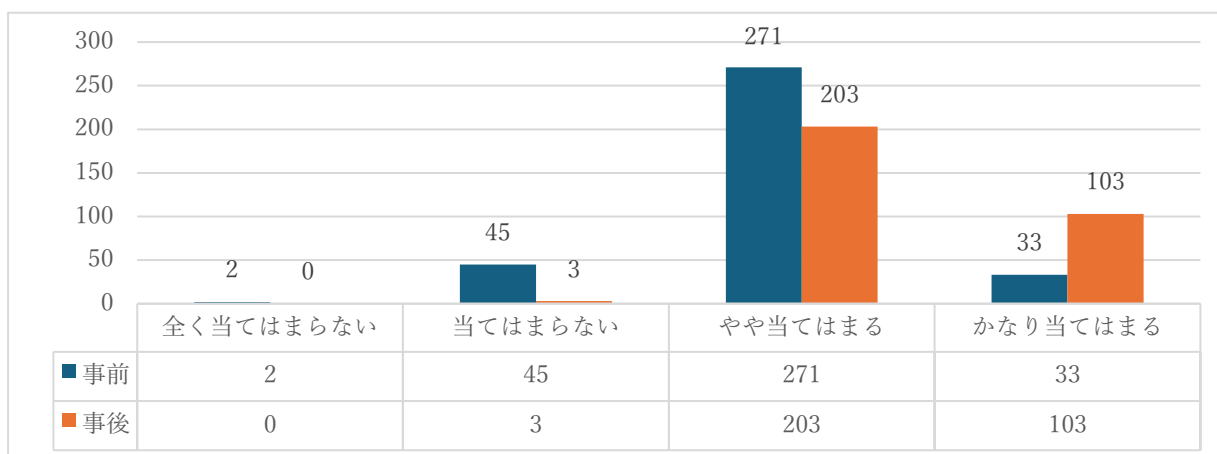
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が88.3%だったが、事後は98.7%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 関係法令（保育所保育指針の改訂に関するを含む）を理解している

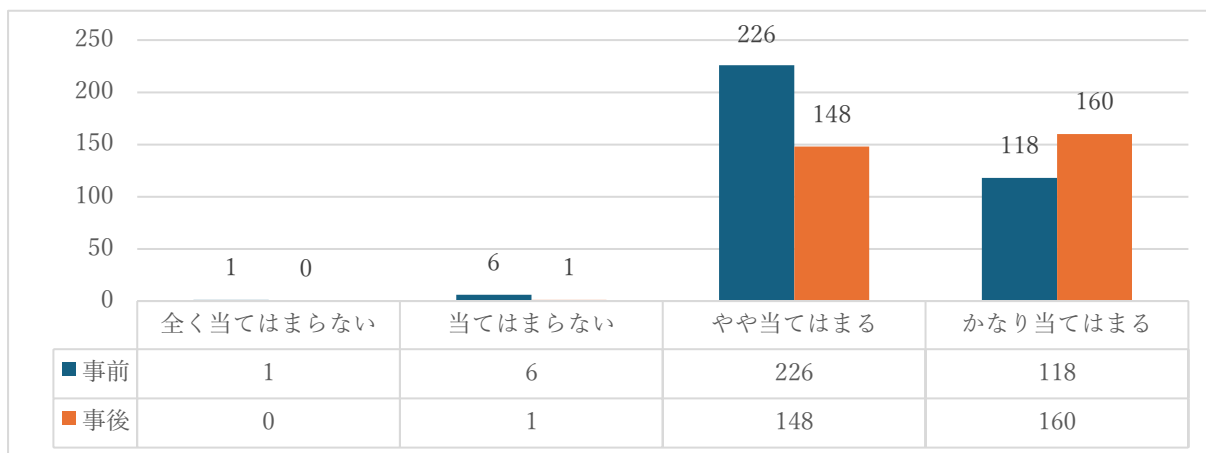
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が88.6%だったが、事後は99.0%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 子どもの発達に応じた乳幼児期の保育を実践することができる

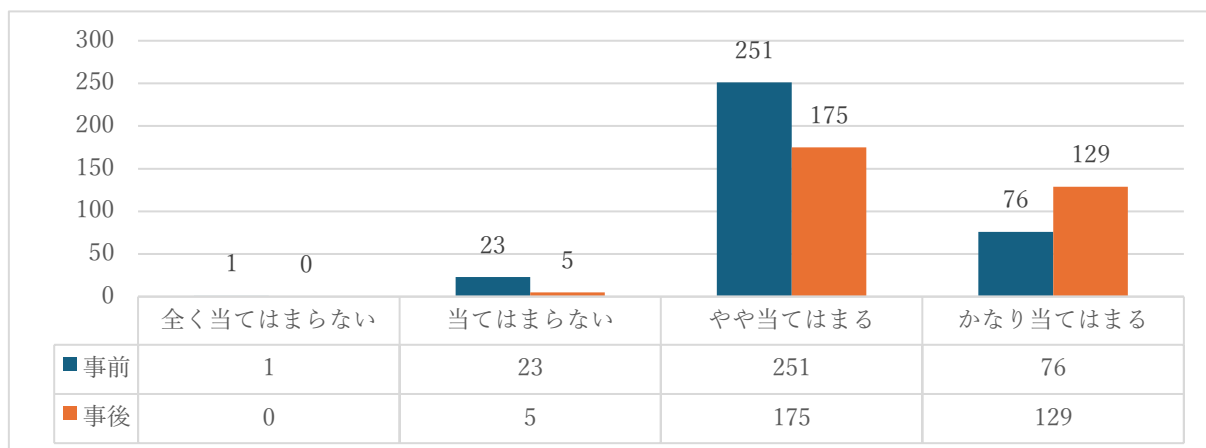
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 33.6% だったが、事後は 51.8% となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育の質の向上を図るための組織的な対応を知っている

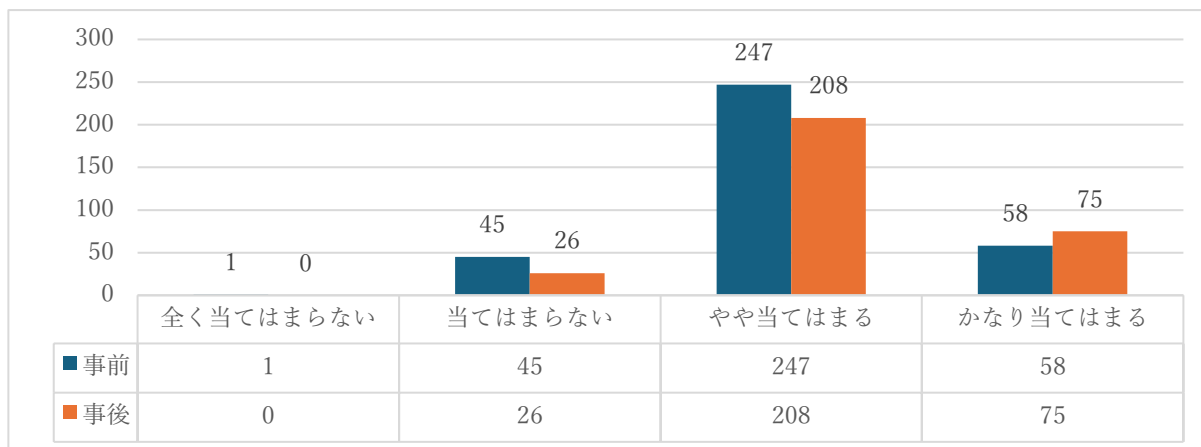
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 21.6% だったが、事後は 41.7% となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育所等の組織マネジメントを行っている

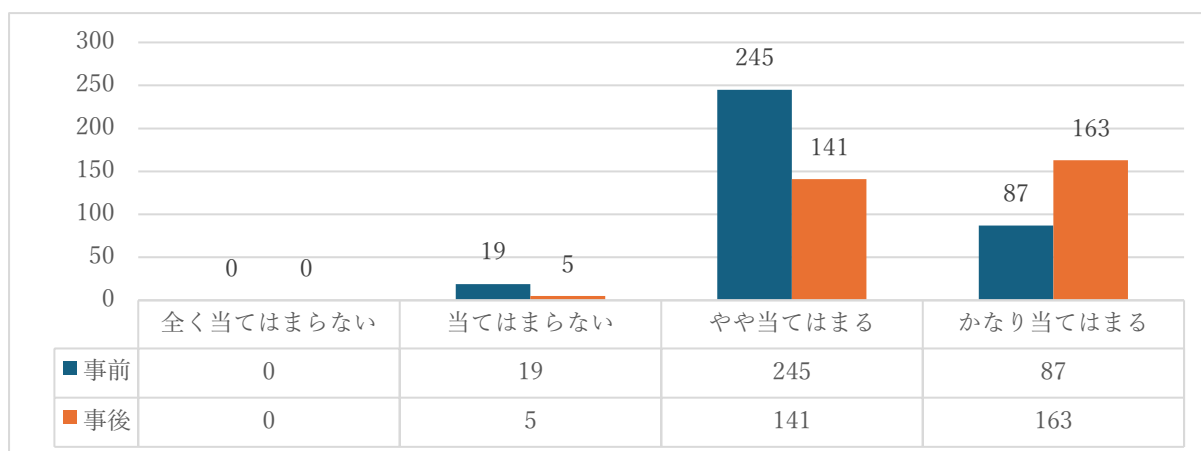
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が16.5%だったが、事後は24.8%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにも関わらず、数値改善が見られたことで、所属する施設の現状を改めて確認し、自身の役割に取り組むきっかけになったものとする。

9. 保育所等における運営上の課題を理解している

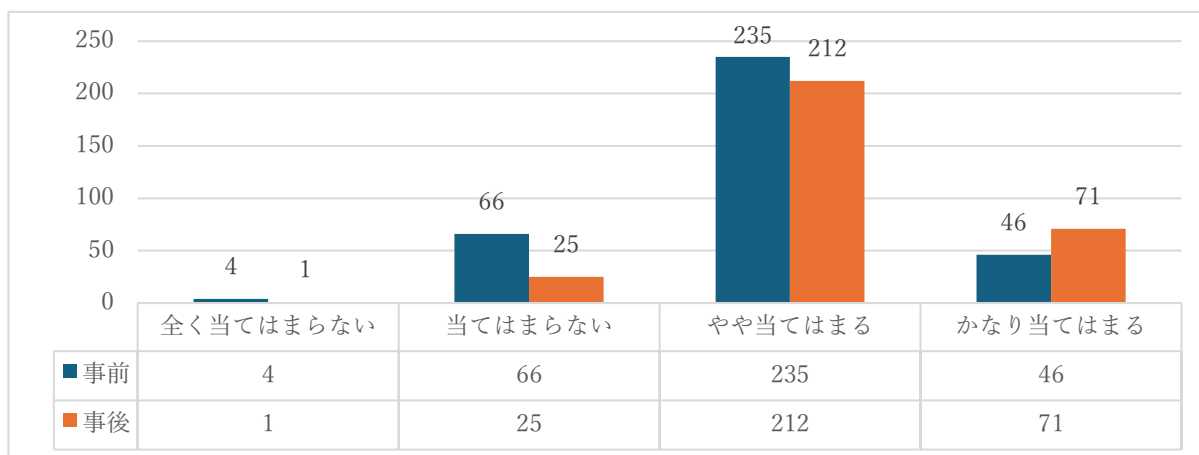
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が24.8%だったが、事後は52.7%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたとする。

10. 保育所等の運営における中長期的な課題への対応をしている

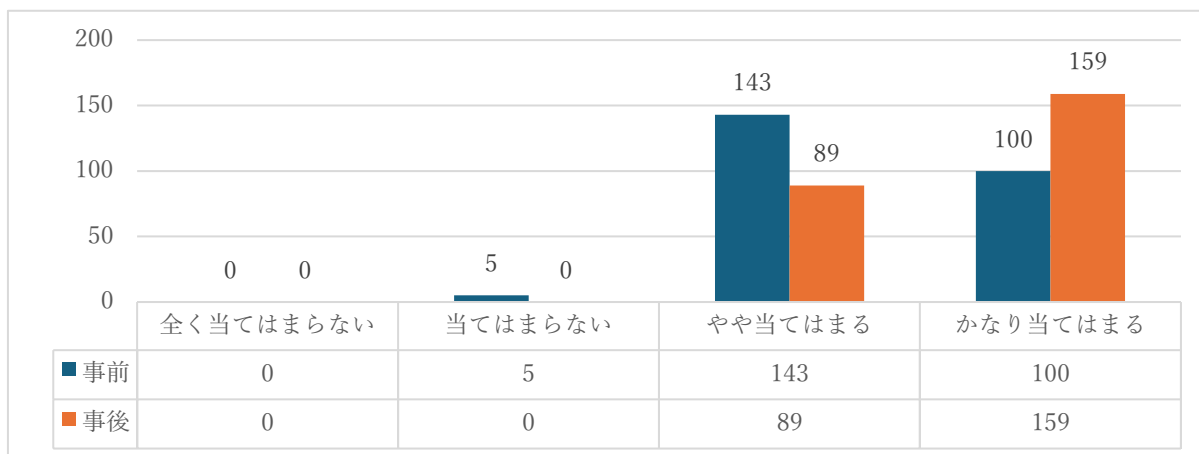
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が13.1%だったが、事後は23%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、特に「中長期的な課題への対応」の実施内容の確認であったにも関わらず、数値改善が見られたことで、所属する施設の現状を改めて確認し、自身の役割に取り組むきっかけになったものとする。

11. 職員が働きやすい環境づくりを行っている

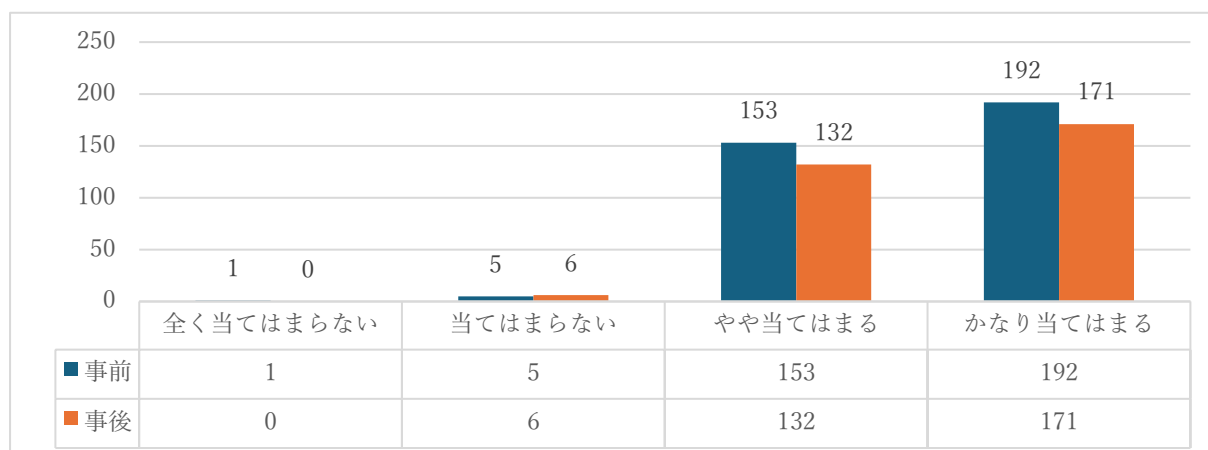
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が40.3%だったが、事後は64.1%となりもともと当てはまらない方が少ない項目だったものの、効果的に理解していただけたと考える。

12. 職場における研修や外部研修の活用を行っている

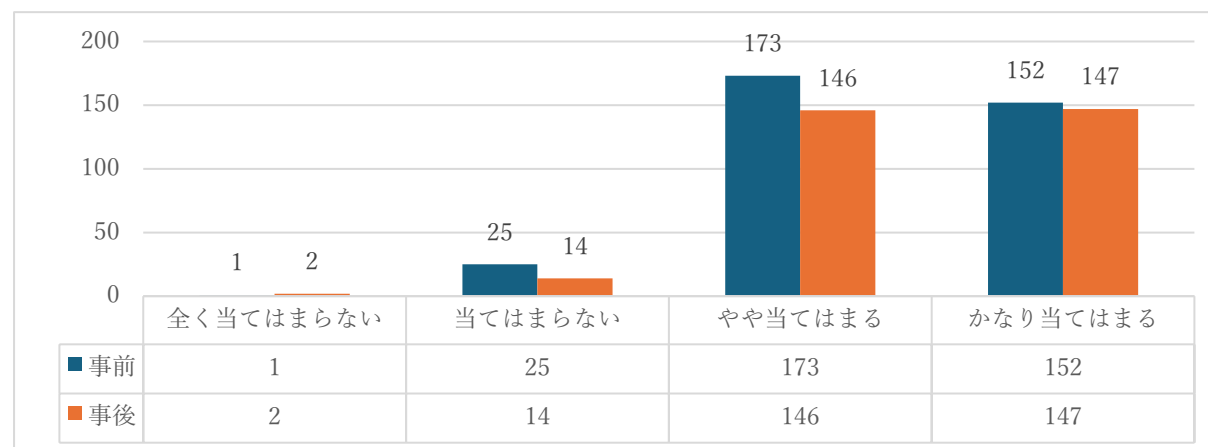
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が54.7%だったが、事後は55.3%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにも関わらず、若干の数値改善が見られた。職場における研修の在り方は、研修後すぐに変えるということは難しかったと推察するが、所属の施設の今後の研修の在り方を改めて確認するきっかけになったものとする。

13. 研修計画の作成を行っている

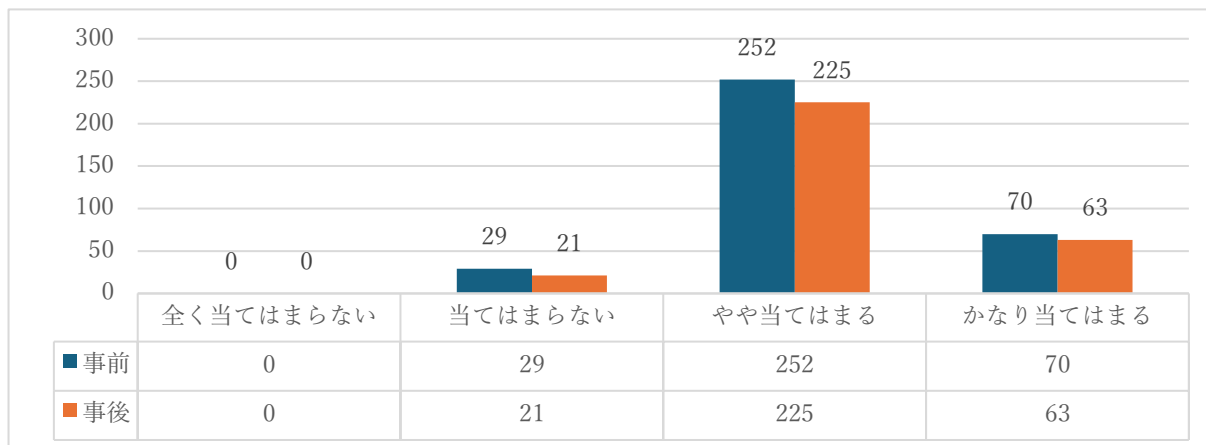
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が43.3%だったが、事後は47.6%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにも関わらず、若干の数値改善が見られた。研修計画の作成は、中長期的に考えるものとするが、所属する施設で次回検討する際に前向きに取り組むきっかけになったものとする。

14. 組織内での研修成果の活用を行っている

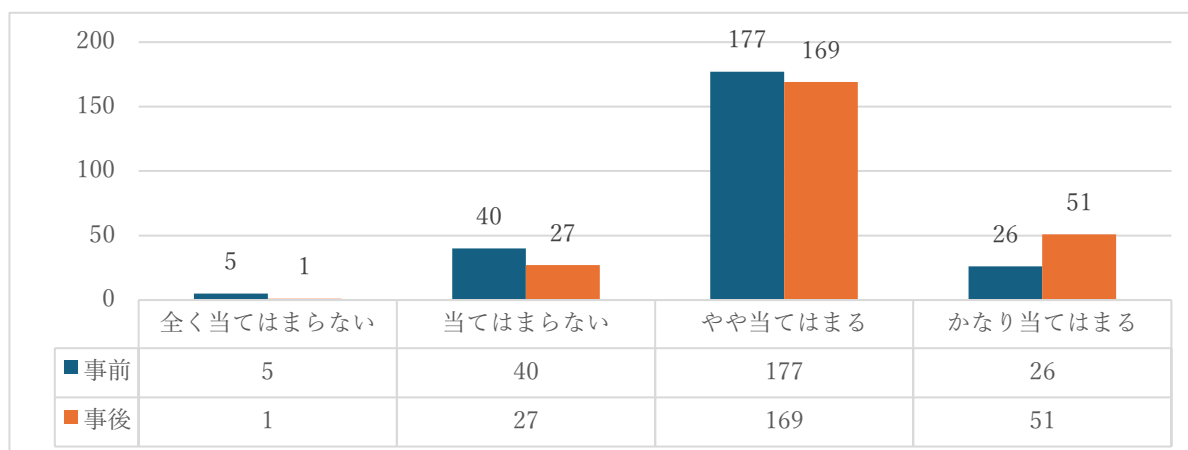
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が19.9%だったが、事後は20.4%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにも関わらず、若干の数値改善が見られた。組織内の研修成果の活用については組織としてこういった形で活用するのが良いか、組織として考えるものと推察するが、今後所属する施設で個々人が参加した研修成果をどのように活用するか、検討するきっかけになったものとする。

15. 地域におけるネットワークづくりを行っている

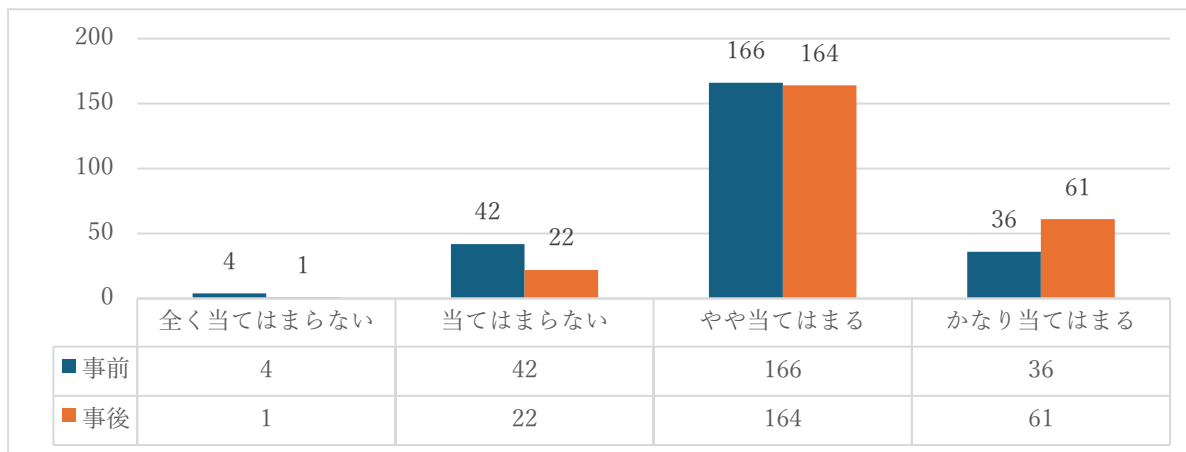
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が10.5%だったが、事後は20.6%となった。この設問は理解度を確認するものではなく、実施の確認であったにも関わらず、数値改善が見られた。

16. 地域と連携した子育て支援を行っている

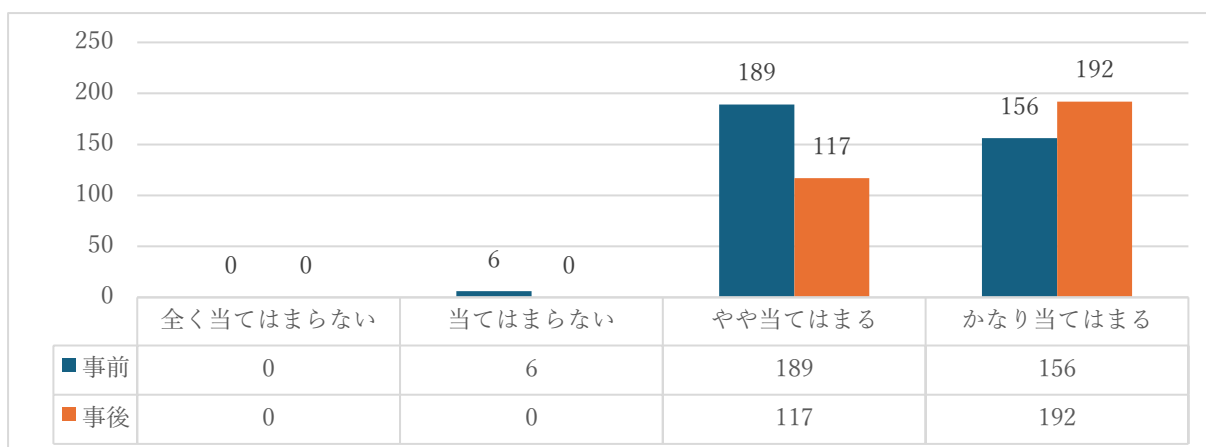
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 14.5% だったが、事後は 24.6% となった。この設問は理解度を確認するものではなく、実施の確認であったにも関わらず、数値改善が見られた。

17. 児童虐待の防止対策について知っている

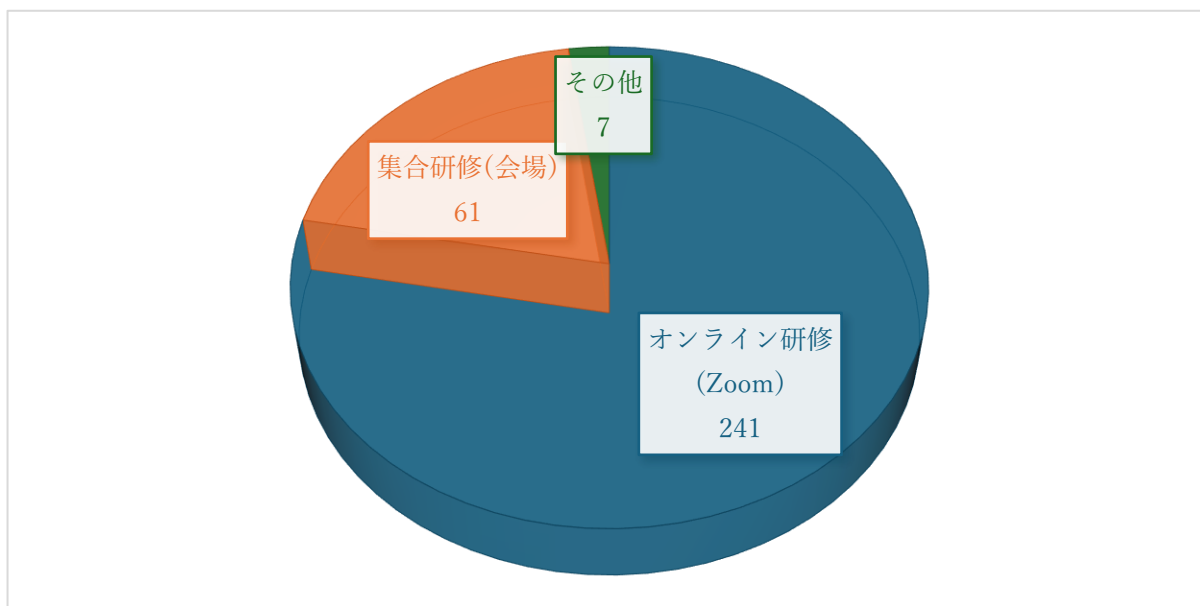
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 44.4% だったが、事後は 62.1% となりもともと当てはまらない方が少ない項目だったものの、効果的に理解していただけたと考える。

18. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・ 保育所の組織マネジメント（働きやすい環境作りの為の実践例や先進国で取り入れている事など）
- ・ 人材育成の成功事例について
- ・ 他園の成功事例や具体的な取り組み
- ・ 研修報告の活かし方の実例 有益な職員ディスカッションの持ち方の事例等
- ・ 記録の簡略化や、ICT、AI 生成の活用の仕方
- ・ 保育制度の動向及び関係法令等 こども誰でも通園制度について
- ・ 他園で取り組んでいるノンコンタクトについての具体例
- ・ 保育制度の動向及び関係法令等
- ・ 地域に開かれた保育所づくりにて、一時保育の問題点や依頼される保護者との接し方など
- ・ 海外の保育について

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ 人材育成の具体的な実践例
- ・ 多様な保護者への対応・支援策
- ・ 害児保育について
- ・ 危機管理能力の伸ばし方など
- ・ ICT 活用法など
- ・ コンプライアンス研修
- ・ マニュアル作成についての事例等 災害時の対応について等
- ・ 委託費や処遇改善など園の運営のお金に関する仕組みについて
- ・ 子ども主体の保育について
- ・ インクルーシブ保育について
- ・ 保育士のメンタルヘルス
- ・ 質の高い保育を提供している園の具体的実践例
- ・ 適切保育、児童虐待について
- ・ 「誰でも通園保育」について

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・今回は全国各地からの受講で他の施設の方とお話が出来たので有意義な時間を楽しく共有できました。自分と同じようなことを悩んでいたり、参考になるご意見もたくさん頂戴しました。グループワークは瞬時にまとめて発言する事、時間配分する事など日常会話と異なるので言葉を選び発言する難しさを知る機会になったので大変勉強になりました。ありがとうございました。

・各研修はどれも学びや再確認があり、よかった。もう少し「グループディスカッション」の機会が多くあると良い。他園はどんな特徴の保育をどのように実践しているのか？職員育成は具体的にどのような手立てをとっているのか？生の声が聴きたかった。

・三日間の研修であったが、三日連続ではなかったのが、参加しやすかった。

・3日間、大変有意義であった。オンラインでの何日にもわたる所長研修は初めてで不安もあったが、事務局の迅速な指示のおかげでついていけた。グループワークのチームが3日間同じだったが、せっかく300人以上の参加があるのなら、他の方々とも接したかった。集合ならいろんな場面で話したりもできるが、グループワークの時間だけしか関われないのに、メンバーの方々は素晴らしい方ばかりだったがいつも同じ6人なので、少し残念だった。

・事前にZoomの入室研修があったり、不明な点をメールで連絡したら、即返信してくださり安心感があった。資料も早めに印刷出来て準備に戸惑わなかった。講義内容が濃くて良いのに、無料で申し訳ないと感じた。

・3日間の内容の濃い研修有難うございました。グループワークでの振り分けは、園の規模でまとめて頂いた方が参考になる事がもっと見つかる気がしました。自園は園児90人定員なので、職員数も20人以上いますが、小規模さんは1フロアで数人の職員では、研修や会議の時間の作り方・工夫などが違いました…。ありがとうございました。

・3日間で過密なスケジュールではありましたが、集中して受講ができ今後も、定期的に継続して受講したいと思います。保育が開かれている立場、法制度など幅広い知識が必要となりますが、定期的に行うことで再確認ができ、「実情」に合った保育の助けになります。また、オンラインでの受講は移動時間がなく、時間に追われやすい職種としては大変参加しやすく、計画しやすかったです。各講師の方々の、資料も大変わかりやすく助かりました。また、お話をお聞きしたいと思います。園の課題もみつきり、次年度からの目標も見えてきました。ありがとうございました。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・多くの回答で、研修内容（特にグループワークや演習）に触れられており、その内容や効果に対する意見や感想が述べられている。
- ・研修を通じて、自己の考え方や行動に対する新たな気づきや変容があったという回答が目立つ。
- ・グループワークを通じて、他の受講者との交流や意見交換が有益であったという回答が目立つ。
- ・研修で得た学びを、今後の自身の行動に活かしたいという意欲を示す回答が多数見られる。

特に多かった回答：

- ・研修を通じて自己の課題や改善点に気付けたという回答が非常に多い。
- ・グループワークや演習を通じて、他者との交流が有益であったという意見が多い。
- ・研修で得た学びを、今後の行動に活かしたいという意欲を示す回答が多い。

これらの回答結果から、受講者にとって有益な学びや気づきを与えていることが伺える。

また、グループワークや演習などの実践的な内容が、受講者の理解を深める上で重要な役割を果たしていると考えられる。

改善策：

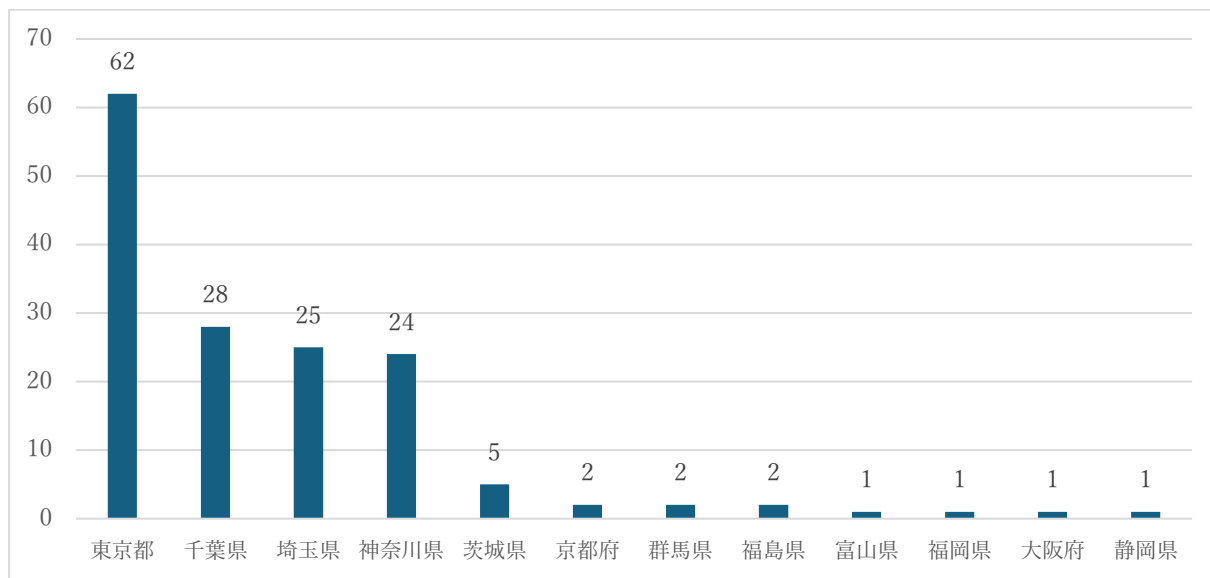
研修内容の具体性や実践性を求める意見が多いため、より実践的な内容を取り入れ、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

また、グループワークの規模や運営形態・認種別が近い形で編成して欲しいという要望があがっていた。グループワークの編成のために、次年度は募集時に所属する保育所の入所定員・職員数等をヒアリングすることも必要と考える。

4-2. 初任保育所長等研修（集合型） 講義内容の評価・改善策

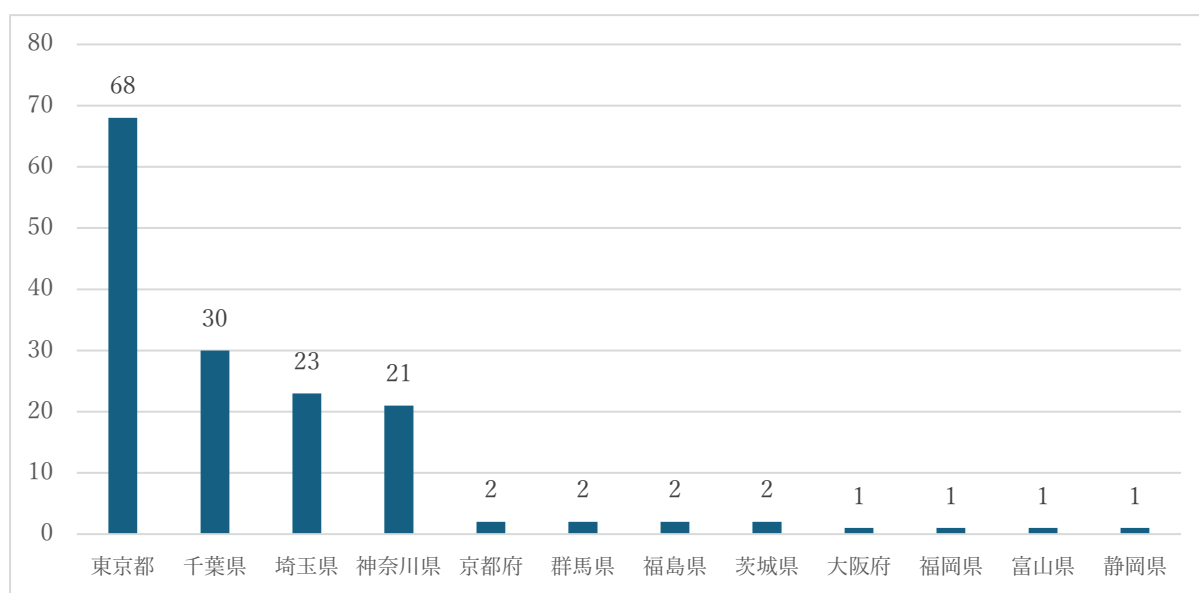
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



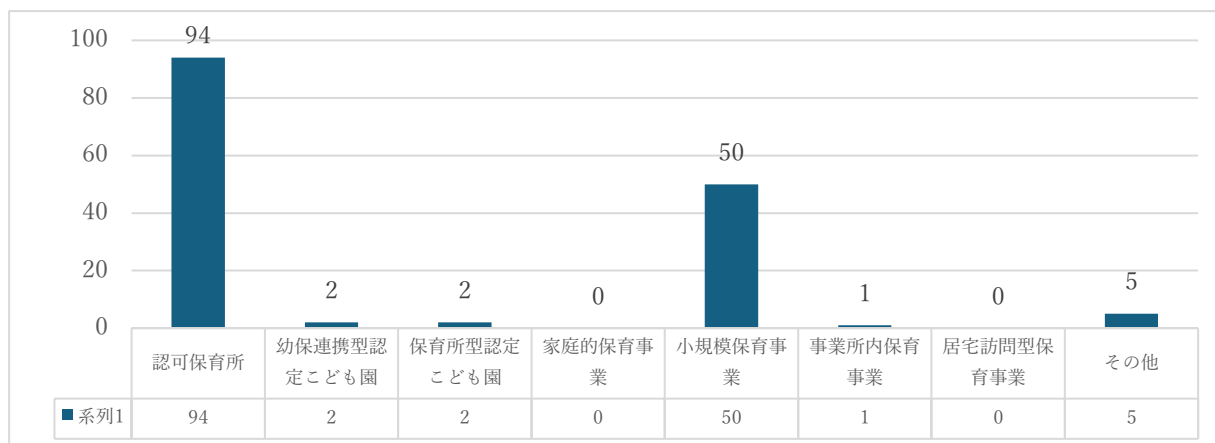
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



勤務先施設類型

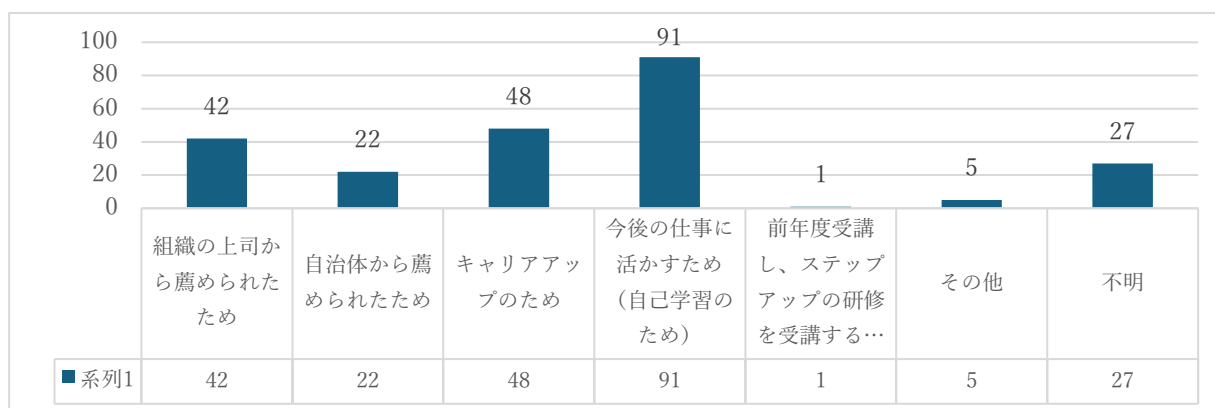
(単位：人)



その他：認証保育園、中学校 等

1. 研修受講理由(複数選択可)

(単位：人)

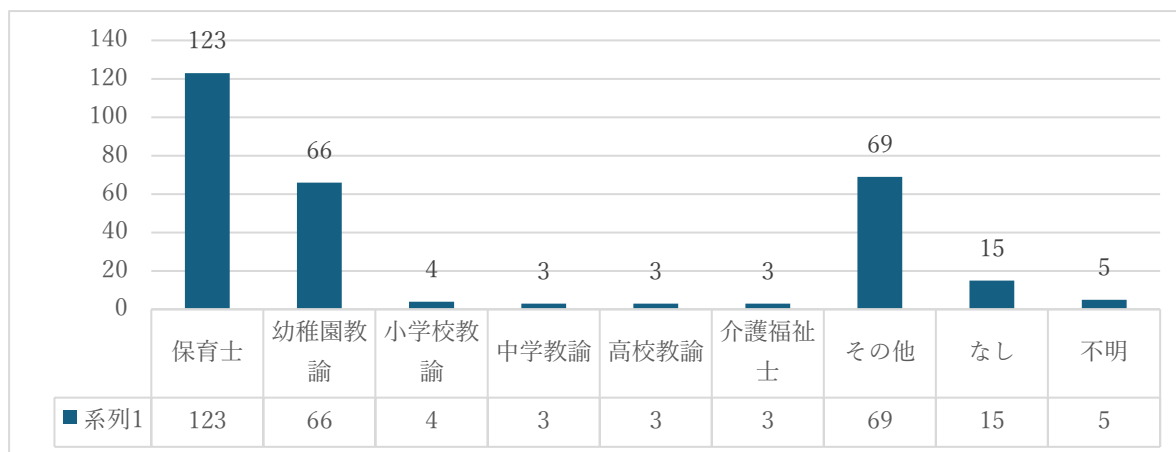


その他の受講理由

- ・ 来年度の仕事引継ぎのため
- ・ 法人の指示
- ・ 保育所長に就任したため
- ・ こども家庭庁の方針や新情報を知りたかったから
- ・ 施設長として勤務するために受講が必須だったため

2. 保有している資格(複数選択可)

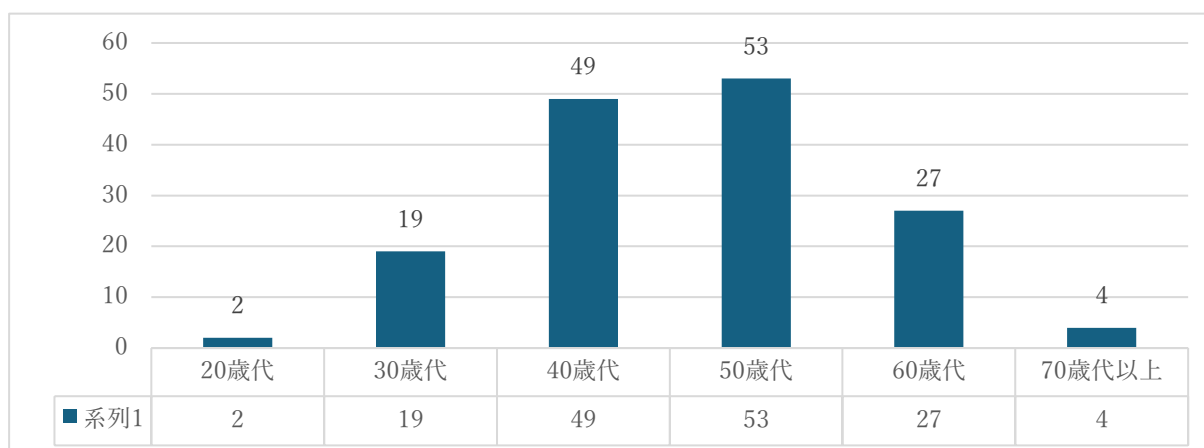
(単位：人)



その他：看護師、調理師等

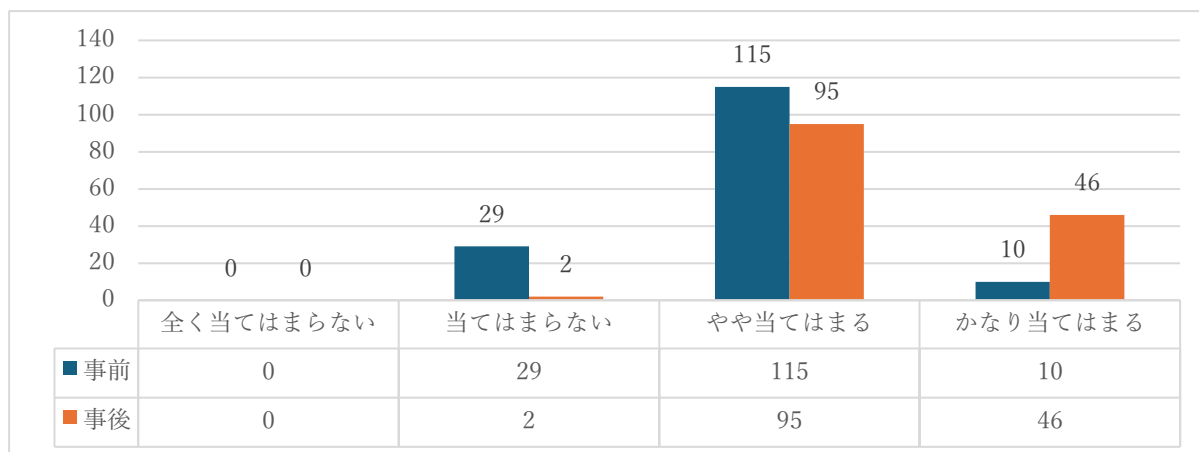
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

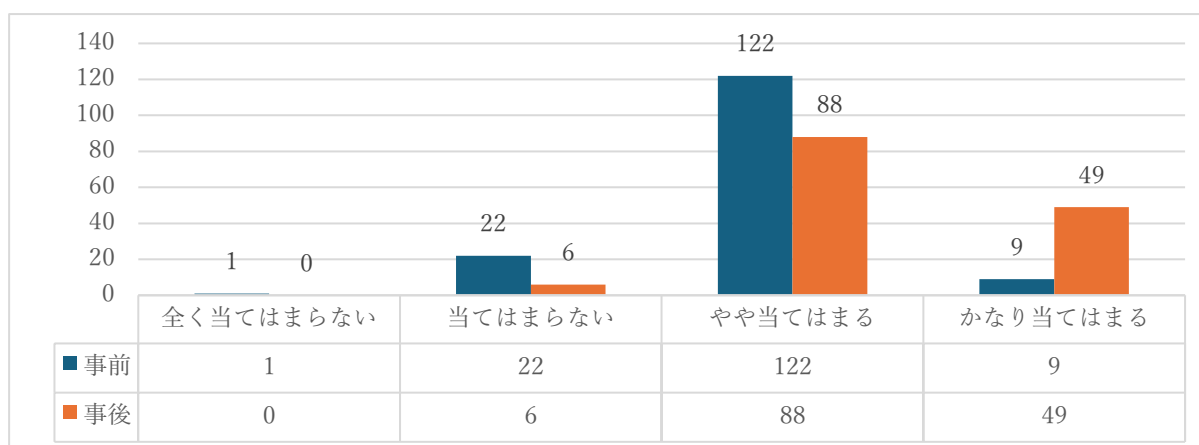
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が81.2%だったが、事後は98.6%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 関係法令等（保育所保育指針の改訂に関する内容を含む）を知っている

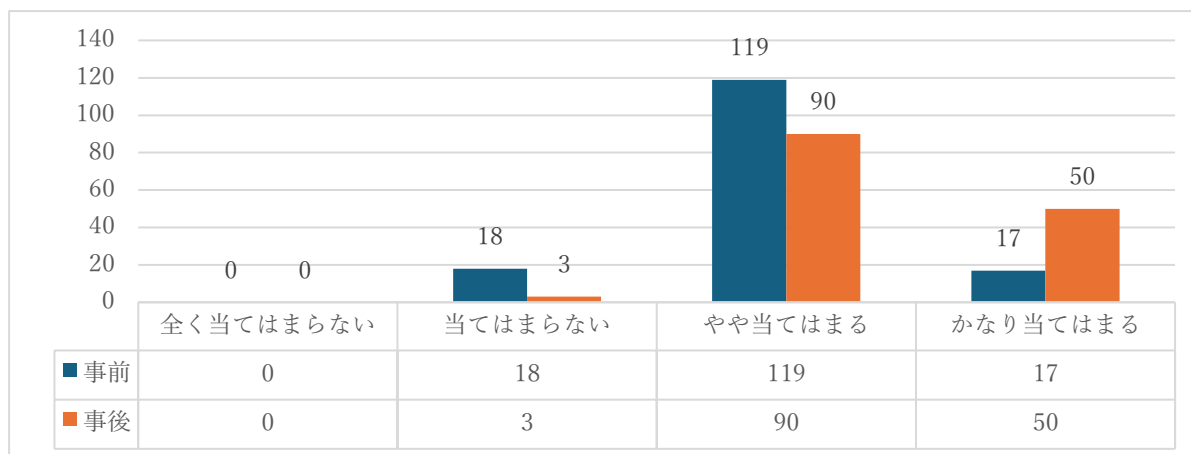
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が85.1%だったが、事後は95.8%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 保育所等におけるガイドラインを理解している

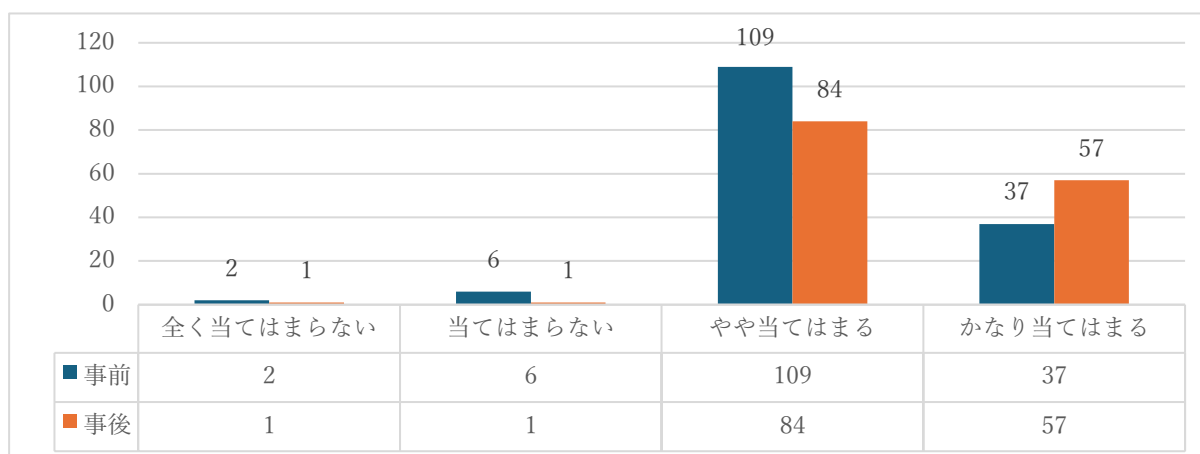
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が86.3%だったが、事後は97.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所保育指針を踏まえた保育を実践している

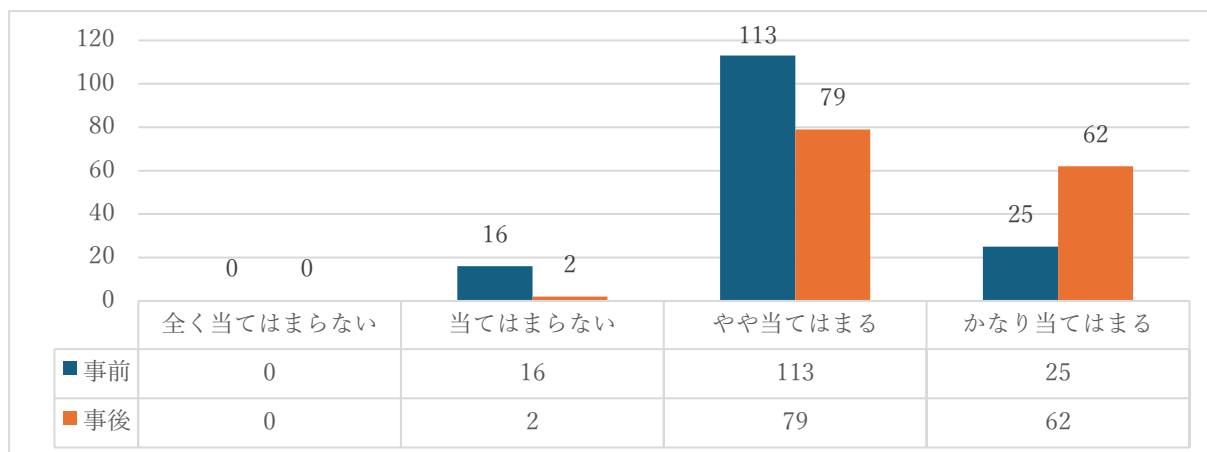
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が24.0%だったが、事後は39.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育の質の向上を図るための保育所長等の役割を理解している

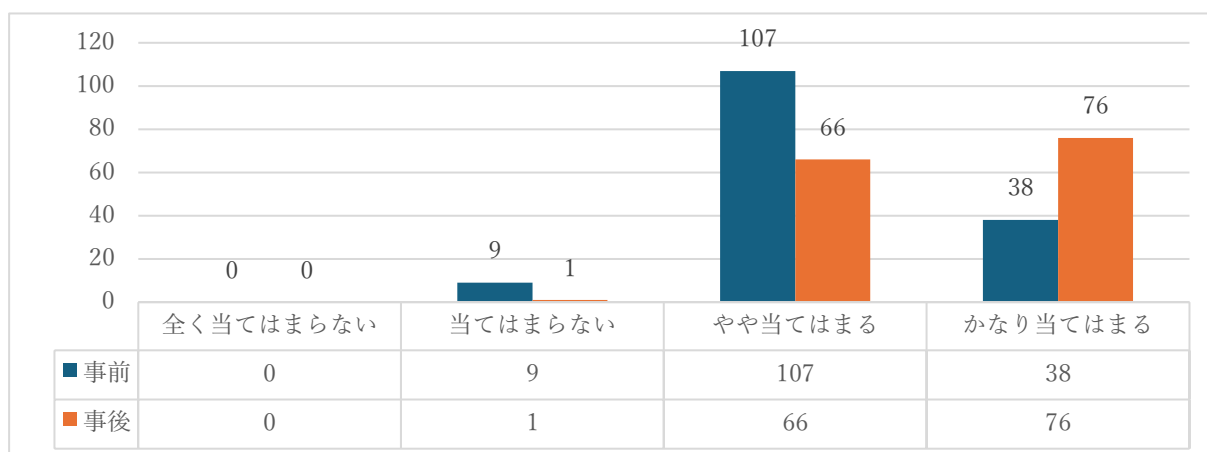
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が16.2%だったが、事後は43.4%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 保育所における感染症対策ガイドラインを理解している

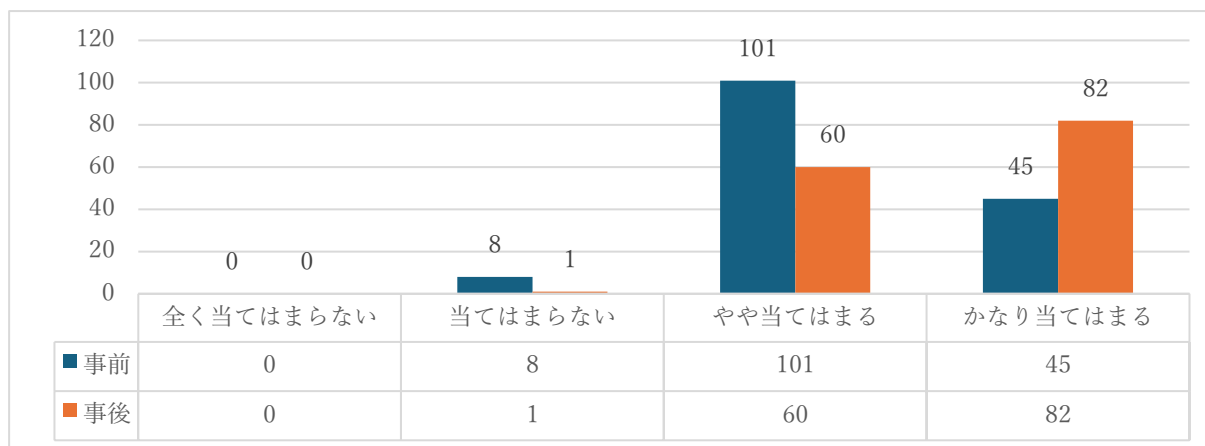
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が24.7%だったが、事後は53.1%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している

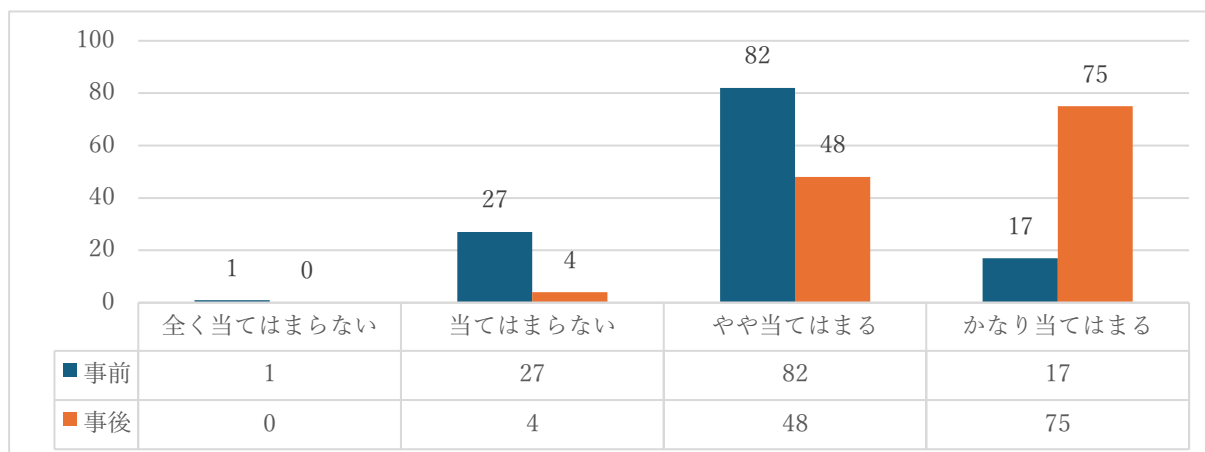
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が29.2%だったが、事後は57.3%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

11. 保育所における食事の提供ガイドラインを理解している

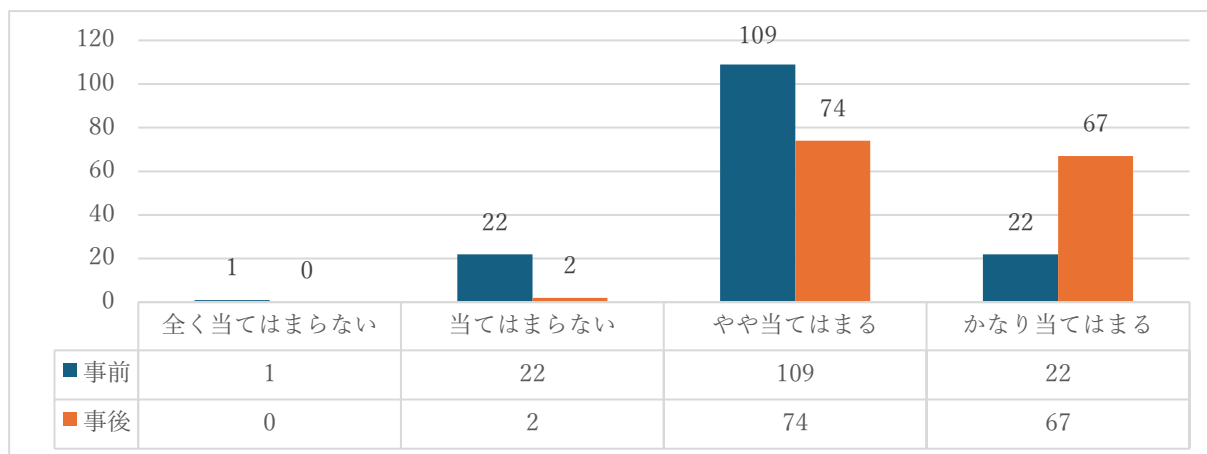
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が13.4%だったが、事後は59.1%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

12. 組織マネジメントにおける保育所長等の役割を理解している

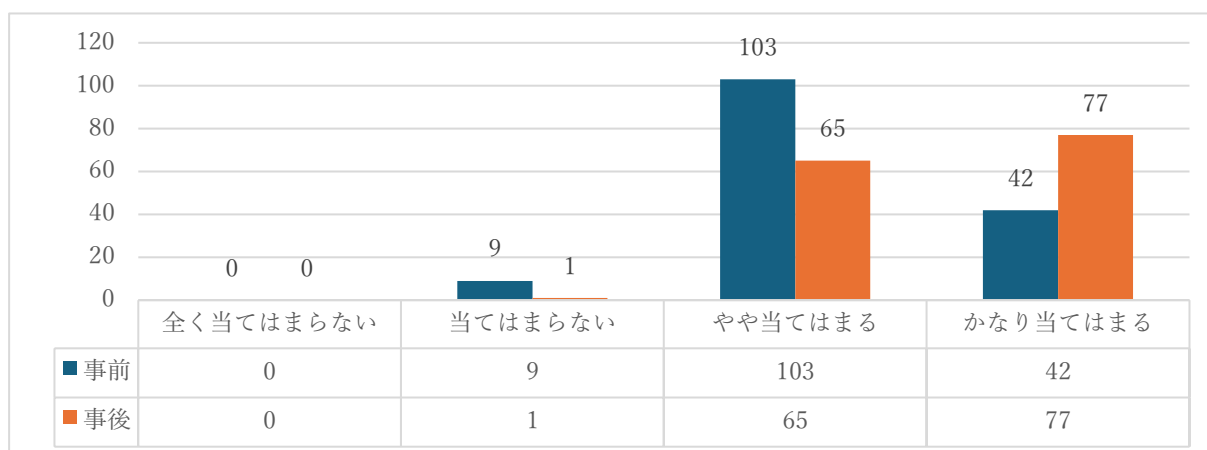
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が14.3%だったが、事後は46.9%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

13. 働きやすい職場づくりを理解している

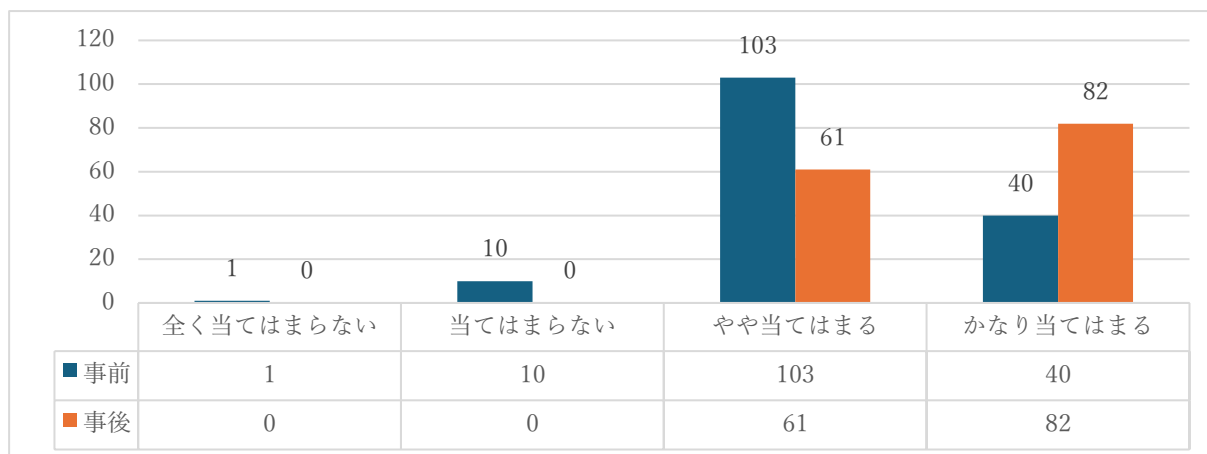
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が27.3%だったが、事後は53.8%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

14. 職員の資質向上を理解している

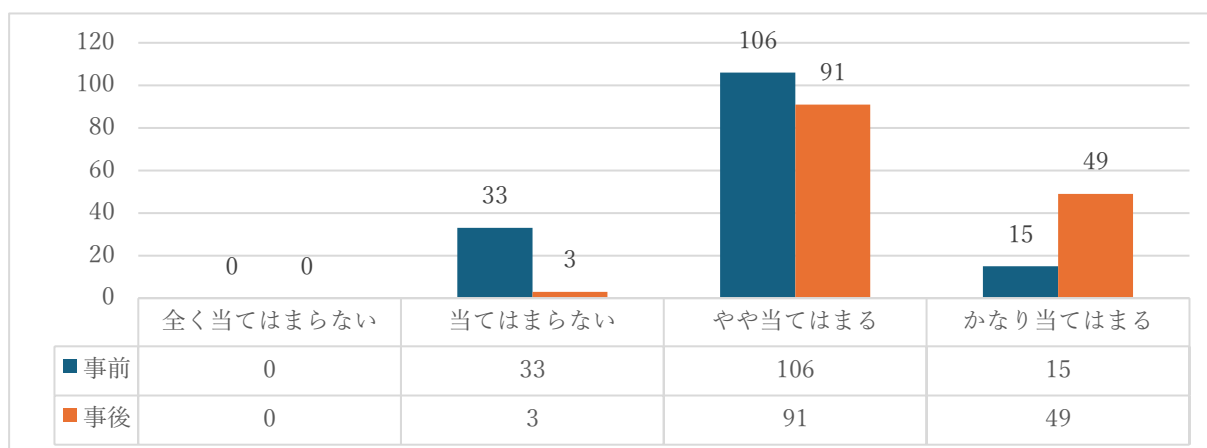
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.0%だったが、事後は57.3%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

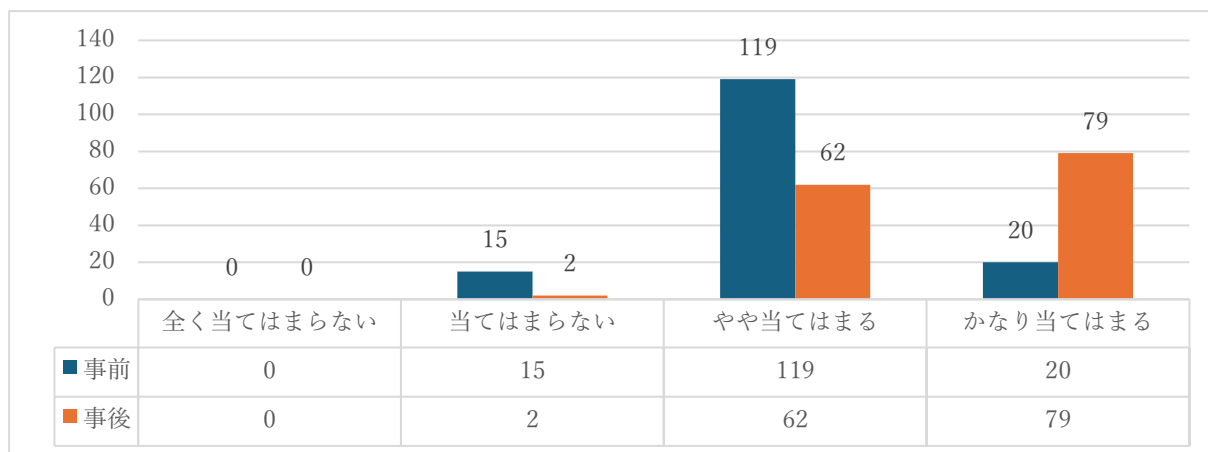
15. 保育所等の運営における課題への対応を理解している

(単位：人)



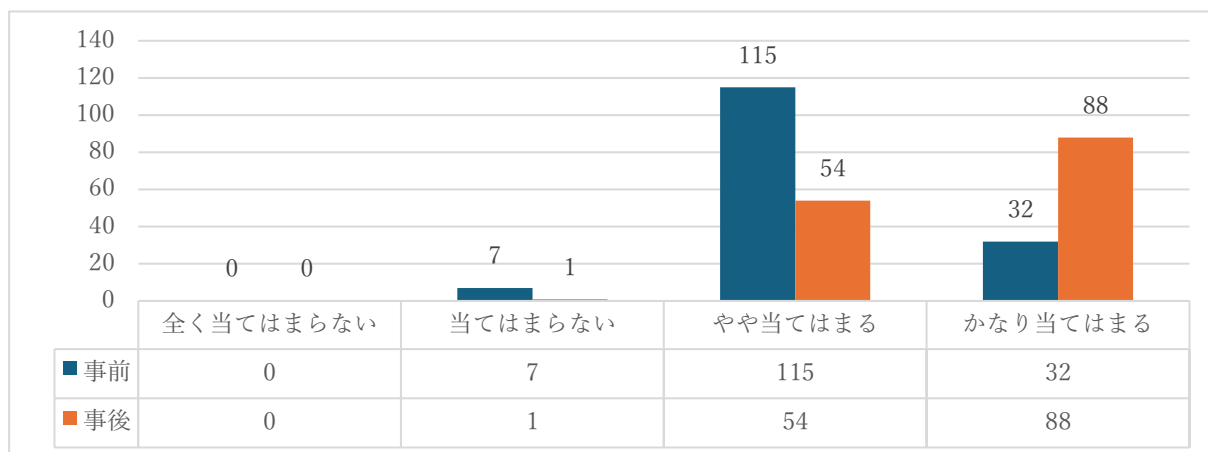
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が78.6%だったが、事後は97.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 保育所等における子育て支援に関する基本的事項を理解している (単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が13.0%だったが、事後は55.2%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

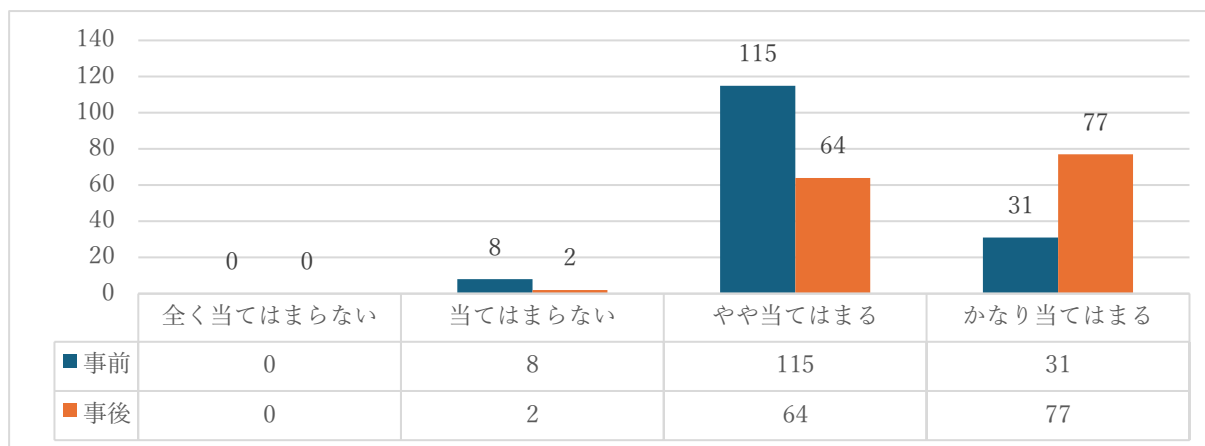
17. 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している (単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が20.8%だったが、事後は61.5%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

18. 地域における保育所等の役割を理解している

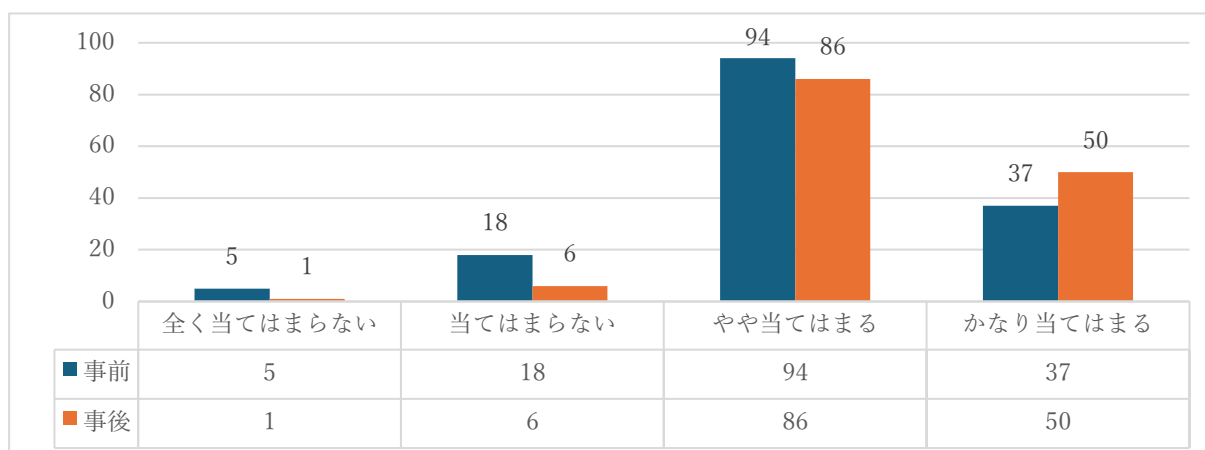
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が20.1%だったが、事後は53.8%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

19. 地域及び関係機関との連携・協働を行っている

(単位：人)

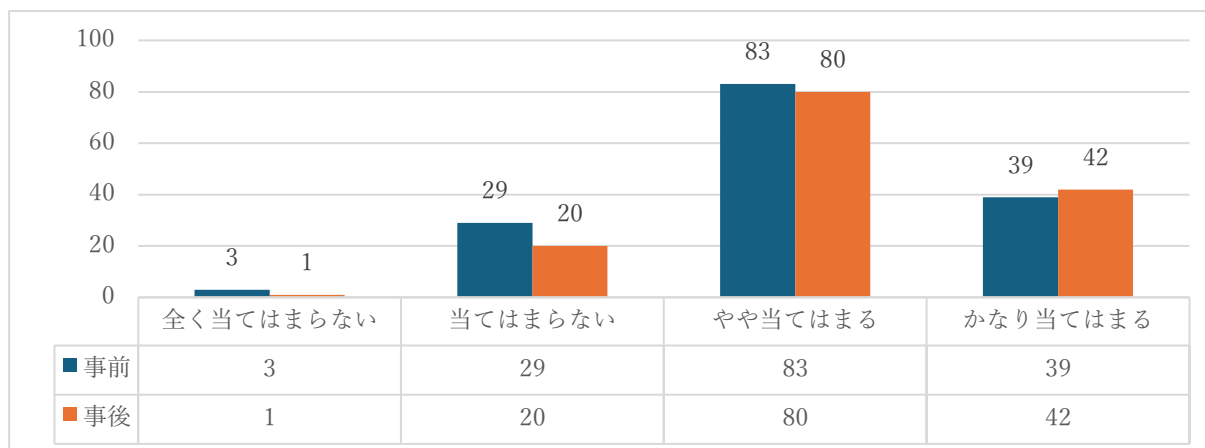


事前ではかなり当てはまると回答した方が24.0%だったが、事後は35.0%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにもかかわらず、若干の数値改善が見られた。

組織として取り組みを変える内容であるため、研修後すぐに対応することは難しかったと推察するが、所属の施設の現状を改めて確認するきっかけになったものとする。

20. 保育所等における地域子育て支援を実践している

(単位：人)

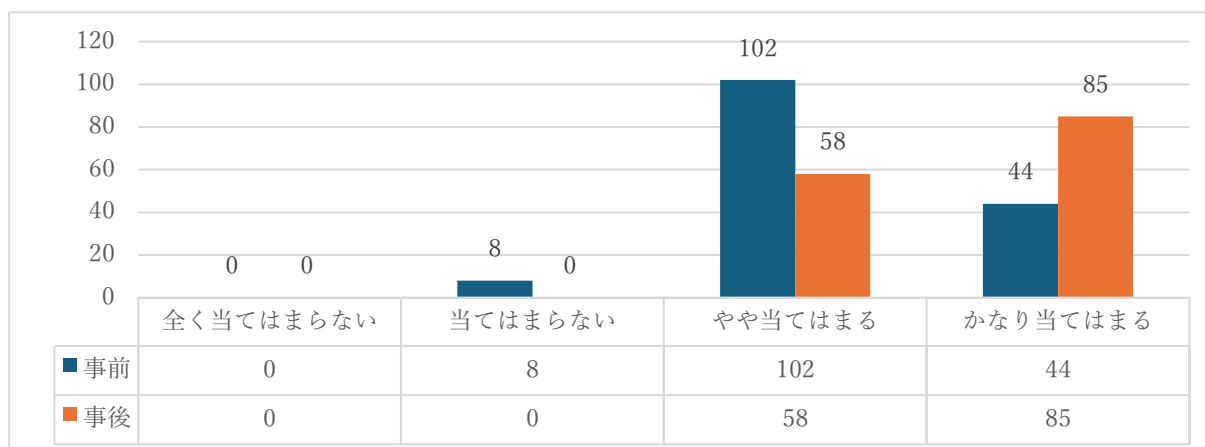


事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が79.2%だったが、事後は85.3%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにもかかわらず、若干の数値改善が見られた。

組織として取り組みを変える内容であるため、研修後すぐに対応することは難しかったと推察するが、所属の施設の現状を改めて確認するきっかけになったものとする。

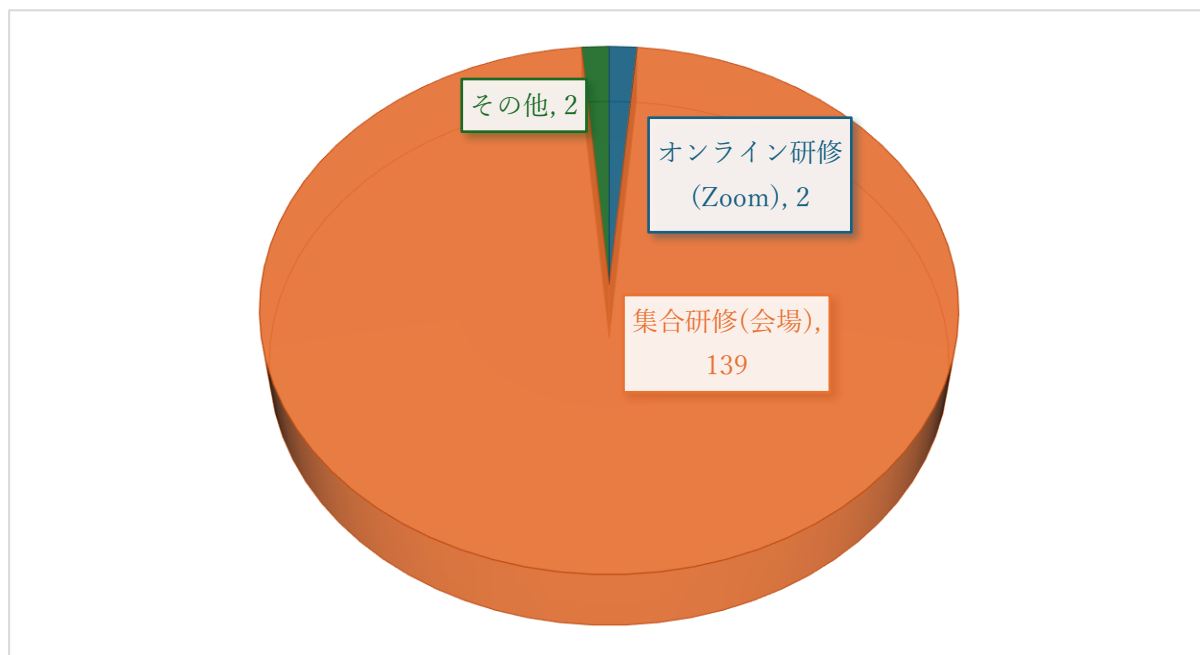
21. 児童虐待の防止対策について知っている

(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が28.6%だったが、事後は59.4%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

22. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか (単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・保育実践における具体例と対策、対処方法など
- ・「乳幼児の保育」事例も踏まえた保育実践の解説をもっと聞きたかった
- ・施設長のマネジメントについて
- ・職員育成
- ・子ども誰でも通園制度を実践するにあたり職員配置や、受入れ体制、予約方法等具体的な方法
- ・地域に開かれた保育所づくりで、各園の取り組み事例など
- ・保育所における食事の提供ガイドラインは、アレルギー児も、増えているので、もう少し具体的な内容が知りたかった
- ・子育て支援や、保護者支援については様々なケースがあると思われしますので、実践報告のような実際にあった事例をもっと聞きたかったです
- ・補助金制度など

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ストレスマネジメントやアンガーマネジメントについて
- ・保育園の経営、特に財務上の課題への対応について
- ・関わりの難しい子どもや保護者への支援について
- ・災害時の備え 実際には経験した場面での対応が知りたいです
- ・保護者からのクレーム対応について、事例を挙げて学ぶ機会があるとありがたい
- ・不適切な保育に関する未然防止や知識
- ・ICT システム等、時代に沿った保育の在り方・運営を取り入れてほしい

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・同じ小規模園の方とグループを組むことができ、少しお互いの運営での工夫など聴くことができたのでとても良い機会だった。もっとグループワークを多く取り入れたり、いろんな面での課題、課題への向き合い方などを話せる時間があるともっと心強かった。地域連携に関して、もっと知りたいなと感じた。

・アレルギーや他全般についていえるが、施設長研修であれば参加者は基本的な知識はマニュアルなどを通じて学んでいる事だと考えているため、基礎的な内容は簡略化してより実践的な内容の講義をメインに学ぶ構成が良いと個人的には感じました。

・就任3年以内に受けたいと感じていたため良い機会となった。座席設定は可能なら同じ環境で働く人とグループになりたかった。大規模、中規模、小規模それぞれ課題の焦点が違う。コミュニティを広げるにも、園庭があるなしでその話の中の吸収力が違ったり時間をロスしない。こども家庭庁さん主催はやはり安心の保証がある。一点だけ、関西の講師の方ばかりで、データが関西の方でとか話していたが、東京開催ならこちらのデータや肌感覚の経験談があるとより参考になる。

・どの講師の先生も分かりやすく丁寧に講義してくださいました。でも、時間の関係で駆け足になってしまったことが多く仕方がないことですがゆっくり聞いてみたい話がありました。今回の研修で今後の自分のあり方を改めて感じ、グループワークで一緒になった先生方の話を聞く事で分かり合えたり学べたり感心したりと、毎週このメンバーに会える事が楽しみな研修となりました。3週あった事で次回これを聞いてみたいとか自分の学びにも繋がり集合型研修を選択して良かったと思います。ありがとうございました。

・まず、ロケーションが良く気持ちの良い研修でした。グループワークは、他の園長たちと行ったディスカッションは有意義でした。できたら、毎日違うグループですと、他の方とも知り合うチャンスができて、より良いと思います。講師の先生方は、優秀な方で、お話がよく理解できました。係りの方々の案内などもわかりやすく、また、この研修サイトが使いやすかったのも良かったです。全体的にまとまった良い研修だと思いました。皆様、お疲れ様でした。またの機会をよろしく願いいたします。ありがとうございました。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・保育制度の動向や関係法令に関する情報ニーズが高いことが示されている。特に、子ども家庭庁の発足に伴う新たな制度や政策に関心が集まっている。
- ・職員の資質向上、人材育成、働きやすい環境づくり、業務改善、リーダーシップなど、多岐にわたるテーマに関心が集まっている。
- ・保護者との連携、虐待対応、発達障害児への支援など、具体的な支援方法や事例に関する情報を求める声が多い。

特に多かった回答：

- ・研修時間が短く、内容が駆け足になっているため、もっと時間をかけてほしい。
- ・グループワークやディスカッションをもっと多く取り入れてほしい。
- ・他園の先生達と情報交換する場をもっとほしい。
- ・運営に関すること、離職を食い止めるために働きやすい環境をどのように整えていけば良いかを学びたい。
- ・子育て支援や保護者支援について、実際にあった事例をもっと聞きたかった。
- ・委託費や給付費、加算の仕組みなど、お金のことを詳しく知りたい。

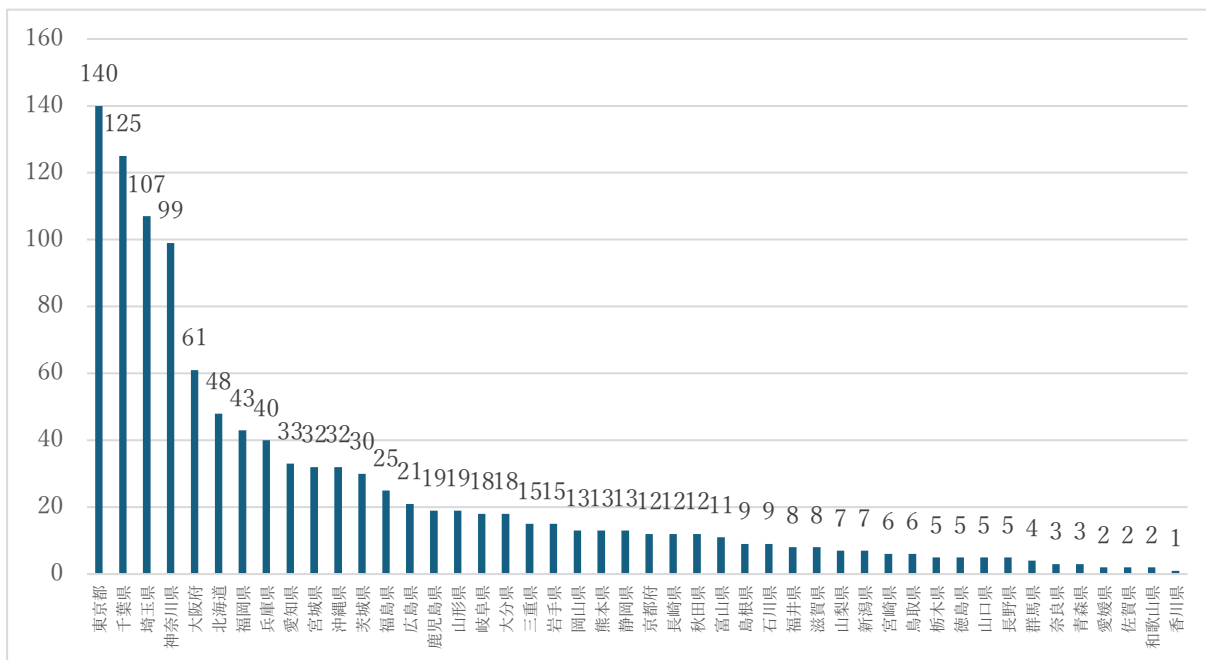
改善策：

これらを考慮し、より実践的な内容を取り入れ、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。実施方法、サポート体制などを改善することで、保育所が直面する共通課題の解決により貢献できる研修となることが期待される。

4-2. 初任保育所長等研修（オンライン研修） 講義内容の評価・改善策

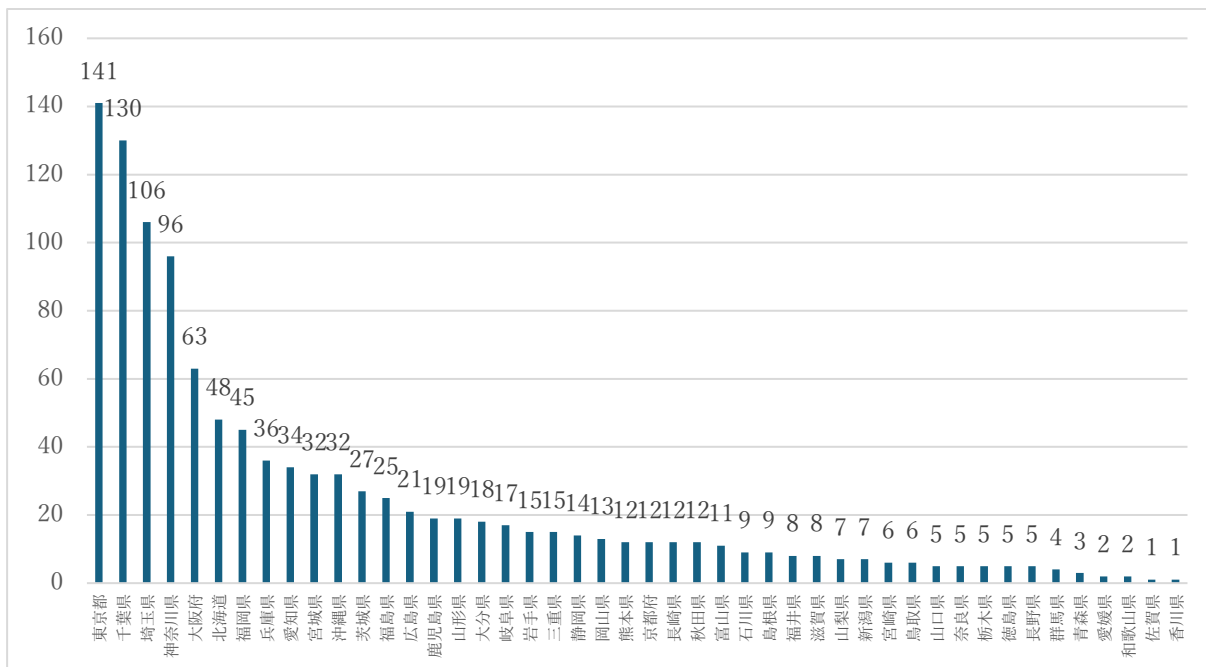
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



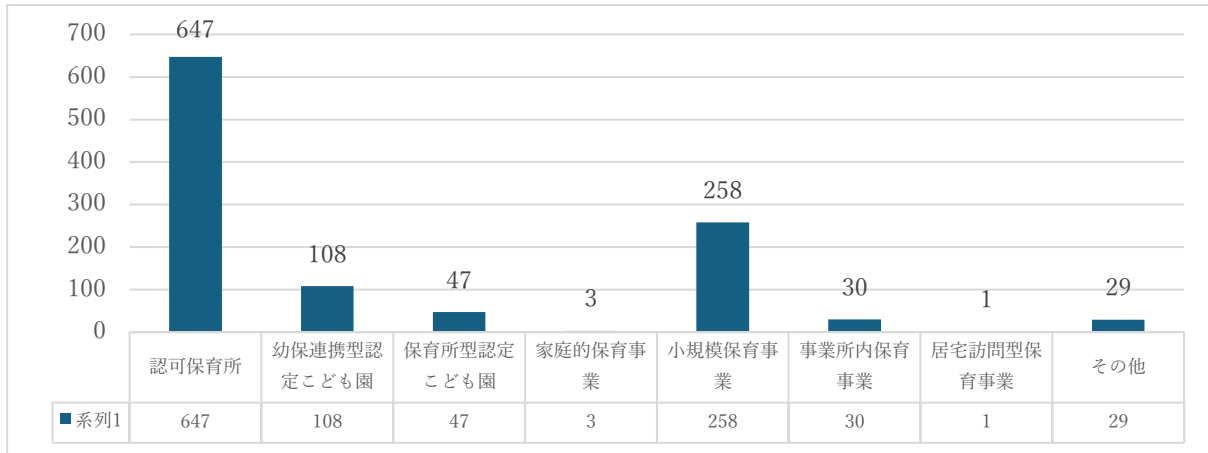
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



勤務先施設類型

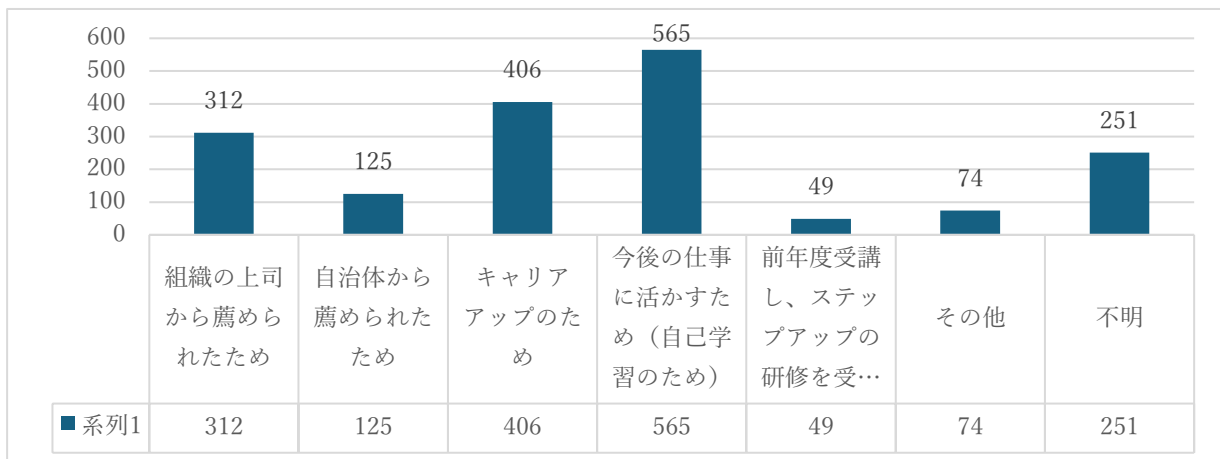
(単位：人)



その他：企業主導型、地方裁量型認定こども園 等

1. 研修受講理由

(単位：人)

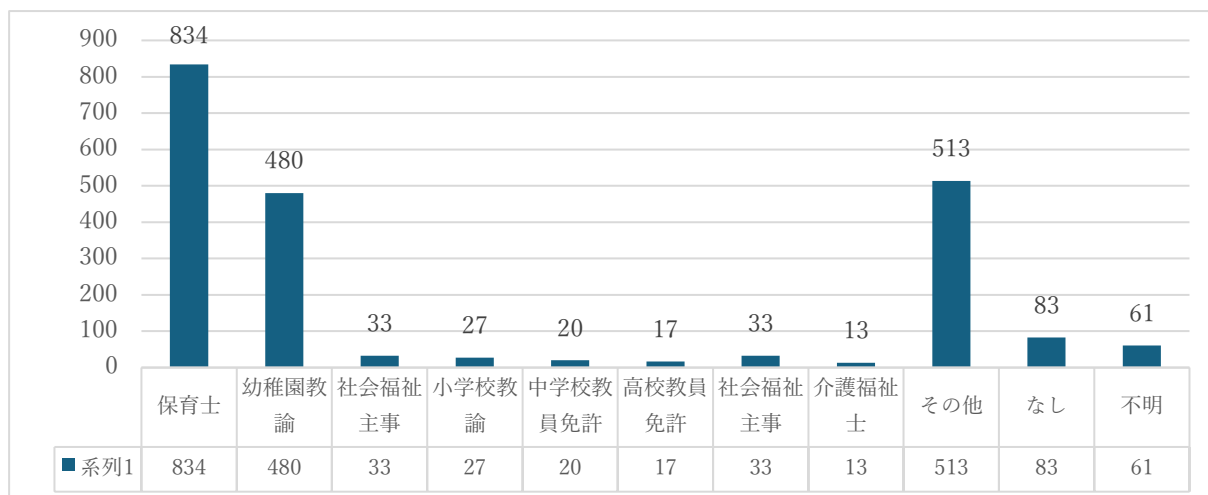


その他の受講理由

- ・ 必須のため
- ・ 自分の学びの為
- ・ 管理者の資格要件を満たすため
- ・ 2024年度4月から園長になり、前園長との引継ぎが不十分のため
- ・ 園長になるため
- ・ 自治体からのメール

2. 保有している資格(複数選択可)

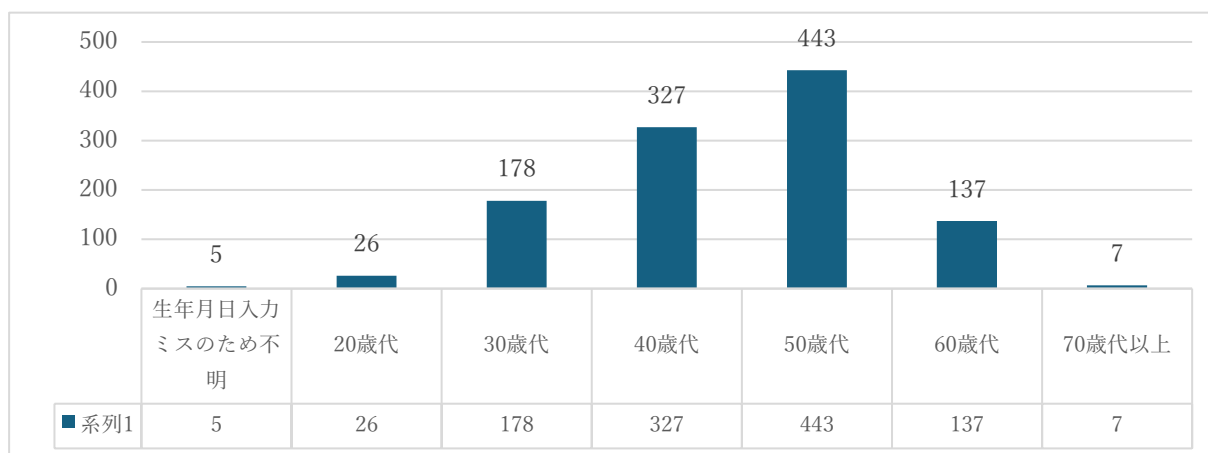
(単位：人)



その他：介護支援専門員、調理師 等

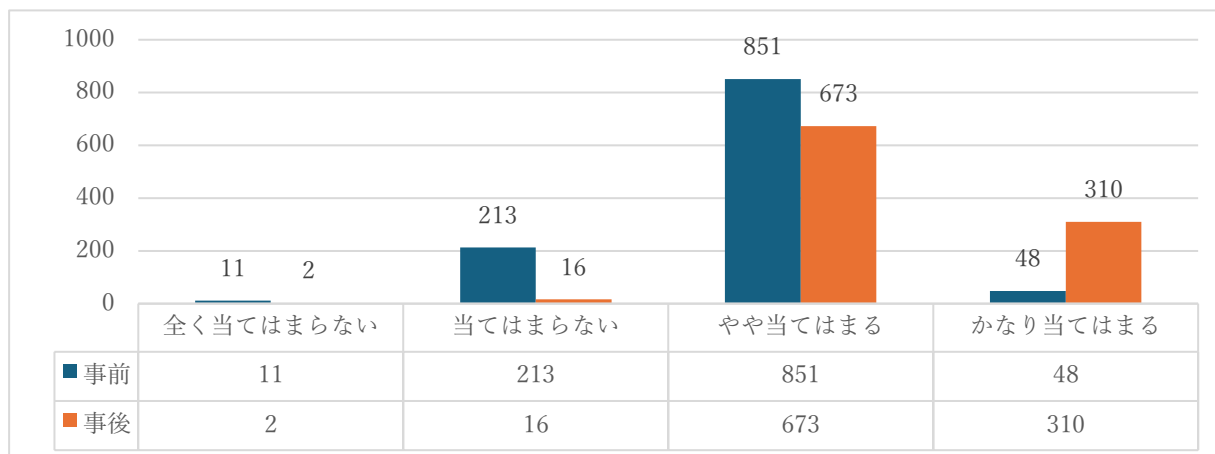
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

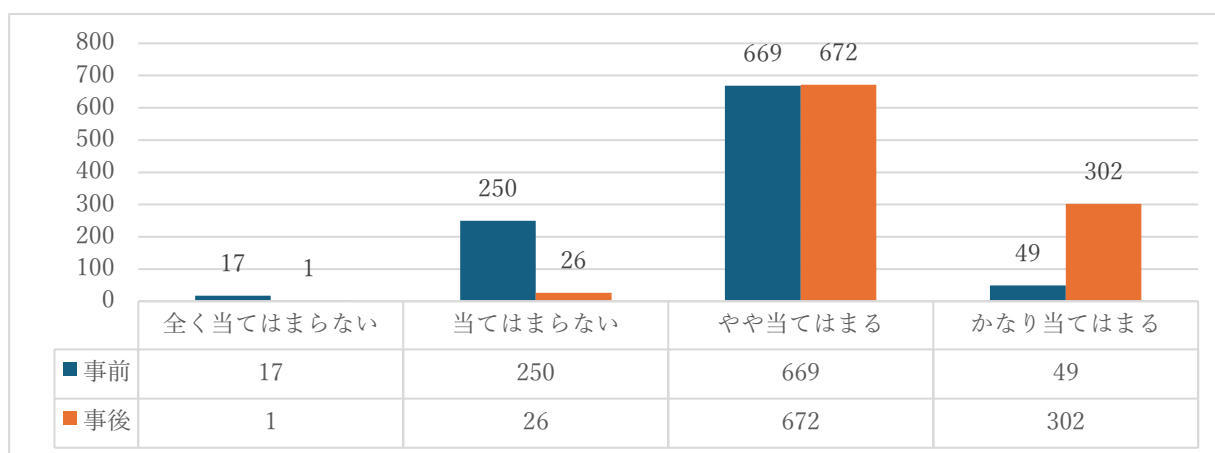
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が80.1%だったが、事後は98.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 関係法令等（保育所保育指針の改訂に関する内容を含む）を知っている

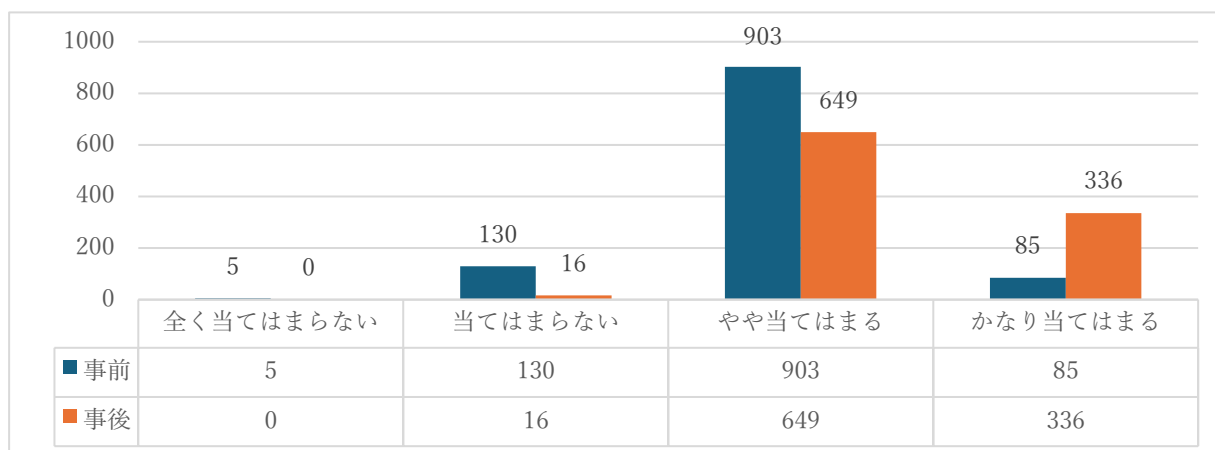
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が72.9%だったが、事後は97.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 保育所等におけるガイドラインを理解している

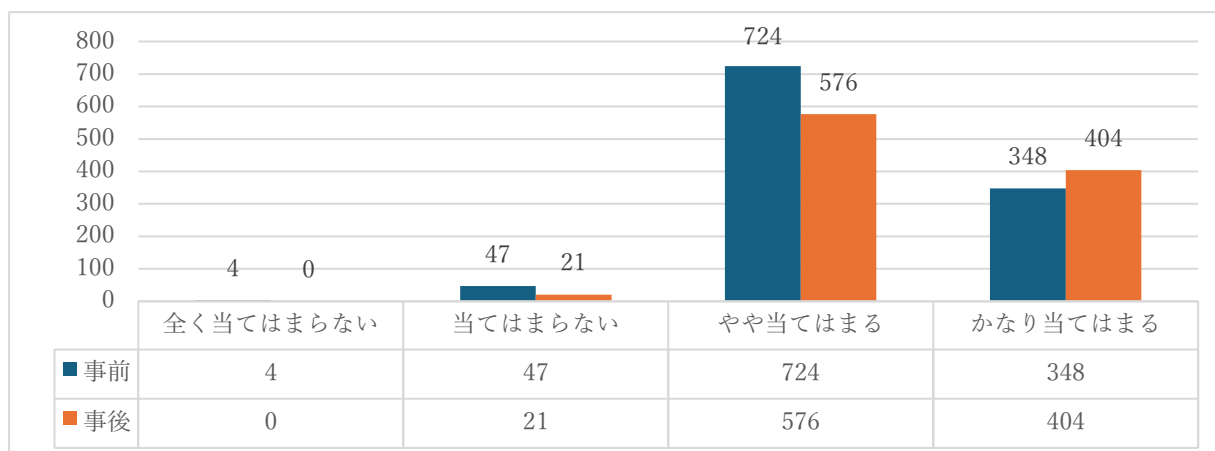
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が88.0%だったが、事後は98.4%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所保育指針を踏まえた保育を実践している

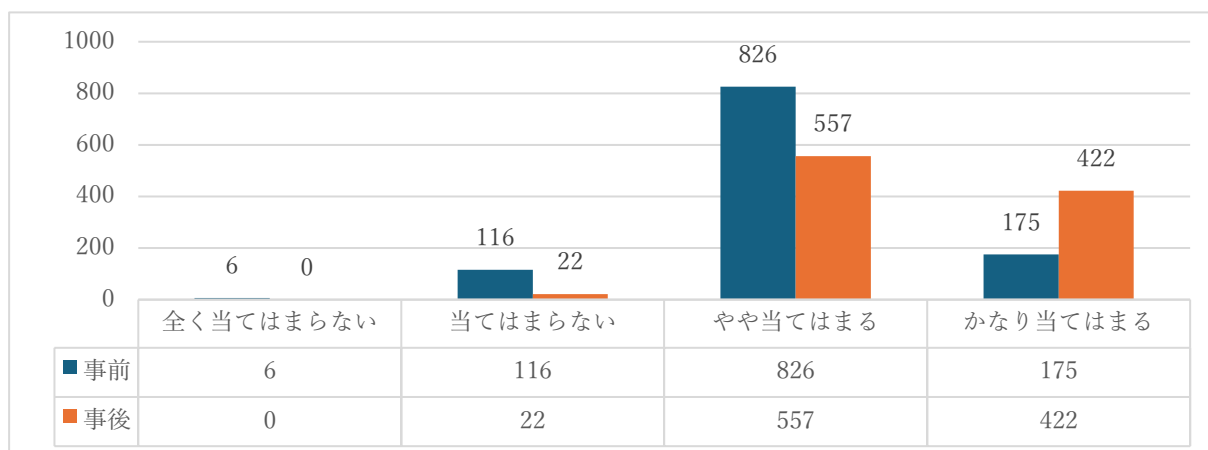
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が95.5%だったが、事後は97.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育の質の向上を図るための保育所長等の役割を理解している

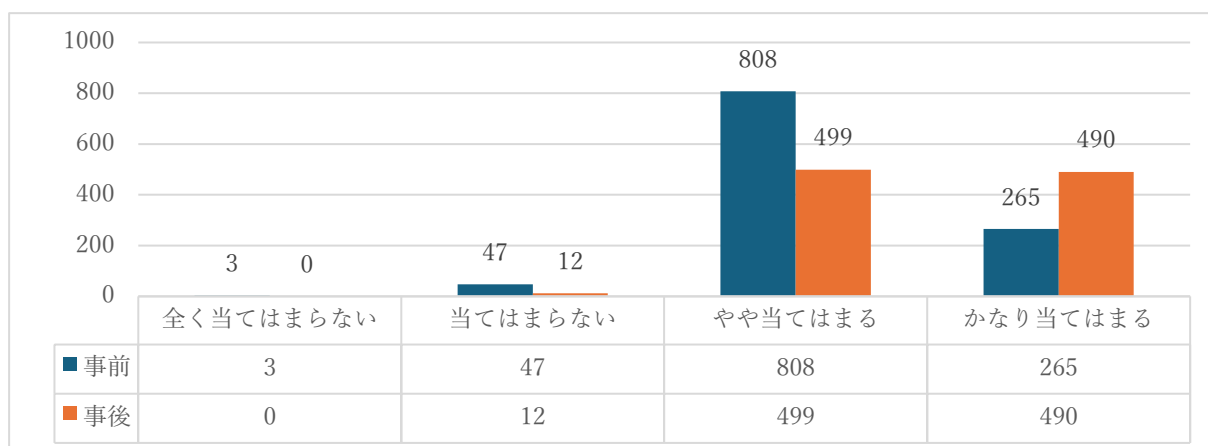
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が15.6%だったが、事後は42.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

9. 保育所における感染症対策ガイドラインを理解している

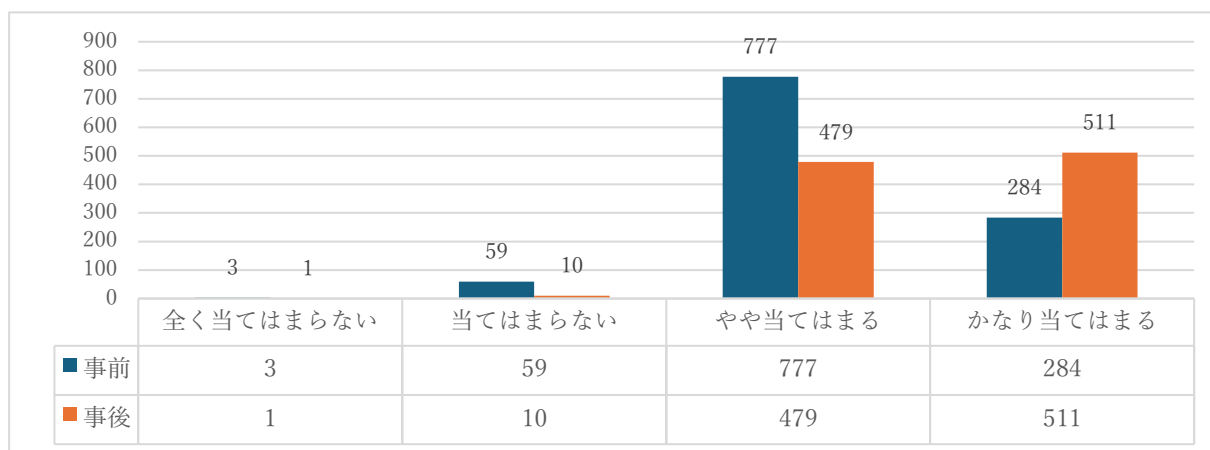
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が23.6%だったが、事後は49.0%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

10. 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している

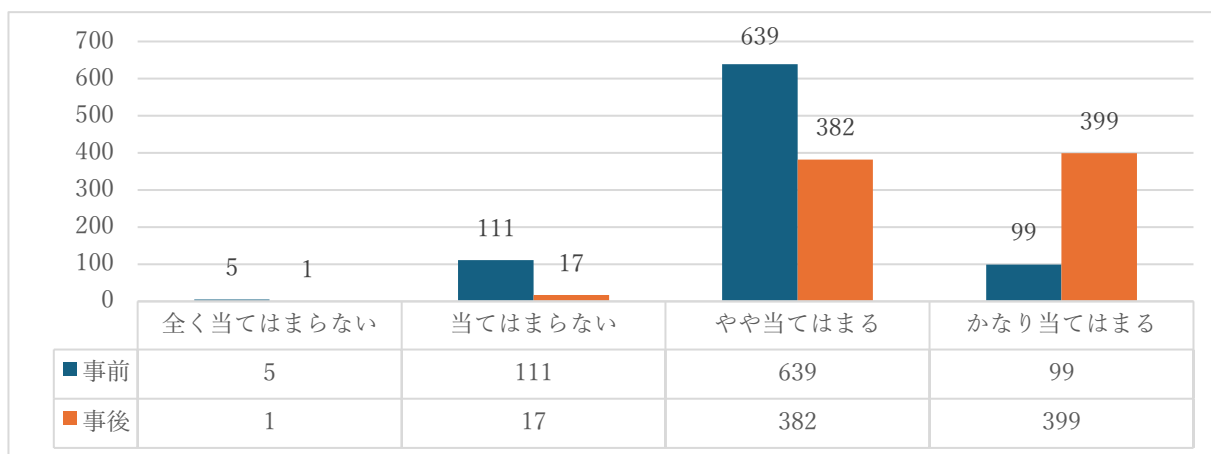
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が25.3%だったが、事後は51.0%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

11. 保育所における食事の提供ガイドラインを理解している

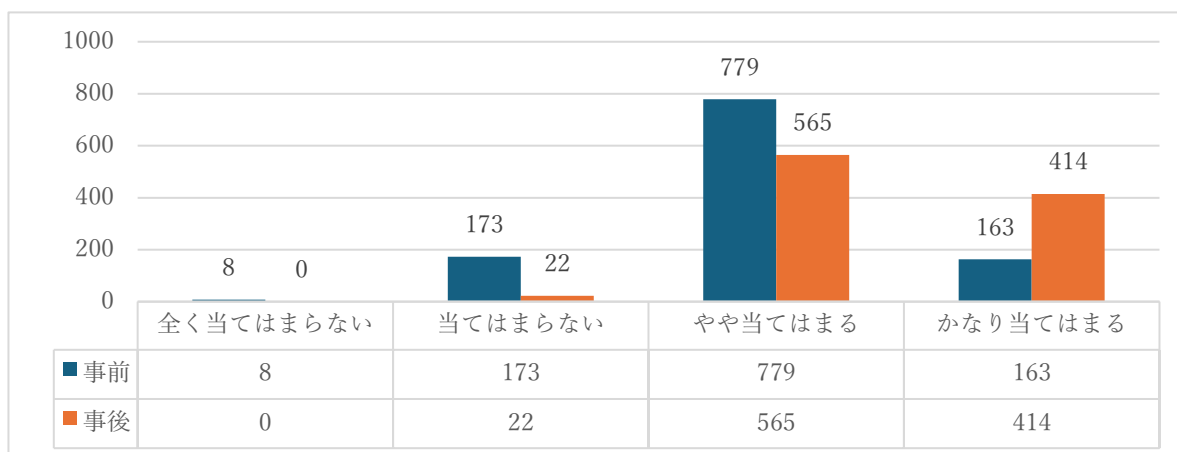
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が11.6%だったが、事後は49.9%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

12. 組織マネジメントにおける保育所長等の役割を理解している

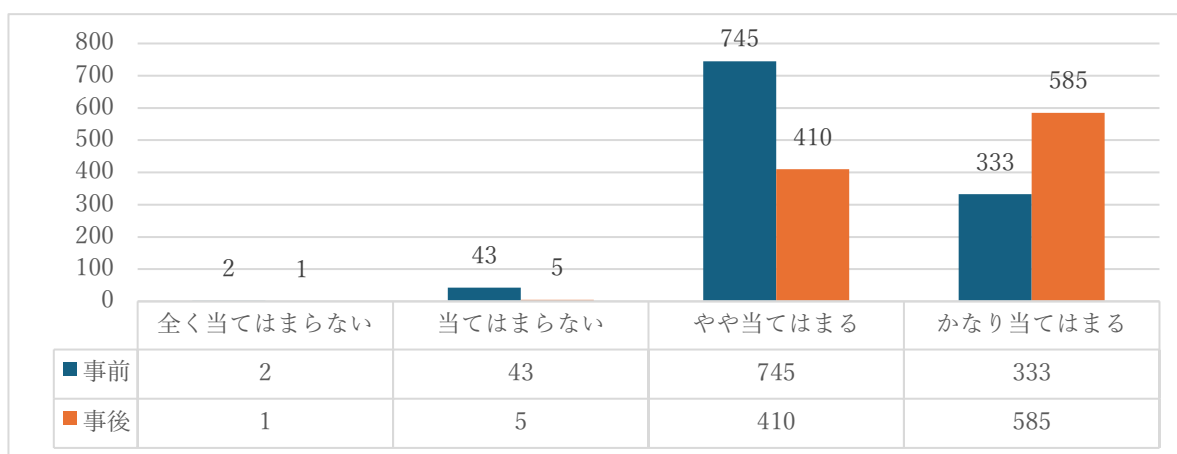
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が14.5%だったが、事後は41.4%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

13. 働きやすい職場づくりを理解している

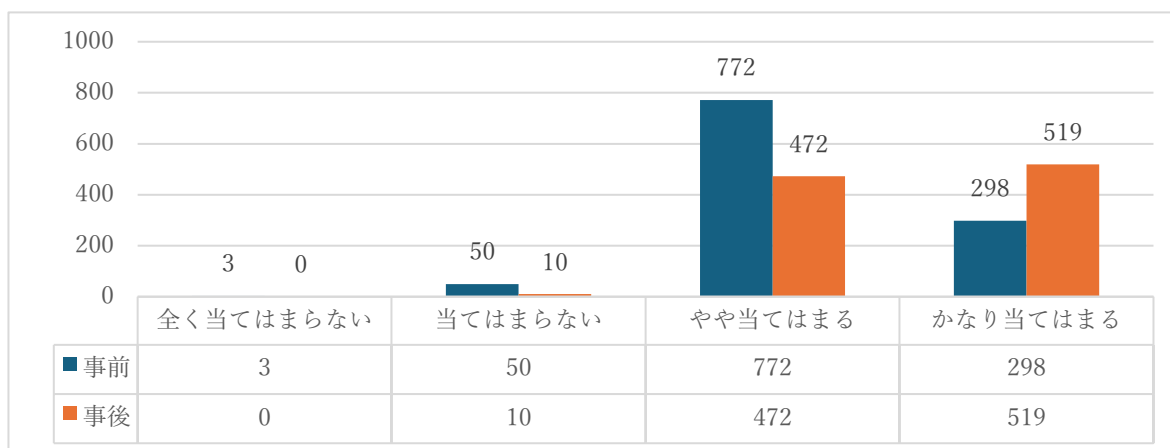
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が29.7%だったが、事後は58.4%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

14. 職員の資質向上を理解している

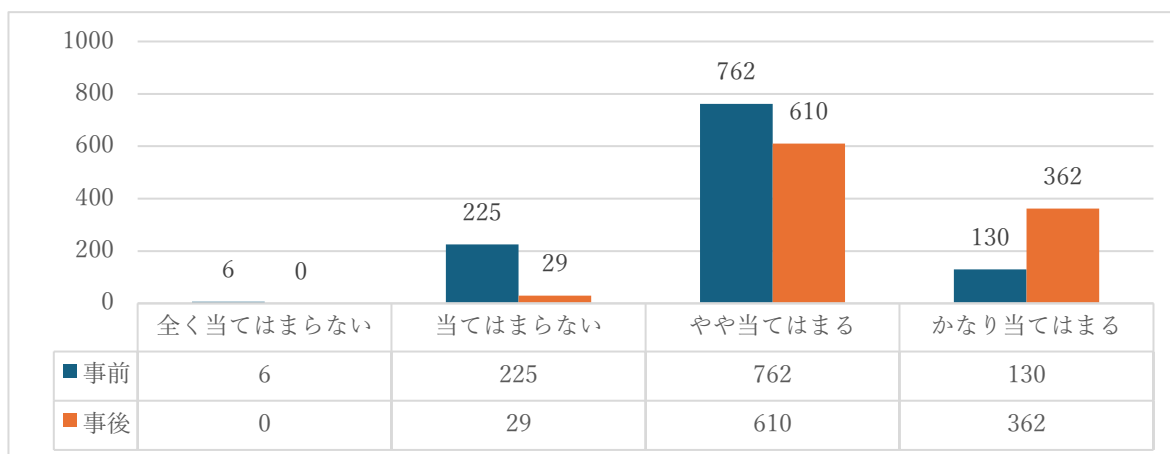
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.5%だったが、事後は51.8%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

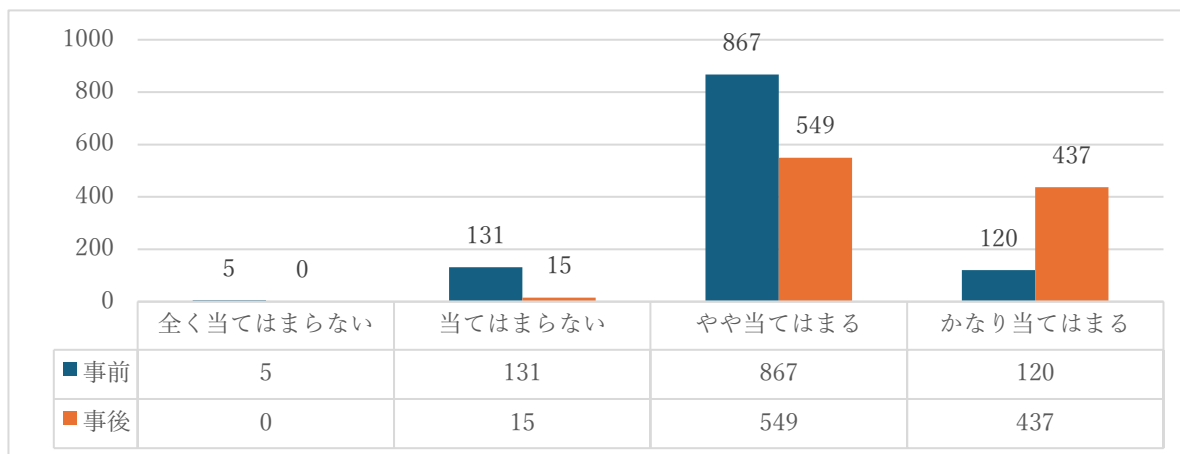
15. 保育所等の運営における課題への対応を理解している

(単位：人)



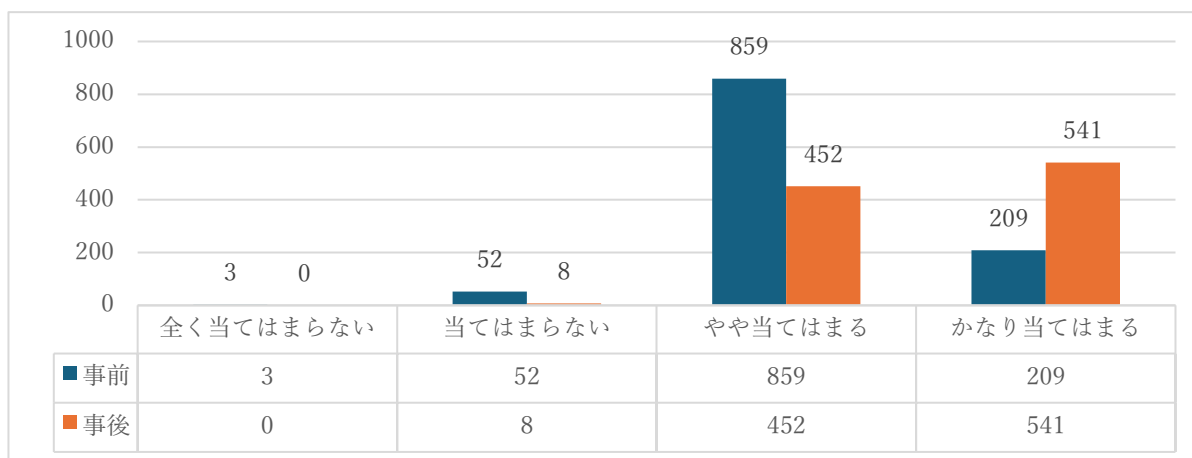
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が79.4%だったが、事後は97.1%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 保育所等における子育て支援に関する基本的事項を理解している (単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 10.7%だったが、事後は 43.7%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

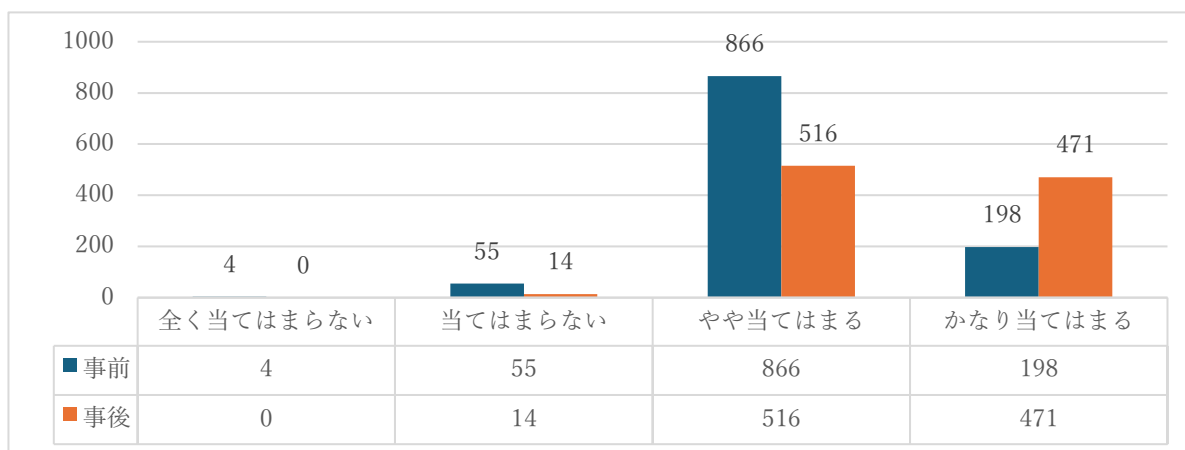
17. 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している (単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 18.6%だったが、事後は 54.0%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

18. 地域における保育所等の役割を理解している

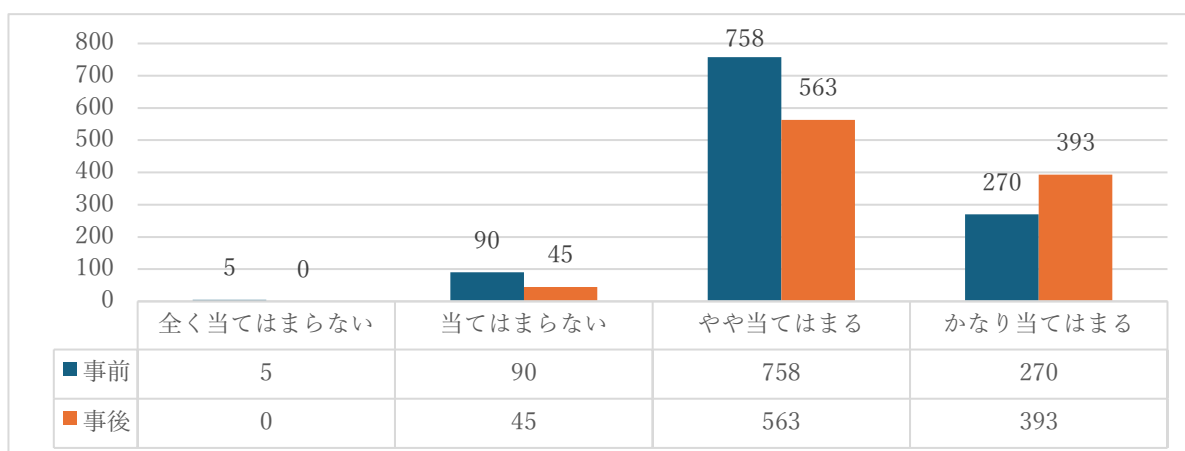
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が17.6%だったが、事後は47.1%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

19. 地域及び関係機関との連携・協働を行っている

(単位：人)

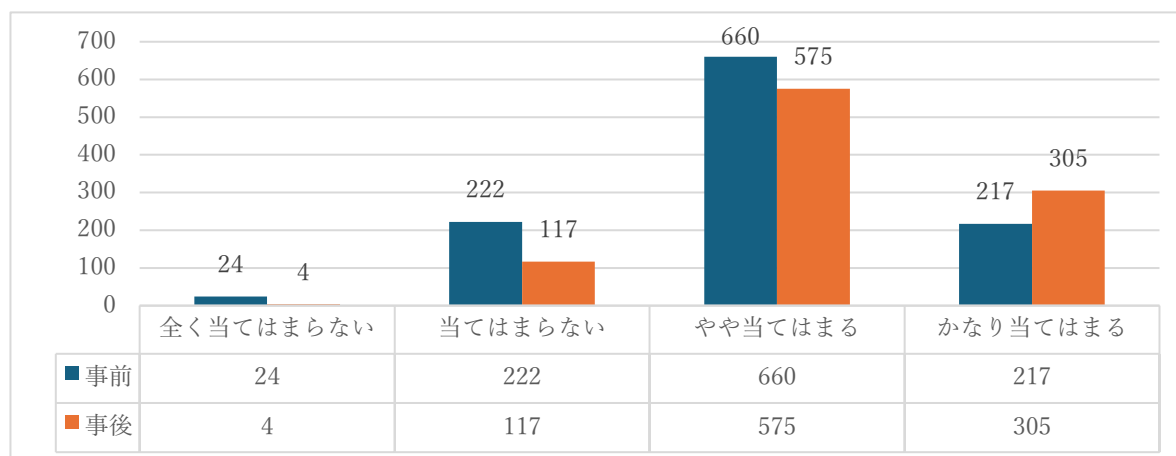


事前ではかなり当てはまると回答した方が24.0%だったが、事後は39.3%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにもかかわらず、若干の数値改善が見られた。

組織として取り組みを変える内容であるため、研修後すぐに対応することは難しかったと推察するが、所属の施設の現状を改めて確認するきっかけになったものとする。

20. 保育所等における地域子育て支援を実践している

(単位：人)

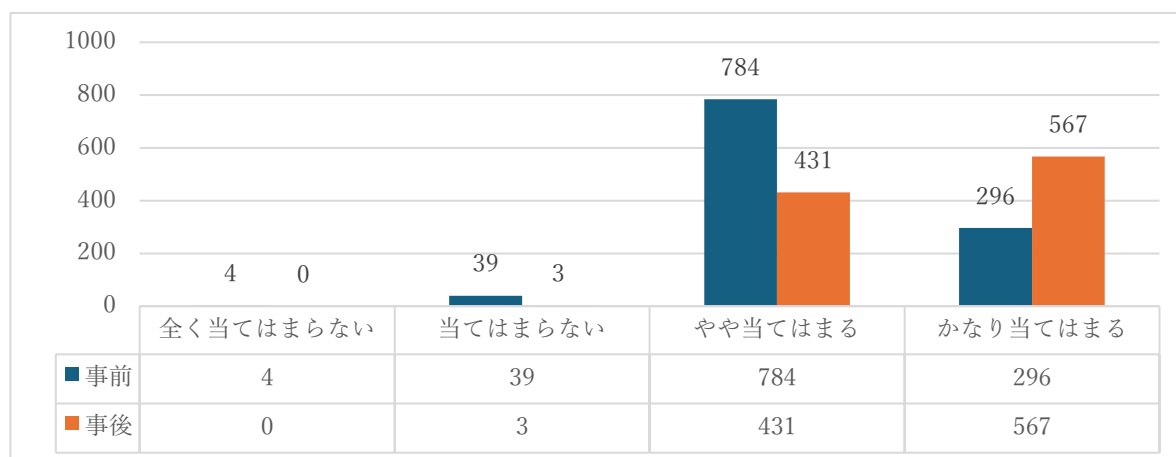


事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が78.1%だったが、事後は87.9%となった。この設問は理解度を確認するものでなく、実施内容の確認であったにも関わらず、若干の数値改善が見られた。

組織として取り組みを変える内容であるため、研修後すぐに対応することは難しかったと推察するが、所属の施設の現状を改めて確認するきっかけになったものとする。

21. 児童虐待の防止対策について知っている

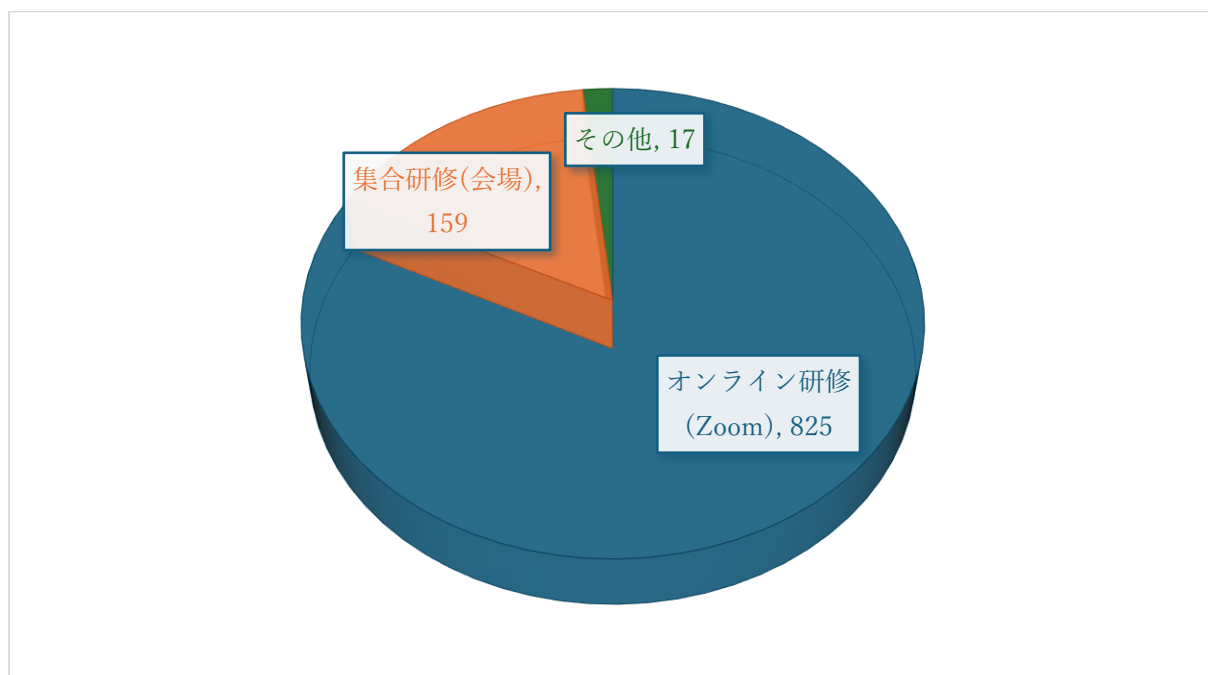
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.4%だったが、事後は56.6%となり、もともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

22. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・組織づくりとマネジメントの実際の具体例
- ・保育の質の向上 職員一人一人が働きやすい環境作り
- ・保育制度の動向及び法令関係法令について
- ・職員のメンタルケア、及びその対応
- ・地域資源との連携についての具体例
- ・「乳幼児の保育」について、保育の質を上げるための研修について具体的に、どのような研修計画をたてればよいか
- ・こども誰でも通園制度について事例や現時点での問題点等
- ・地域に向けた子育て支援について、他園の具体的な取り組み
- ・子どもの人権について 人材育成について
- ・感染症対策について、衛生管理について
- ・ICTの活用で、活用したことによって軽減された業務負担の具体的な内容

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・乳児のあそびと環境設定
- ・虐待に対する地域・関係機関との具体的な連携方法
- ・今後の少子化対策での園の運営方法。コンサルティングの様なもの。経営戦略や経営方法など
- ・職員育成について
- ・初任、という分類であるので、処遇改善や補助金の扱い、(地域によって異なるとは思いますが) 加算、監査事項等、事務的なこと
- ・危機管理、通常の訓練の他様々な災害における訓練方法、BCP訓練等
- ・発達支援が必要な児童や保護者に対する支援
- ・アンガーマネジメントやハラスメント研修を受講したい
- ・保護者対応(特に苦情対応)について
- ・業務効率化【ICT化システムの導入】
- ・不適切保育について
- ・小学校との連携 かけはしプログラムについて

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・幅広く学ぶことが出来、大変勉強になりました。また、他園の園長先生たちと話す機会もあり、とても良い刺激となり、参考にしたいと思うことも多くありました。このような機会が最近少なくなっているのと、名前も番号表示だったり、プライバシーに配慮されていて、気にすることなく発言できたように思います。要望としては、各分野もう少し具体的なところや、掘り下げた内容が学びたいと感じる分野もありました。3日間ありがとうございました。

・保育指針の内容やガイドラインについての理解が深まりました。子ども家庭庁で作成しているパンフレットや資料が多くあることを知り、早速ダウンロードをしてじっくり見たいと思います。グループの分け方については、同じ規模の園で組分けてもらった方が共通の話しができ、深まったように感じます。

・講師の方の話について、実践的な内容など身近に感じられる事案などあるとイメージしやすさもあつた。子育て支援では、事例も話しており分かりやすく身近に感じられた。

・各園で起きたヒヤリハットや事故報告等の対応をグループトークでするのもよいかと思います。

・国の動向や決定変更事項は研修で必ず知らせてほしい。

・初任保育所長研修を受講できて、良かったです。こども家庭庁のこともあることしか知らなかったですし、いろいろな仕組みや取り組みも知らなかったのも、私自身とても知識が増えているいろいろな知ることができていい経験になりました。この先の知識などを深める研修などあればまた、受けたいと思います。ありがとうございました。

・グループワークでは各園の園長先生との話し合いができて有意義ではあったが、認可保育園、小規模、企業型などそれぞれの施設の方がいたため、あまり踏み込んで話し合いができなかったように思う。同じ形態の保育園であれば、もう少し具体的に相談や参考にすることもできていたと思うが、話をしていてもあまりピンとこないこともあった。保育制度の動向などは管理者として必要な知識だと思ふし、とても良い学びになりました。

・グループワークでいろいろな意見を交わすことができたが、地域性の話もしたかったので、どこの県の方と同じグループワークなのか？また園の規模は？公立と私立では、運営も考え方も違うので事前に、もしくは、研修中に最低限の情報を確認できる方法や手段が欲しい。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・保育制度の動向や関係法令に関する情報ニーズが高い。特に、こども家庭庁の発足に伴う新たな制度や政策に関心が多く集まっている。
- ・職員の資質向上、人材育成、働きやすい環境づくり、業務改善、リーダーシップなど、多岐にわたる園の運営に関するテーマに関心が集まっている。
- ・保護者との連携、虐待対応、発達障害児への支援など、具体的な支援方法や事例に関する情報を求める声が多くあった。
- ・グループワークが貴重な情報交換の場となり、他園の事例や課題を知ることができて参考になったという声が多数あった。

特に多かった回答：

- ・研修内容が多岐にわたるため、各テーマの掘り下げが不足している。
- ・制度や法令の変更が頻繁に行われるため、最新情報のキャッチアップが難しい。
- ・保育現場の多様化により、個別の課題に対応できる知識やスキルが不足している。

これらの結果から、受講生は研修内容を絞り込み、重点事項を深く掘り下げる、事例研究やグループワークをもっと活用し、実践的なスキルを習得したいと考えていることが伺える。

また、研修内容が基礎的すぎるという意見や、就任予定者研修との重複を指摘する声もあった。

改善策：

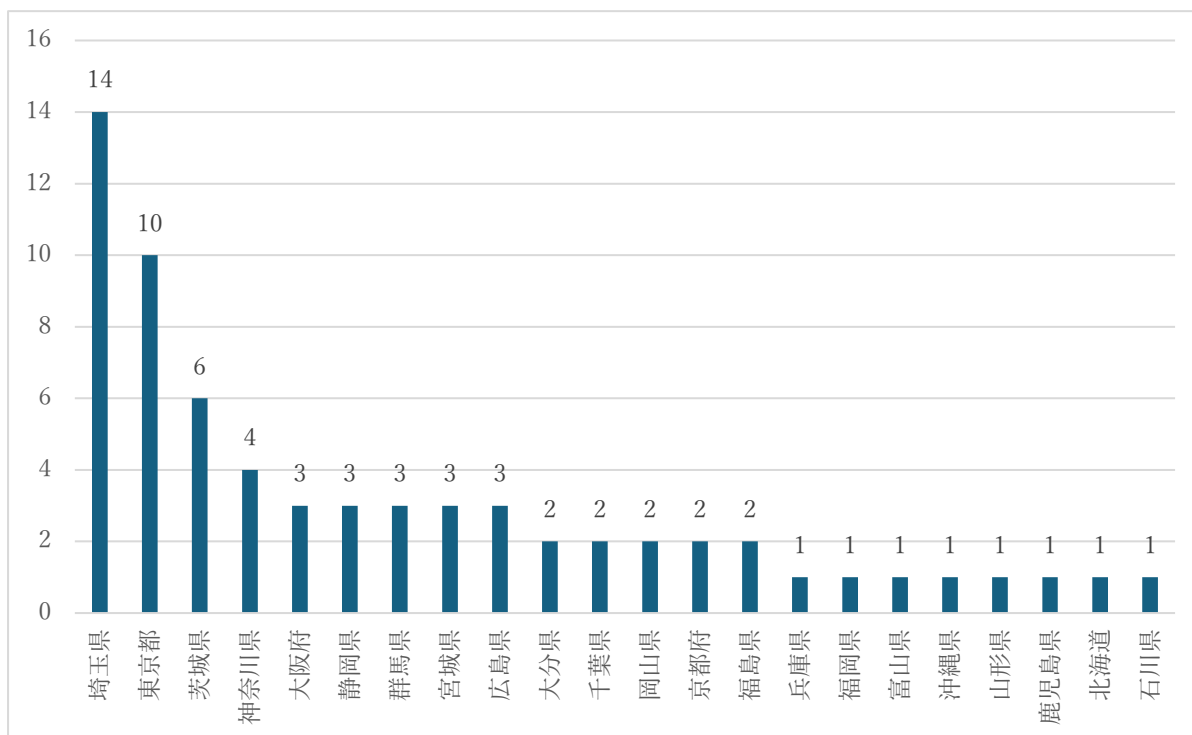
講義だけでなく、実際の事例や他園での取り組み、成功事例や失敗事例等、より実践的で実務に即した内容を取り入れる等、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

また、受講者の経験年数や職位に合わせた内容の提供を希望する意見もあったため、あらためて講義内容を見直す必要があると考える。

4-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修（集合型） 講義内容の 評価・改善策

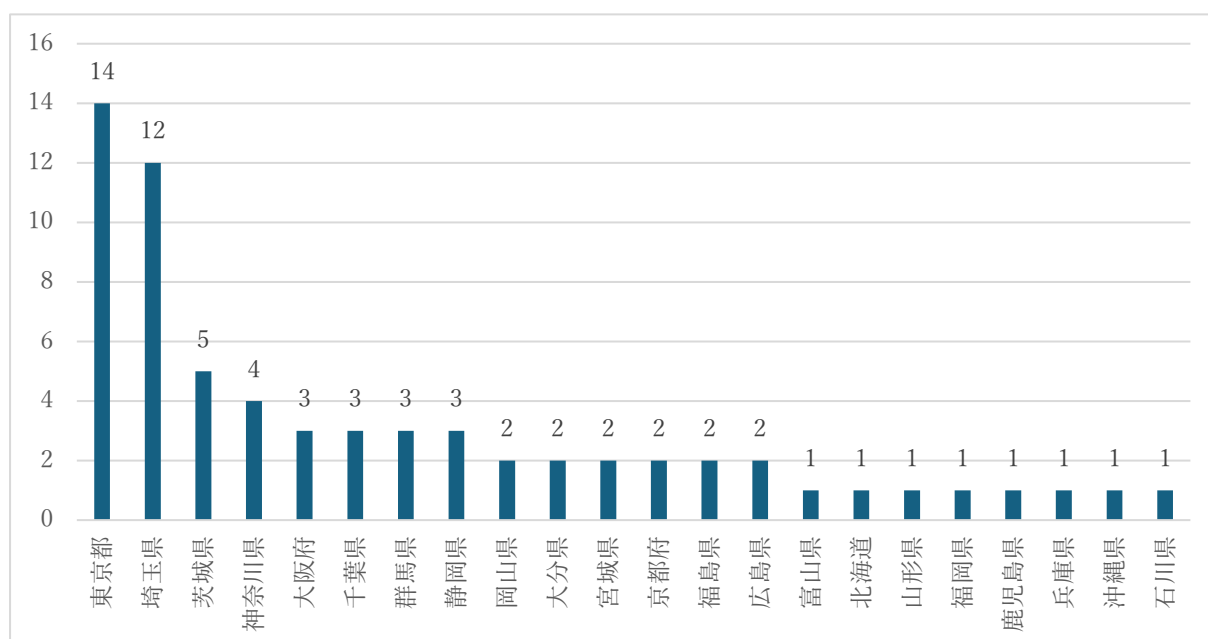
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



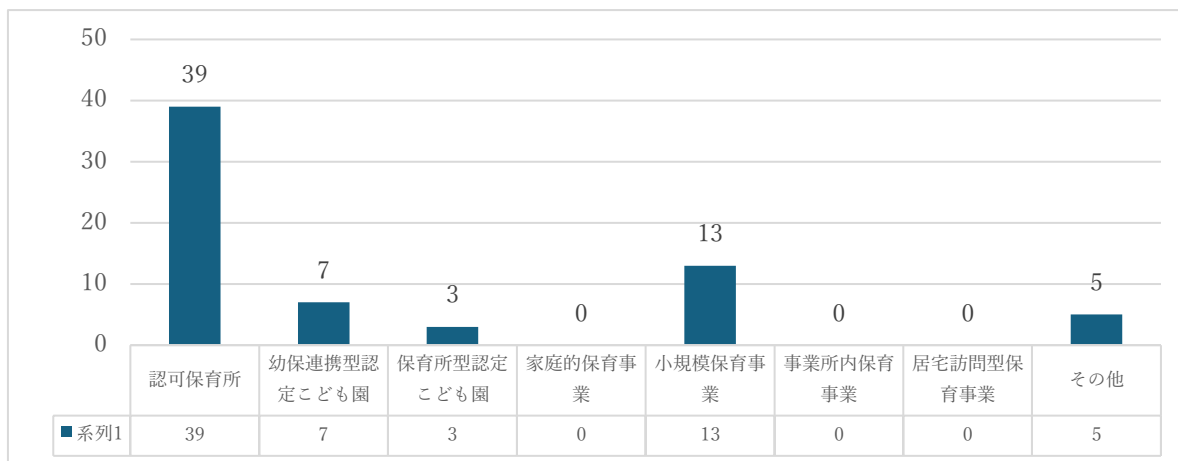
受講者勤務地域別

(単位：人)



勤務先施設類型

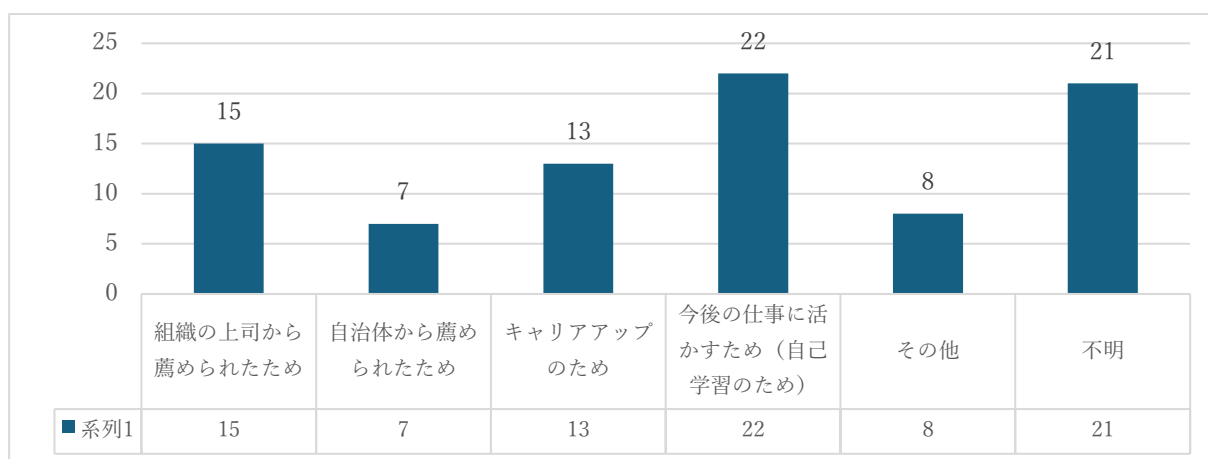
(単位：人)



その他：認可外保育施設 等

1. 研修受講理由

(単位：人)

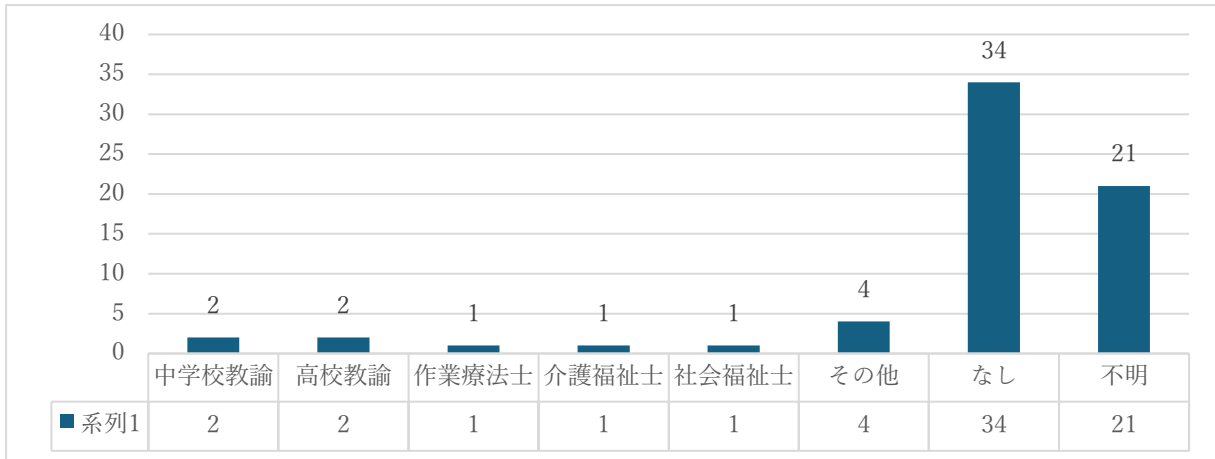


その他の受講理由

- ・仕事の引継ぎの為
- ・施設長になるため
- ・法人の指示
- ・園長就任予定のため

2. 保有している資格(複数選択可)

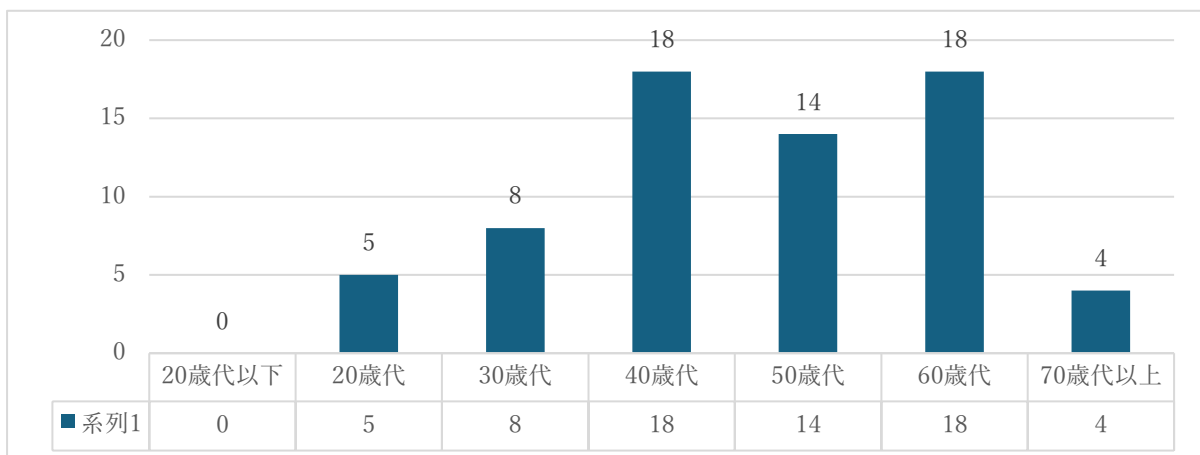
(単位：人)



その他：理学療法士 等

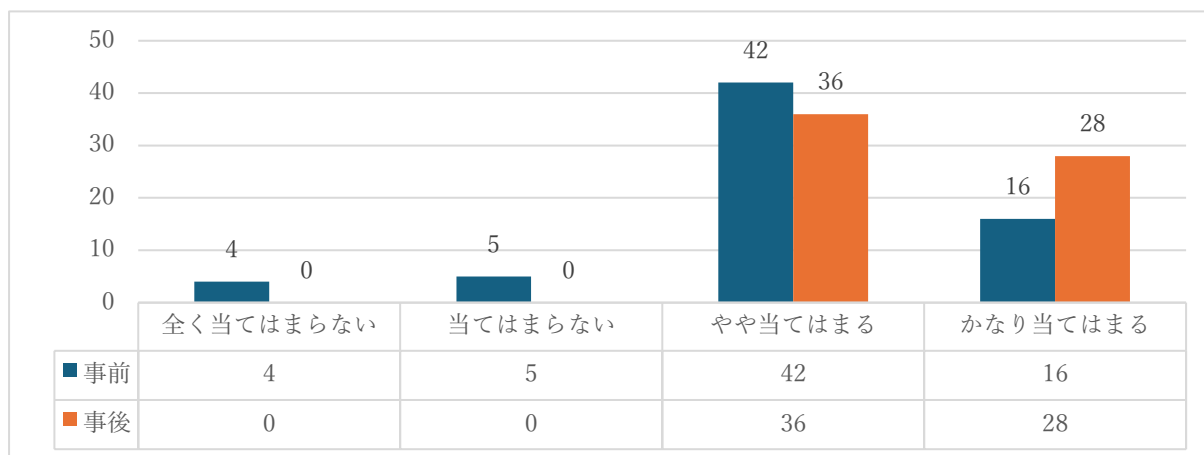
3. 年代

(単位：人)



4. 子育てを取り巻く社会的な状況を理解している

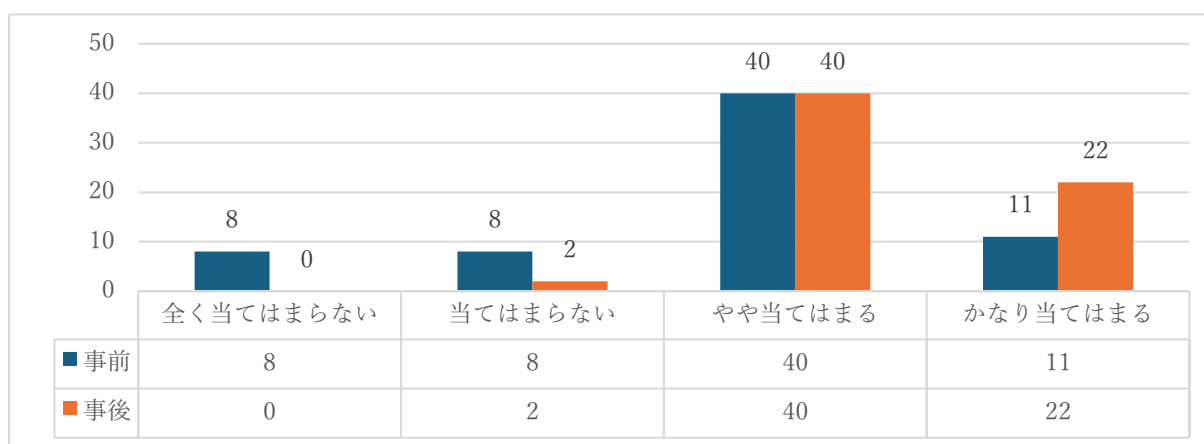
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が86.5%だったが、事後は100%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 保育制度の動向を知っている

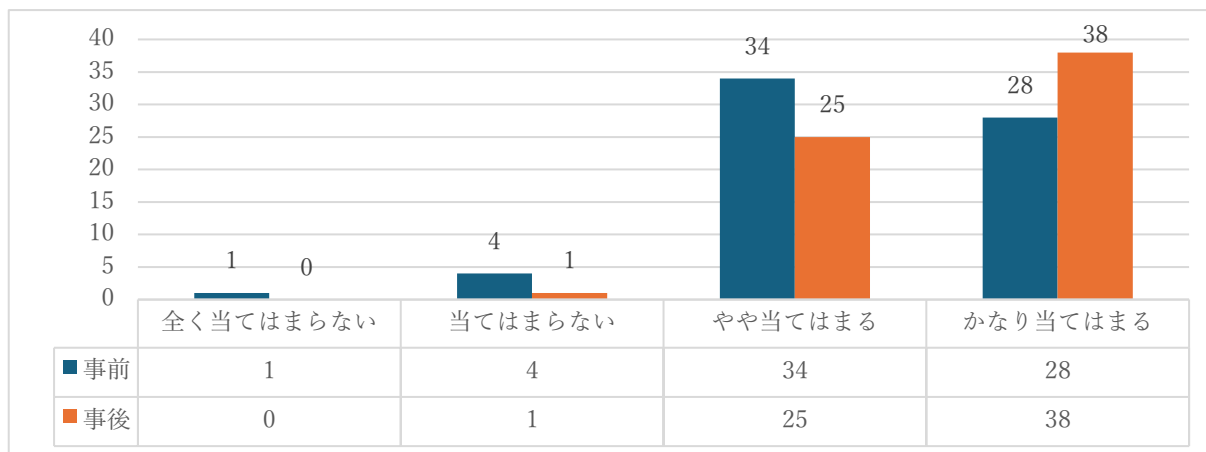
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が76.2%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 保育所等の社会的役割を理解している

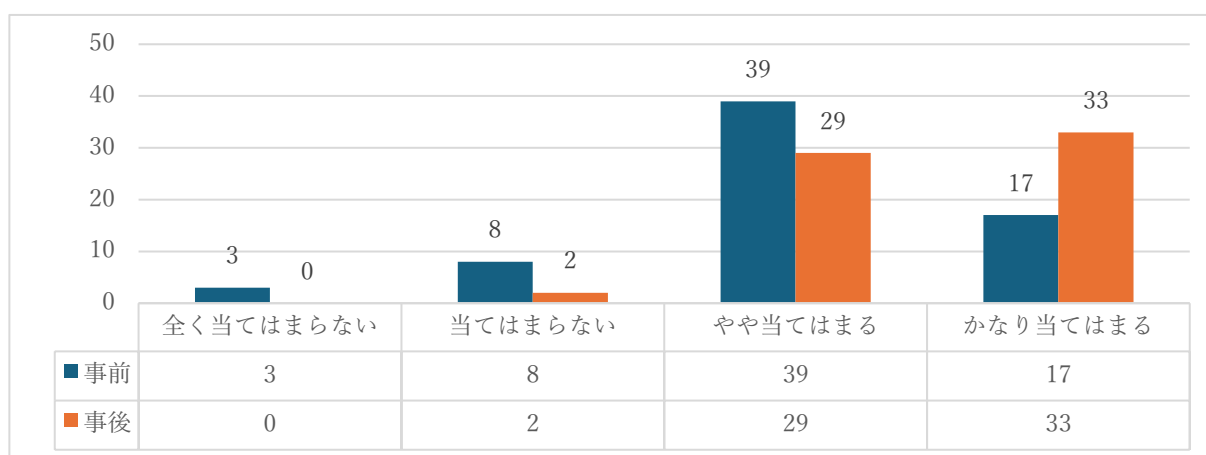
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が41.8%だったが、事後は59.4%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所長等の役割を理解している

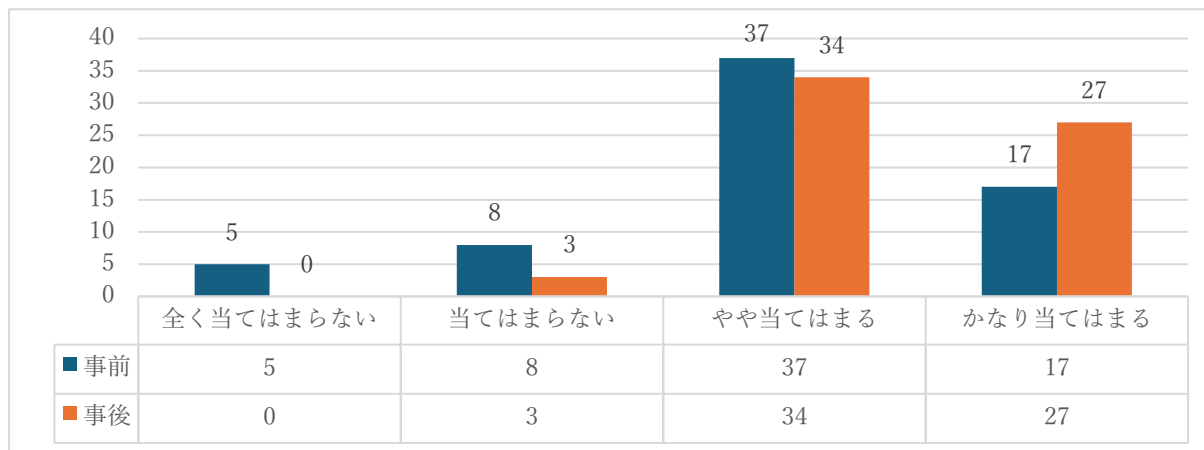
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が25.4%だったが、事後は51.6%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育所等の運営と法令遵守を理解している

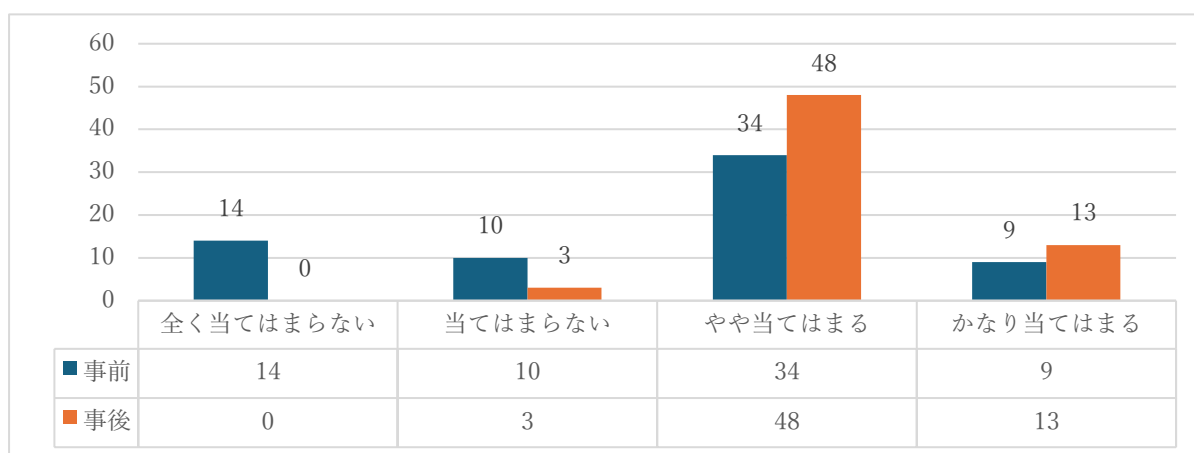
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が25.4%だったが、事後は42.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 乳幼児期の発達の特徴および発達過程を理解している

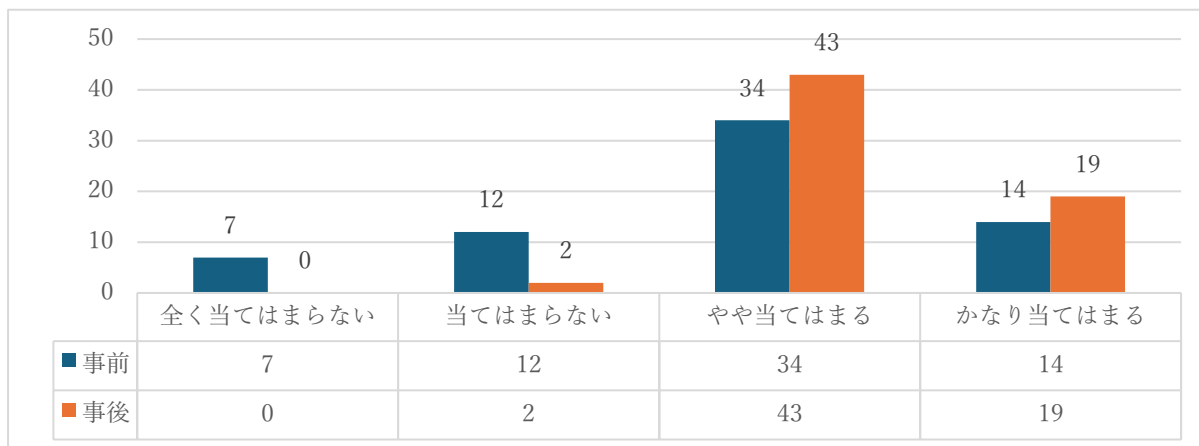
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が64.2%だったが、事後は95.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 保育所保育指針を理解している

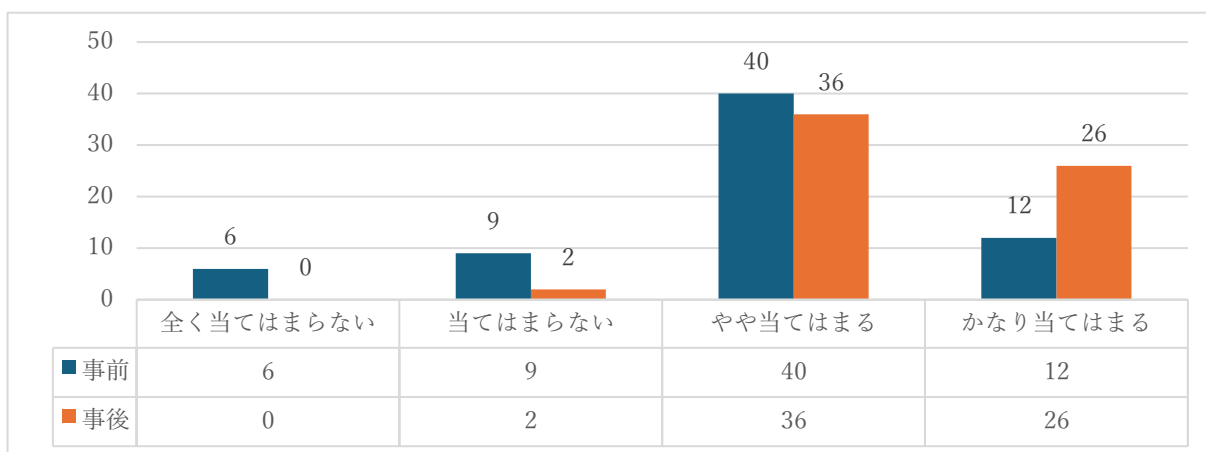
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が71.6%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

11. 保育所における感染症対策ガイドラインを理解している

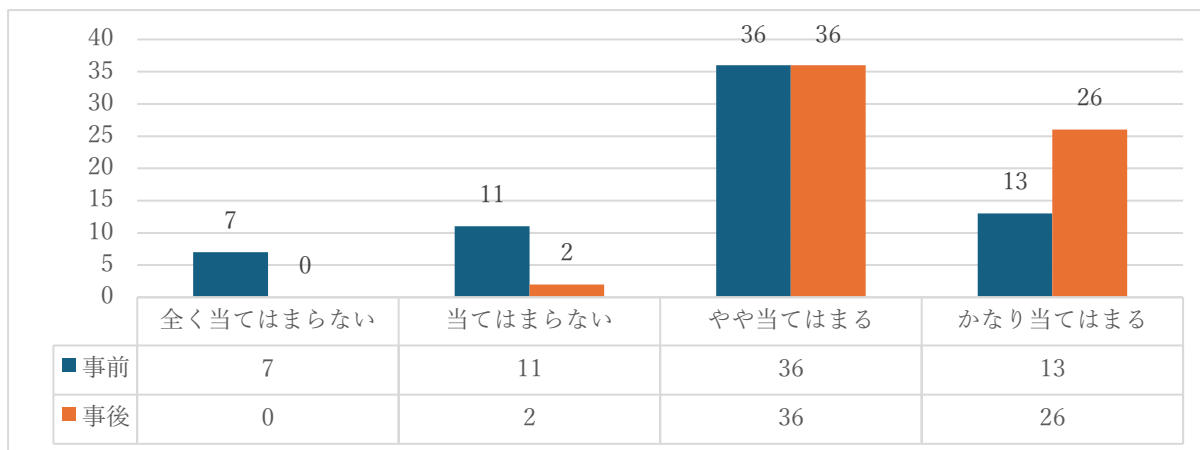
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が77.6%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

12. 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している

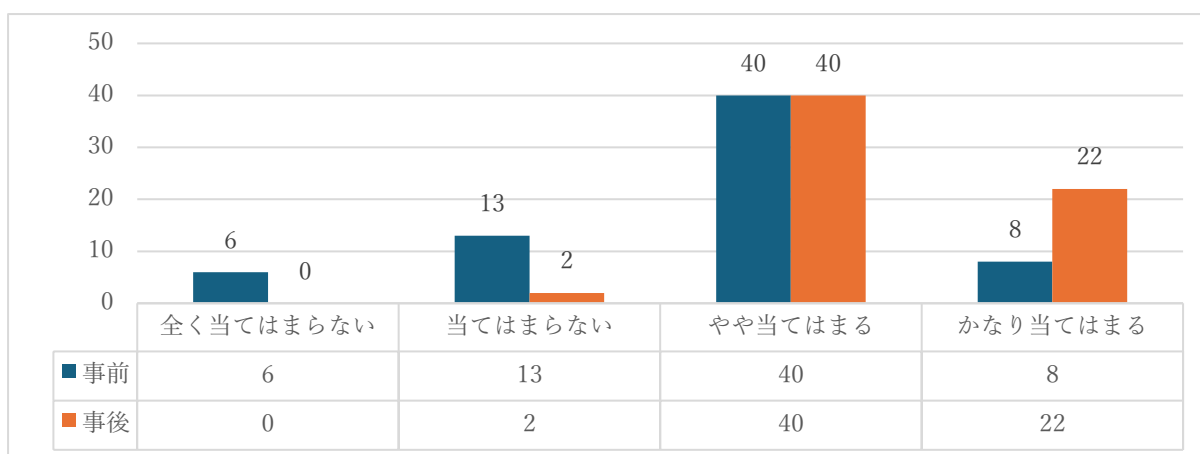
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が73.1%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

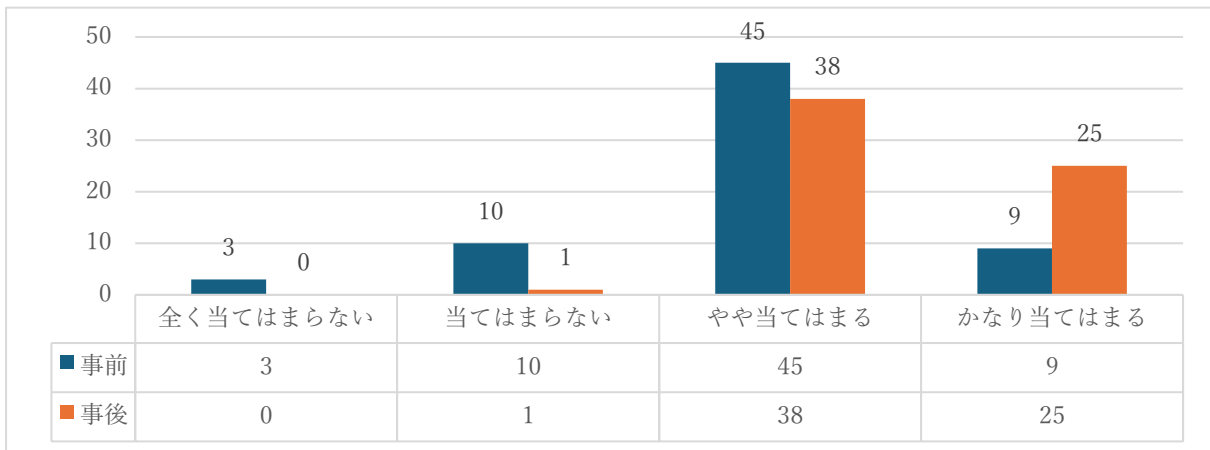
13. 保育所における食事の提供ガイドラインを理解している

(単位：人)



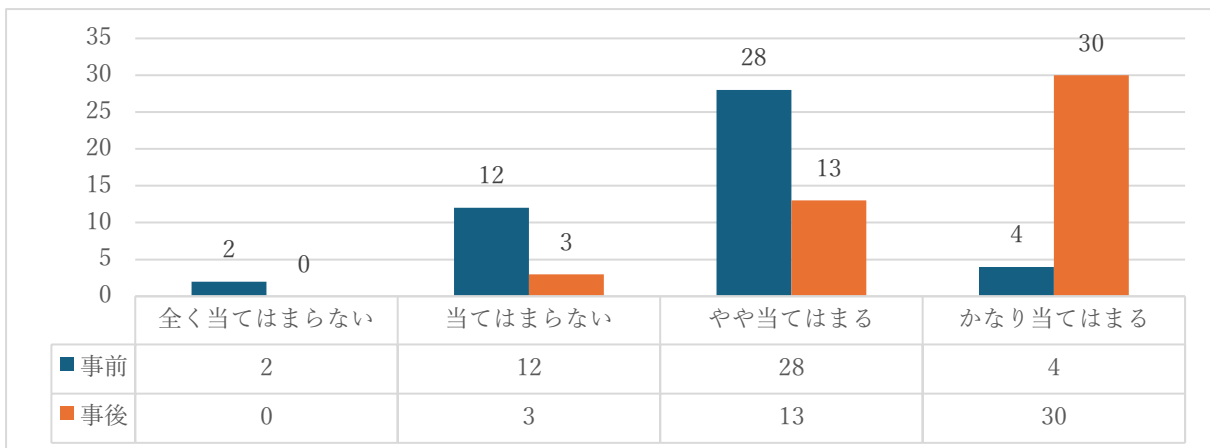
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が71.6%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

14. 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを理解している (単位：人)



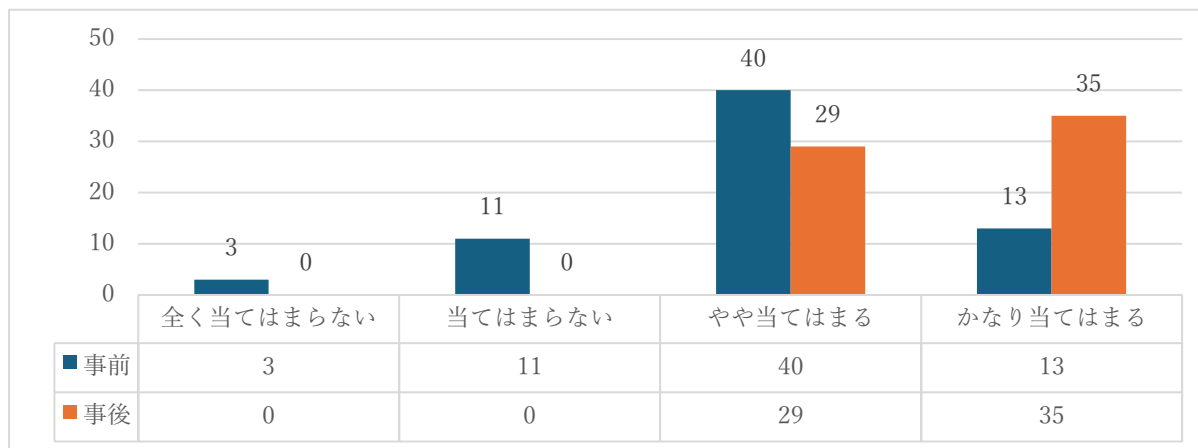
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が80.6%だったが、事後は98.4%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

15. 子育て支援の意義を理解している (単位：人)



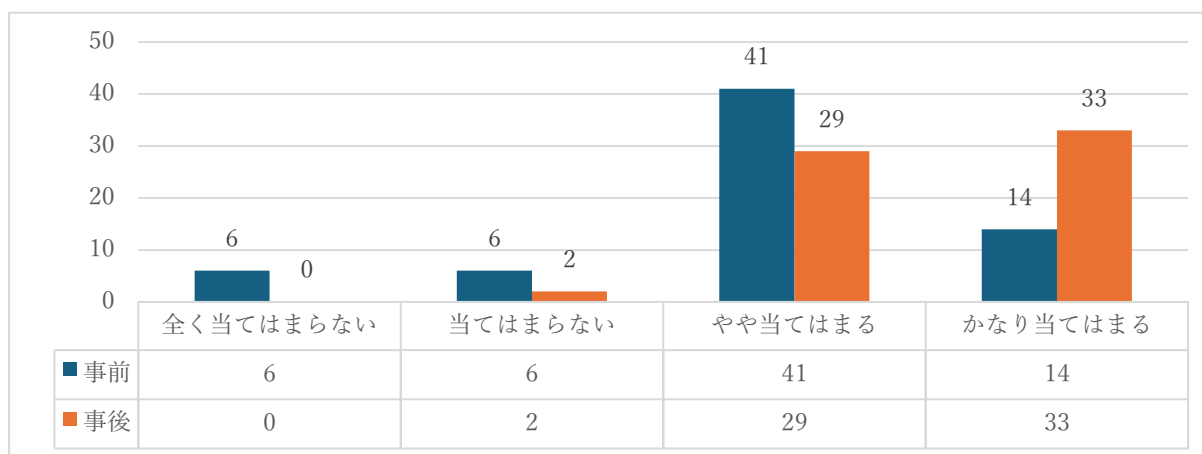
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が69.6%だったが、事後は93.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している (単位: 人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 79.1%だったが、事後は 100%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

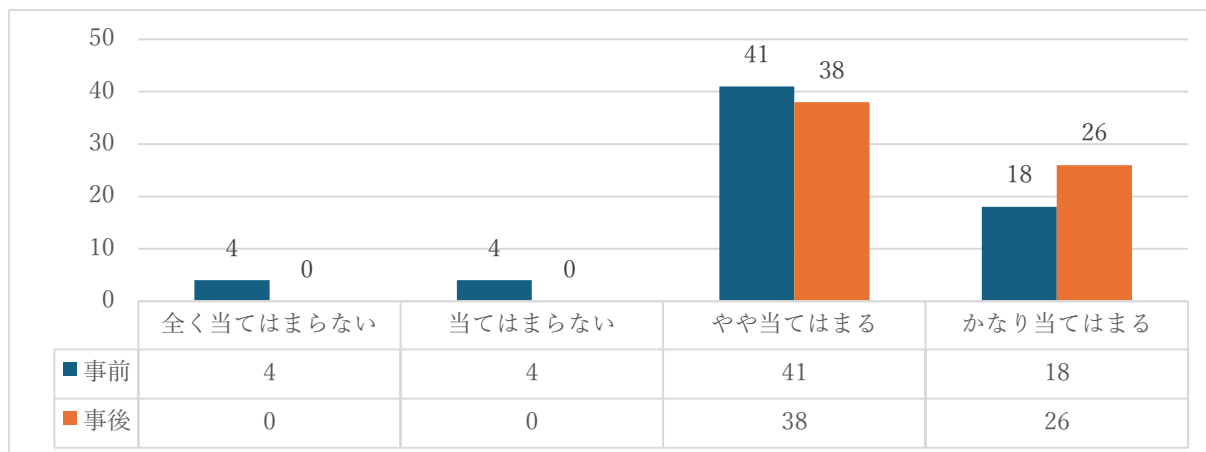
17. 地域における子育て支援を理解している (単位: 人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 82.1%だったが、事後は 96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

18. 児童虐待の防止対策について知っている

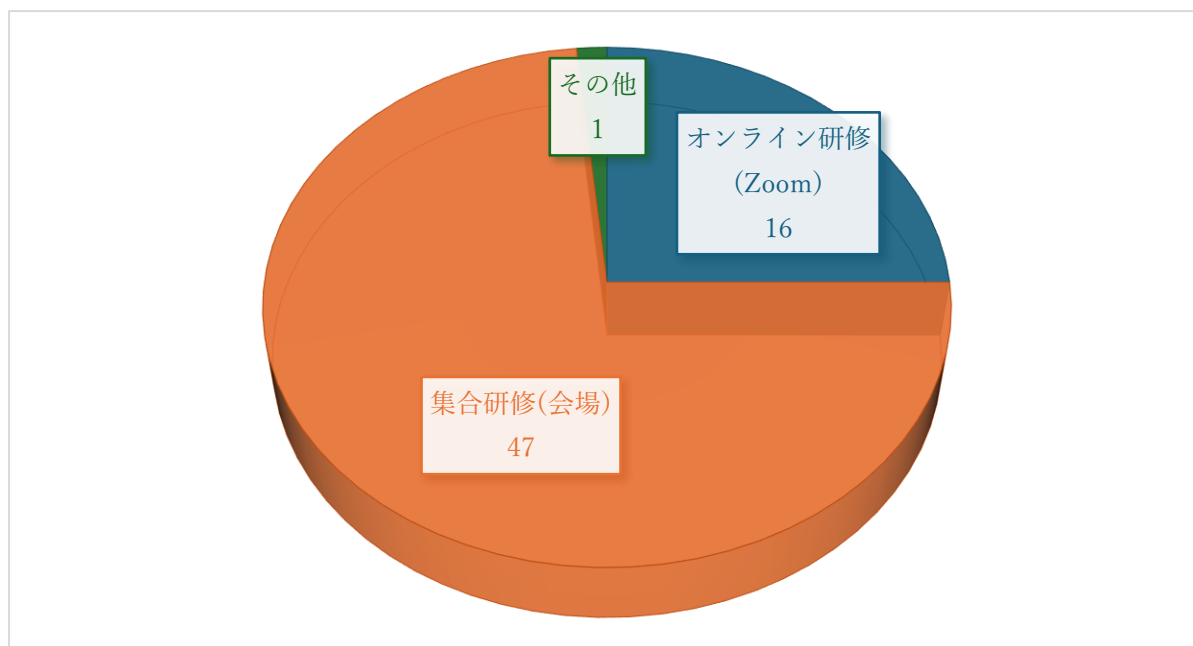
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.9%だったが、事後は40.6%となりもともと当てはまらない方が少ない項目だったものの、効果的に理解していただけたと考える。

19. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）がよいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・保護者対応の実践例
- ・保育の記録における適切な ICT 活用の仕方
- ・食育の重要性と園児に及ぼす傾向について
- ・事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの実例
- ・保育所保育指針について
- ・食物アレルギーと感染症等(ノロ、インフル、コロナ)の詳細な対応と事例
- ・保育士間の人間関係での問題や対応方法。マネジメント技術
- ・保育所長等の役割および運営と法令遵守。運営手段
- ・子育て支援について 個別対応や加配などについて保護者や専門家、担任をつなぐ施設長としての動き方など
- ・各受講生の所属する園等での現状と課題、その内容についての対応方法（成功事例・失敗事例）について

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・職員育成、少子化・定員割れのなかでの保育所経営
- ・障害児保育
- ・より良い保育園経営のノウハウ
- ・保育園運営における事務処理の基礎
- ・保育所保育指針等の深掘り解説
- ・先進的な保育の取り組み、事例
- ・教育・保育施設等における事故防止及び 事故発生時の対応について
- ・ICT 活用事例集など
- ・施設長としての労務管理
- ・業務管理 園長としてのリーダーシップの発揮の仕方・コミュニケーションや指導の仕方

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

- ・研修を受けるまでは、保育についての勉強を行い、先輩方から色々のご指導をいただきましたが、この研修を受けて感じたことは、保育の奥の深さを多岐にわたって、勉強していかなければならないとおもいました。
- ・日程が増えても、有料でもいいので、もう少し実務的に掘り下げてもらう講座があっても良いと思います。
- ・講義の最後に質問の時間をとっていただければよかったですと思います。 ・オンラインと集合で迷いましたが、集合研修を選択して正解でした。 ただ、遠方からの参加となるため移動費や宿泊費が必要になるためできる限り連続した日程で計画していただけると良いと思いました。
- ・時間的制限があるとは思いますが、席が事前に決まっていて、同じ受講生としか話す機会がなかったなので、グループワークの時はシャッフルしてもいいと思いました。
- ・指針やガイドラインを分かり易く説明して頂き大変勉強になりました。 グループワークもあり、他園の意見や情報を聞く事ができ参考になった。 園のタイプによってグループ化されるとより共通項が多く有意義な時間になるのでは？と思いました。
- ・講師の方々のお話しは、全て内容が良かったです。素晴らしい講師陣を揃えていただき、運営の皆様感謝申し上げます。
- ・周りに幼稚園教諭や保育士経験のない先生がいないため、似たような境遇の先生と直接話ができよかったです。 3日間連続した日程だと有難いです。
- ・最終日の高橋先生の講習はかなり面白く時間が短く感じた。やはり現場の出ている先生の講義は役に立ち、保育の歴史がわかり、今後の保育に役に立つ内容でした。本当に勉強になりました。
- ・研修を受けるまでは保育がこんなに深いとは知らず、また間違って認識していた部分に気付きました。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・受講者は、講義だけでなく具体的な事例や他園の取り組み、成功・失敗事例など、より実践的な内容を求めている傾向が非常に強い。
- ・グループワークや他園との交流を通じて、情報共有や意見交換をしたいという要望が多く、他の受講者との繋がりや学びを求めていることがわかる。
- ・保育士不足、保育園運営、労務管理など現場が抱える課題解決に役立つ研修内容を期待している傾向が見られる。

特に多かった回答：

- ・保育所長の役割、業務内容、運営方法、経営、労務管理などに関する詳細な情報を求める声が多く、特に具体的な事例や実務に即した内容を期待していることがわかる。
- ・子どもの発達段階に応じた保育内容、具体的な保育方法、配慮を要する子どもへの対応など、保育の実践に役立つ情報を求めている声が多い。
- ・保育所保育指針の内容をより深く理解したいという要望や、現場でどのように活用すれば良いかを知りたいという意見が多く見られる。
- ・グループワークの時間を増やしてほしい、他の受講者と意見交換や情報共有したいという要望が非常に多く、研修における交流の重要性が示唆される。

これらの回答結果から、受講生は講義による知識習得だけではなく、具体的な事例や他園の状況なども参考にしながら、実践的なスキルを身につけたいと考えていることが強く伺える。

また、他の受講者との交流や情報交換を通じて、自身の課題解決や知識向上につなげたいという意欲も高いことがわかる。

改善策：

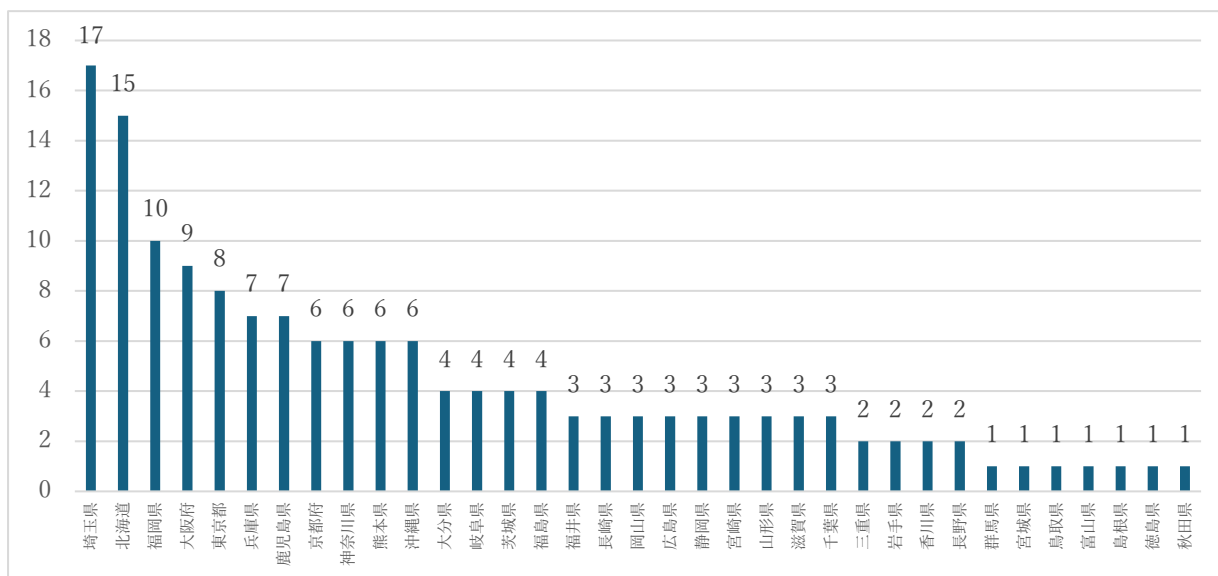
講義だけでなく、実際の事例や他園での取り組み、成功事例や失敗事例等、より実践的な内容を求める声が多いことから、より実践的で実務に即した内容を取り入れる等、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

また、グループワークの規模や運営形態・認種別が近い形で編成して欲しいという要望があがっていた。グループワークの編成のために、次年度は募集時に所属する保育所の入所定員・職員数等をヒアリングすることも必要かと考える。

4-3. 初任保育所長等（就任予定者）研修（オンライン型） 講義内容の 評価・改善策

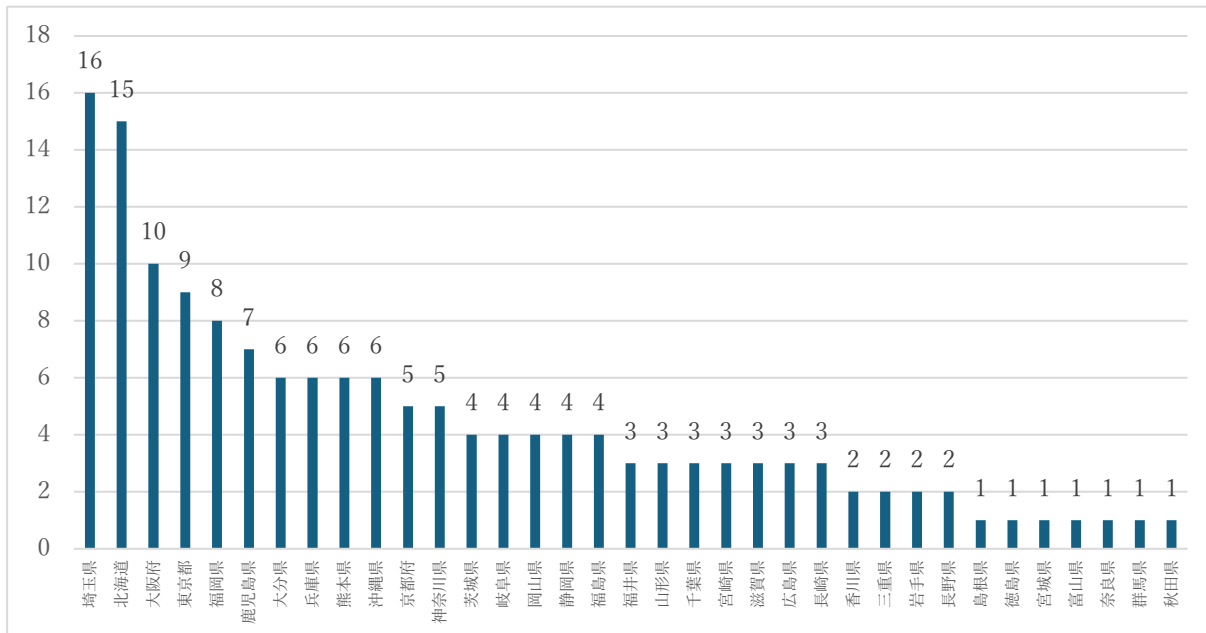
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



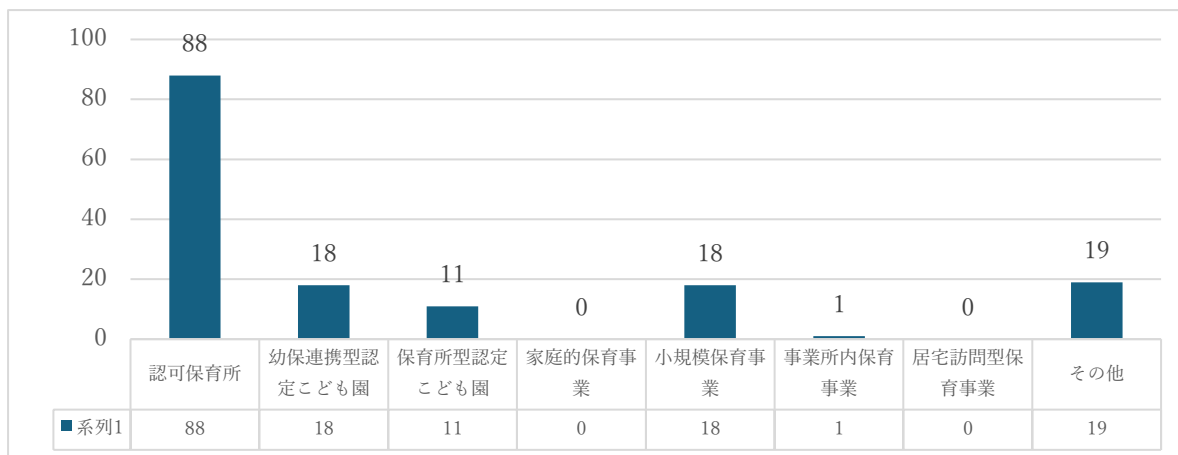
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



勤務先施設類型

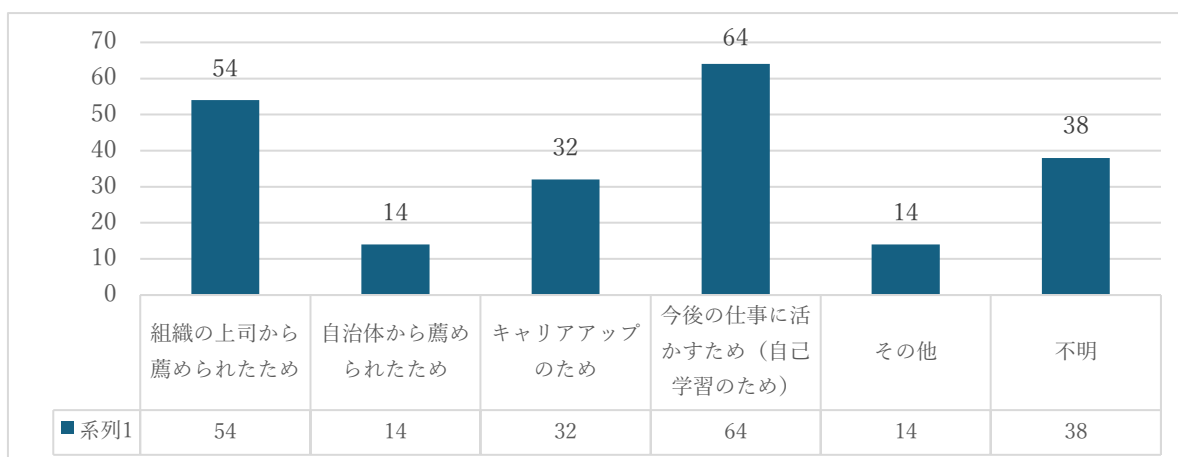
(単位：人)



その他：企業主導型保育園 等

1. 研修受講理由

(単位：人)

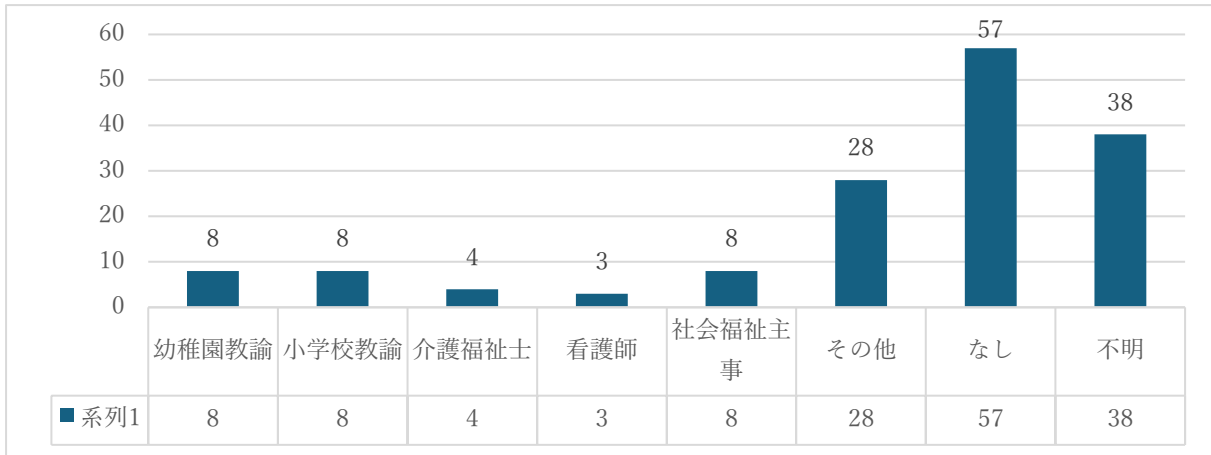


その他の受講理由

- ・ 保育園の施設長に就任するため
- ・ 北海道空知振興局からの指導
- ・ 宮崎市から委託から施設長加算のため
- ・ 施設長加算の要件であるため
- ・ 世代交代 等

2. 保有している資格(複数選択可)

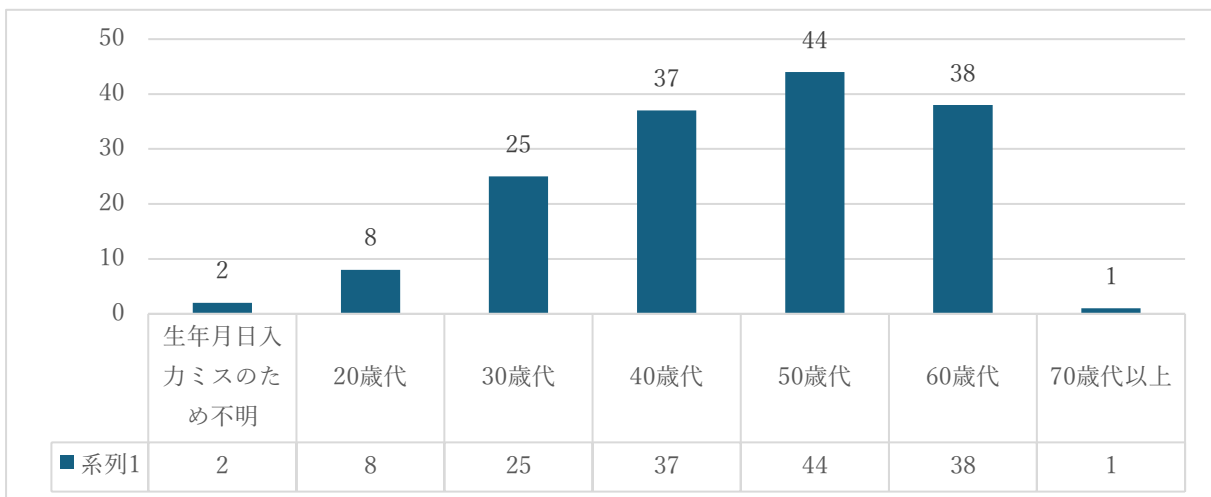
(単位：人)



その他：作業療法士、言語聴覚士 等

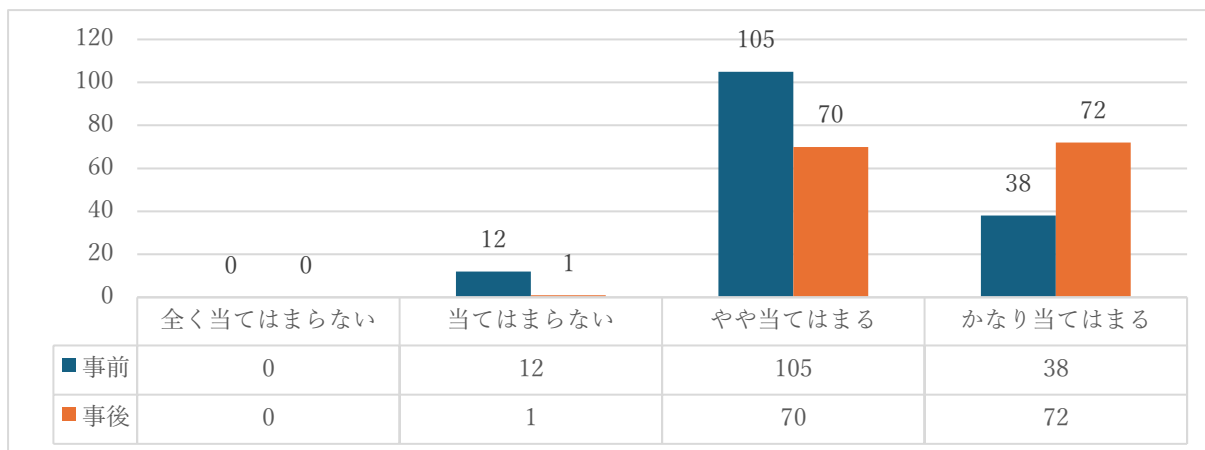
3. 年代

(単位：人)



4. 子育てを取り巻く社会的な状況を理解している

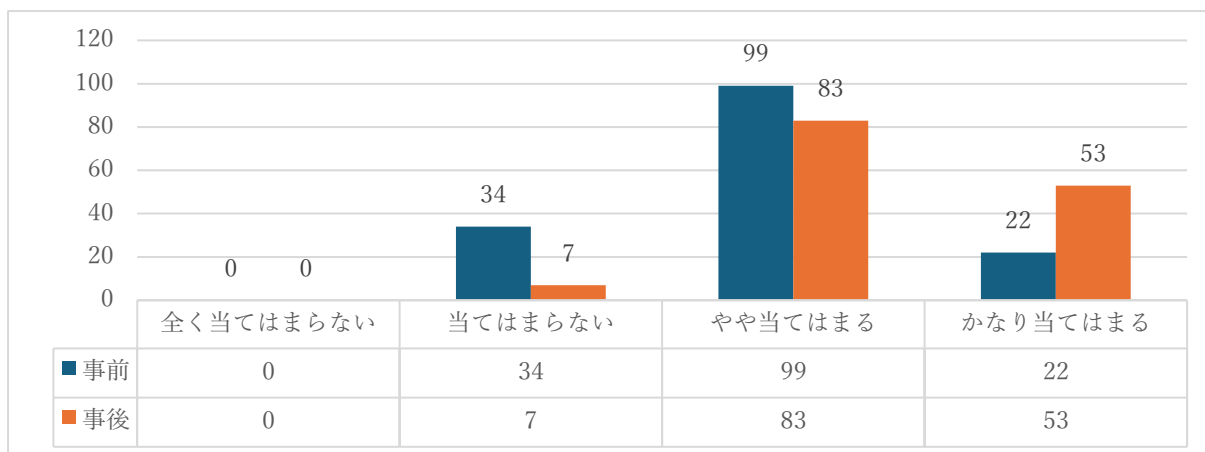
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が92.3%だったが、事後は99.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

5. 保育制度の動向を知っている

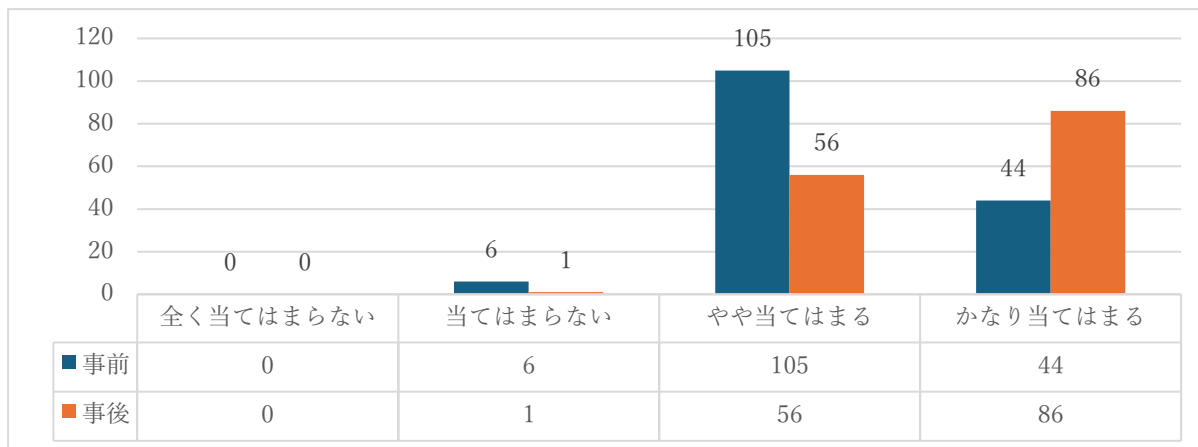
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が78.1%だったが、事後は95.1%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

6. 保育所等の社会的役割を理解している

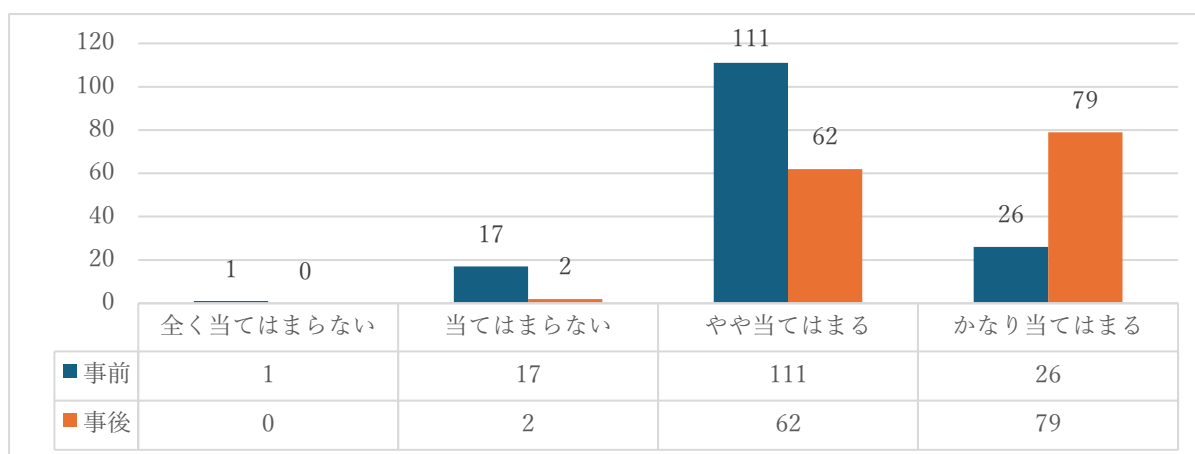
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が28.4%だったが、事後は60.1%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所長等の役割を理解している

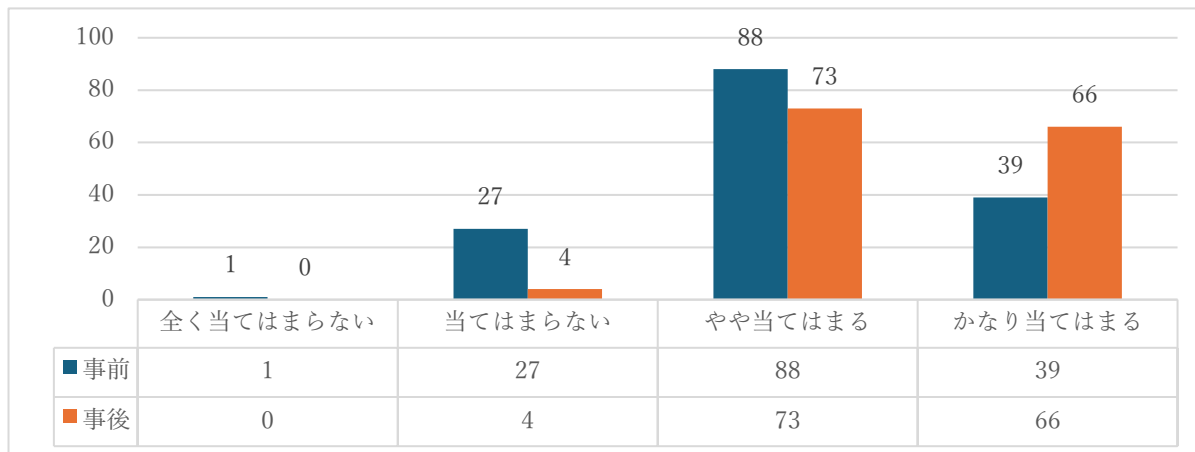
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が16.8%だったが、事後は55.0%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育所等の運営と法令遵守を理解している

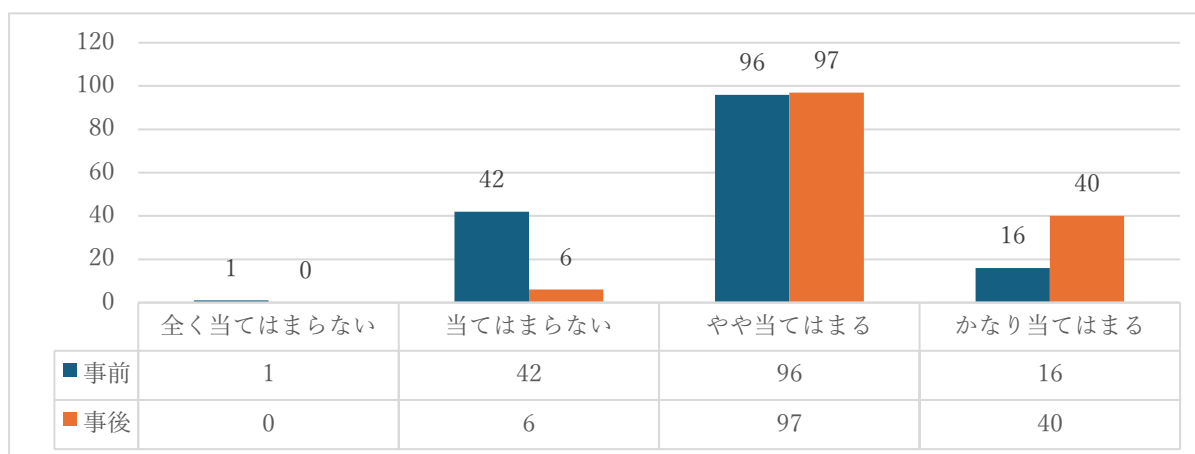
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が25.2%だったが、事後は46.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

9. 乳幼児期の発達の特性および発達過程を理解している

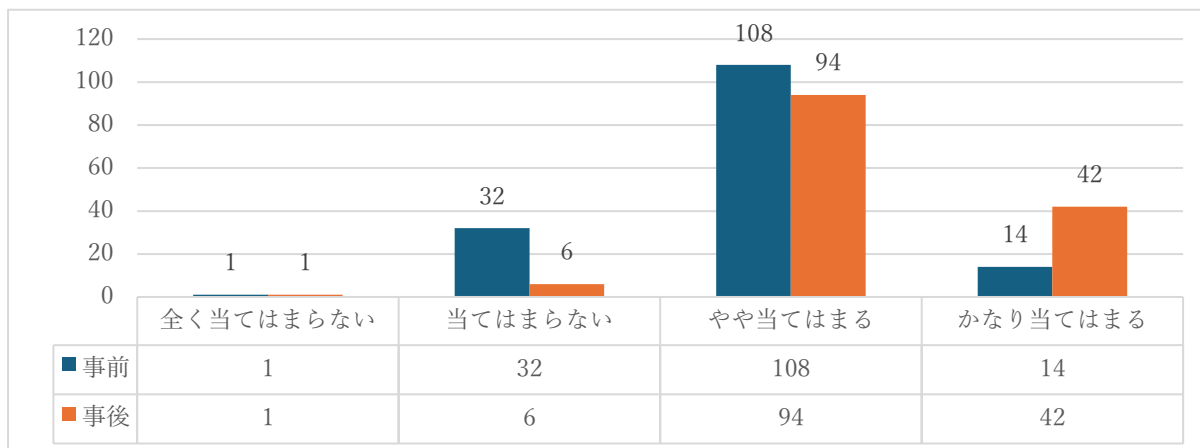
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が72.3%だったが、事後は95.8%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考えられる。

10. 保育所保育指針を理解している

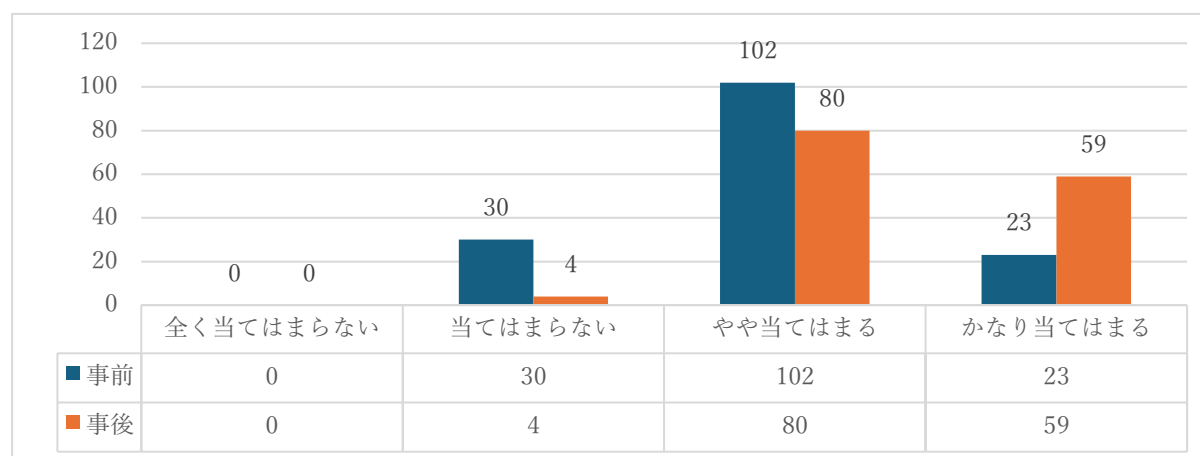
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が78.7%だったが、事後は95.1%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

11. 保育所における感染症対策ガイドラインを理解している

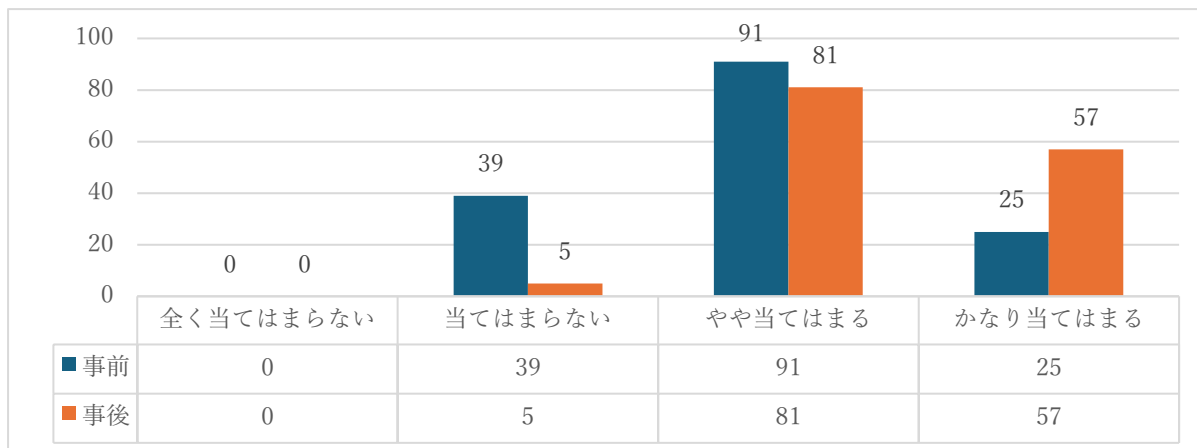
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が80.6%だったが、事後は97.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

12. 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している

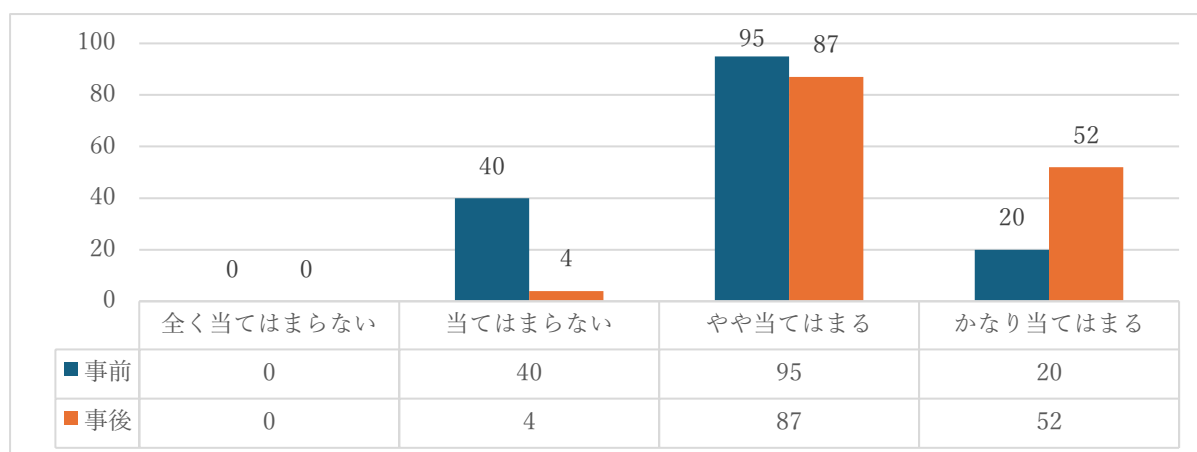
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が74.8%だったが、事後は96.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

13. 保育所における食事の提供ガイドラインを理解している

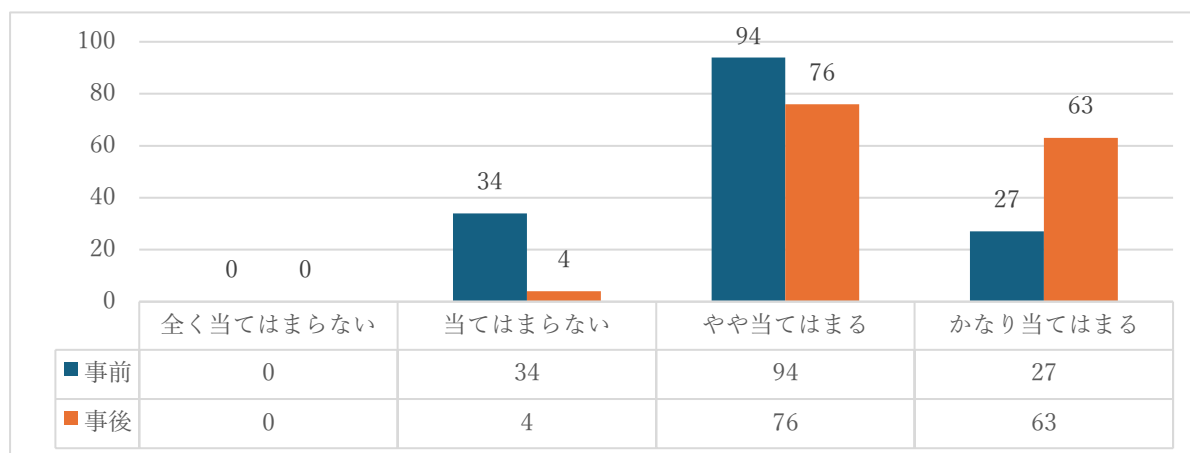
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が74.2%だったが、事後は97.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

14. 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを理解している

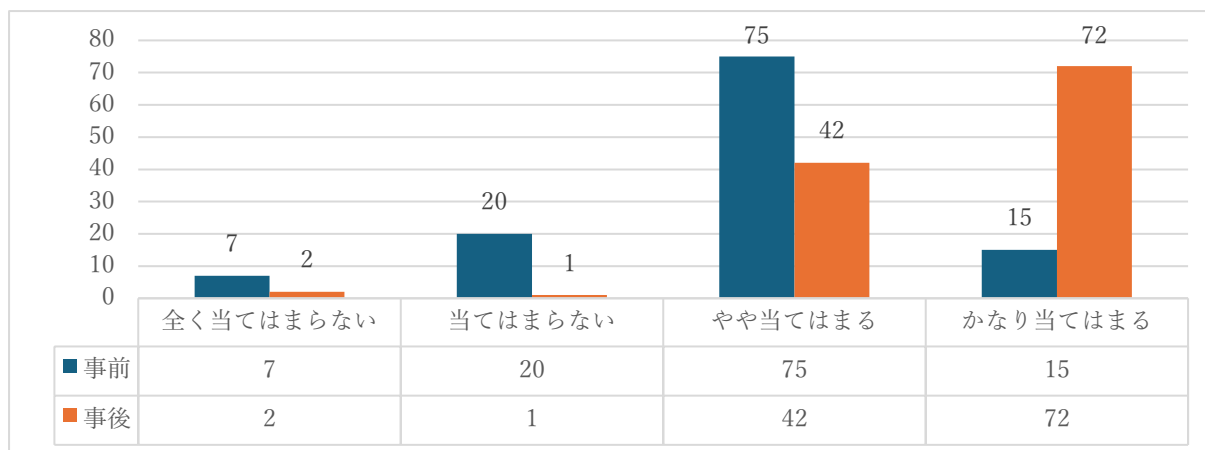
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が78.1%だったが、事後は97.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

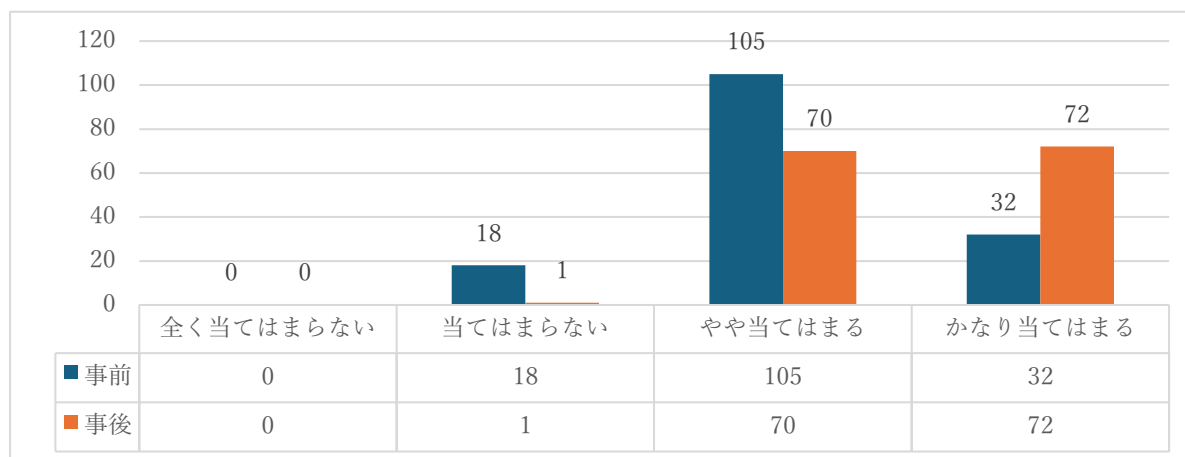
15. 子育て支援の意義を理解している

(単位：人)



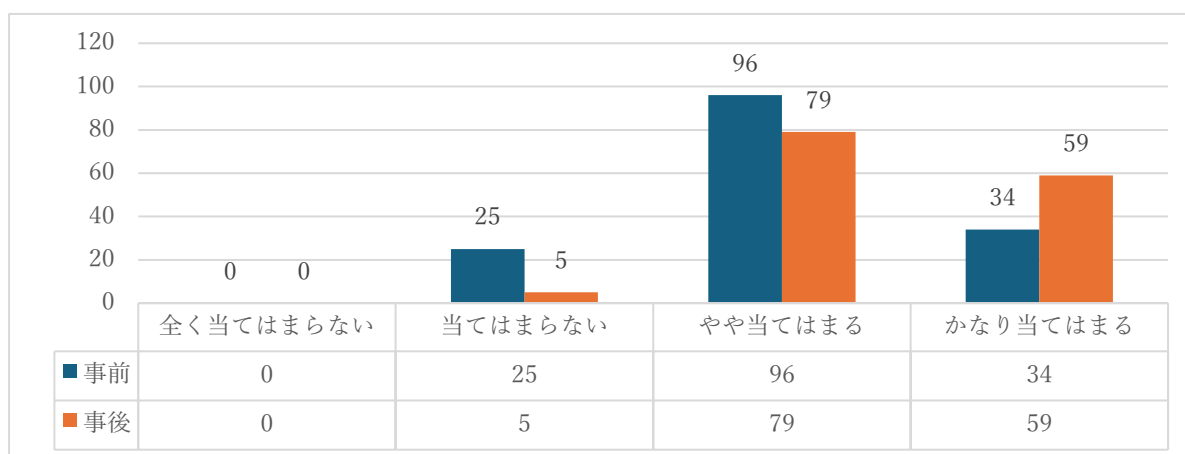
事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が76.9%だったが、事後は97.4%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している (単位: 人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が88.4%だったが、事後は99.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

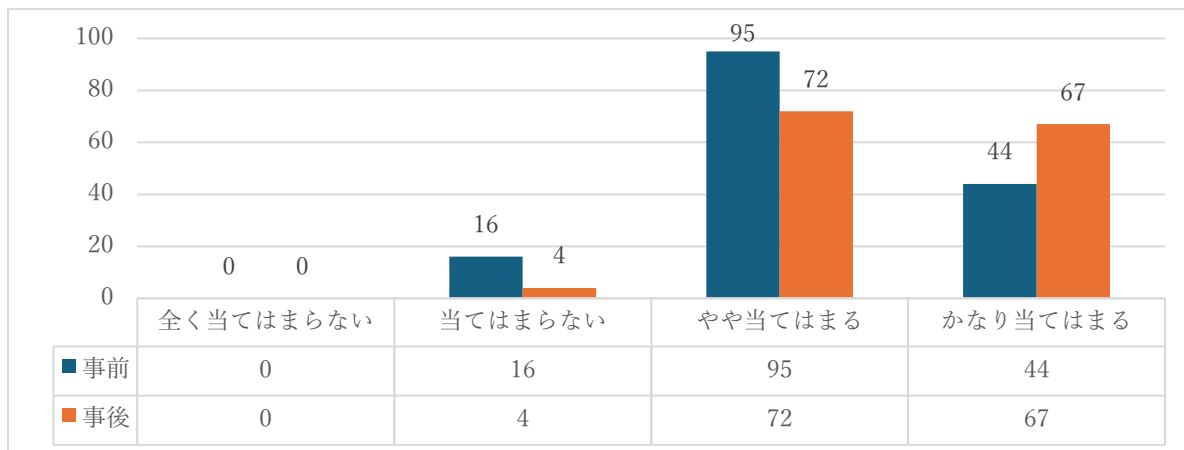
17. 地域における子育て支援を理解している (単位: 人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が83.9%だったが、事後は96.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

18. 児童虐待の防止対策について知っている

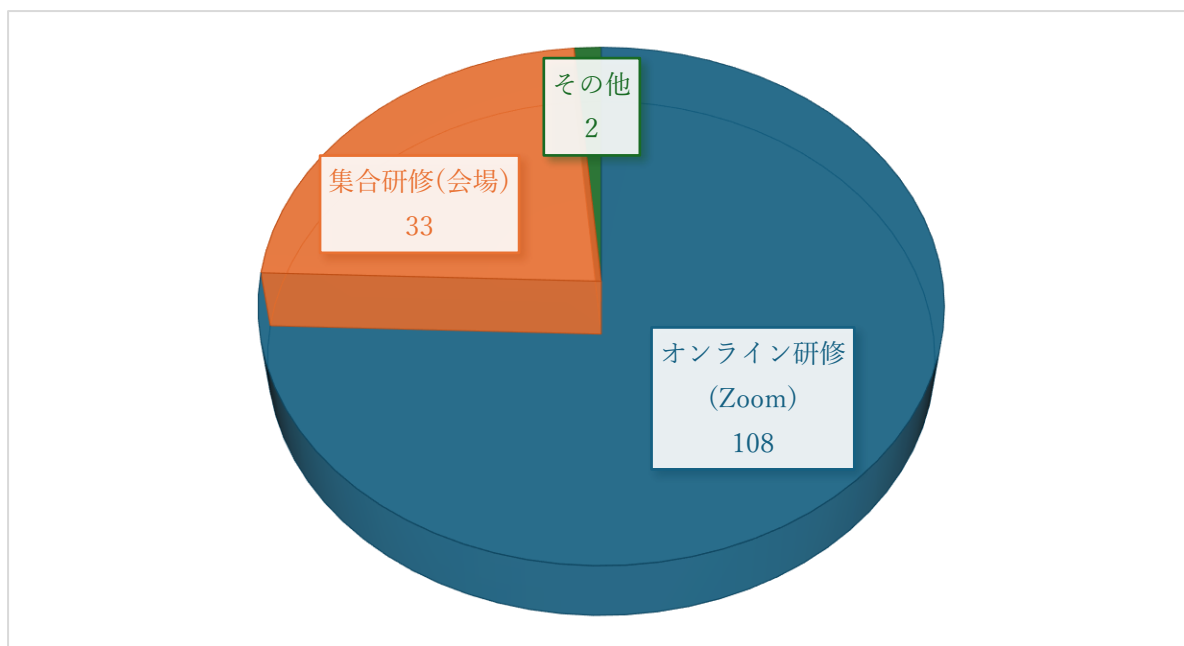
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が28.4%だったが、事後は46.9%となりもともと当てはまらない方が少ない項目だったものの、効果的に理解していただけたと考える。

19. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらがよいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・ ICT 化を取りいれている保育園の状況をもっと深く知りたかった
- ・ 今後の望まれる保育園運営 経営について
- ・ 誰でも通園制度を取り入れた園について等
- ・ 地域や保護者との関わりの実際
- ・ 「保育所長等の役割」 子どもたちの保育現場である園の運営にあたっての園長の果たすべき役割
- ・ 「保育所等における健康・安全」について、詳しく知りたいと思った。事故の具体的事例とそのときとるべき行動について、具体的事例を交えて学びたい
- ・ 国の施策、制度の動向、方向性など
- ・ 保護者支援をもう少し具体的なケースで学びたかった。苦情相談など
- ・ インクルーシブ教育の観点からの保育 ・ 主体的遊びの具体的保育の実践例とその解説

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ 災害時などのリスクマネジメント
- ・ 保育所長としての、各地域機関との実際の連携の取り方や、経営の留意点
- ・ 保育の心理学 発達心理学 教育心理学
- ・ 保育所運営における ICT の利活用の具体例とその成果と課題
- ・ 保育所経営の会計管理・財務管理について
- ・ 障害児保育について
- ・ 世界の保育 国を例に挙げながら日本との違いなど
- ・ 法的な知識で、保育園における法的なルールや規制について
- ・ 人材育成について
- ・ 保護者対応ガイドライン
- ・ 保育士のメンタルケア
- ・ 他園の具体的な取り組み事例
- ・ 財務・人事労務

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・今回の研修は非常に充実しており、保育所長としての役割や責務について改めて考える貴重な機会となりました。今後も継続的にこうした学びの機会があると嬉しいです。また、実践的な演習や事例共有の時間が増えることで、さらに深い理解が得られると感じました。

・今年度から所長に就任したが、保育業界での経験も浅いため、不安なまま日々を過ごしている状態であった。そのような中、今回の研修では、保育所運営、保育、子育て支援などの基本的なことから教わる機会、また、話し合う機会をいただき、今後につながる大変有意義な時間だった。その他、たくさんの園での ICT や SNS の利用など、様々な意見も行けて大変参考になった。今回の研修で学んだことを今後に生かしていきたい。

・短時間の情報交換を効果的にするために、グループ構成を園の規模や保育園での就労経験別にしていただくと背景が理解しやすかったと思います。

・研修全体を通して、非常に有意義な時間を過ごすことができました。内容は実践的かつ具体的で、自分の業務に直結するスキルや知識を学ぶことができました。また、講師の説明が明確で、事例を交えた話が大変分かりやすかったです。進行や時間配分もスムーズで、集中して研修に取り組むことができました。一方で、グループワークの時間がもう少しあるとより他の園の様子が知れもっと理解が深まったと感じました。全体的には非常に満足しており、今後もこのような研修を継続的に受けられると嬉しいです。

・3日間という短い時間の中、施設長として最低限知っておくべきことをお教えいただきとても感謝しています。先生方のお話の仕方や言葉選びも素敵でこれまで受けた研修よりも集中して受講できたように感じます。

・●講師の方々の心からの言葉や、子ども達への思い、受講者がわかりやすい様な工夫。 ●グループでの討論でも、皆さんが真剣に取り組んでおられ、全体的な意識の高さを感じました。 ●勉強したテキストは非常に貴重なモノだと思います。この先も繰り返し読んで、仕事に生かしていきたいと思います。

・はじめての保育所長研修でしたが、すごくわかりやすく、実際の現場ですぐに伝え使っていきたい内容でした。講師の先生は、日頃は具体的にどんなことをされている先生か知りたい

・就任予定者研修なので、まだなっていないとか現場のことがわからない等、発言を避ける方が多かったので、今置かれている立場からの経験やこれからのビジョンなども聞けると良かったと思う。できれば、分野別に色々なグループで対話できた方が多くの学びが得られたと思う。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・受講者は、講義だけでなく具体的な事例や他園の取り組み、成功・失敗事例など、より実践的な内容を求めている傾向が非常に強い。
- ・グループワークや他園との交流を通じて、情報共有や意見交換をしたいという要望が多く、他の受講者との繋がりや学びを求めていることがわかる。
- ・保育士不足、保育園運営、労務管理など現場が抱える課題解決に役立つ研修内容を期待している傾向が見られる。

特に多かった回答：

- ・保育所長の役割、業務内容、運営方法、経営、労務管理などに関する詳細な情報を求める声が多く、特に具体的な事例や実務に即した内容を期待していることがわかる。
- ・子どもの発達段階に応じた保育内容、具体的な保育方法、配慮を要する子どもへの対応など、保育の実践に役立つ情報を求めている声が多い。
- ・保育所保育指針の内容をより深く理解したいという要望や、現場でどのように活用すれば良いかを知りたいという意見が多く見られる。
- ・グループワークの時間を増やしてほしい、他の受講者と意見交換や情報共有したいという要望が非常に多く、研修における交流の重要性が示唆される。

これらの結果から、受講生は講義による知識習得だけではなく、具体的な事例や他園の状況なども参考にしながら、実践的なスキルを身につけたいと考えていることが強く伺える。

また、他の受講者との交流や情報交換を通じて、自身の課題解決や知識向上につなげたいという意欲も高いことがわかる。

改善策：

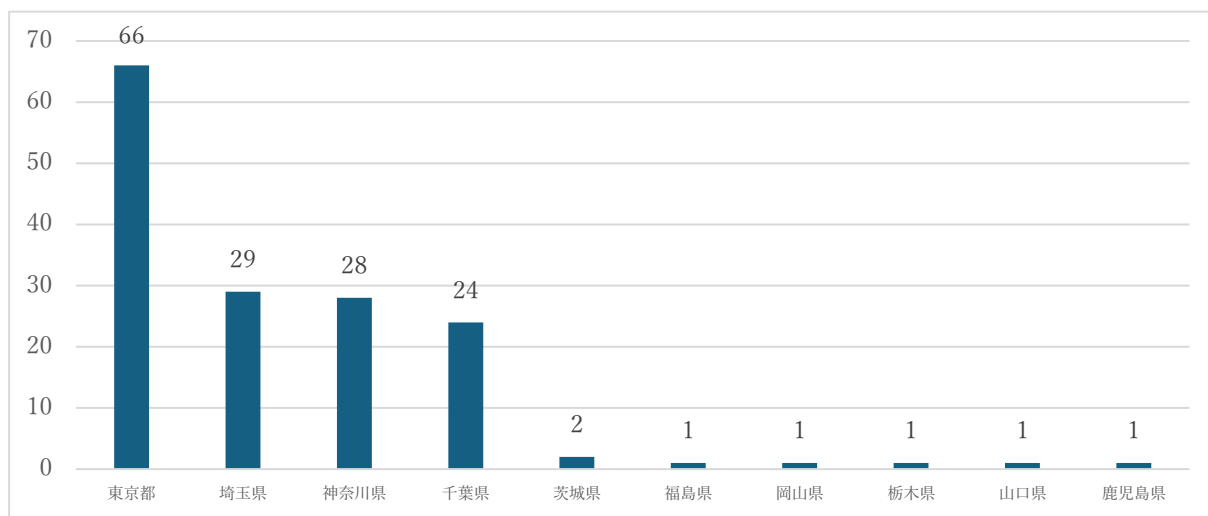
講義だけでなく、実際の事例や他園での取り組み、成功事例や失敗事例等、より実践的な内容を求める声が多いことから、より実践的で実務に即した内容を取り入れる等、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

また、グループワークの規模や運営形態・認種別が近い形で編成して欲しいという要望があがっていた。グループワークの編成のために、次年度は募集時に所属する保育所の入所定員・職員数等をヒアリングすることも必要かと考える。

4-4. 初任主任保育士研修（集合型） 講義内容の評価・改善策

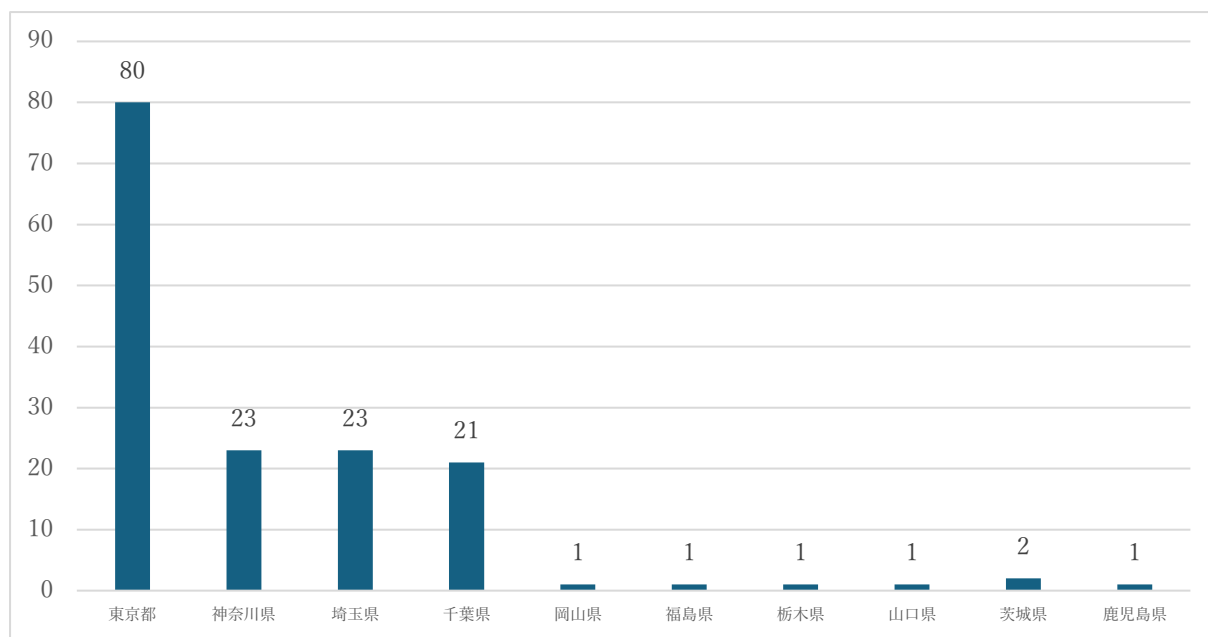
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



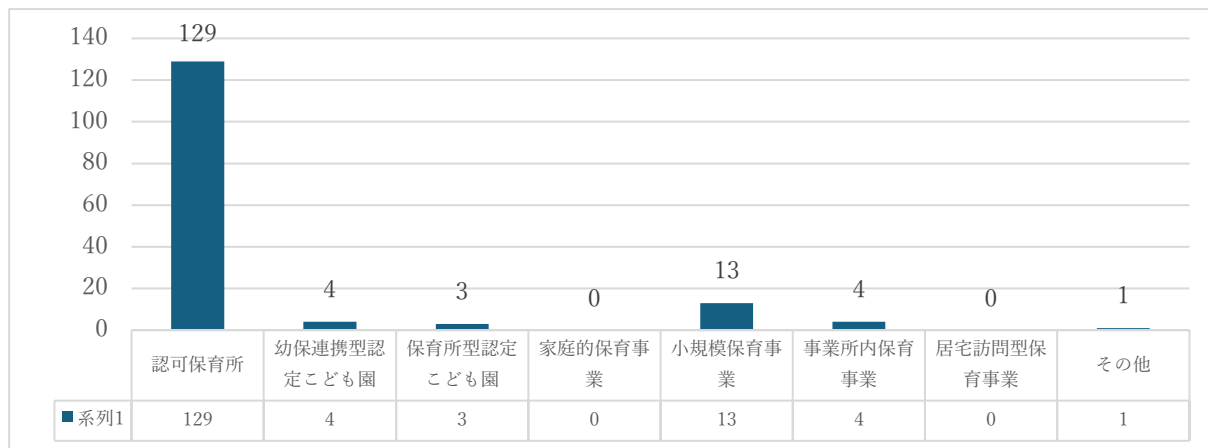
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



勤務先施設類型

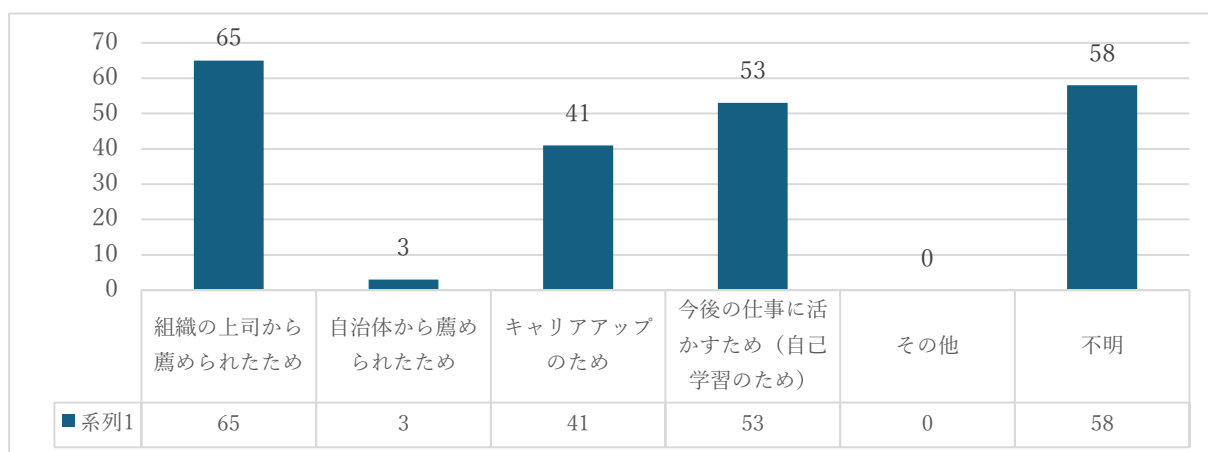
(単位：人)



その他：一時保育室 等

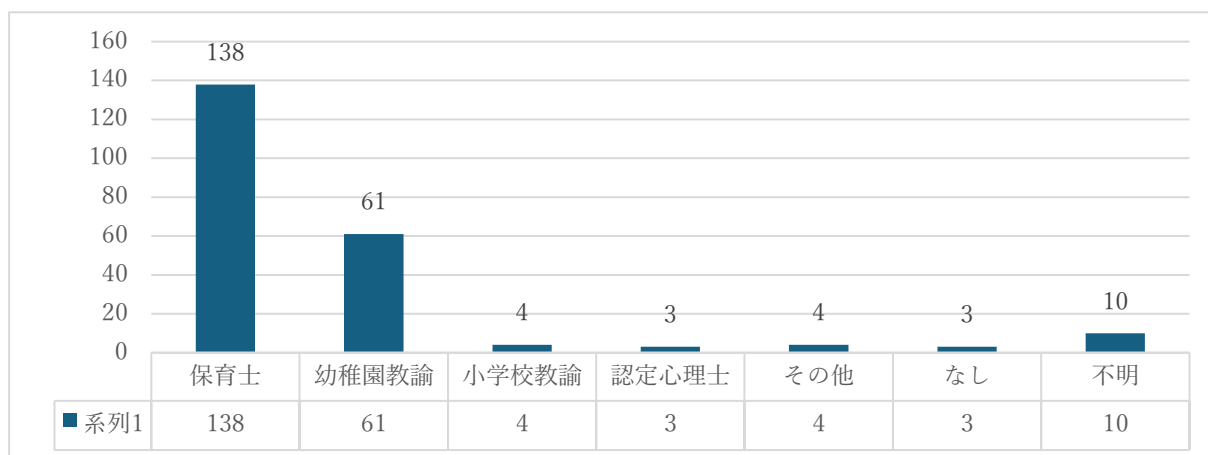
1. 研修受講理由

(単位：人)



2. 保有している資格(複数選択可)

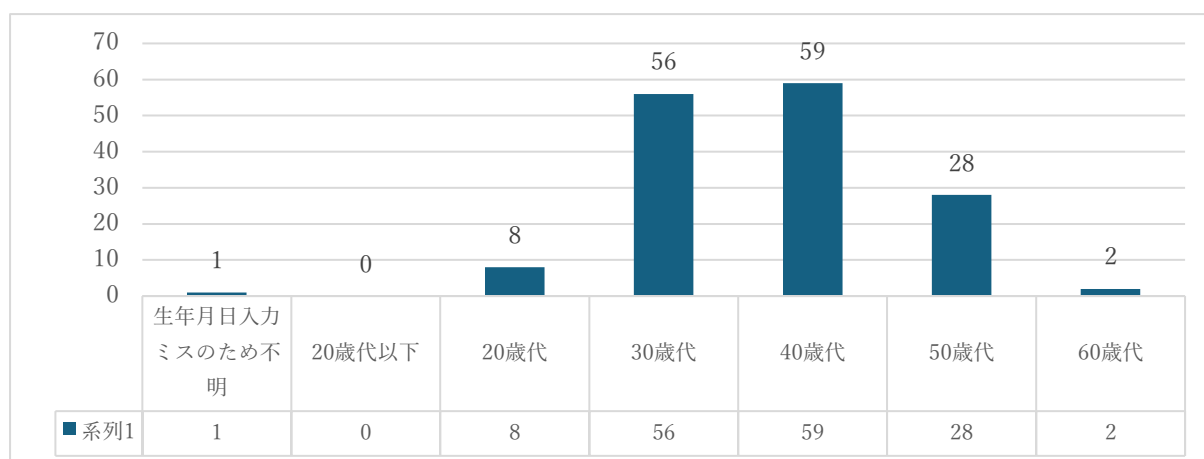
(単位：人)



その他：児童発達支援士、特別支援教諭 等

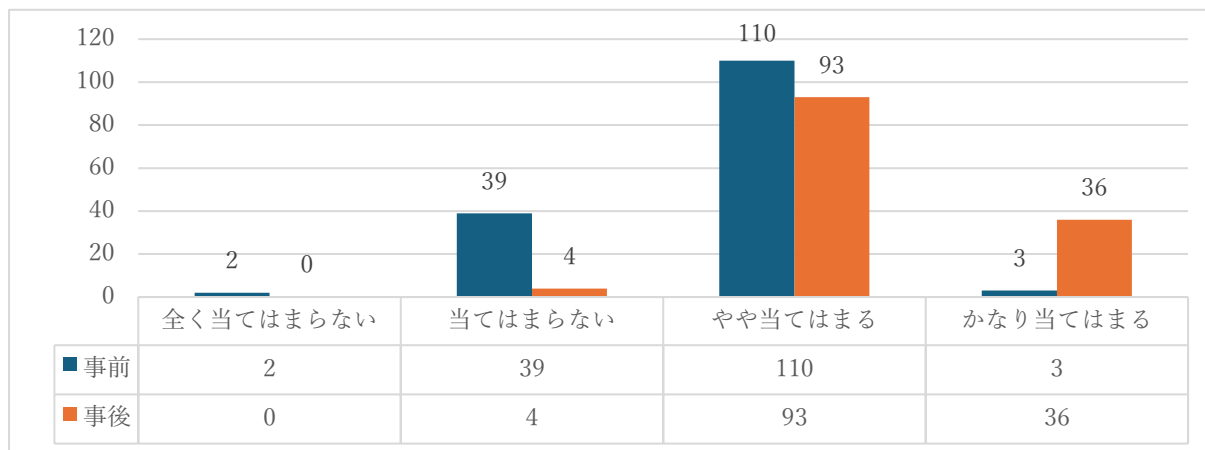
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

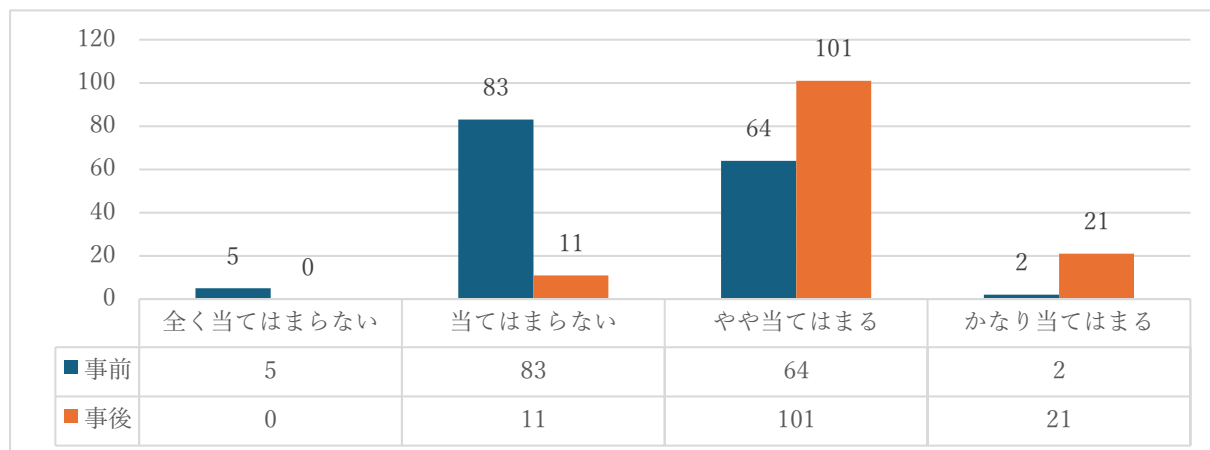
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が73.4%だったが、事後は97.0%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

5. 関係法令等を知っている

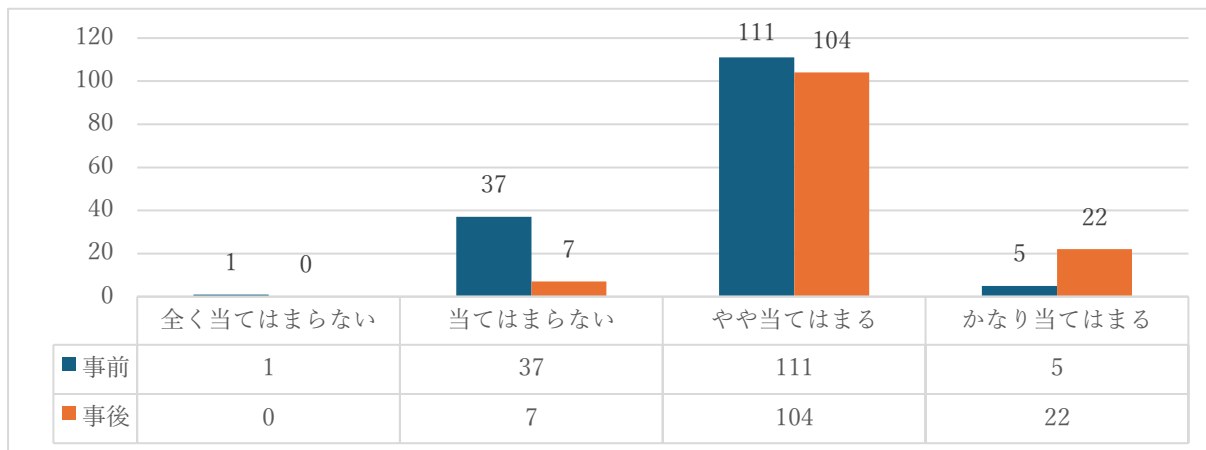
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が42.9%だったが、事後は91.7%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

6. 保育所等における各種ガイドラインを理解している

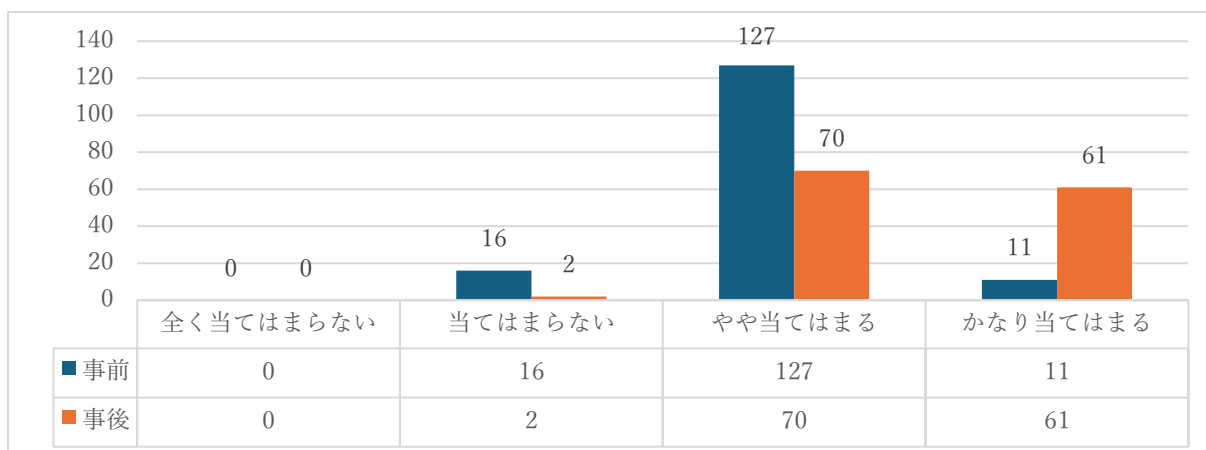
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が75.3%だったが、事後は94.7%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している

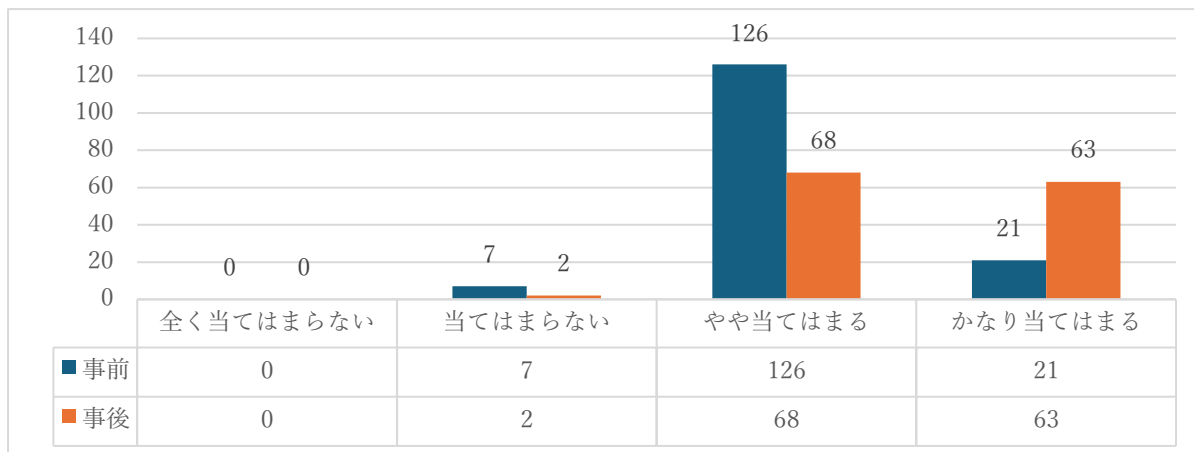
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が7.1%だったが、事後は45.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育現場におけるリーダーシップを理解している

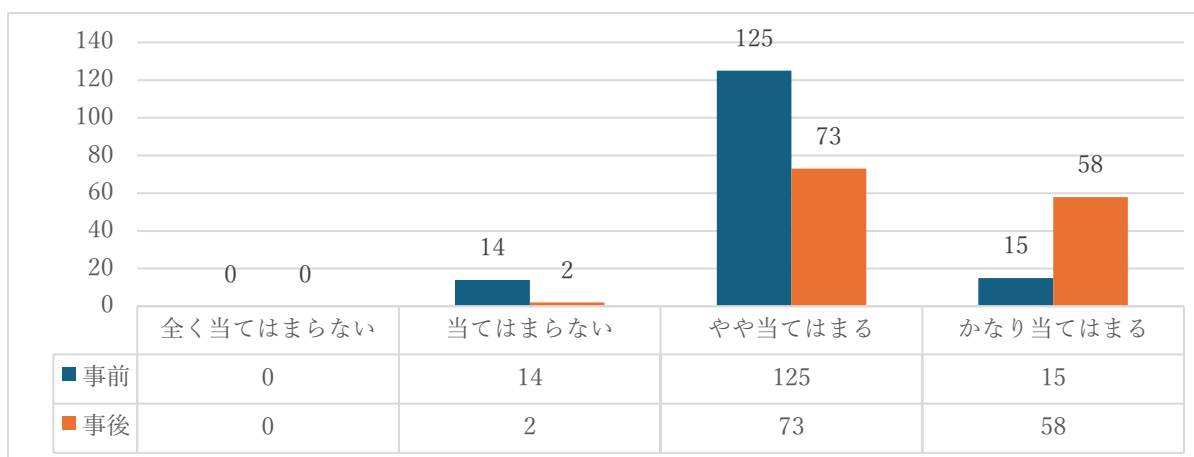
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が13.6%だったが、事後は47.4%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 保育現場における課題への対応を理解している

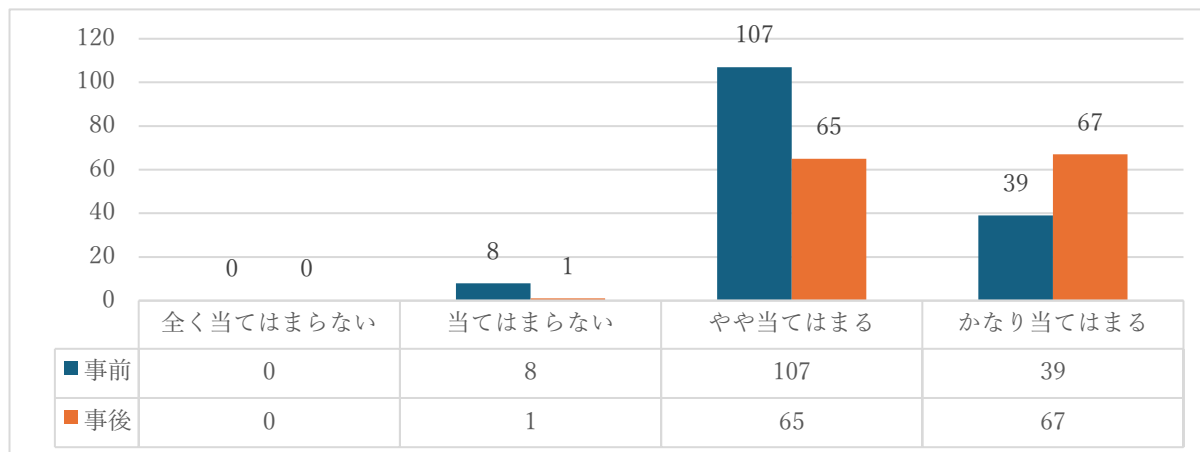
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が9.7%だったが、事後は43.6%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 子どもの発達を踏まえた保育実践を理解している

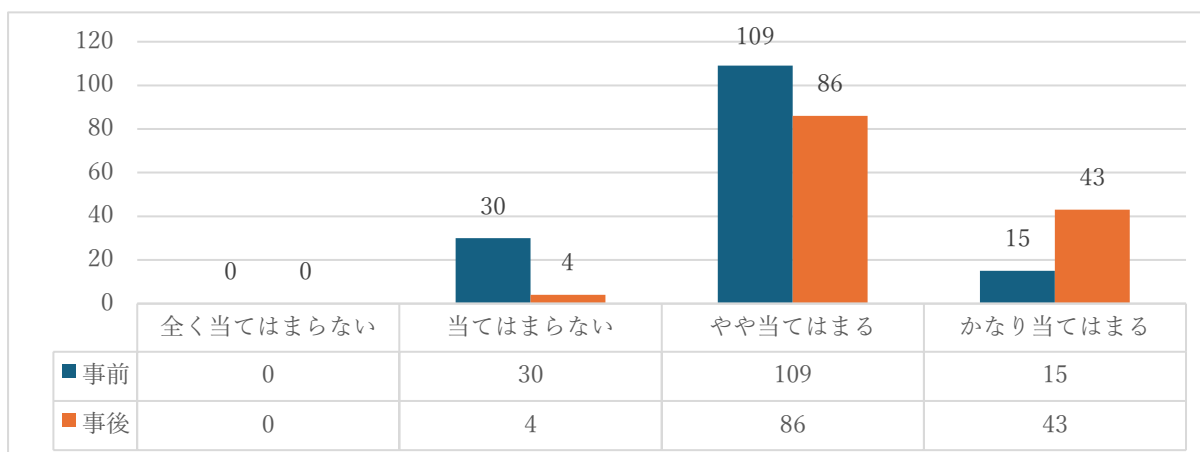
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が25.3%だったが、事後は50.4%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

11. 保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している

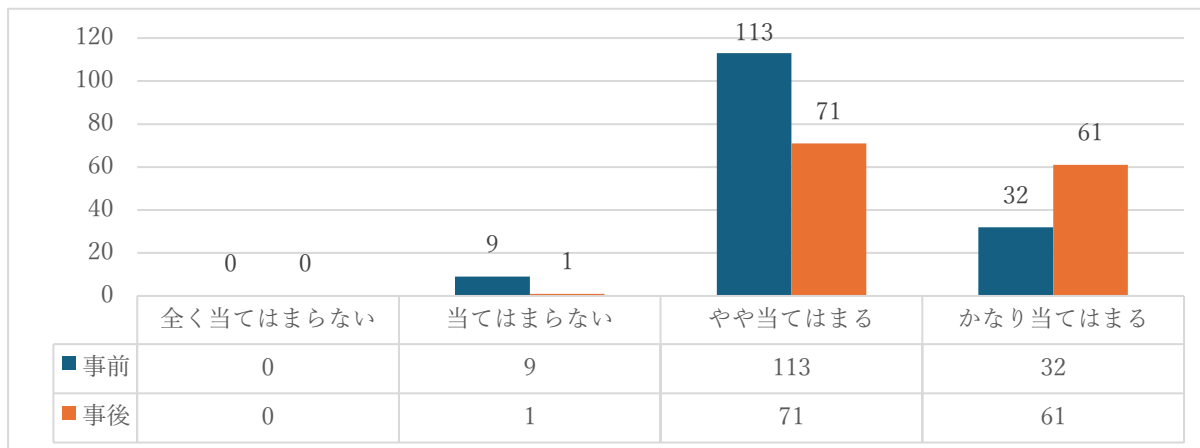
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が9.7%だったが、事後は32.3%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

12. 保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している

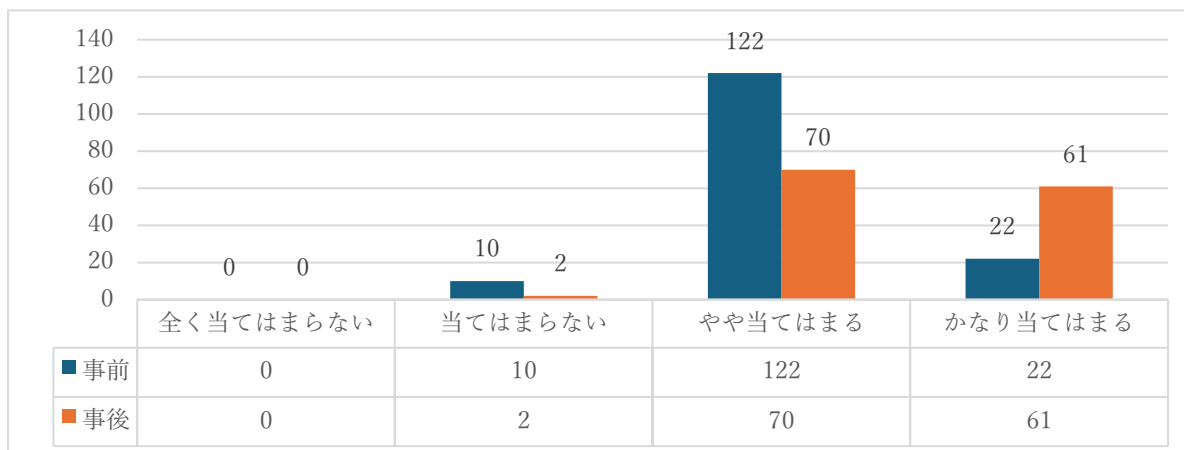
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 20.8%だったが、事後は 45.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

13. 職員の資質向上を理解している

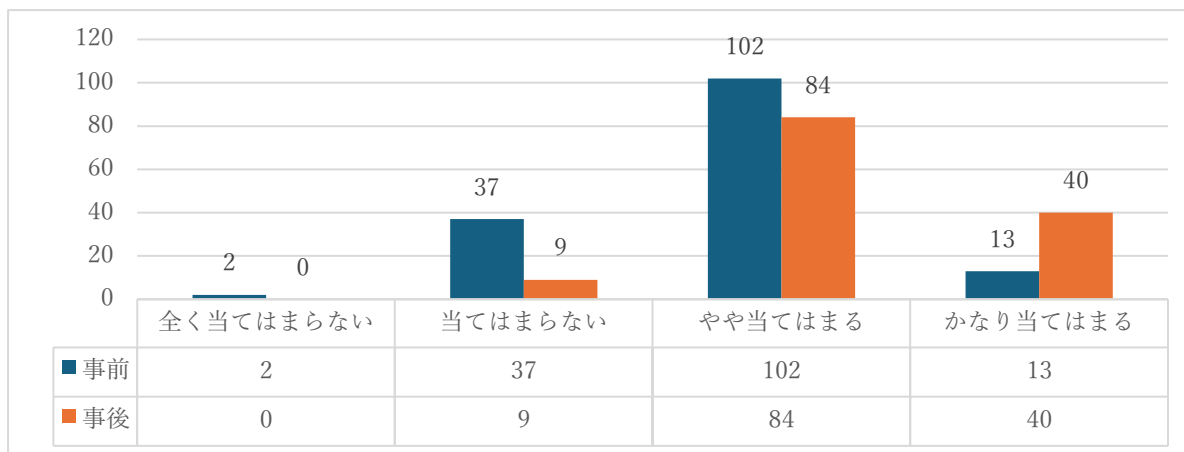
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が 14.3%だったが、事後は 45.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考えられる。

14. 職場における研修の企画立案・実施を理解している

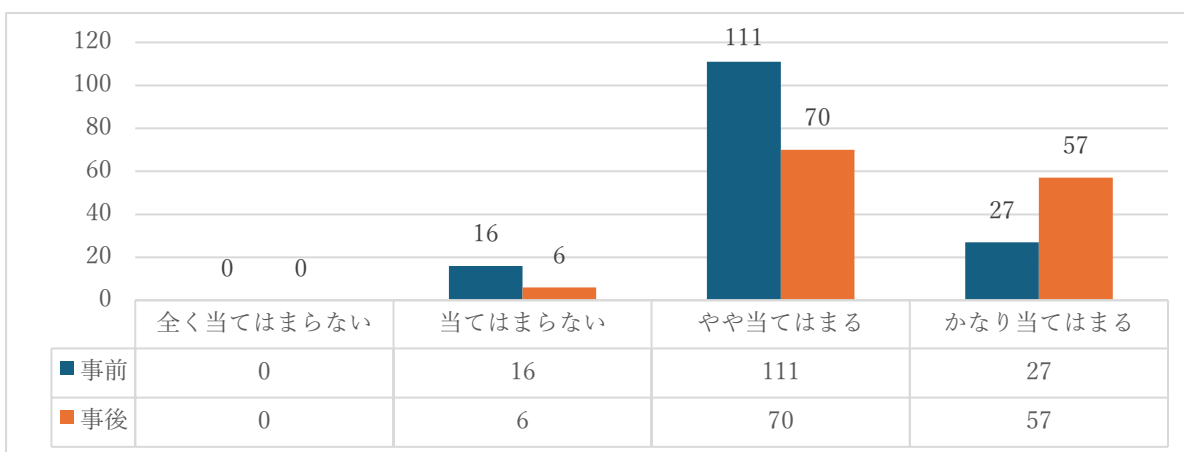
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が74.7%だったが、事後は93.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

15. 児童虐待の防止対策について知っている

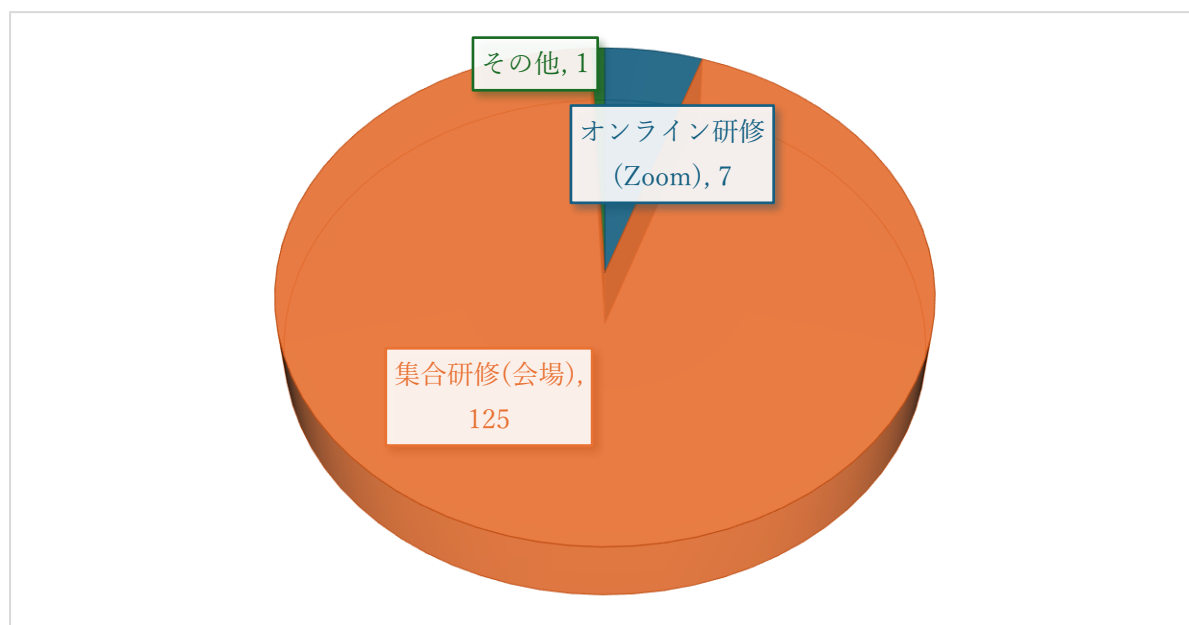
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が17.5%だったが、事後は42.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・保育者の役割分担や同僚性について
- ・主任のやるべき仕事や、職員・保護者との関わりについて
- ・主体性保育のやり方について
- ・保育制度の動向・関係法令について
- ・児童虐待についてと、保育士の不適切保育について
- ・園内研修の進め方について
- ・発達が気になる子に対しての保護者支援
- ・保育所の ICT 化の取り組みについて
- ・子どもの発達と保育
- ・子ども誰でも通園制度などの法令内容

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ハラスメントについて
- ・小学校との連携
- ・インクルーシブ教育について
- ・ファシリテーションについて
- ・災害、事故などの対策 安全管理など
- ・児童虐待への対応
- ・保育所の各クラスの環境設定や整備について
- ・誰でもどこでも通園について
- ・子ども主体の保育について
- ・保護者との関わりについて

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・正直、こども家庭庁ってなに？と聞かれるとうまく説明できない自分がありました。今さらながらそんな恥ずかしいことを聞くこともできないという立場で、最初から丁寧にお話をしてくださりすごく勉強になりました。事前に資料をみていて、参考になることが多く研修が始まる前から楽しみにしていました。同じ立場で色々な園さんの話を聞く機会があり、すごく勉強になりました。色々な園があり、悩みは一緒だなと思う所もあり頑張ろう！と思うことができました。研修に参加できてよかったです。この研修で学んだことを保育に活かしていきたいと思います。

・保育制度の関係法令が改正されながらも、恥ずかしいことながらしっかり読むこともなく、日々の保育に追われ過ぎてしまっている中で、認識する良い機会となりました。法令の中に保育における様々なことがきちんと明示されていることにも驚き、現場での思いと相違ないことも理解できました。また、久しぶりの集会での研修で、それぞれに日々努力していらっしゃる他園の先生方と直接お顔を合わせながら話ができる機会を持って、とても有意義な時間になりました。共通の悩み、頑張り、対策等々に、自園だけではない心強さや共に前進をとという刺激を受け、気持ちを新たにしました。職員との横並びのコミュニケーションを大切に、子どもと共に主体性を持って、楽しんで生活していきたいと思います。実のある研修をありがとうございました。

・法令等について、あると知りながらも実際に目を通したり話を聞く機会がなかったので、今回の研修で触れることができてよかった。ガイドブックなどの参考資料をたくさん紹介していただいたので、プリントアウトし、職員に紹介しつつ園内研修に取り入れていきたいと思った。

・あらためて主任保育士としての立場の重要性を認識した研修でした。ただ、3日間ですごく詰め込んだ感があったので、もう少し時間的な余裕があれば良かったのではないかと思います。

・主任になってからこのように長時間で学ぶ機会が無く、自身の力不足を感じ悩んでいました。またあったとしても応用的な物も多く、今回のように基礎を学べる「初任主任」にスポットを当てたものがとても嬉しく、絶対に受講したいという思いで参加しました。受講前より確実にポジティブに主任業に向き合えています。ありがとうございました。

・グループ討論の時間が物凄く良い経験となった。また同じ立ち位置で頑張っている仲間との意見交換をする機会に参加したい。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

・研修内容や構成に対する肯定的な意見が多く、特にグループワークや他園の先生との意見交換が有益であったという声が多い。

・主任としての役割や業務内容、人材育成、保護者支援など、研修テーマに対する関心が高い。

特に多かった回答：

・人材育成について、具体的な指導方法や事例、若手・中堅保育士へのアプローチなどを学びたいという要望が多い。

・保護者支援について、対応のポイントや事例、関係機関との連携などについて学びたいという要望がある。

・主任としての役割や業務内容、チーム作り、リーダーシップなどについて学びたいという要望がある。

・集合研修で、他の参加者と直接交流できることのメリットを評価する意見が多い。

・グループワークの時間をより長くしてほしいという要望がある。

これらの結果から、受講者は講義だけでなく、事例検討や演習、具体的な対策など、より実践的な内容を充実させてほしいという要望があると考えられる。

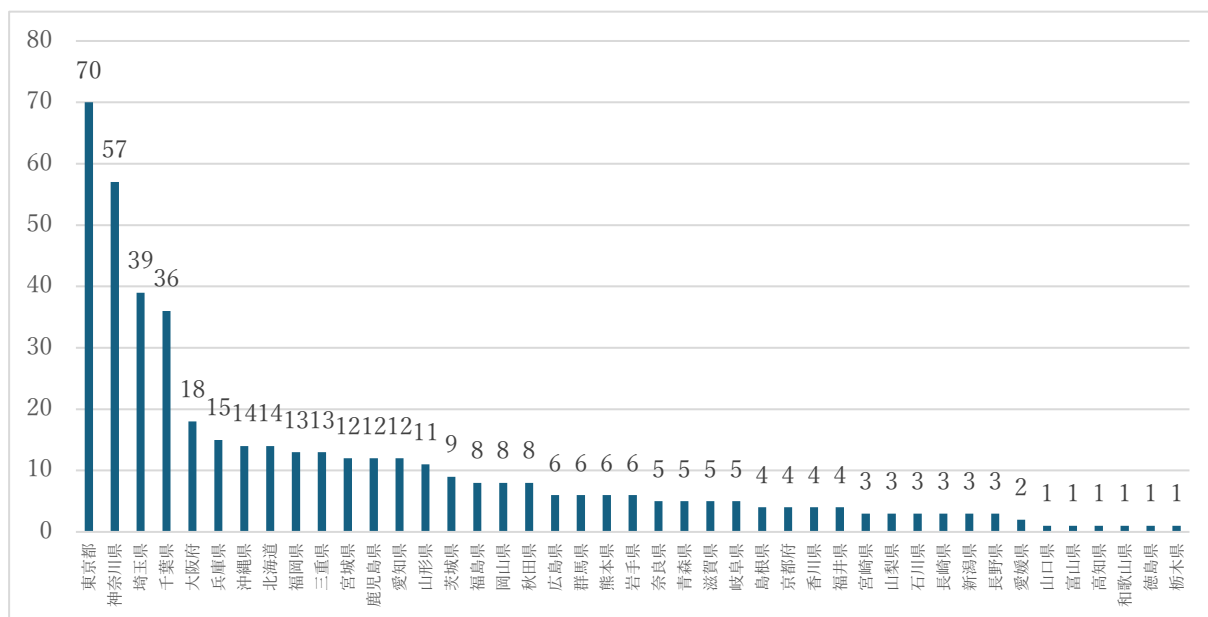
改善策：

講義だけでなく、実際の事例や他園での取り組み、成功事例や失敗事例等、より実践的で実務に即した内容を取り入れる等、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

4-4. 初任主任保育士研修（オンライン型） 講義内容の評価・改善策

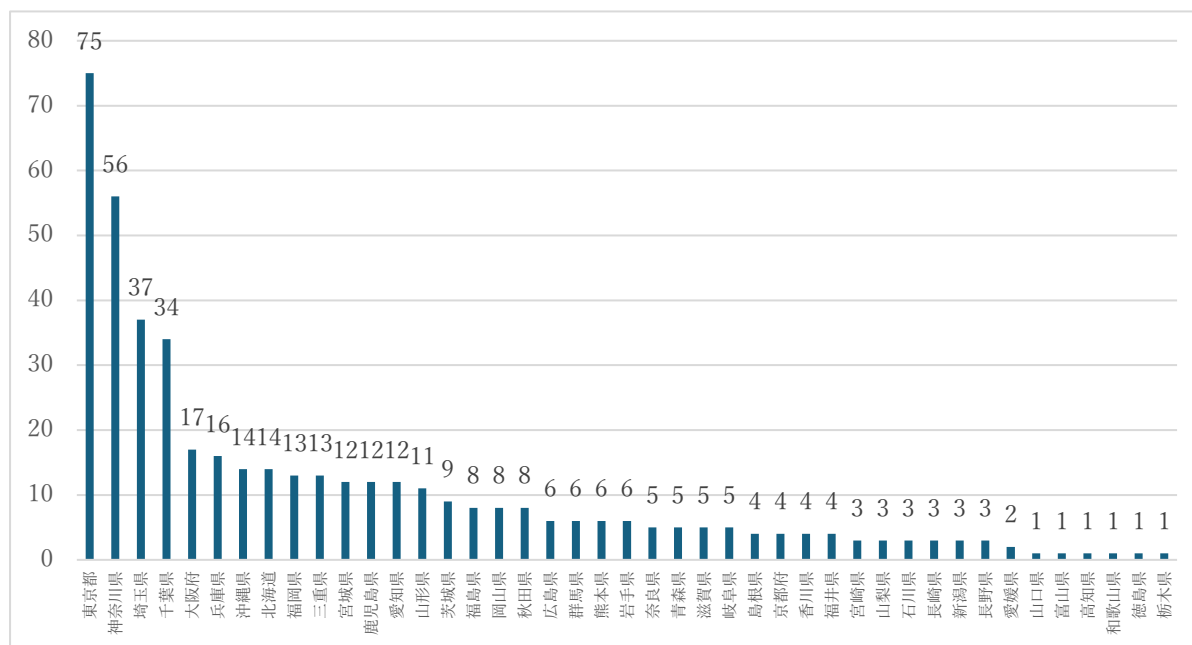
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



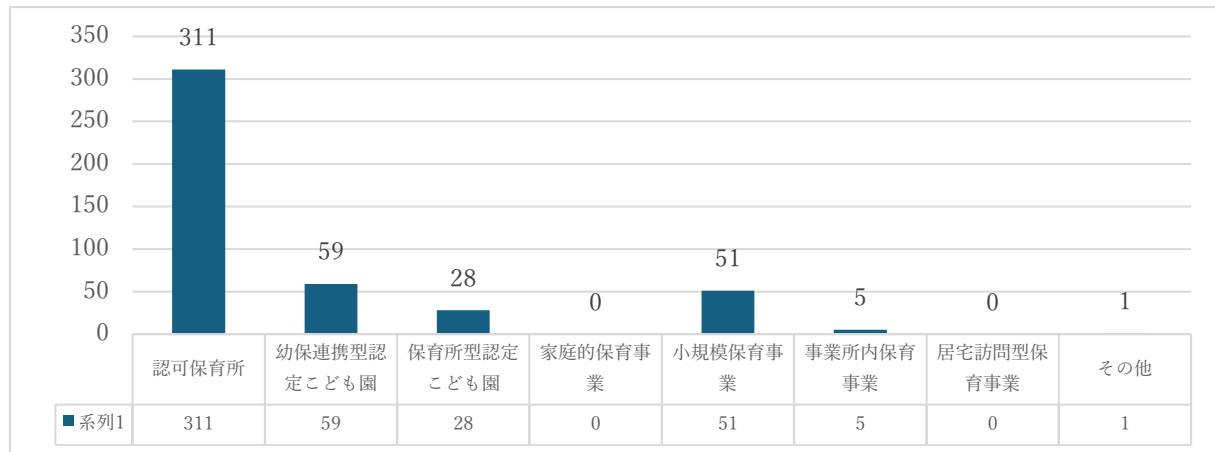
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



勤務先施設類型

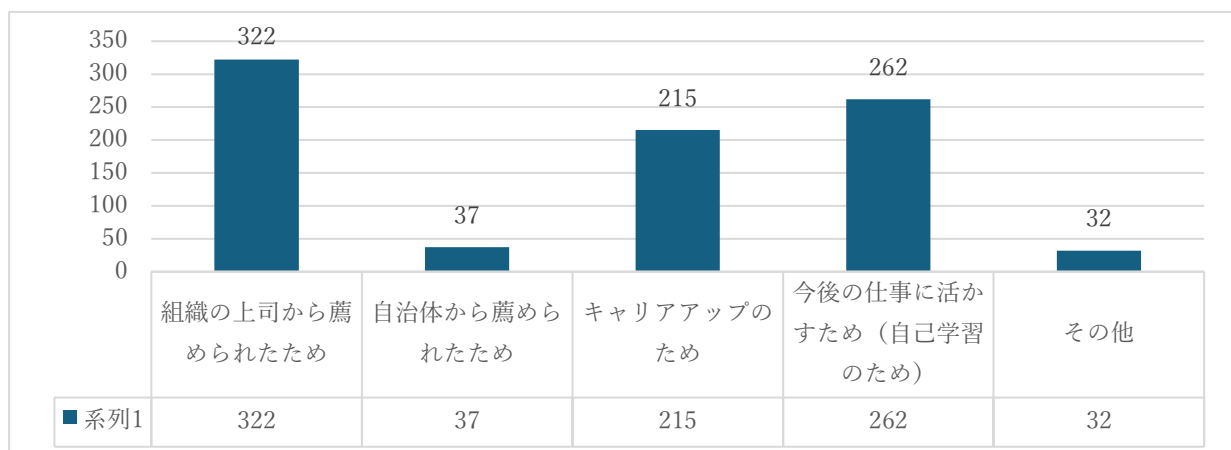
(単位：人)



その他：認定外保育園

1. 研修受講理由(複数選択可)

(単位：人)

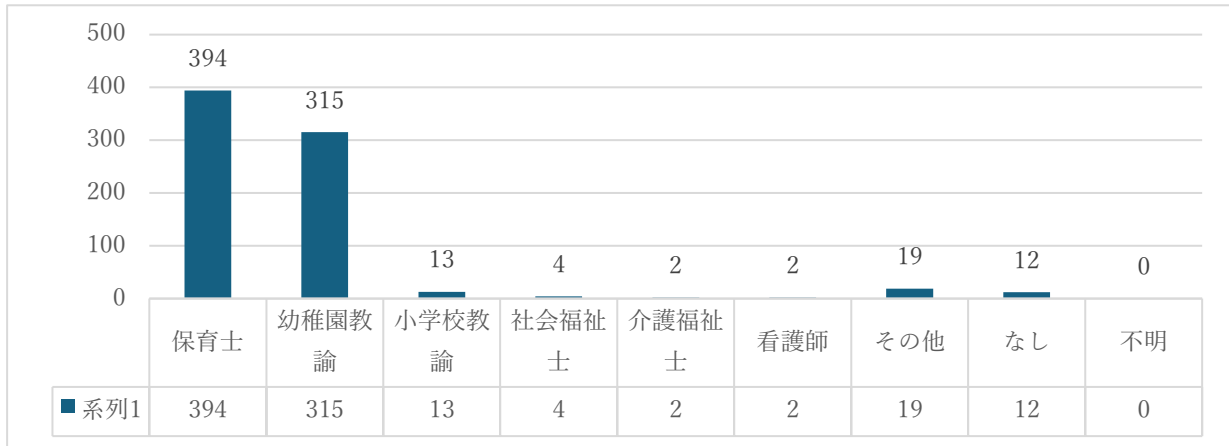


その他の受講理由

- ・次世代育成のため
- ・以前に参加させていただき、興味があったため
- ・自信を高めたいため
- ・主任として把握するべきことを認識できていないことがあるといけないと思ったので
- ・マネジメントについて理解を広げていき、今後活かしていきたいと思っています
- ・主任の役割、園長との違い ・次期リーダー、若手保育者の育成についてヒントを得たい 等

2. 保有している資格(複数選択可)

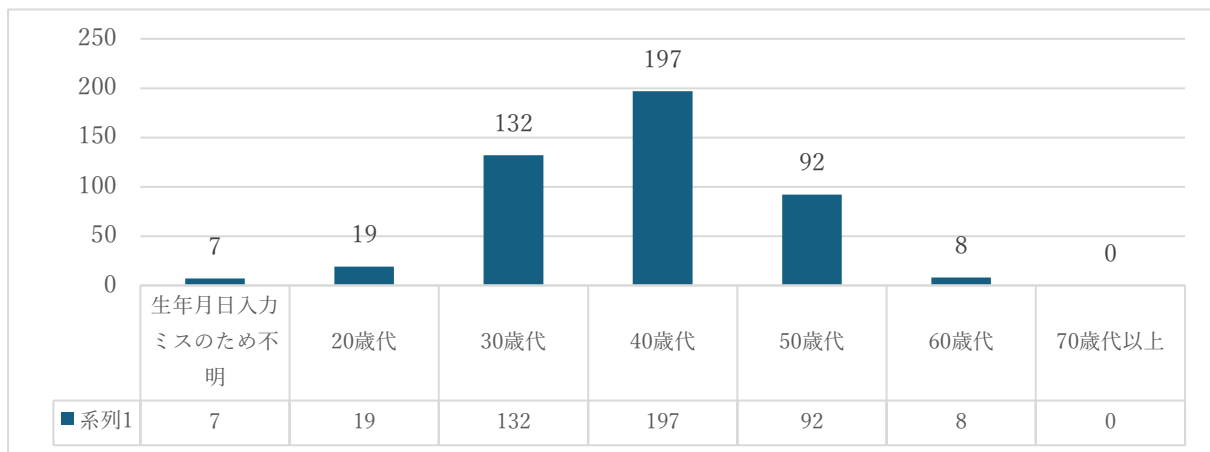
(単位：人)



その他：ベビーシッター、社会福祉主事、ベビーマッサージ、言語聴覚士 等

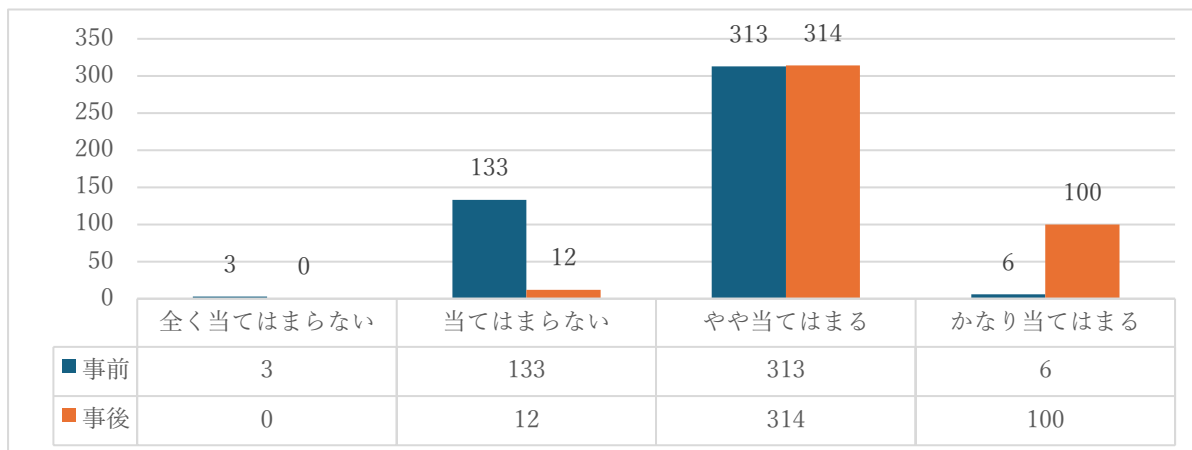
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

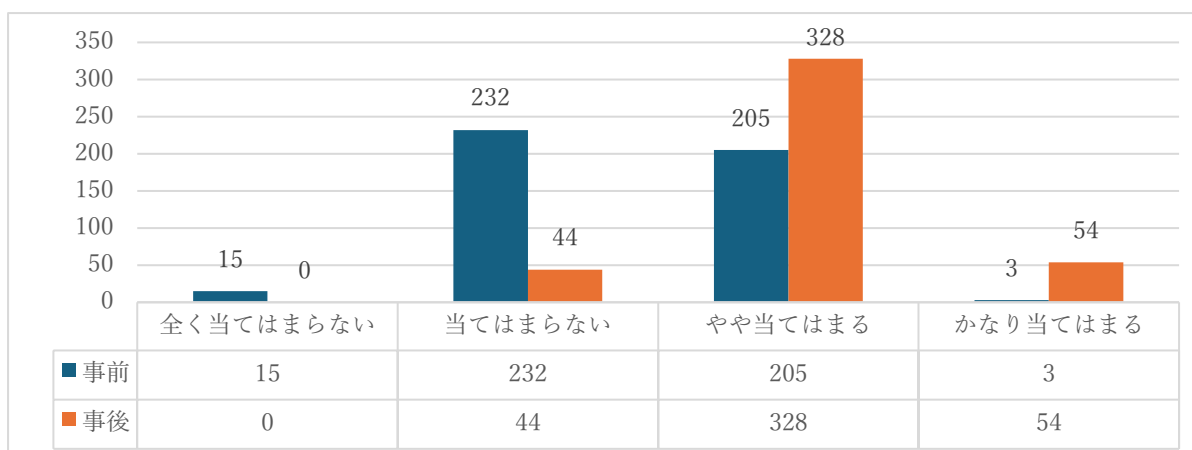
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が70.1%だったが、事後は97.1%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 関係法令等を知っている

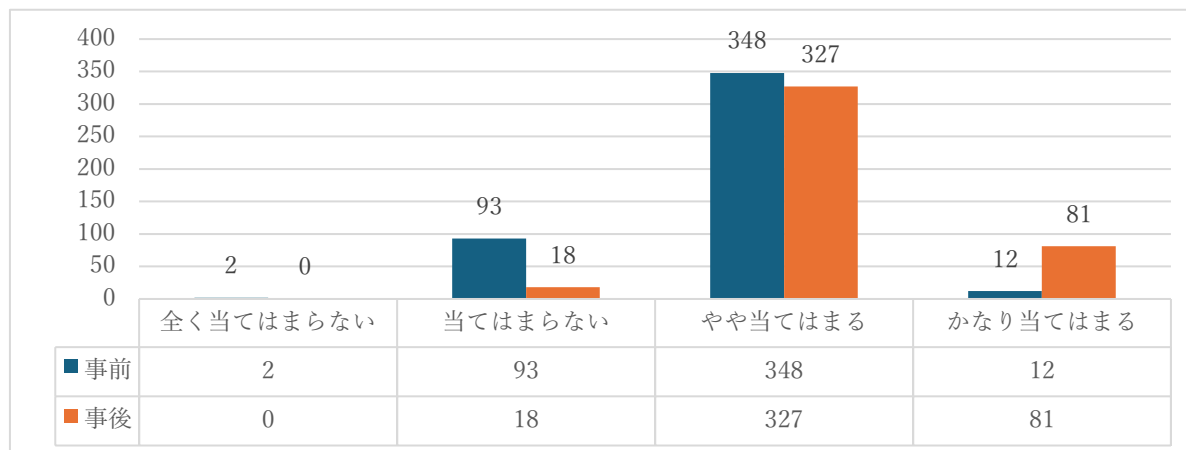
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が45.7%だったが、事後は89.7%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 保育所等における各種ガイドラインを理解している

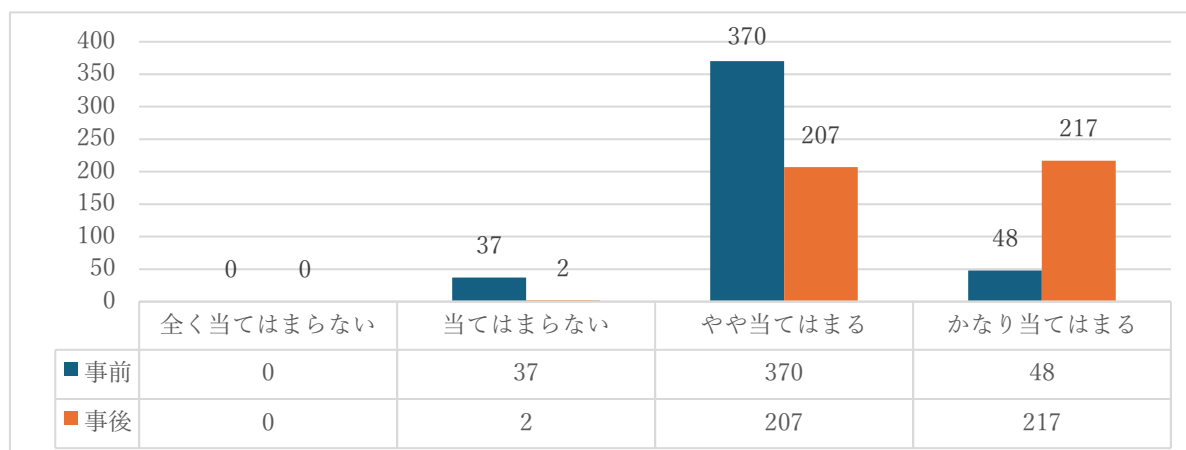
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が79.1%だったが、事後は95.8%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

7. 保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している

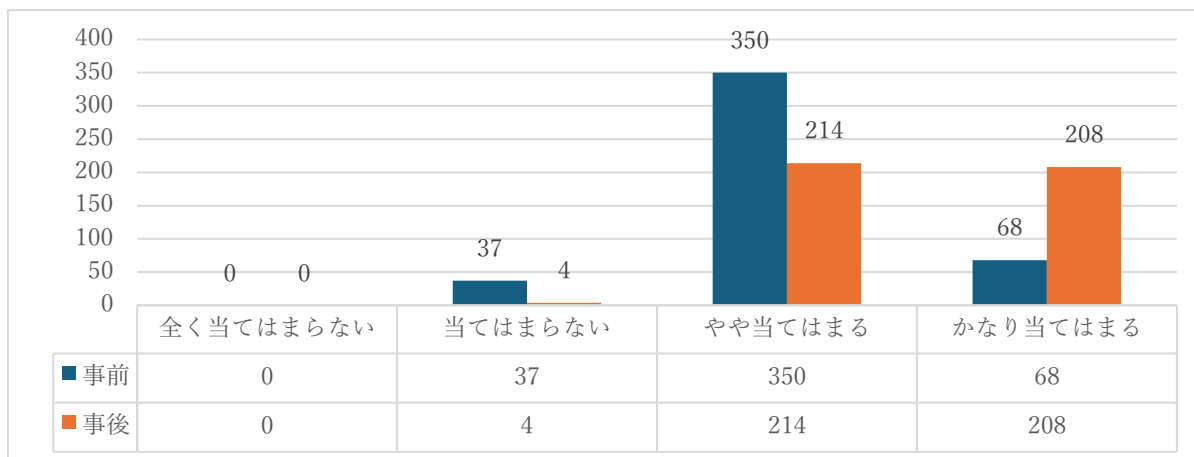
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が10.5%だったが、事後は50.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考ええる。

8. 保育現場におけるリーダーシップを理解している

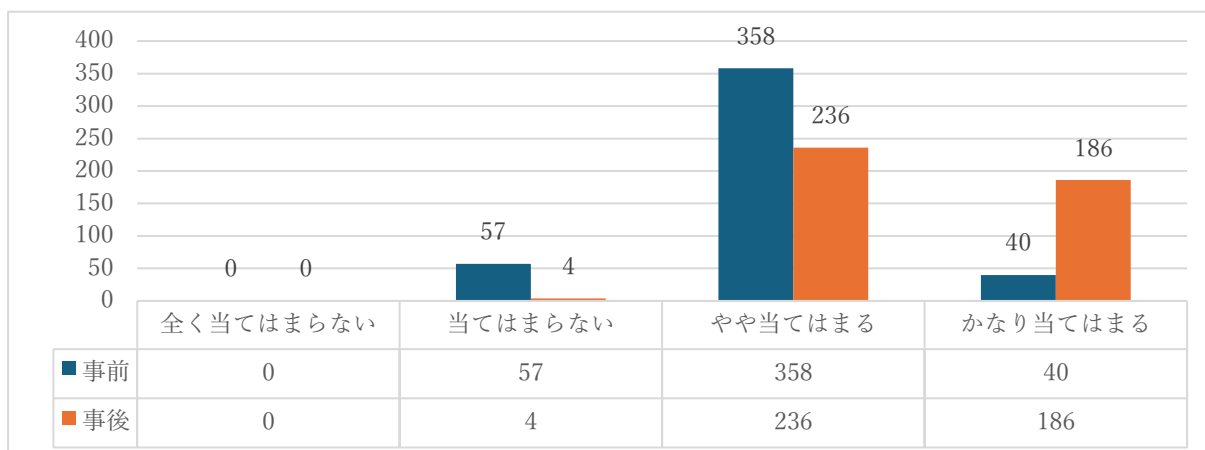
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が14.9%だったが、事後は48.8%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 保育現場における課題への対応を理解している

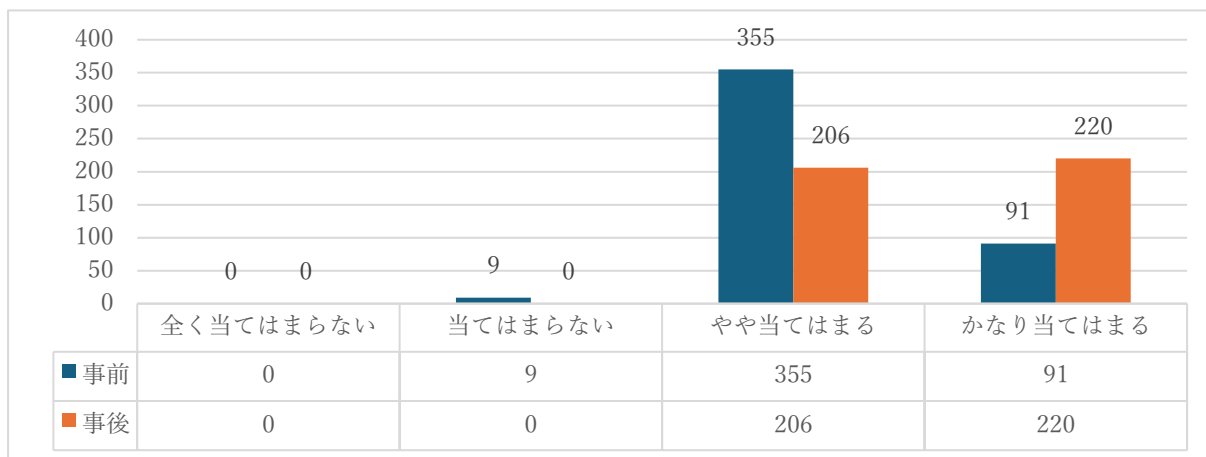
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が8.8%だったが、事後は43.7%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 子どもの発達を踏まえた保育実践を理解している

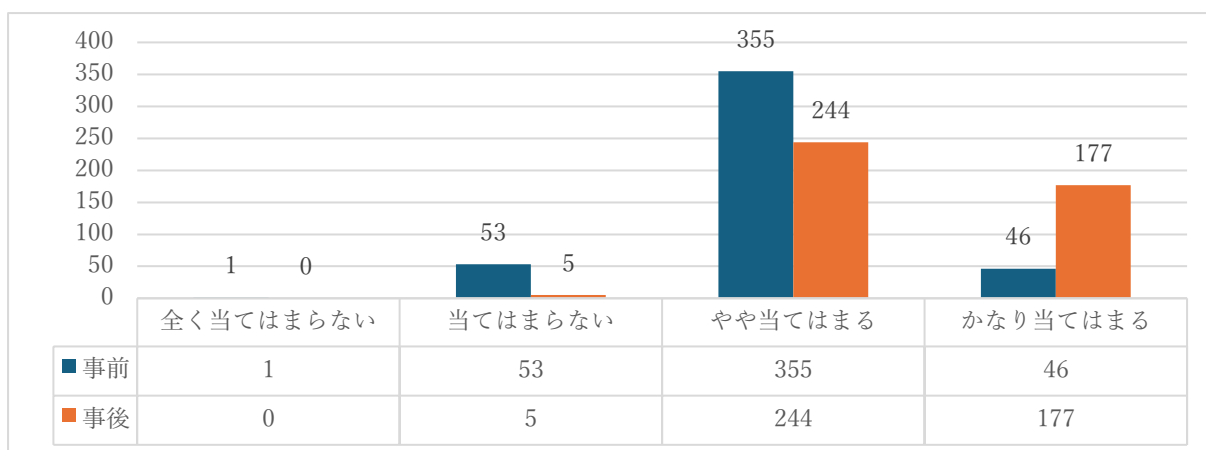
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が20%だったが、事後は51.6%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

11. 保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している

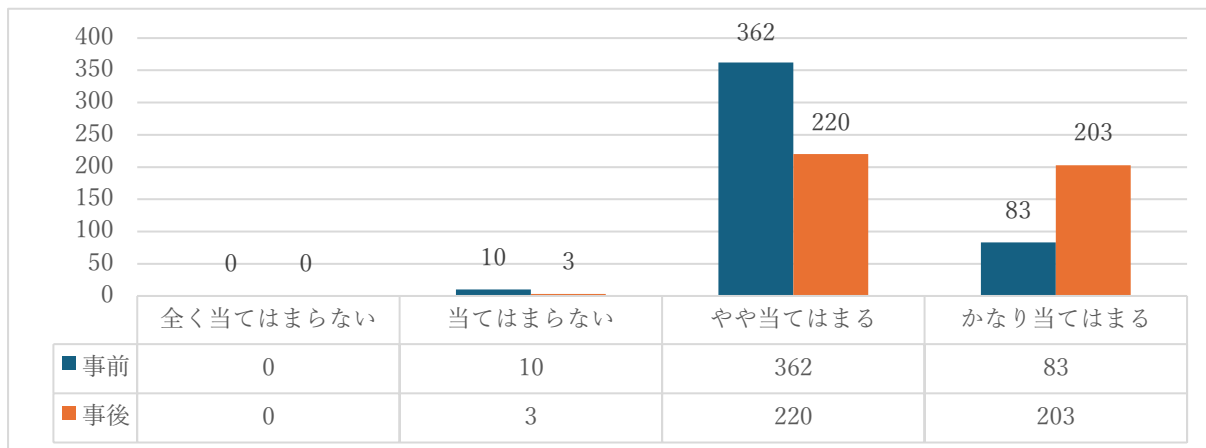
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が10.1%だったが、事後は41.5%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

12. 保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している

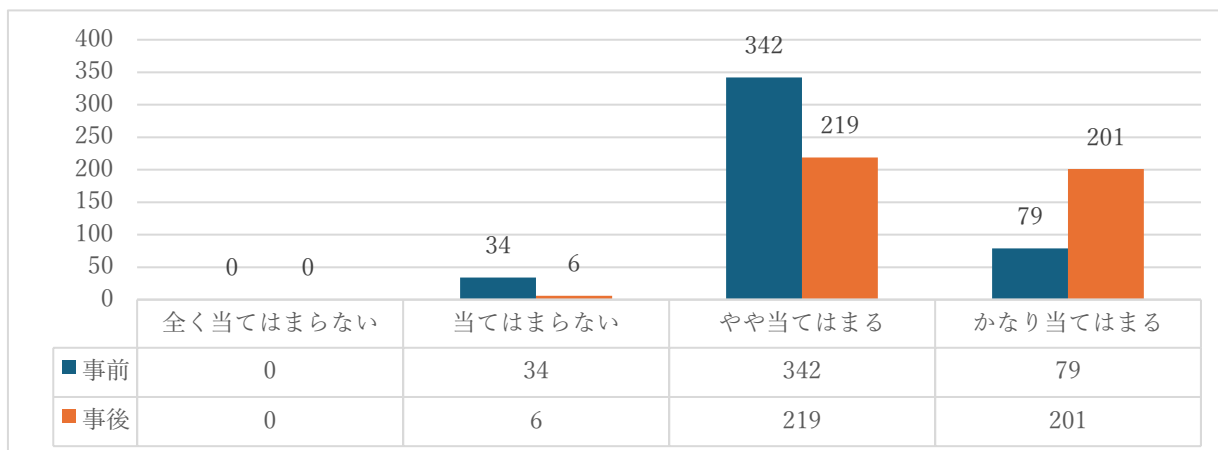
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が18.2%だったが、事後は47.7%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考え。

13. 職員の資質向上を理解している

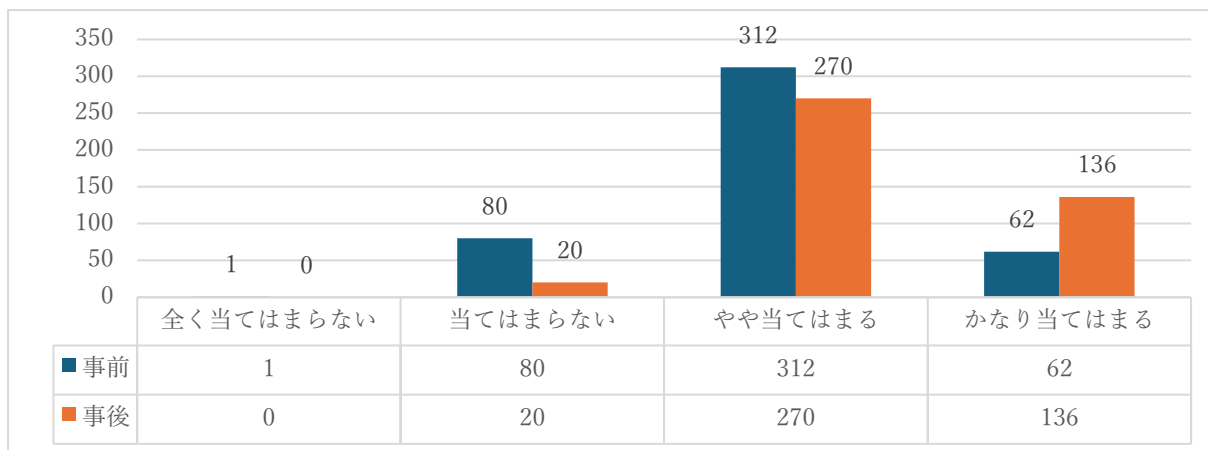
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が17.4%だったが、事後は47.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考え。

14. 職場における研修の企画立案・実施を理解している

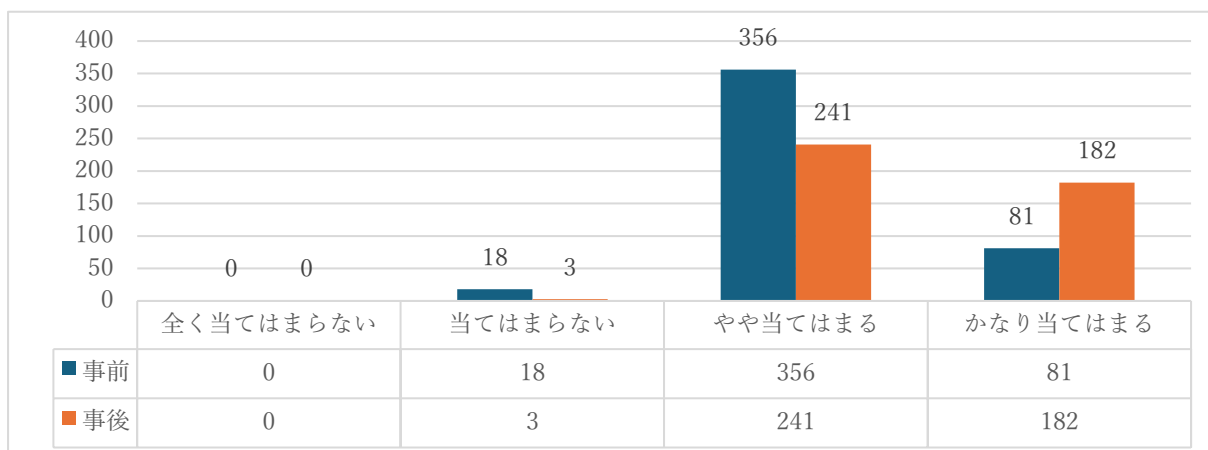
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が82.2%だったが、事後は95.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

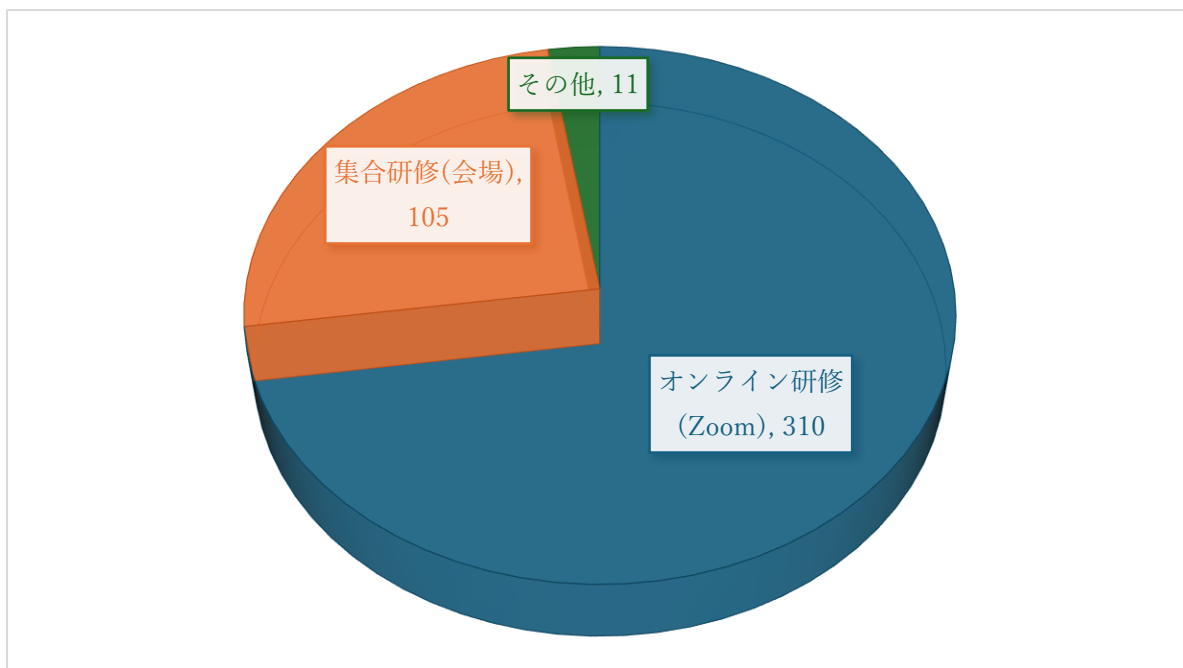
15. 児童虐待の防止対策について知っている

(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が17.8%だったが、事後は42.7%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか (単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・保護者支援や子育て支援について。 実際にあった相談内容を幾つか事例にあげてほしい
- ・インクルーシブ保育について
- ・人材育成について
- ・若月先生のお話の中で、現場での業務、行事の軽減やドキュメンテーションなどの取り組みについて、もっとお話を伺いたかった
- ・「こども誰で通園制度」の制度について
- ・保育分野の業務負担軽減について
- ・ICTの活用の仕方
- ・地域子育て支援の実施内容
- ・保育所における主任保育士の役割
- ・主任保育士の役割について 業務の軽減の具体的方法
- ・園内研修の仕方

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・虐待、不適切保育について
- ・保護者支援、職員のメンタルヘルスケア
- ・支援が必要な子どもとの関わりについて
- ・ジェンダーについて
- ・ICT活用について
- ・アレルギー児への対応
- ・新入職員、実習生への対応について
- ・食育について
- ・こども誰でも通園制度について
- ・ハラスメントについて
- ・保育におけるファシリテーションスキル

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・3日間を通して同じグループメンバーとの討議は、やりやすかったです。ただ、それぞれの保育園の規模や組織が違いすぎるため、お互いの環境を聞くだけで終わったように思います。もし、同じような機会が次にもあるとしたら、保育園・企業型・認定こども園などのカテゴリーでグループ分けがあると、もっと討議も深まるかと思いました。

・ただ、聞くだけの授業のような研修は全く身につかないので、意義のあるグループ討議が今回たくさんあり、同じ立場の先生が全く違った環境でどう仕事をしているか聞くことができてよかった。同じようなことで悩んでいるということも今後頑張ろうと、励みになった。

・有意義な研修が出来ました。研修後に園長先生とも話す中で実践できそうなことが少し見えて、今から少しずつ動き出せればと思っています。他県の先生方とも繋がれ、お話を聞くことが出来、それぞれの園がしっかりと保育理念を掲げ園内研修や園外研修に取り組まれている話を聞き、日々人手不足で保育に追われる毎日で、足踏みしている場合ではないと勇気をもらいました。そして悩んでいることは同じなんだと感ずることで明日からまた頑張っていこうと気持ちを新たにしているところです。ありがとうございました。

・学びの機会をいただきありがとうございました。若月先生の話は自園での取り組みの話もあり身近に感じ参考になりました。職員間でのアプリの活用など参考にしていきたいです。

・どの講師の先生方の説明が分かりやすく、とても聞きやすかった。また、時折ブレイクアウトルームでの意見交換がとても参考になった。zoomであったが、集合型の研修よりも画面での資料が見やすく、声のトーンも良く聞きやすかった。また機会があったら、今後も参加したいと感じた研修だった。

・他のグループで出た意見などが聞ける機会があると良かったなと思う。

・貴重な講義の開催、感謝いたします。ブレイクアウトの回数も多数あり、各地の園の先生方と、それぞれの現状や思い等お話しできたことは本当に貴重でした。ただ、せっかく様々な議題について話しても、解決策が出ないまま話が過ぎてしまう・・・という感じのものも多かったので、話した内容についてのご助言をいただけたら更に身になるものとなったと思いました。オンライン形式ですので難しいことは重々承知しております。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

研修全体を通して、受講者は多くの学びを得て、日々の保育業務に活かしたいという意欲を高めていることが伺える。特に、グループワークを通して他園の先生方と意見交換や情報共有ができたことを評価する声が多く、オンライン研修でも有意義な学びの場となっていることが示唆されている。

特に多かった回答：

・人材育成は多くの園で課題となっていることが伺え、具体的な方法や事例を学ぶことへの期待が高いことがわかる。

・保護者支援に関する具体的な事例や対応方法について、より詳しく学びたいという要望が多く、保護者との連携やコミュニケーションに関する課題が浮き彫りになった。

・多くの受講者が、グループワークを通して他園の先生方と情報交換や意見交換ができたことを高く評価しており、研修の大きなメリットとして捉えられている。

これらの結果から、受講者は講義だけでなく、事例検討や演習、具体的な対策など、より実践的な内容を充実させてほしいという要望があると考えられる。

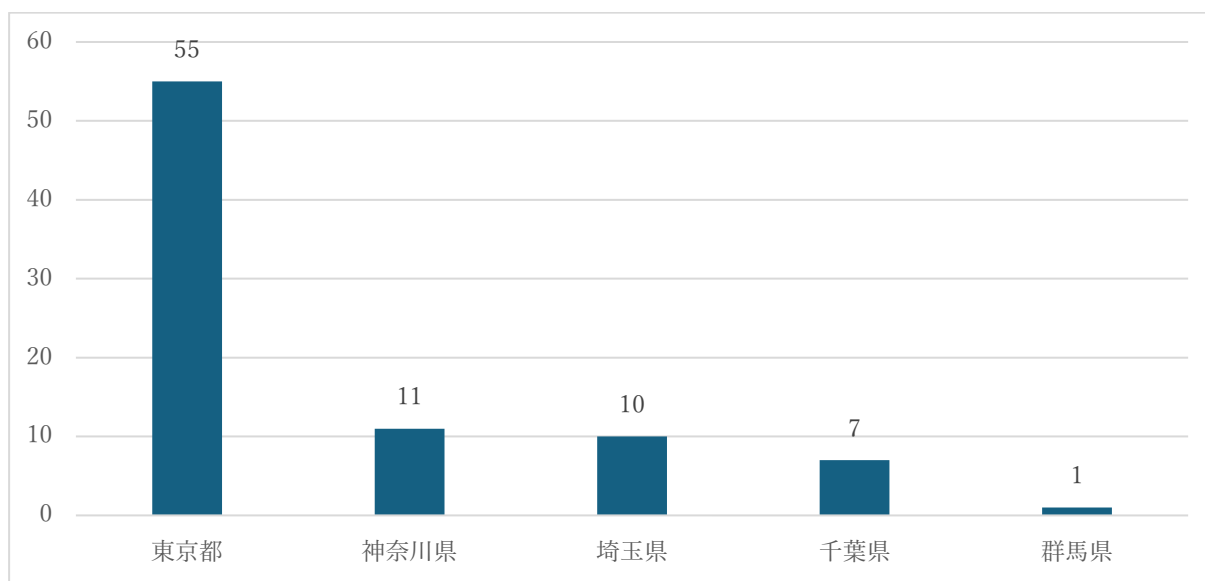
改善策：

研修内容については、参加者のニーズに合わせた課題の多様化や事例の充実、実践的なスキルの習得を目指したプログラムの改善が望まれると考える。

4-5. 中堅主任保育士研修（集合型） 講義内容の評価・改善策

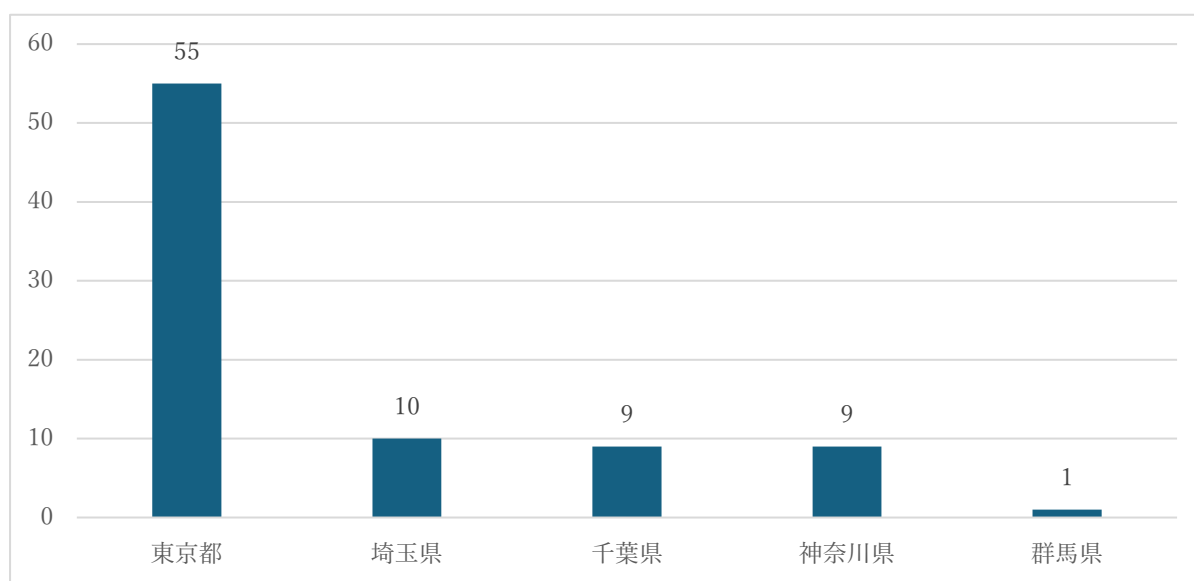
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



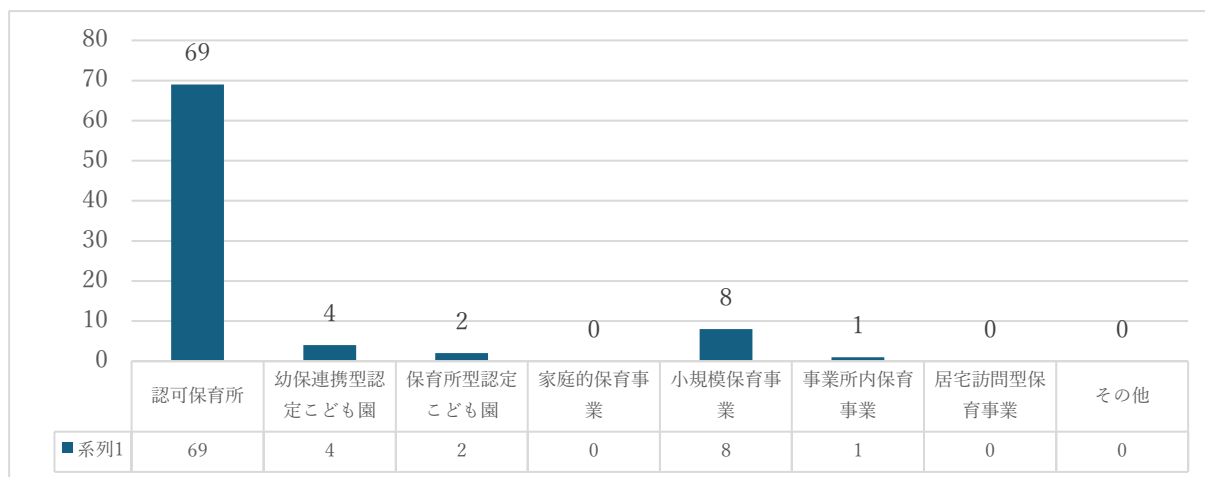
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



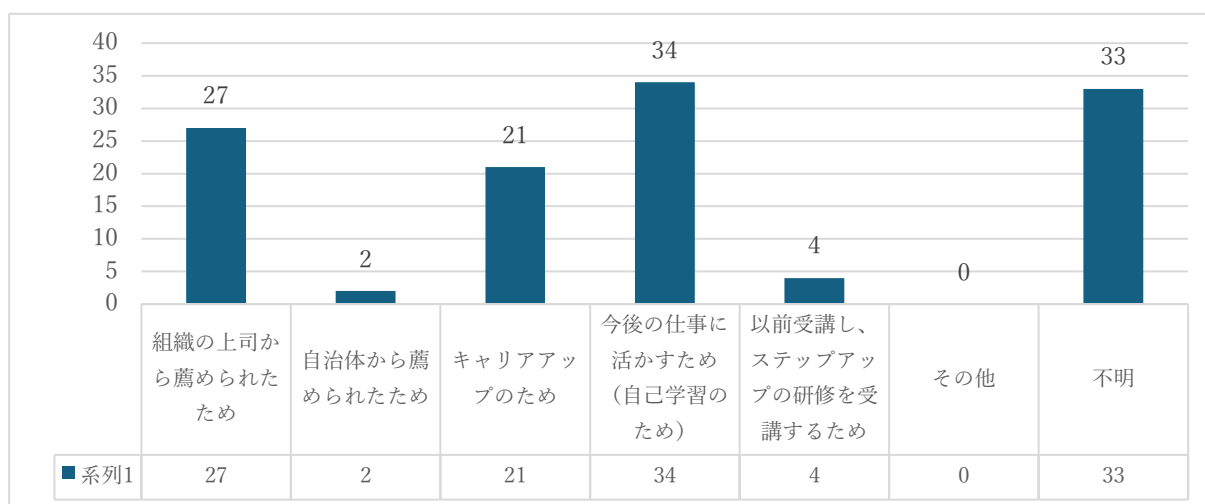
勤務先施設類型

(単位：人)



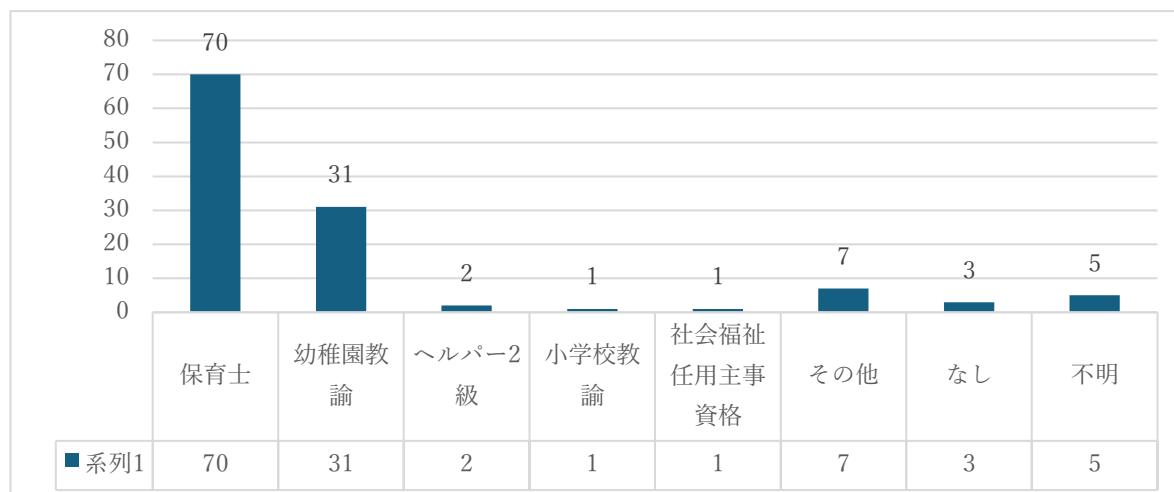
1. 研修受講理由(複数選択可)

(単位：人)



2. 保有している資格(複数選択可)

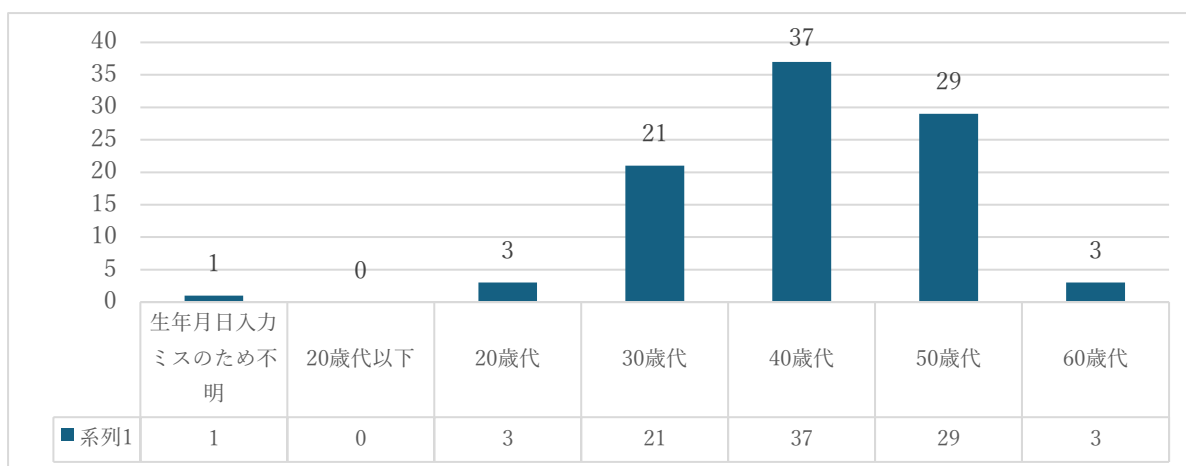
(単位：人)



その他：調理師、社会福祉主事、学童保育指導員 等

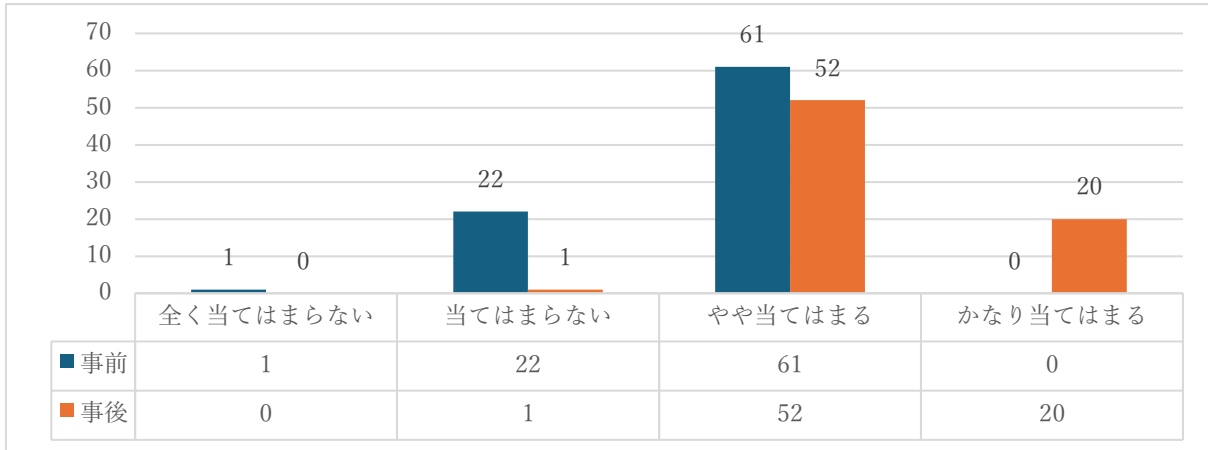
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

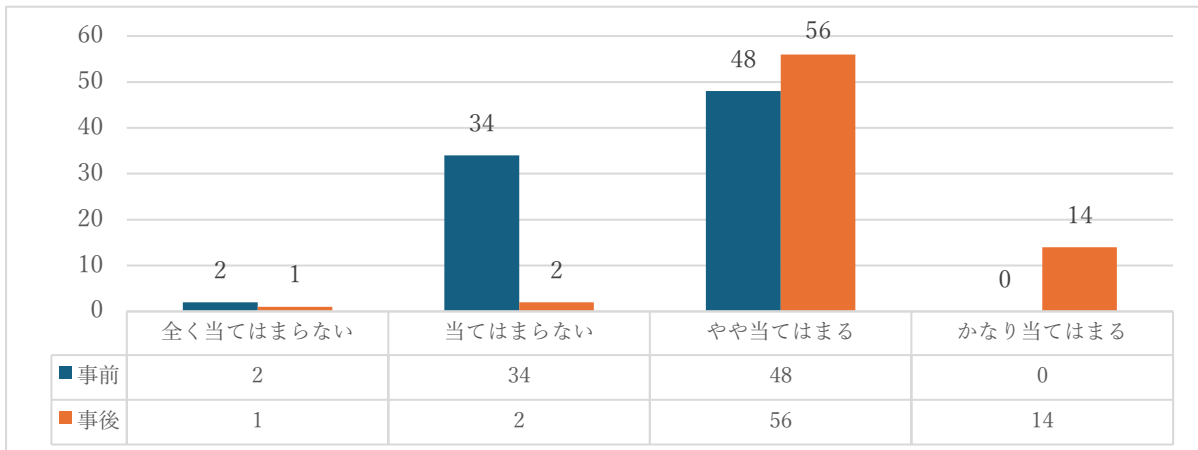
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が72.6%だったが、事後は98.6%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

5. 関係法令等を知っている

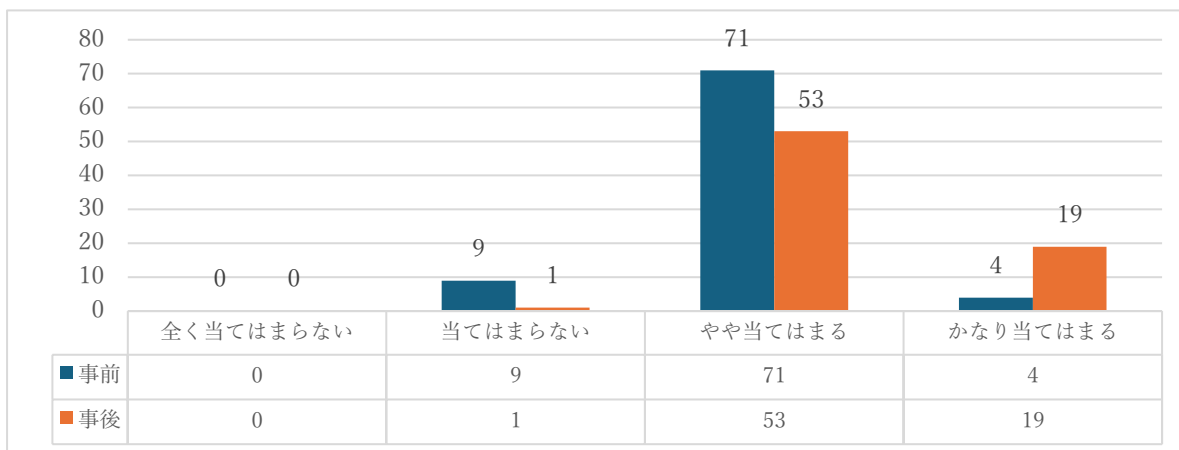
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が57.1%だったが、事後は95.6%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

6. 保育所等における各種ガイドラインを理解している

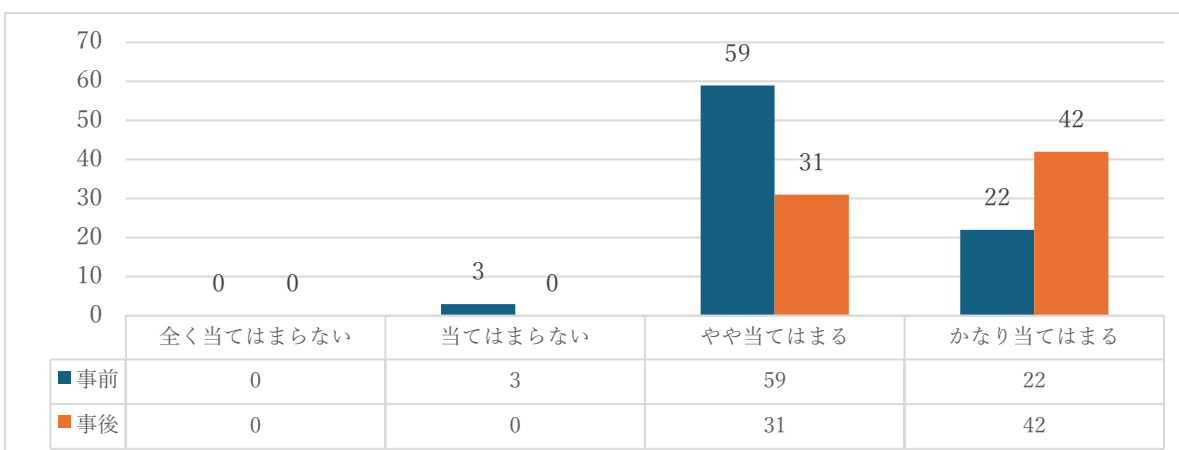
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が4.8%だったが、事後は26.0%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している

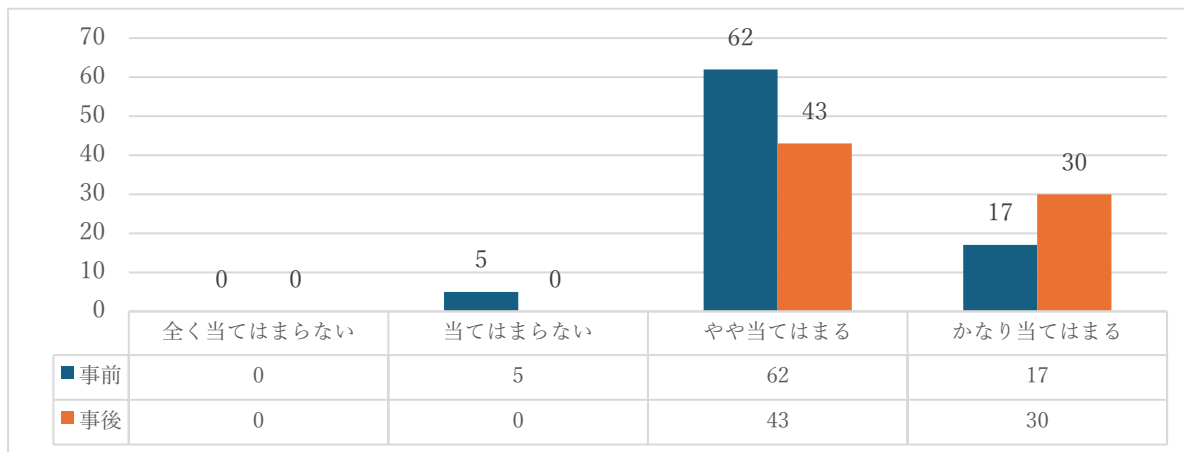
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.2%だったが、事後は57.5%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育現場における課題への対応を理解している

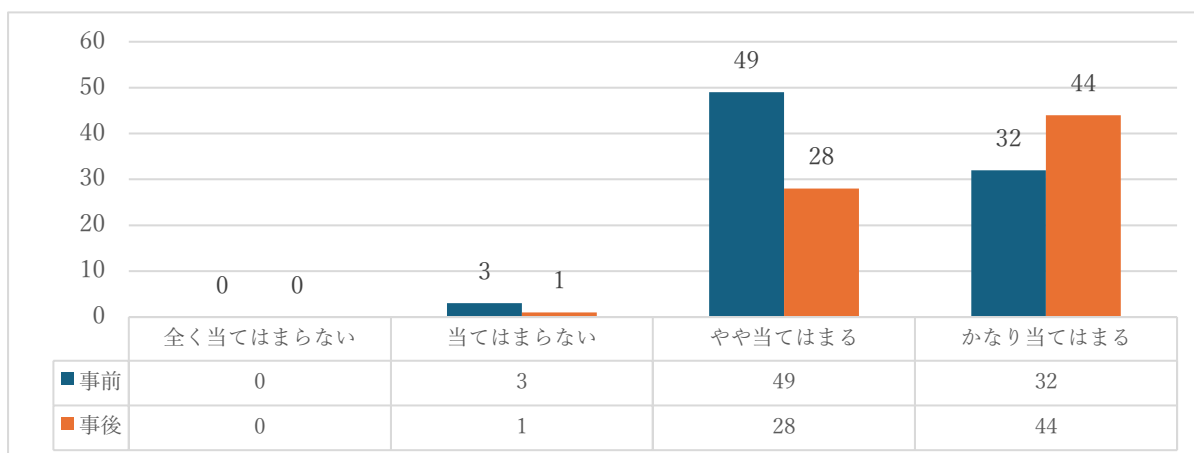
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が20.2%だったが、事後は41.1%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 子どもの発達を踏まえた保育実践を理解している

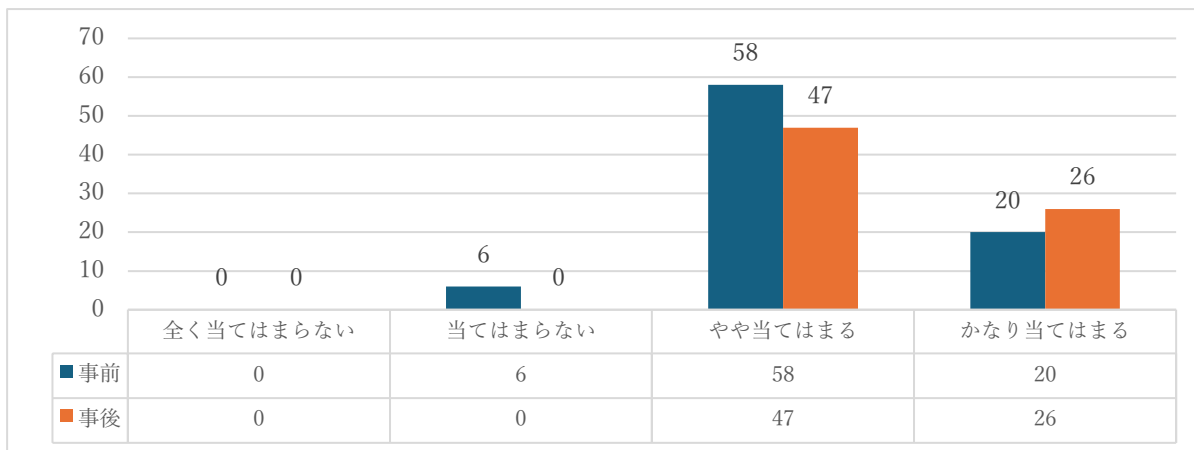
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が38.1%だったが、事後は60.3%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している

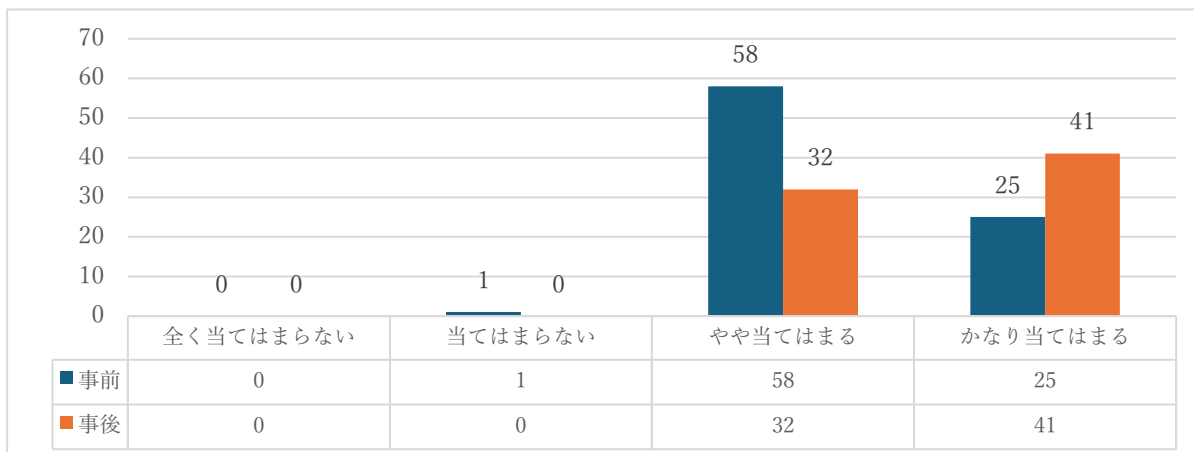
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が23.8%だったが、事後は35.6%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

11. 保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している

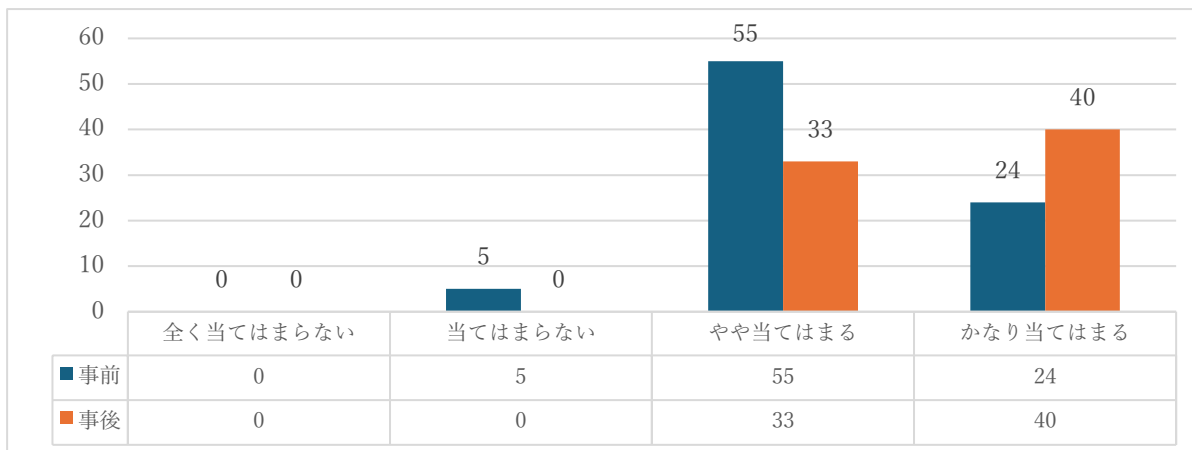
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が29.8%だったが、事後は56.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

12. 保育現場におけるリーダーシップを理解している

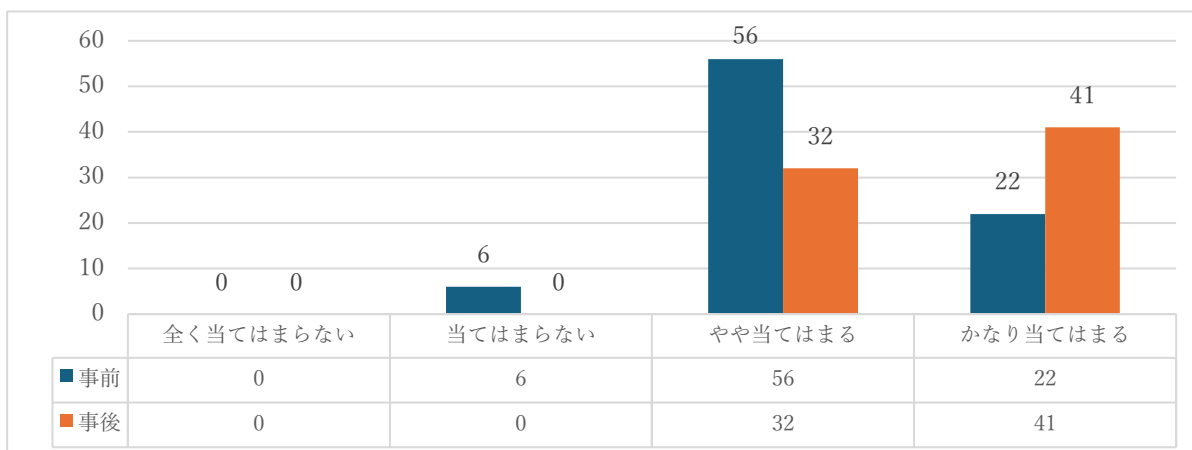
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が28.6%だったが、事後は54.8%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

13. 職員の資質向上を理解している

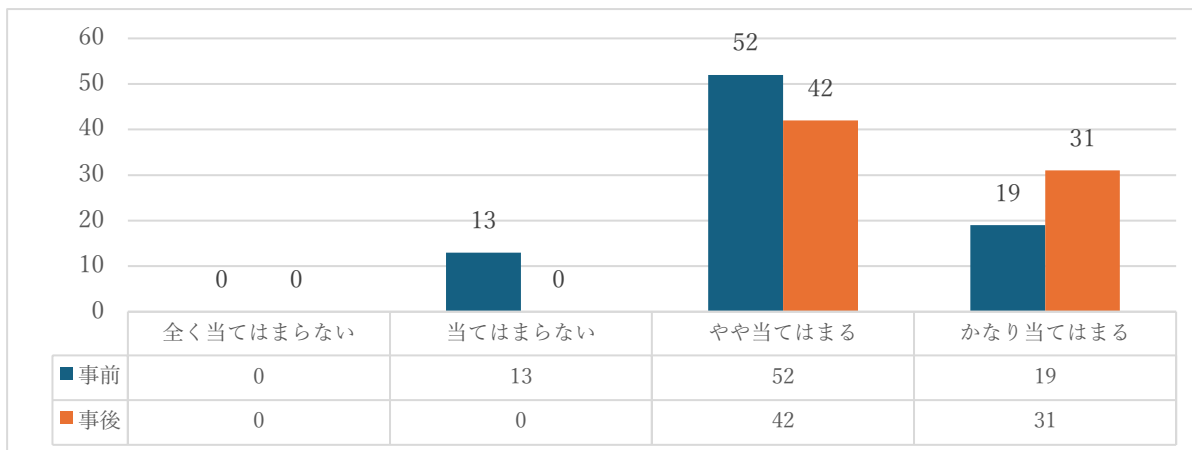
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が26.2%だったが、事後は56.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

14. 職場における研修の企画立案・実施を理解している

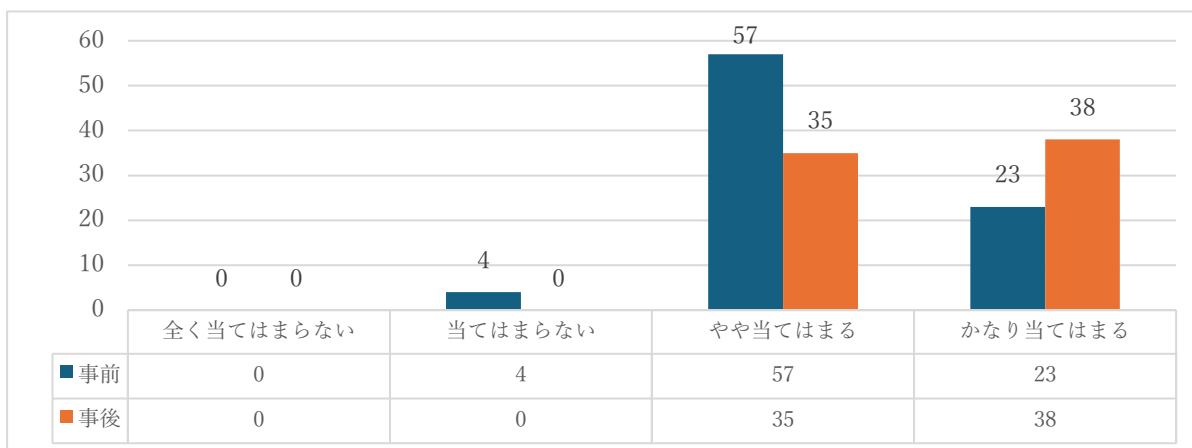
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が84.5%だったが、事後は100%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

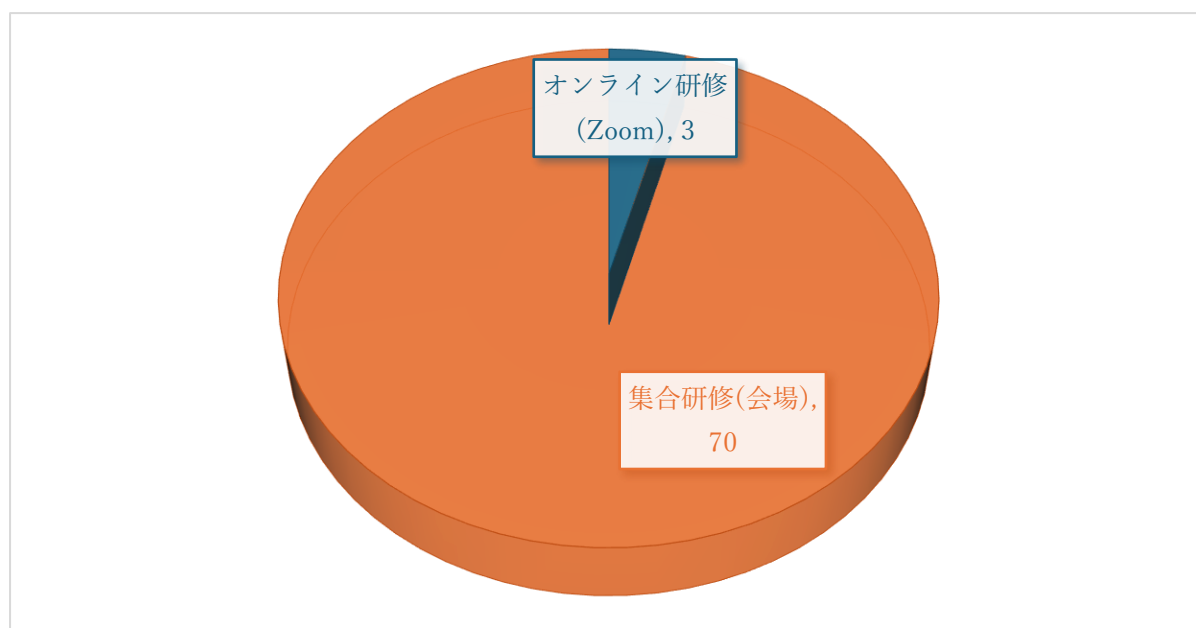
15. 児童虐待の防止対策について知っている

(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が27.4%だったが、事後は52.1%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか (単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・ 保育者の役割分担や同僚性について
- ・ 主任のやるべき仕事や、職員・保護者との関わりについて
- ・ 保護者支援について
- ・ 働きやすい職場づくりの 職員の業務負担軽減について
- ・ 保育制度の動向及び関係法令について
- ・ 他園での保護者支援や園内研修の実態
- ・ 主任保育士の役割 人材育成について
- ・ 園内研修の進め方
- ・ 謎ルールの真相

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ アンガーマネジメントについて
- ・ 保育ファシリテーターについて
- ・ 特別支援保育について
- ・ 実習生、実習指導に関して
- ・ 児童発達支援やインクルーシブ保育について
- ・ 不適切保育 保護者対応
- ・ 子ども主体の保育
- ・ リスクマネジメントについて
- ・ 色々な園の遊びの方法

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・自己評価や園内研修の仕方に悩んでいたのも、タイムリーに知りたい内容がグループワーク等楽しく交流しながら分かりやすく知ることができました。明日に直ぐに繋げられる研修でした。生かしていきたいです。又、保育や自分の役割の振り返りの機会になりました。

・どの研修も興味深く、多くのことを学ぶことができたのですが、石井先生の『保育所における人材育成』は大変興味深く、違う内容の研修も是非聞いてみたいと思いました。特になぞルールに関しては、私自身今の園に異動し一年たっていないので、なぞルールの多さに頭を抱えていました。でも、そのなぞルールにはなぞルールが生まれる背景があり、その背景を理解し、弱みを強みに変えていくことが保育の質の向上にもつながっていくんだと改めて感じることができました。ありがとうございました。

・3日間に渡る長い研修であったが充実した時間となった。保育の動向については普段参加する研修ではあまり知ることがなく、なんとなく知っている程度でしかなかった為、このような機会がありこのことにはこのガイドラインや指針が当てはまるということを知ることができて良かった。今回の案内では施設長や主任、実習指導とのことだったが今後は〇年目～〇年目対象等で研修の機会があるとありがたい。

・法人での研修には無い、有識者の方のお話をきく機会は、自分の役割や園の課題に気づく、とても有意義な時間となりました。

・素晴らしい会場で研修ができました。ありがとうございました。3日間の研修でしたが、時間配分を均等にしていただけると助かります。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

研修に対する全体的な満足度は高く、講師の質、研修内容、構成に関しても肯定的な意見が多く見られる。特に、グループワークや他園との交流は高く評価されており、研修で得た学びを現場で実践したいという意欲が強く感じられる。対面研修ならではの良さを評価する意見も多く、直接的なコミュニケーションの重要性が認識されている。

特に多かった回答：

- ・人材育成は、保育の質向上に不可欠な要素として、多くの参加者から関心が寄せられている。
- ・効果的な園内研修の実施方法やテーマ設定に関するニーズが高いことがわかる。
- ・保護者との連携は、保育の重要な側面であり、具体的な支援方法や対応に関する情報が求められている。
- ・主任保育士としての職務遂行能力向上を目指し、リーダーシップやマネジメントに関する知識を求める声が多い。
- ・他園の事例や取り組みを知ることで、自園の保育を見直し、改善につなげたいというニーズが強い。

これらの結果から、受講者は講義だけでなく事例や動画を用いた解説、また抽象的な知識だけでなく現場で役立つ具体的な方法やノウハウの提供を求めていると考えられる。

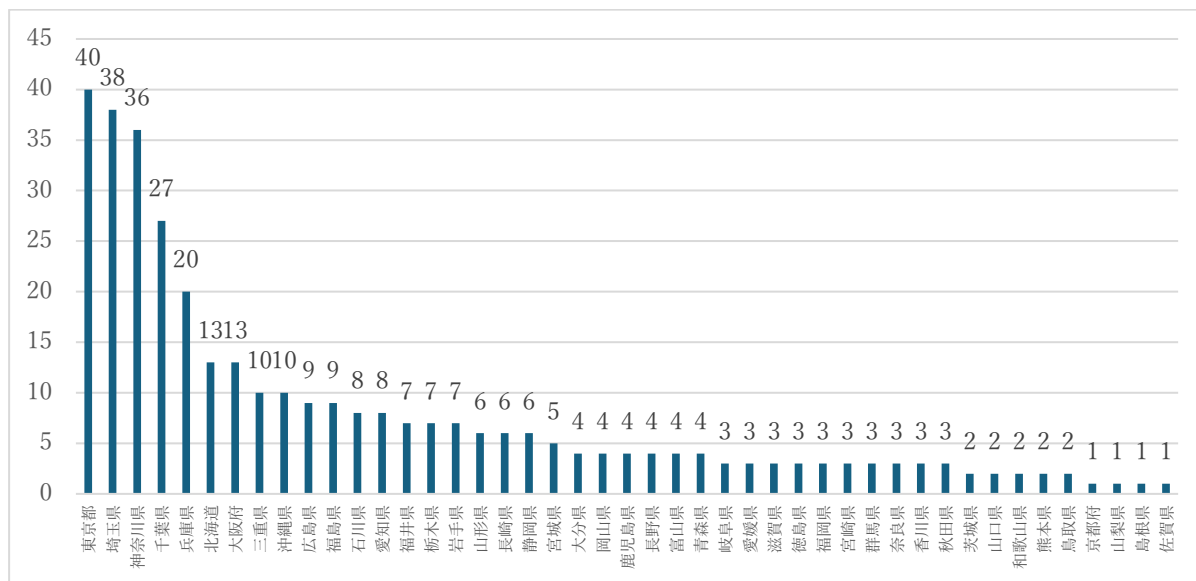
改善策：

受講者の要望に合わせた研修内容の充実、実践的なスキルを習得できる機会の提供、研修内容に偏りがないように、バランスの取れた課題設定を心がけることが重要と考える。

4-5. 中堅主任保育士研修（オンライン型） 講義内容の評価・改善策

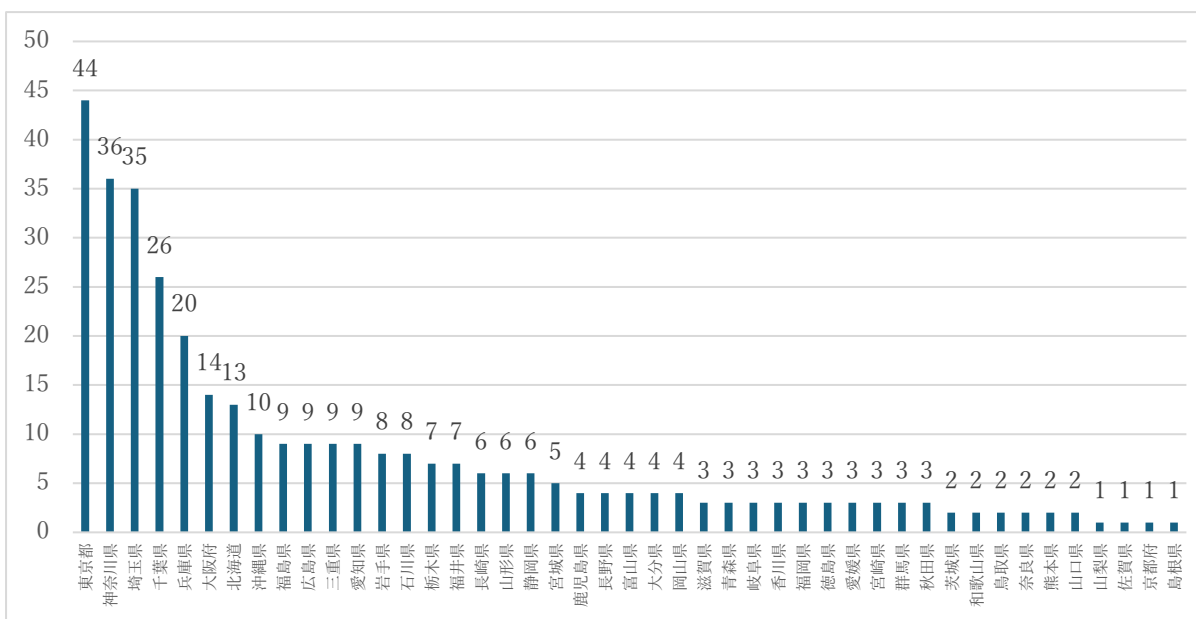
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



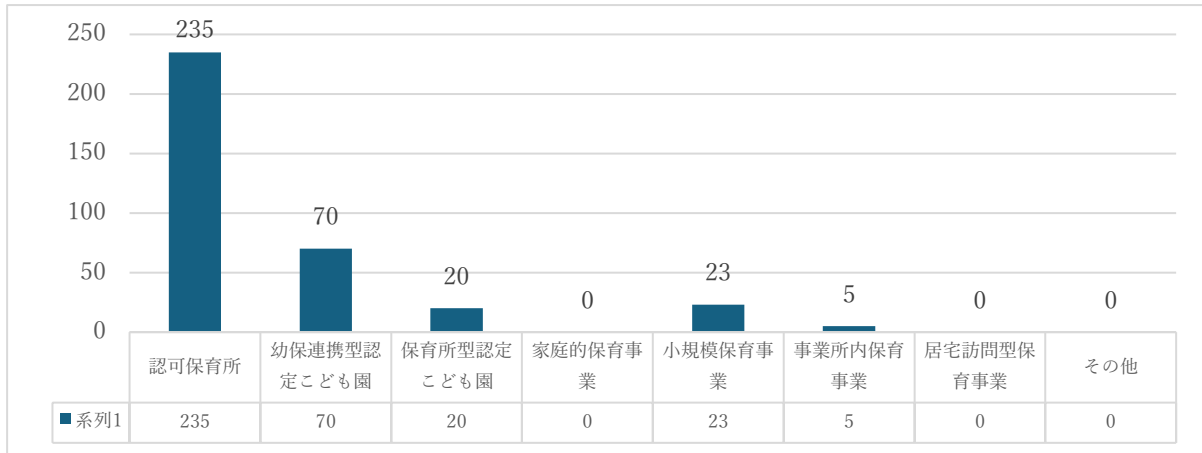
受講者勤務地域別都道府県

(単位：人)



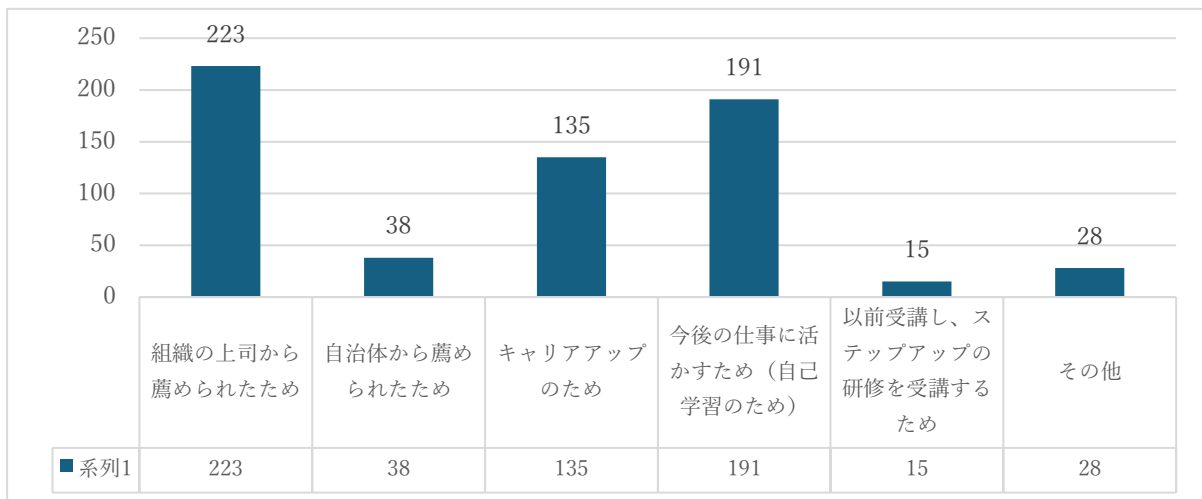
勤務先施設類型

(単位：人)



1. 研修受講理由(複数選択可)

(単位：人)

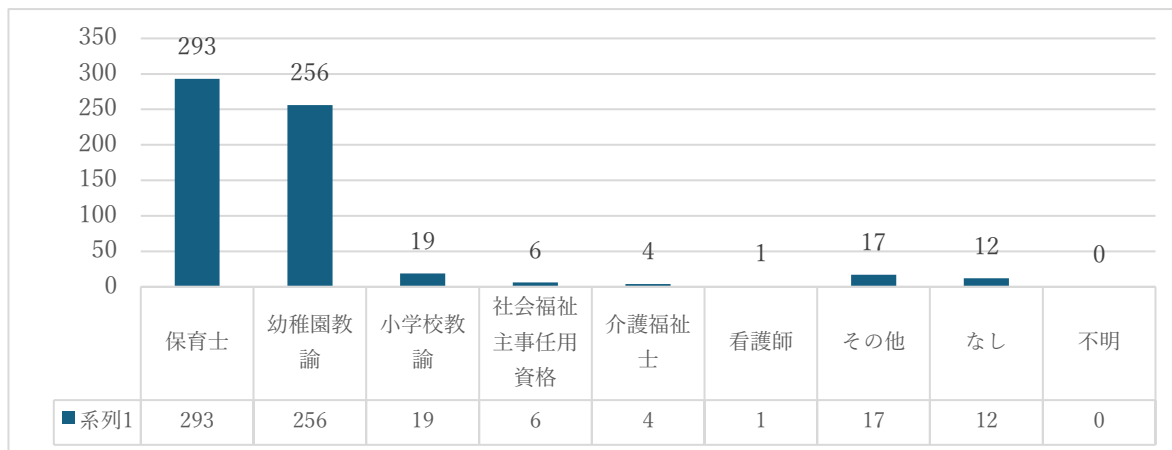


その他の受講理由

- ・受けられる研修はなるべく受けるよう心掛けている(資質向上のため)
- ・日々忙しさに追われて主任研修を行ったことがなかったため、受けて色々なことを学びたいと思った
- ・なかなか同じ職種の方と話す機会もないため、学ぶ機会として希望しました
- ・近年の保育の状況を把握・学習したいため
- ・学びたい講師の先生方の授業があるため 等

2. 保有している資格(複数選択可)

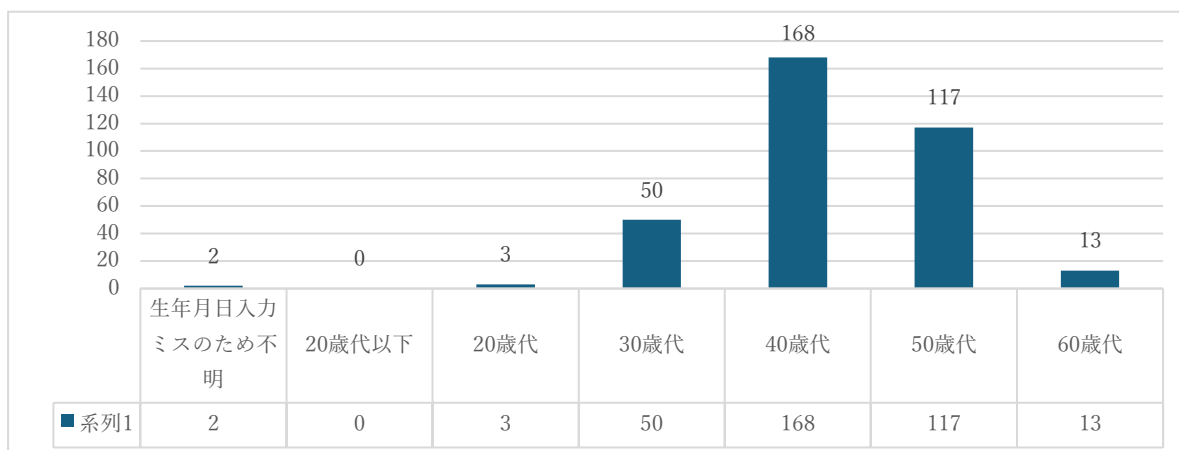
(単位：人)



その他：調理師、高校教諭、養護学校教諭 等

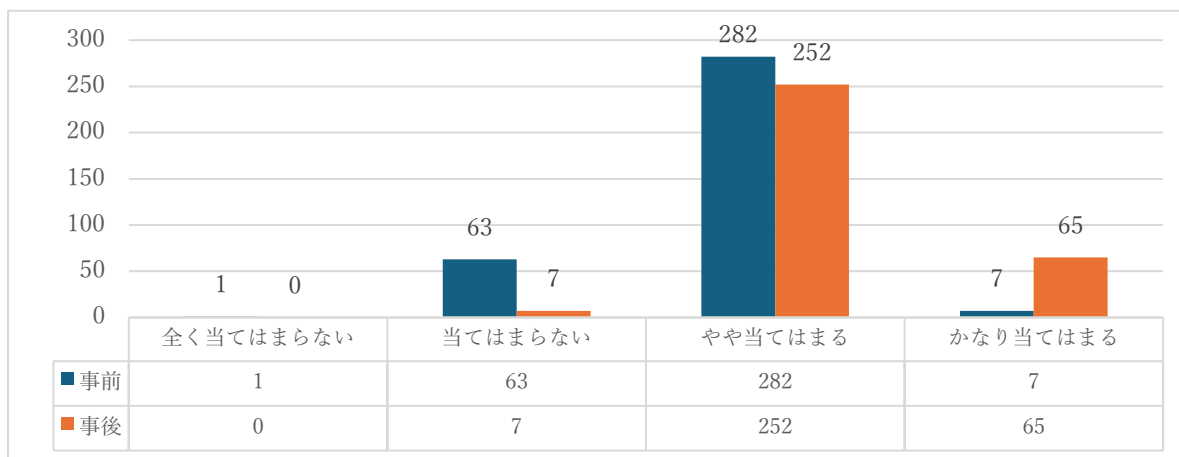
3. 年代

(単位：人)



4. 保育制度の動向を知っている

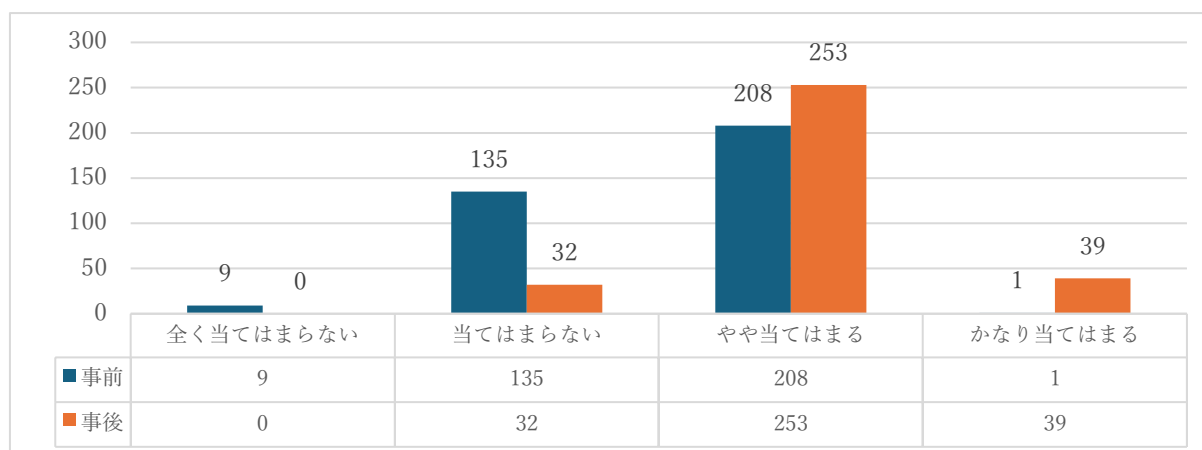
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が82.1%だったが、事後は97.8%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

5. 関係法令等を知っている

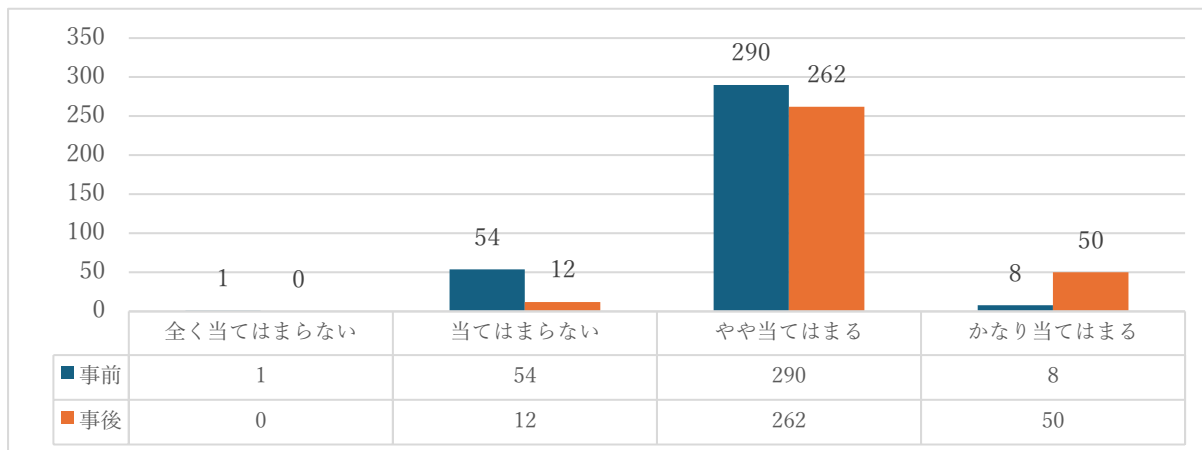
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が57.4%だったが、事後は90.1%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考ええる。

6. 保育所等における各種ガイドラインを理解している

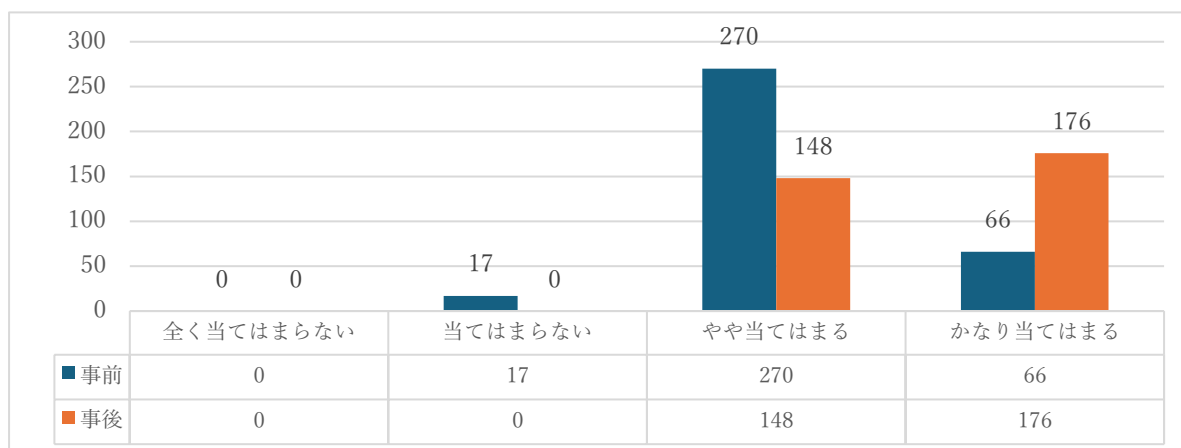
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が84.7%だったが、事後は96.3%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している

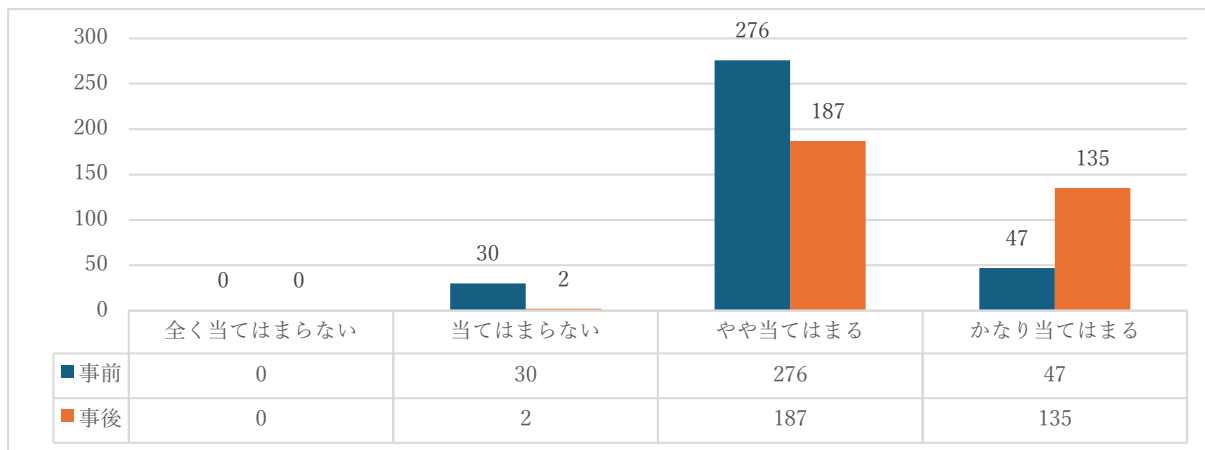
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が18.8%だったが、事後は54.3%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 保育現場における課題への対応を理解している

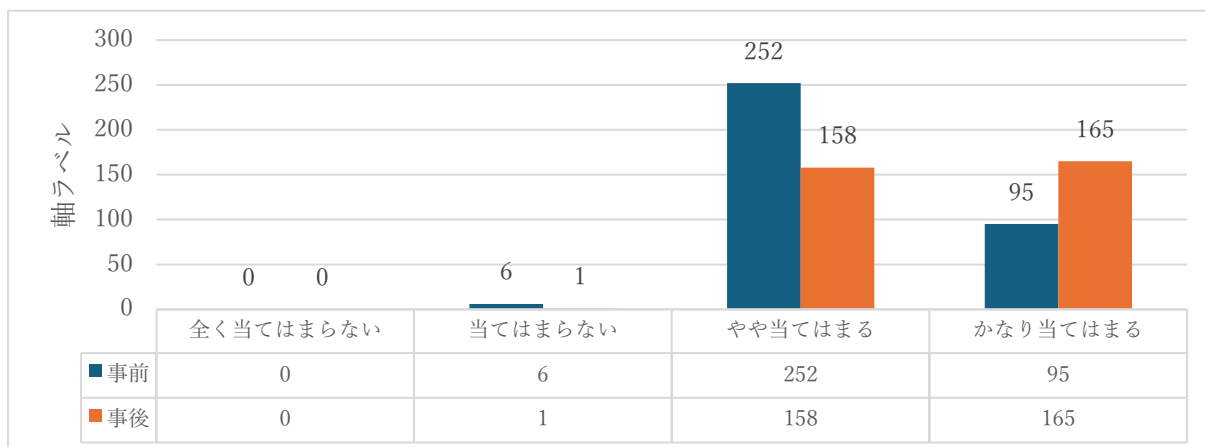
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が13.3%だったが、事後は41.7%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 子どもの発達を踏まえた保育実践を理解している

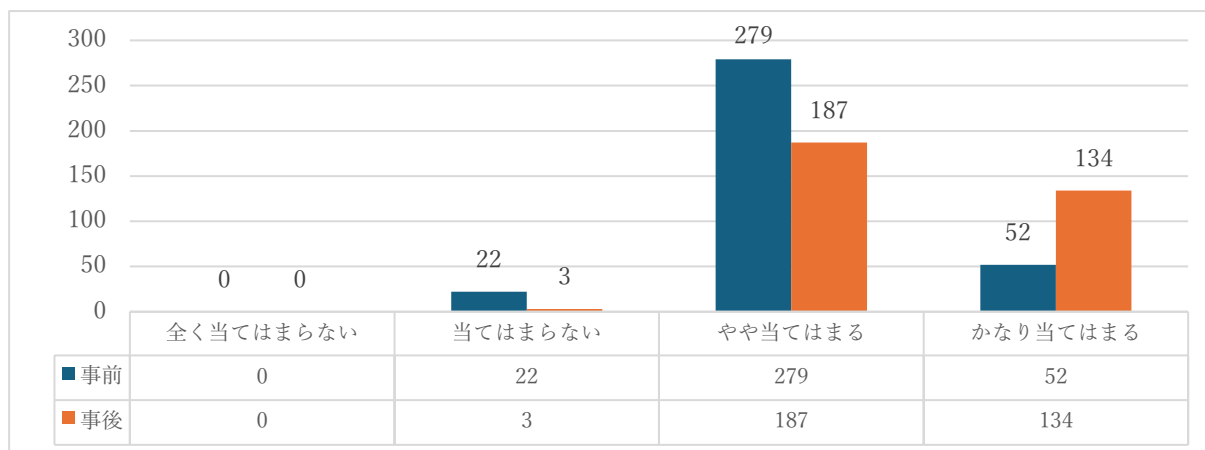
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が27.0%だったが、事後は50.9%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している

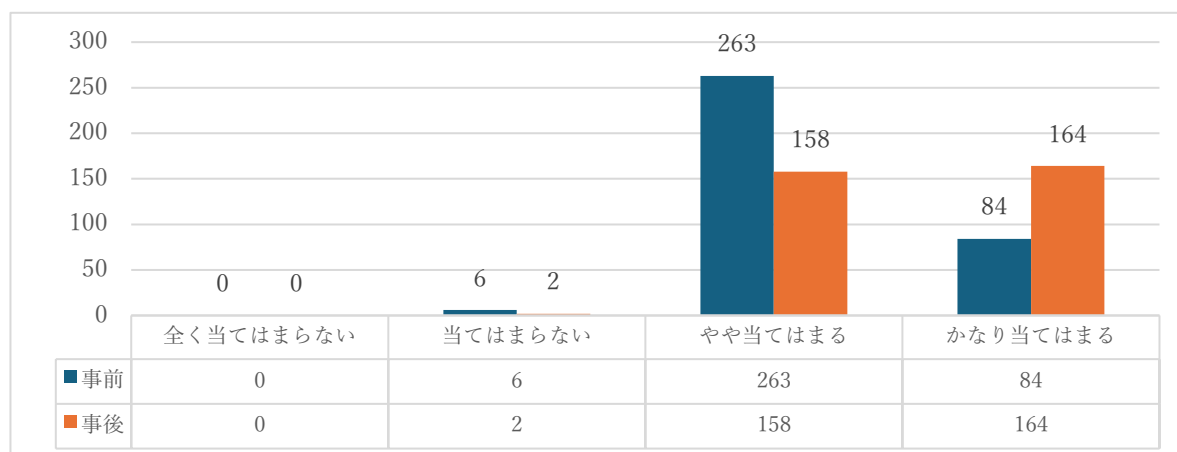
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が14.8%だったが、事後は41.4%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

11. 保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している

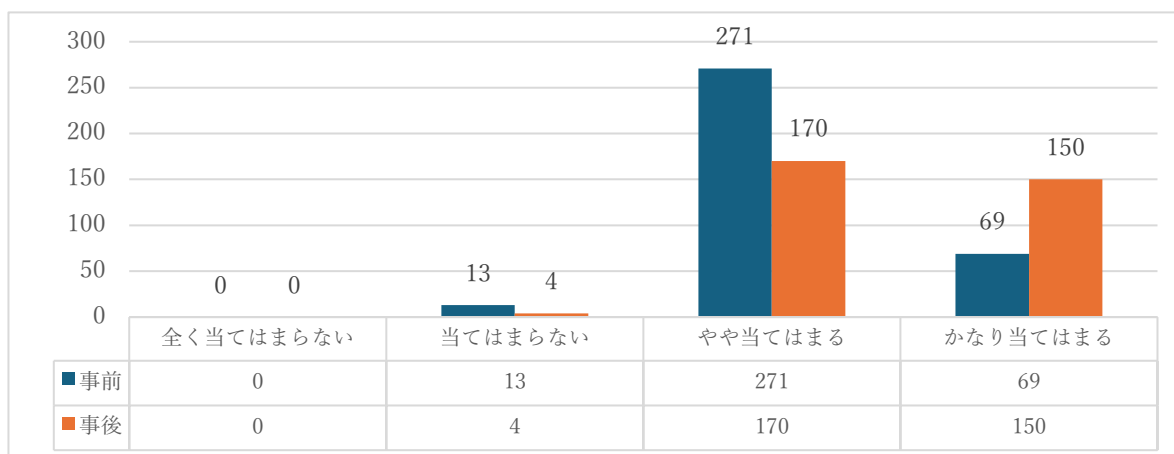
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が23.9%だったが、事後は50.6%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

12. 保育現場におけるリーダーシップを理解している

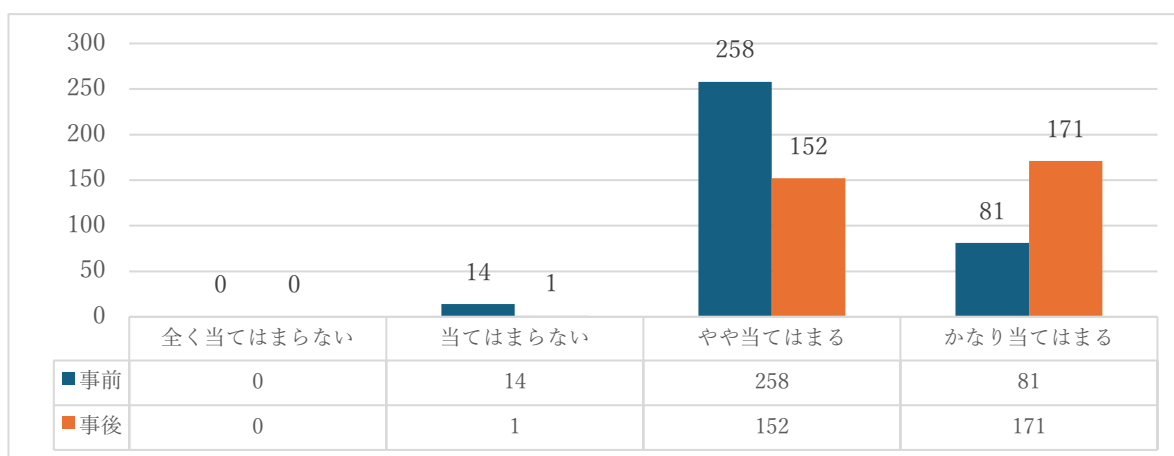
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が19.6%だったが、事後は46.3%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

13. 職員の資質向上を理解している

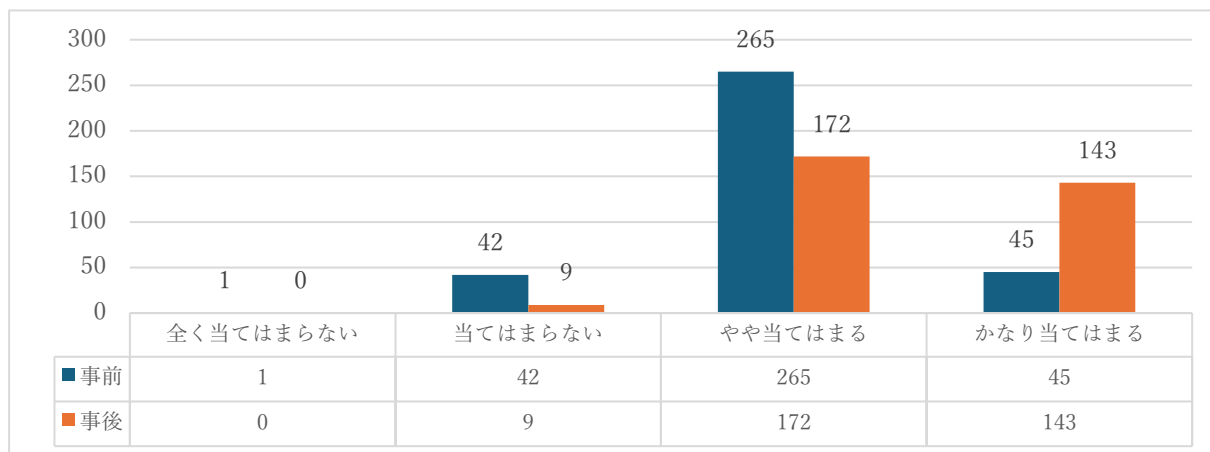
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が23.0%だったが、事後は52.8%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと思う。

14. 職場における研修の企画立案・実施を理解している

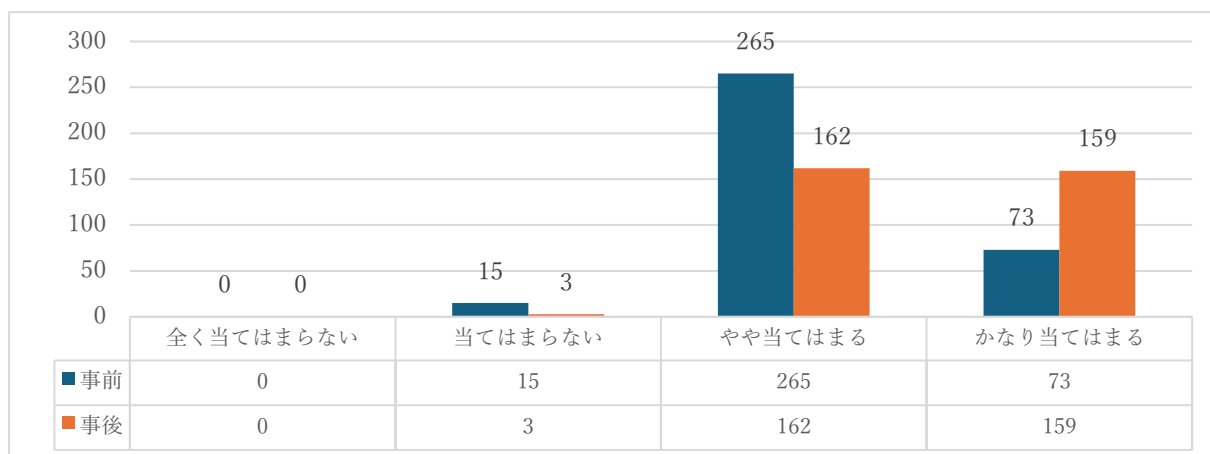
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が88.1%だったが、事後は97.2%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

15. 児童虐待の防止対策について知っている

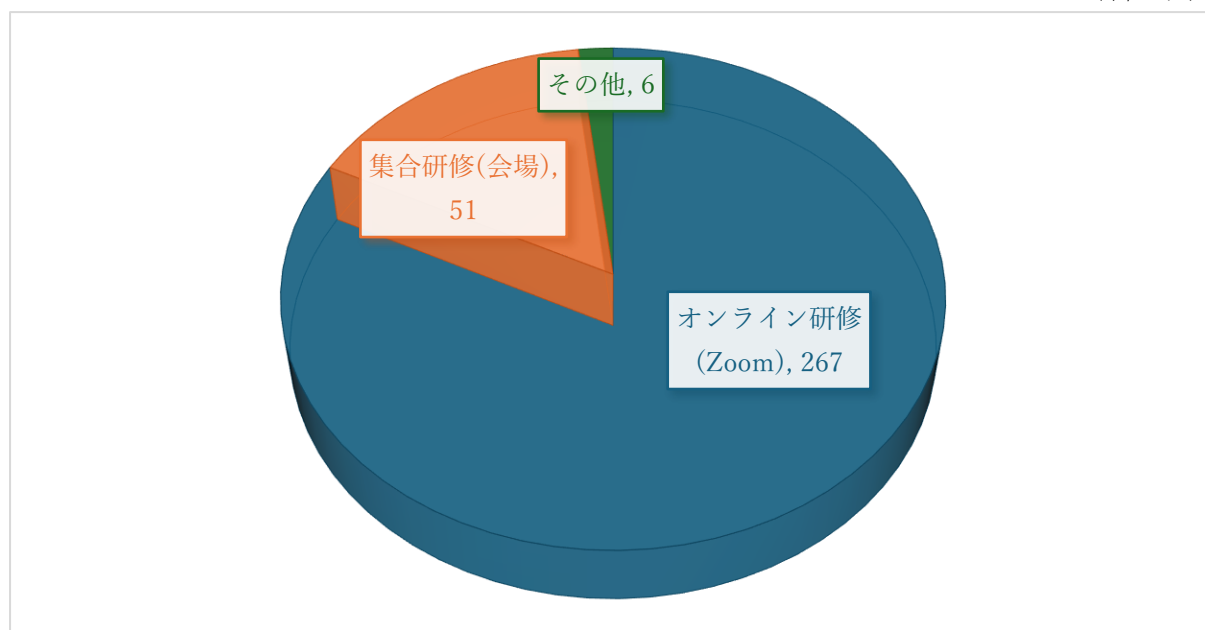
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が20.7%だったが、事後は49.1%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか

(単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・「保育所等における主任保育士の役割」同僚性の高め方について
- ・こども誰でも通園制度の実態について
- ・保育制度の動向について
- ・園内研修の内容、取り組み方
- ・主体的保育についての事例
- ・保育所等における人材育成について
- ・保育所等における主任保育士の役割
- ・アンコンシャスバイアスについて
- ・保育の現場で ICT をどのように活用しているか
- ・子どもの発達と保育について
- ・「謎ルール」について
- ・子育て支援 具体的にどんな取り組みが今の子育て世代に適しているのか
- ・はじめの100ヶ月の育ちビジョンについて

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・感染症ガイドライン、アレルギーに関する対策など保健
- ・食育や事故防止について
- ・障害児保育、医療的ケア児の受け入れや問題点などについて
- ・職員のメンタルヘルスについて
- ・保育の質が上がる園内研修のあり方や事例
- ・多様な子どもへの対応とインクルーシブ保育について
- ・災害時や救急などの対応
- ・不適切保育について
- ・保護者対応について
- ・各年齢にそった室内の環境整備について
- ・ICT の活用について

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・今までは、園がある市区町村の研修にしか参加したことがなかったのですが、オンラインで全国様々な場所の先生方とお話をする機会があり、自園とは異なる環境に触れることが出来ました。同じような悩みを持っている先生方とお話をする機会が出来たことは、とても貴重で学びのある時間でした。ありがとうございました。

・自身の苦手な分野や思考の傾向を自覚しつつも避けてしまったり、変えられずに過ごしてしまっているが、今回の研修を受け「いよいよ変わらなきゃな…」という気持ちにさせられた。研修の内容としてはよく似た研修は経験しているので振り返りの要素が多いが、自分の状況が変わるタイミングで受講したので自覚することがこれまでよりも多かったと思う。

・研修全体を通して、これまでの自身の教育保育を振り返り、子どもや保護者への関わりを見直す機会となった。現場で当たり前のように実践していた事柄も職員同士の対話をする時間をつくり、これまで通りでよいのか、新しい方法を検討していく必要があると感じた。保育制度の動向及び関係法令については、新しくなった点があるので、毎日だけでなく定期的に情報を得るという時間をつくっていくようにしたいと感じた。貴重な研修をありがとうございました。

・耳が痛い話ばかりで、今後自園の改善を園長や職員と共に即急に行っていかなければいけないと感じた。

・初めて主任研修を受け、とても充実した3日間でした。理論的にはわかることが多かったのですが、現実自分の園でできるのかと考えると難しいことが多すぎると感じた。上記にも記入したが、やはり学校教育の先生方から聞くと、勿論自分の意見を伝えられる考えられることが必須だが、その前に幼児期にいけないこと・我慢すること・思い通りにならないことがあるんだということをきちんと指導して欲しいといわれている。主体的と言われている中での幼児期に育てほしい10の姿を育てていく上での難しさも感じた。全国の主任保育士さんと同じ思いがあることを共有できてほんとによかったと思います。

・大変勉強になりました。法人内の上司たちにも、ぜひ学んで欲しい…今の保育はこうなんだよ！と伝わって欲しい…。時間だけみると長いな…という印象でしたが、学びが多く、グループワークも適度にあり、最後まで集中して受けられました。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

研修全体を通して、受講者は有意義な学びを得ていることが伺える。多くの受講者が、研修内容が実践的で、日々の保育業務に役立つと感じていると考えられる。また、オンライン研修という形式でありながらも、グループワークを通じて他の保育者との意見交換や情報共有ができたことを評価する声が多く見られる。

特に多かった回答：

- ・園内研修の進め方、職員のモチベーション向上、リーダーシップ研修など、人材育成に関する課題への関心が高いことが伺える。
- ・保護者とのコミュニケーション、特別な支援が必要な家庭への対応、クレーム対応など、保護者支援に関する課題へのニーズが高いことがわかる。
- ・発達に課題のある子どもへの対応、気になる子どもの捉え方、子どもの主体性を尊重した保育など、子どもの発達に関する課題への関心が高いことが伺える。
- ・研修の具体的な内容や進め方、他園での事例など、情報共有を求める声が多く寄せられている。

これらの結果から、受講者は講義だけでなく、事例検討や演習、具体的な対策など、より実践的な内容を充実させてほしいという要望があると考えられる。

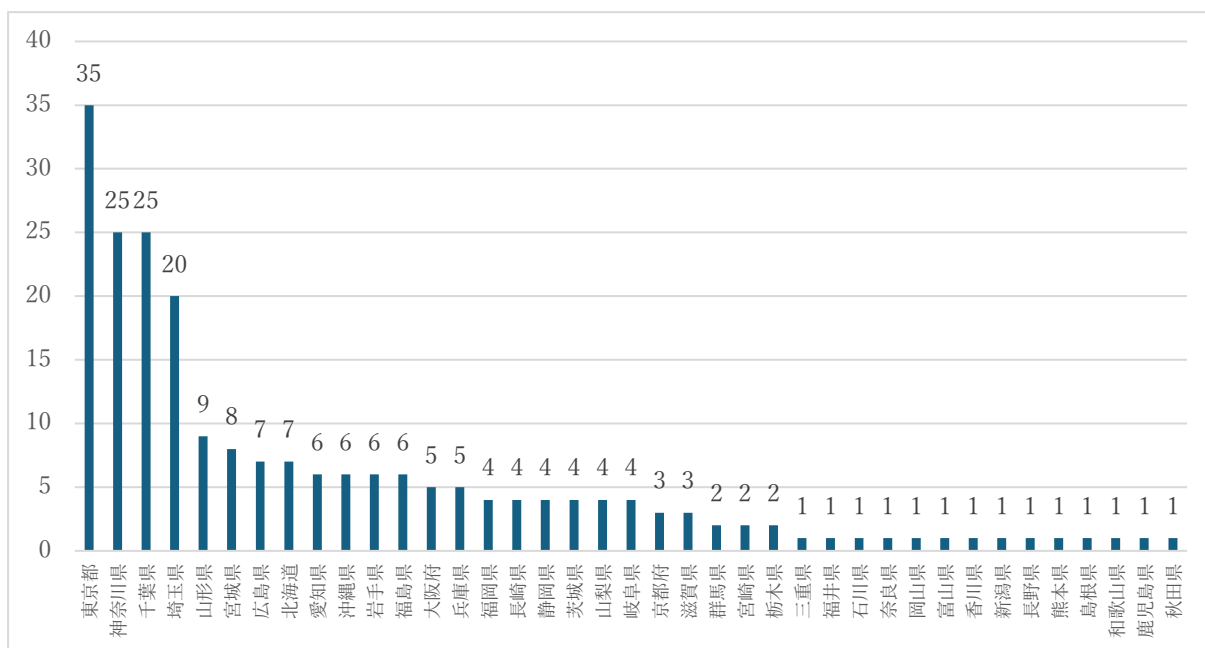
改善策：

一部の課題に集中している傾向があるため、受講者の要望を踏まえた上で、研修内容のバランスを考慮する必要がある。テーマの多様化や事例の充実、実践的なスキルの習得を目指したプログラムの改善が望まれると考える。

4-6. 保育所等実習指導研修（オンライン型） 講義内容の評価・改善策

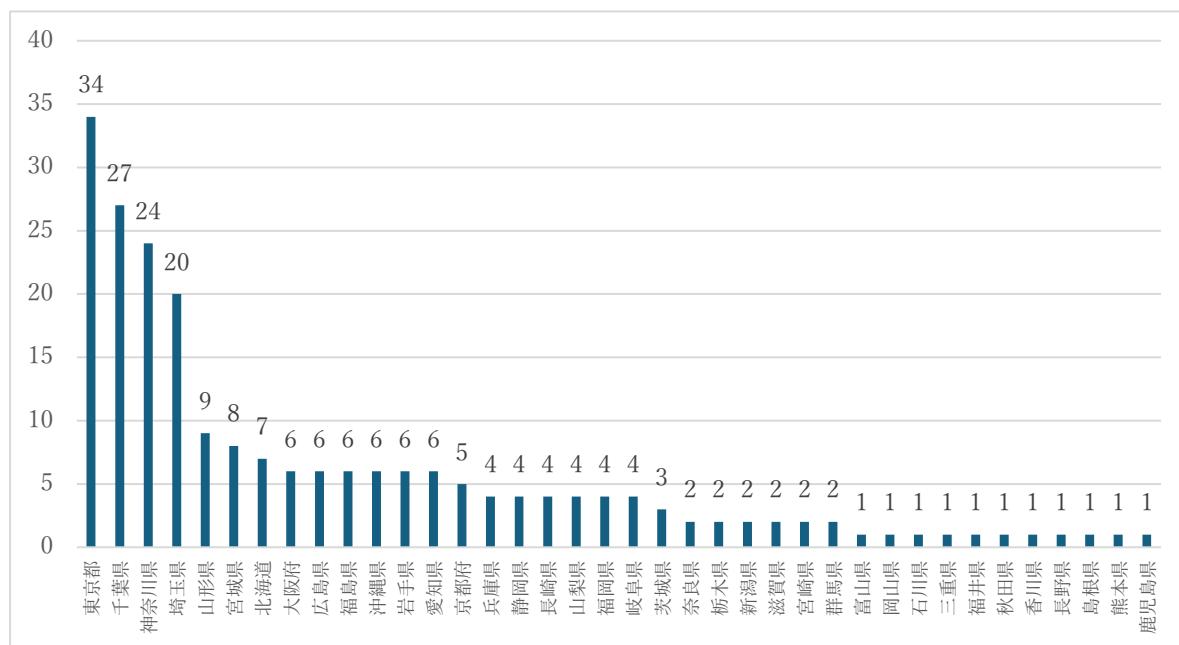
受講者居住地別都道府県

(単位：人)



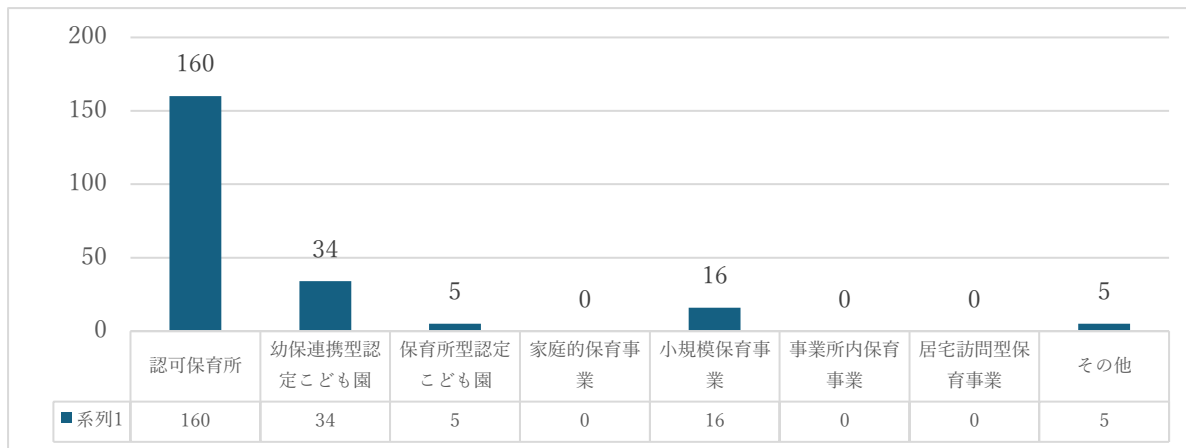
受講者勤務地域別

(単位：人)



勤務先施設類型

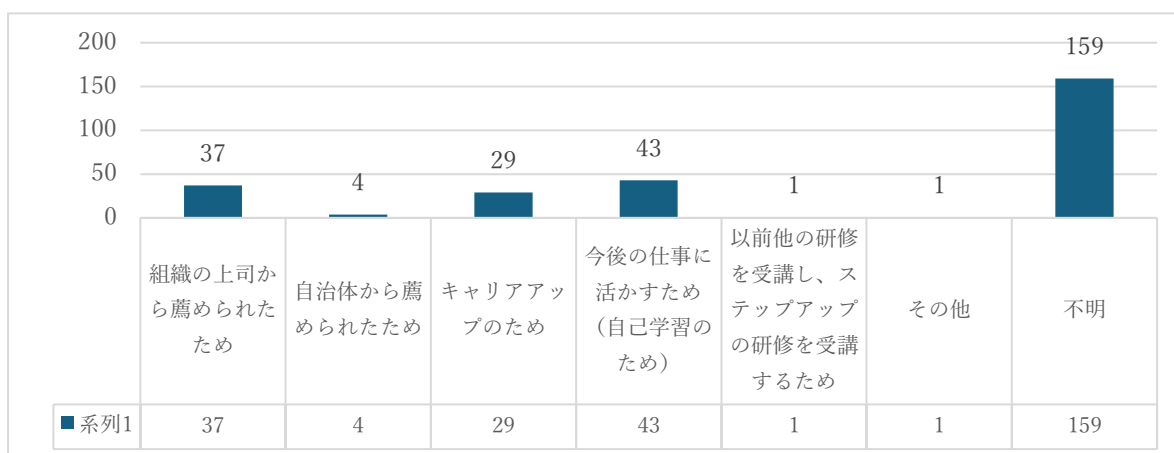
(単位：人)



その他：企業主導型保育園、幼保園、児童相談所の一時保護所 等

1. 研修受講理由(複数選択可)

(単位：人)

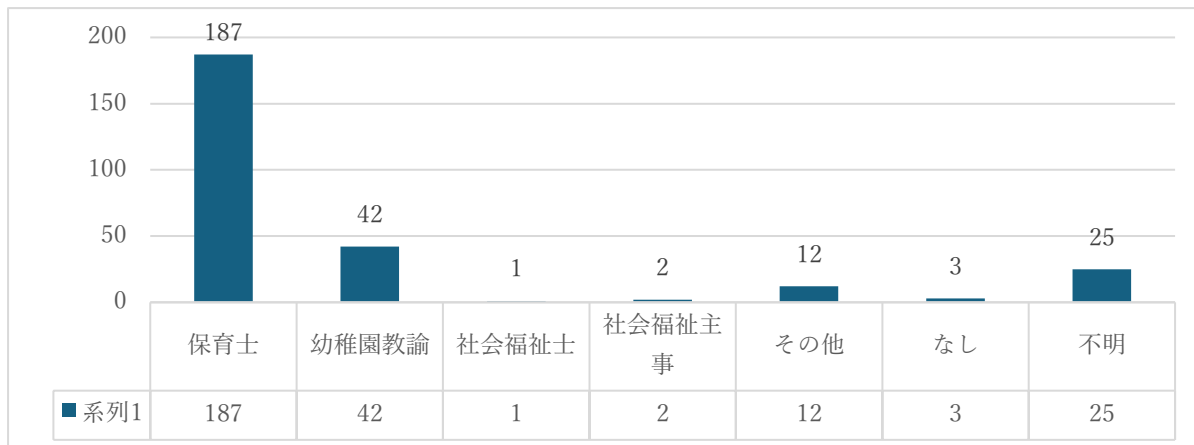


その他の受講理由

- ・実習生受け入れの業務担当のため

2. 保有している資格(複数選択可)

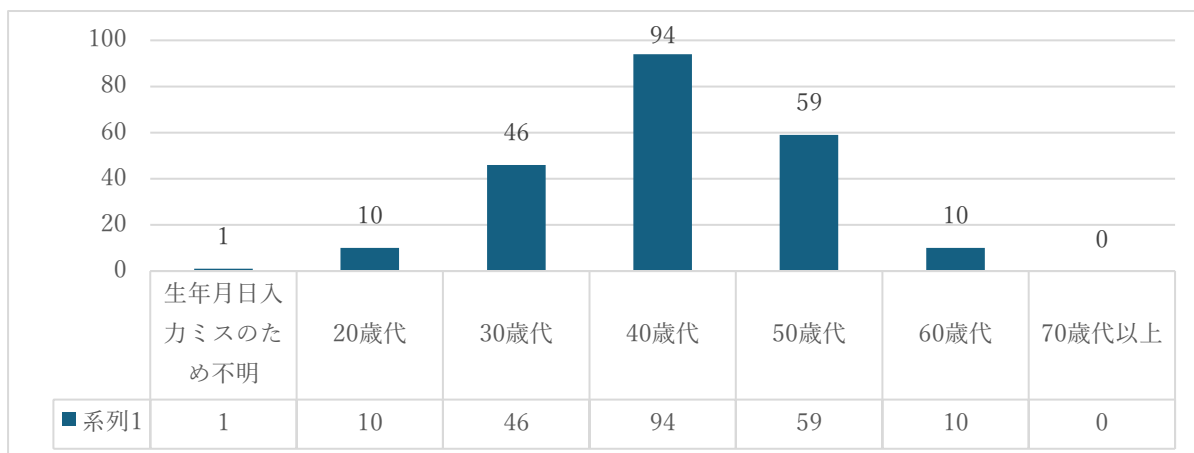
(単位：人)



その他：特別支援学校教諭、学童支援員、認定心理士 等

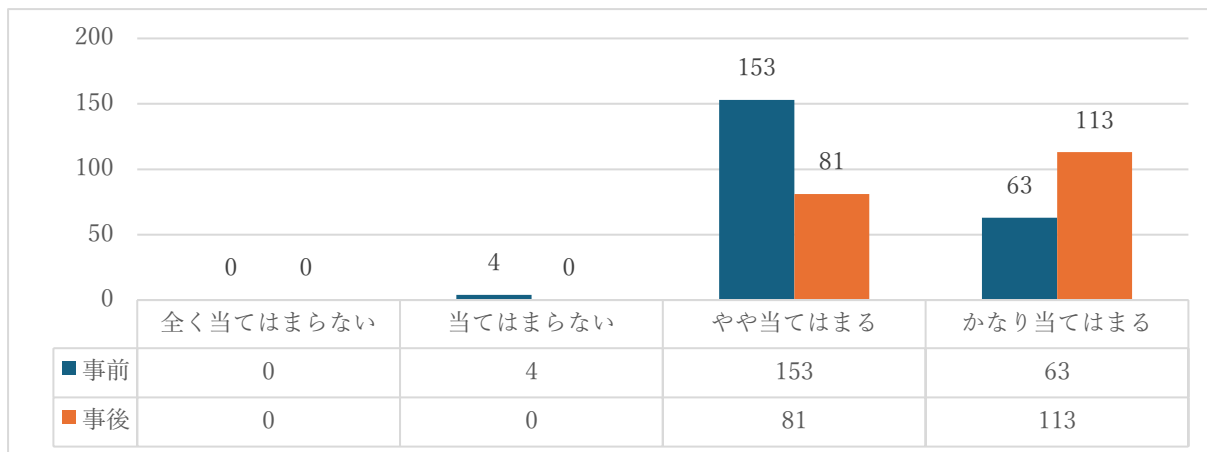
3. 年代

(単位：人)



4. 保育所等が担う社会的役割について理解している

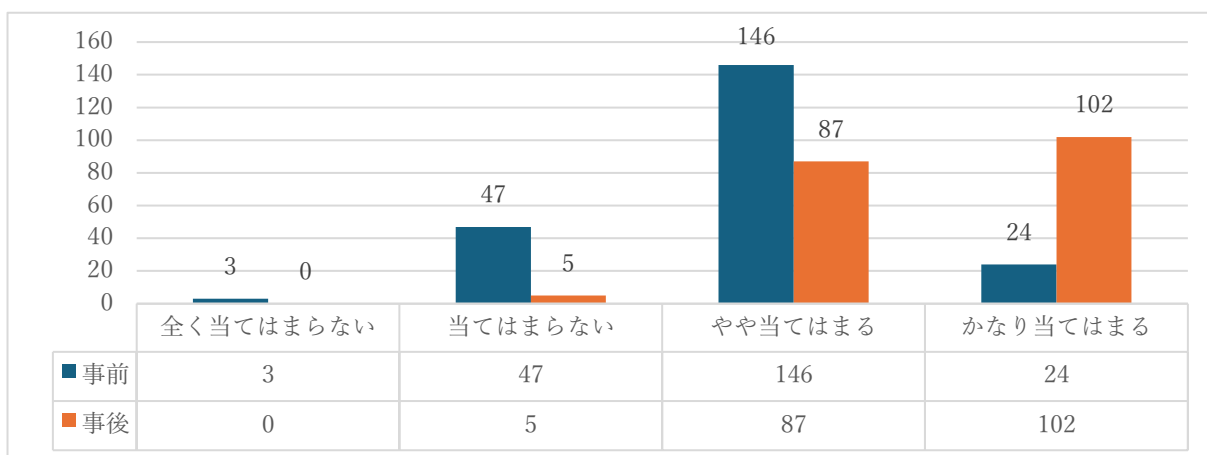
(単位：人)



事前ではかなり当てはまると回答した方が28.6%だったが、事後は58.2%となりもともと当てはまらない方は少ない項目だったものの、効果的に理解していただくことができたと考える。

5. 保育者養成の動向について理解している

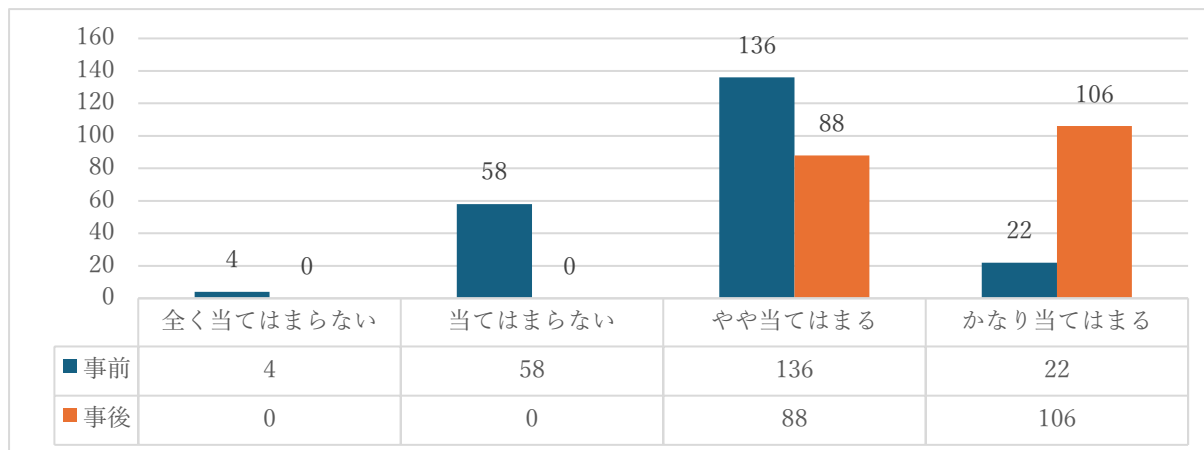
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が77.2%だったが、事後は97.4%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

6. 保育所等における保育所実習指導の現状について理解している

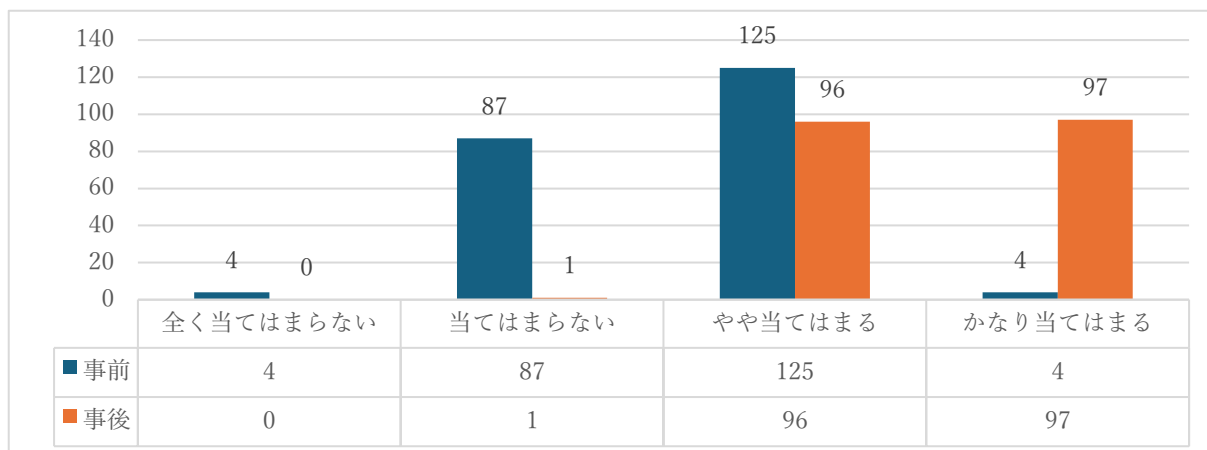
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が71.8%だったが、事後は100%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

7. 保育実習の課題の整理ができている

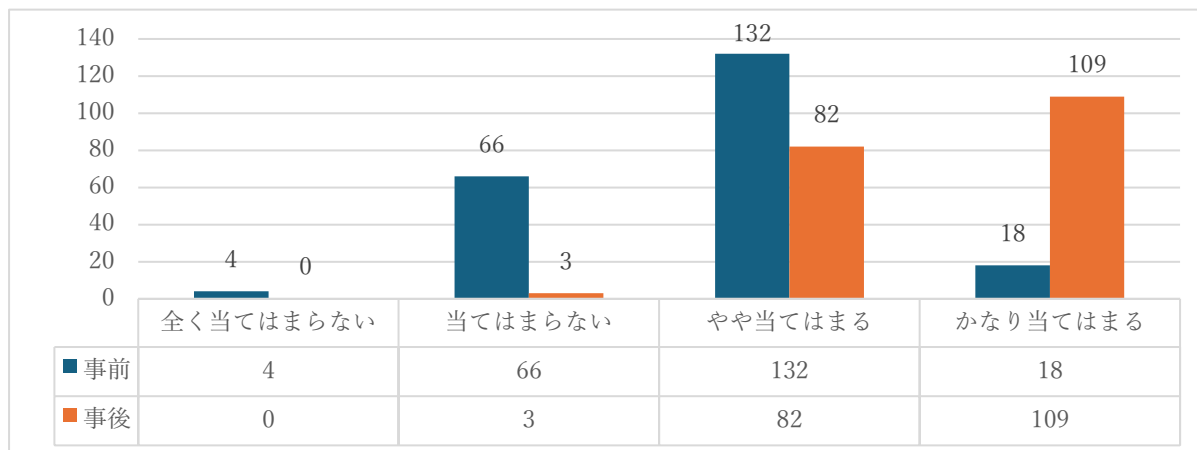
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が58.6%だったが、事後は99.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

8. 実習生の実態を踏まえた実習について理解している

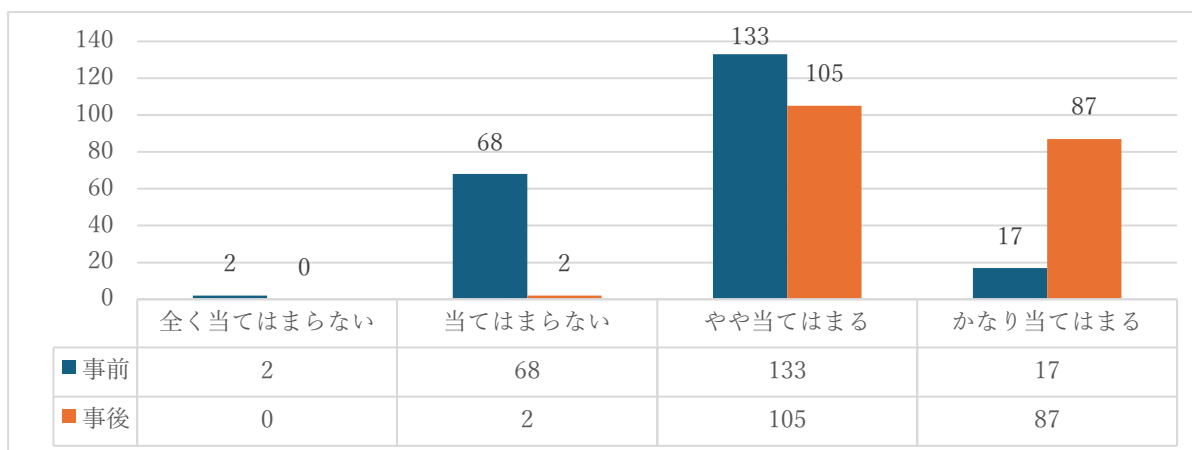
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 68.2% だったが、事後は 98.5% となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

9. 保育実習の目的と保育実習実施基準を理解している

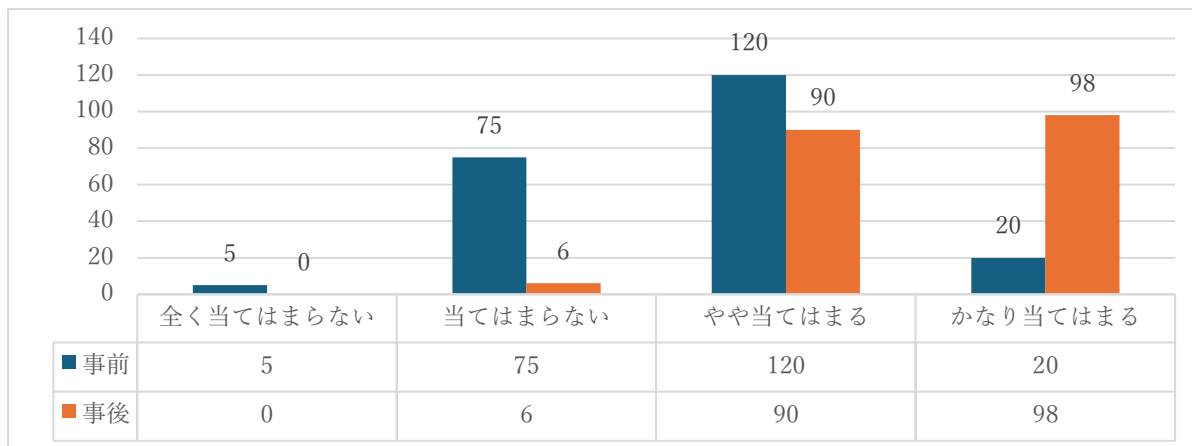
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 68.2% だったが、事後は 99.0% となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

10. 養成校との連携について理解している

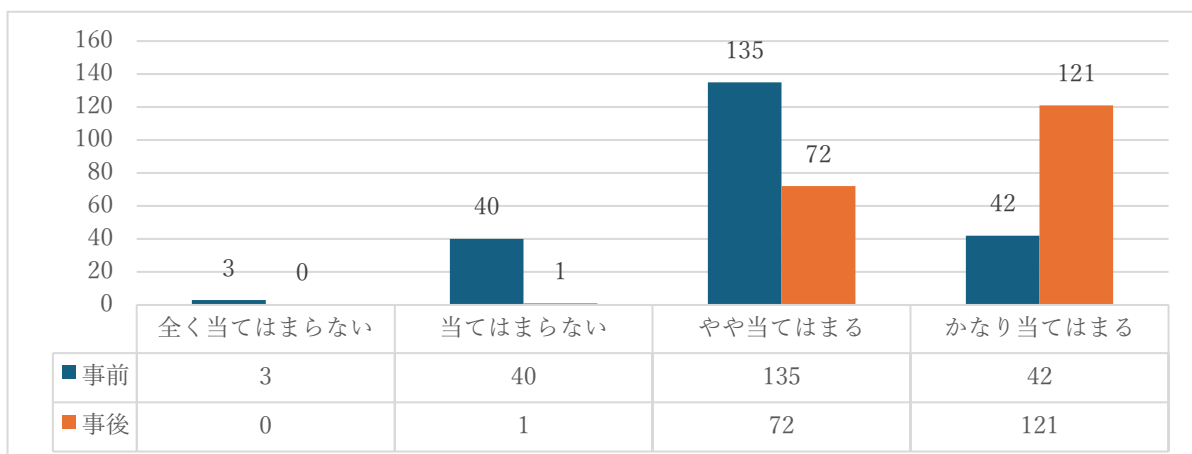
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が63.6%だったが、事後は96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

11. 実習生の受け入れ体制について理解している

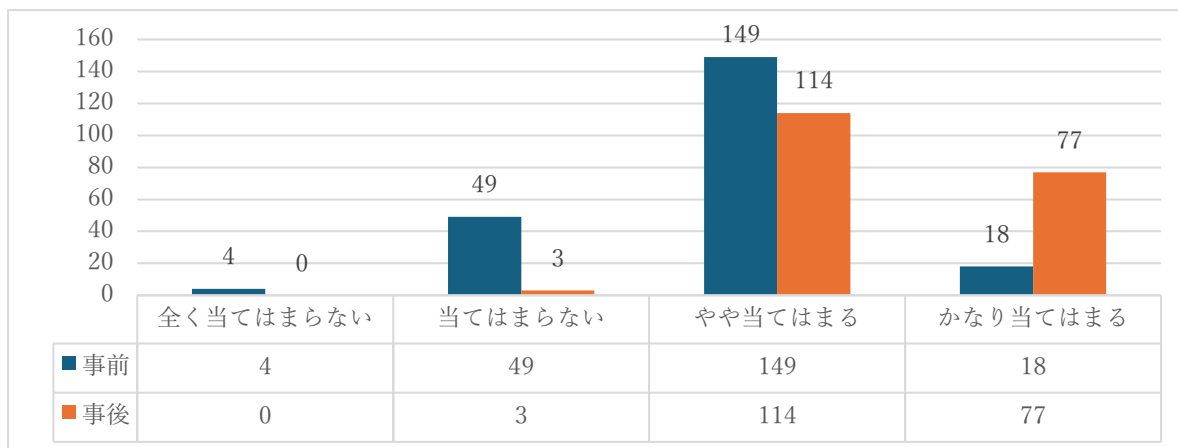
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が80.5%だったが、事後は99.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと思う。

12. 保育実習指導の内容と指導法（記録・評価・指導等）について理解している

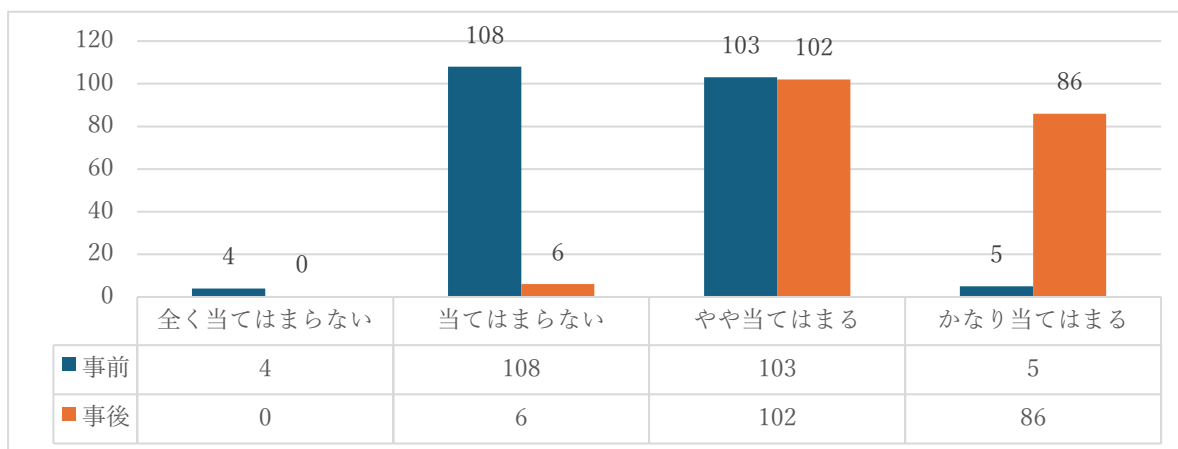
（単位：人）



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 75.9%だったが、事後は 98.5%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

13. 効果的な保育実習指導の実例について理解している

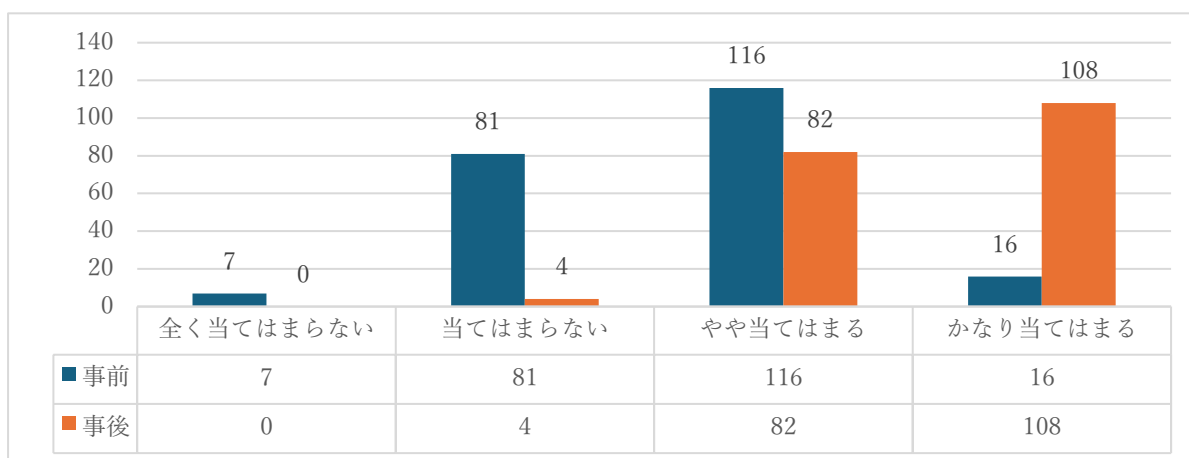
（単位：人）



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が 49.1%だったが、事後は 96.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

14. 養成校との保育所等の協働による職員の資質向上について理解している

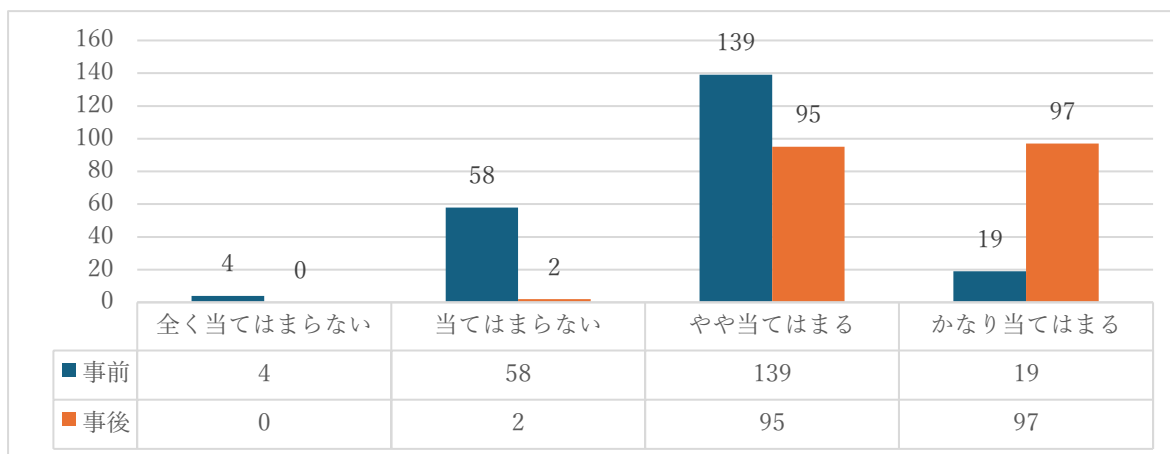
(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が60%だったが、事後は97.9%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

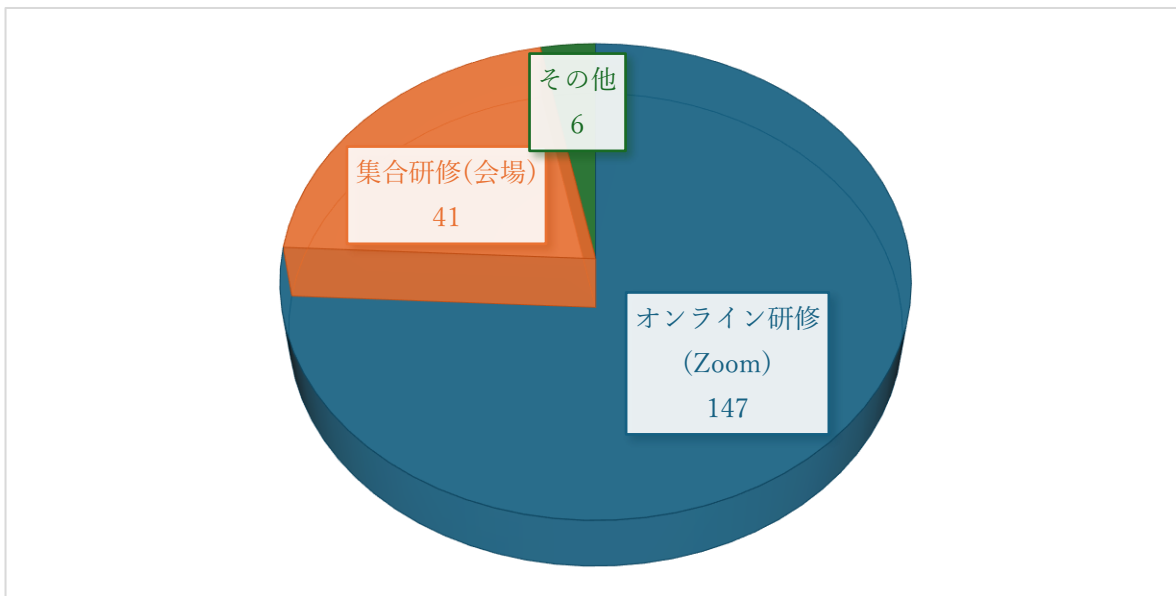
15. 保育実習及び実習指導の実践を理解している

(単位：人)



事前ではかなり当てはまる、当てはまると回答した方が71.8%だったが、事後は99.0%となり短時間でも効果的に理解していただくことができたと考える。

16. 今後研修を受ける場合はオンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）どちらが
よいか (単位：人)



■今回の研修でもっと詳しく知りたいと思った科目及びどんなことを知りたかったか

- ・ 日誌の指導・評価の付け方について
- ・ 養成校で行われている実習関係の授業内容について
- ・ 各園のオリエンテーションの内容や詳細
- ・ 受け入れ体制の実例
- ・ 養成校との連携
- ・ 保育実習と教育実習の内容の違い
- ・ 保育実習担当者の資質向上について ・ 昔の養成校と今の養成校の指導内容の違い
- ・ 実習生が、どのように、実習先を選んでいるか
- ・ 実習日誌の IT 化

■今回の研修にない科目で今後研修に取り入れてほしいと思う項目

- ・ 子ども理解と指導計画作成についての研修
- ・ 具体的な事例紹介（うまくいった例、うまくいかなかった例など）
- ・ 保護者支援
- ・ 新人保育者への対応
- ・ 実習評価表の評価・記入の仕方について
- ・ 小学校との連携について
- ・ ICT について
- ・ 保育実習マニュアルの作成方法について
- ・ インクルーシブ保育について
- ・ 養成校と保育所等の連携の取り方
- ・ 保育資質の向上について
- ・ 地域との連携・他の連携機関との具体的活用法など
- ・ 不適切保育について ・ 危機管理について
- ・ 特別支援教育について
- ・ 職員間の連携について

■アンケートより意見・感想（原文のまま）

・研修を受けなければ知らなかった、学生の実習での様々な思い、本音を知れた事が一番良かった。その気持ちを汲んで、お互い歩み寄る事で学生にとって実りある実習にする事が私たち現場の役割であり、養成校と共に後継者を育てて行かなければならないと気付ける良い研修だった。保育現場においても養成校のように指導者として研修を受けた人を各園の実習指導者と定める事で、現場の職員と実習生、現場の職員と養成校、園全体への周知など実習生を受け入れる窓口が必要なのだと感じた。講師の先生方の講義も分かりやすく、自分の振り返りも出来たり、他の保育園の先生方とお話していく中で、実践できそうなヒントを得たりなど有意義な時間でした。欲を言えばもっといろんな話をしてみたかったです。とても楽しくためになる研修をありがとうございました。

・最近の学生さんの動向や、実習指導に当たってどのような取り組みがあると良いのか具体例があり理解しやすかったです。学生さん本人とのコミュニケーションも大切ですが、養成校と保育園との連携が取りやすくなると良いなと感じました。座学の内容だけではなく、参加者同士の話し合いの時間を持つことができ良かったです。

・今回の研修を受けて、実習生の現状と、施設側がどのように実習生を受け入れたらよいのかということがよくわかった。自分が実習生だったころと時代が変わり、実習生への接し方、見方も変えていかないといけないと強く実感した。実習生とどう関わったらよいのか私自身迷いがあったが、「同僚性をもって」という言葉がとても身に染みた。一緒に保育を楽しむ仲間の一人として、今後関わることを意識していきたいと思った。養成校にいらっしゃる岸本先生だからこそ、実習生が実習で感じてきたことの言葉が響きました。とてもいい学びができました、ありがとうございました。

・実習生の視点や指導者の苦悩、それぞれの改善策や方法を聞くことができました。保育者を目指しているまたは、選択の一つとしている学生が実習先での小さな失敗や重荷で諦めてしまう形にはしたくないです。研修に参加している保育園は、実習生を温かく受け入れ学んだことを活かしていけると思います。ただ、無限に保育園がある中で、実習記録の原本やお手本が無い、実習指導者マニュアルがない中では、実習先の出会い次第で保育士を諦めることに繋がるというのは、残念です。保育所のルールとして、研修を受けた保育士がいる保育園は実習生を受け入れても良いなど、仕組みを築いていただきたいと思います。

・岸本先生の研修は詰め込み過ぎず、とてもわかりやすい研修でもっとお話を聞きたいくらいでした。ワークショップ等で色々な先生とお話をしますが、できれば園の形態を同じ園の方とお話できればありがたかったです（自園はこども園ですが小規模の先生が多かったため）でも貴重な時間でした。ありがとうございました。

◆研修の事後評価

全体的な傾向：

- ・受講者は、実施指導の質向上を非常に意識しており、実習生の現状理解、効果的な指導方法、養成校との連携など、多義にわたるテーマでの学びを求めている傾向が見られる。
- ・講義だけでなく、具体的な事例、他園での取り組み、実習生の体験談など実践的な情報を求める声が多く、理論と実践を結びつける学びへの期待が高いことが伺える。

特に多かった回答：

- ・実習日誌の書き方、添削方法、形式など、実習日誌に関する具体的な指導方法や、養成校側の考え方について知りたいという意見が非常に多く、実習指導における課題であることが伺える。
- ・養成校の授業内容、実習に対する考え方など、養成校との連携を深めたいというニーズが非常に高いことが伺える。
- ・他園の実習指導事例、成功例、失敗例、実習生の体験談など、具体的な事例を通して学びたいという要望が多く、実践的な指導スキルを身につけたいという意欲が伺える。

これらの結果から、受講者は実習指導の質向上に向けて、実践的な知識、具体的なスキル、具体的な養成校との連携方法を求めていることが明確になった。

改善策：

実習日誌に関する具体的な指導方法や実際の実習指導事例、実習生の体験談等、より実践的な内容を求める声が多いことから、より実践的で実務に即した内容を取り入れる等、学びの程度を向上させることが望ましいと考える。

また、グループワークの規模や運営形態・認種別が近い形で編成して欲しいという要望があがっていた。グループワークの編成のために、次年度は募集時に所属する保育所の入所定員・職員数等をヒアリングすることも必要かと考える。

5. 実施報告

5-1. 納品リスト

- ・ 修了者名簿
- ・ 受講者による研修内容の評価

5-2. 考察

【前年度の課題】

- (1) 研修スケジュール日程（3日連続は参加に負担を生じさせている）

示された改善案

- ①研修コースの振替を認める（1-1、1・2日目を受講→1-2の3日目を受講するなどフレキシブルな対応を実施する）
- ②研修コースのスケジュールを3日間連続ではなく、開催日の日程間隔をあける（例・・・1日日月曜、2日目水曜、3日目金曜など）
- ③講義中心の分野に関してはeラーニング（オンデマンド）方法による研修の検討

受講者アンケートで、オンライン研修（Zoom）、集合研修（会場）のどちらの形式で今後、研修に参加ご希望かをお伺いしたところ、オンライン65%、集合研修35%であった。集合研修にて研修を受講したいという意見も35%あり、令和6年度は集合研修を実施した。

【今年度の課題】

- (1) 集合研修における顕著な定員割れ

2-3R	定員 400 名	申込者 169 名 (42.3%)	受講確定者 158 名 (39.5%)
3-1R	定員 300 名	申込者 81 名 (27%)	受講確定者 69 名 (23%)
4-1R	定員 400 名	申込者 170 名 (43%)	受講確定者 149 名 (37%)
5-1R	定員 300 名	申込者 94 名 (31%)	受講確定者 84 名 (28%)

(2) 講義教材について研修開催直前まで修正・確認を要したことについて

講義教材につきまして、講師や貴庁のご協力をいただき内容の確認が取れた教材より順次研修サイトに掲載した。その中で前年度ご担当の講師も含めて教材の修正・確認に複数回の連携が必要となり、特に開催時期が早かったコースについて受講生への配布が研修直前となったコースが発生した。

(3) オンライン受講に関する受講者の知識・技術・準備不足・環境不足について

実施要項、研修サイト内の掲示、事前資料、メール等の案内を複数行い、講義1週間前に個別対応のZoom接続テストを開催し出席手順の予行を含め注意事項の伝達や資料案内を徹底した。

しかしながら、研修サイトのログイン・教材のダウンロード・接続テストの日程・当日の接続方法、出欠判定に必要な表示名変更など、オンライン参加に必須の事項等について把握出来ていないと思われる問い合わせが講義最終日まで続き、対応に追われた。研修当日、接続ができない等の把握・準備不足による影響で修了不可となった事例も発生した。

また、全国の保育所における環境不足も影響があったと考える。保育所に一つのメールアドレスしか取得できていない事、インターネット環境の整備不足、保有するPC等の機材が少なく能力も低いものを使用している、オンライン研修に参加する事に適した個室等が無い等が受講生の負荷となっている事が見受けられた。

【今年度の課題に対する改善策】

(1) 集合研修における顕著な定員割れ

- ・集合研修においては、日程集約を希望する意見があった。移動や宿泊調整の負担が主な理由で、特に遠距離から参加する受講生は分散日程の移動負担が高かったと推察される。そのため、次年度は土日を絡めて日程を集約することを提言する。
- ・オンライン研修では定員の2倍近くを集めた研修もあり、本事業の研修自体の受講ニーズは充分にあると考える。

令和6年度は前年度まで実施していなかった集合研修のニーズが高いと想定し、早期に集合研修を実施し、オンライン研修を後で実施した。結果として、集合型で受けられなくてもオンライン研修を受講すれば良いというスケジュールになった。また集合型が東京1箇所での開催ということも参加障壁

となっていたと推察する。

集合研修・オンライン研修の双方の定員を埋める為には、先にオンライン研修を実施したうえで、集合研修は後半に日程設定を行い、オンライン研修に日程が合わなかった方や落選・未修了になった方の再申込も含め、参加に負荷がかかっても受講を希望する方々に対応する設計とした方が、集合研修の受講者数を確保できるのではないかと考える。

(2) 講義資料が研修開催直前まで修正・確認を要したことについて

次年度は講師陣ともスケジュールを綿密に確認し、準備を進めることで、改善につなげる。

(3) オンライン受講に関する受講者の知識・技術・準備不足・環境不足について

受講受付時に、事前の接続テストを含め、準備・案内を徹底し、修了者数を通信トラブル等による修了不可者を減らすよう、計画する必要があると考える。